

工 事 設 計 書									
年 度	令和4年度	技術管理者	課長	係長	係長	精算者	設計者	老朽管整備事業費	
工 事 番 号	04-2201							設 計 年 月 日	令和4年 6月 22日
着 工 番 号								精 算 年 月 日	令和4年 6月 22日
施 工 理 由									
施 工 箇 所	明石市二見町西二見地内					施 工 方 法 及 び 工 事 期 限		請 負 単 価 契 約 令和5年4月28日まで	
工 事 名 称	二見町西二見地内配水管布設替工事					支 払 い 方 法		前 払 金	あり (40%以内)
								中 間 前 払 金	あり (20%以内)
								部 分 払	あり (3回以内)
工 事 概 要	配水管布設工計 L=614.8m								
	配水管布設工 φ75 L=6.9m φ100 L=14.3m φ150 L=386.2m φ200 L=5.0m φ250 L=202.4m								
	仕切弁設置工 φ75 2箇所 φ100 1箇所 φ150 6箇所 φ200 1箇所 φ250 6箇所								
	消火栓設置工 φ150 2箇所 φ250 1箇所								
	仮配水管布設撤去工 1式								
	既設管撤去工 1式								
	舗装復旧工 1式								
当初設計金額	円	消費税相当額	円	当初請負金額	円	消費税相当額	円		
変更設計金額	円	消費税相当額	円	変更請負金額	円	消費税相当額	円		
増 減	円	増 減	円	増 減	円	増 減	円		

総括情報表

単価適用年月日	0-04.06.01(0)		
工種区分 施工地域区分	今 回 01 開削工事及び小口推進工事 23 一般交通影響あり(2)	前 回	

工 事 費 内 訳 書

頁0-0002/0149

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
本工事費						
管路(開削)						
φ 75管路						
φ 75管布設工						
φ 75管路土工	1		式			工種 第0001号明細表
φ 100管路						
φ 100管布設工						
φ 100管布設土工	1		式			工種 第0004号明細表
φ 150管路						
φ 150管布設工						
φ 150管布設土工	1		式			工種 第0006号明細表
φ 200管路						
φ 200管布設工						
φ 200管布設土工	1		式			工種 第0009号明細表

工 事 費 内 訳 書

頁0-0003/0149

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
φ 150布設工						
	1		式			工種 第0011号明細表
φ 150管布設土工						
	1		式			工種 第0014号明細表
φ 200管路						
φ 200管布設工						
	1		式			工種 第0016号明細表
φ 200管布設土工						
	1		式			工種 第0019号明細表
φ 250管路						
φ 250管布設工						
	1		式			工種 第0021号明細表
φ 250管布設土工						
	1		式			工種 第0024号明細表
付帯工						
			式			

工 事 費 内 訳 書

頁0-0004/0149

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
仮配管布設工						
	1		式			工種 第0026号明細表
仮給水管切替工						
	1		式			工種 第0030号明細表
既設管撤去工						
	1		式			工種 第0033号明細表
舗装復旧工						
	1		式			工種 第0036号明細表
区画線工						
	1		式			工種 第0048号明細表
交通誘導員設置						
	1		式			工種 第0050号明細表
直接工事費計						
共通仮設費計						
運搬費			式			

工 事 費 内 訳 書

頁0-0005/0149

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
仮設材運搬費						
	1		式			工種 第0053号明細表
準備費						
			式			
試掘調査						
	1		式			工種 第0054号明細表
技術管理費						
			式			
通水試験費						
	1		式			工種 第0055号明細表
共通仮設費率分						
			式			
純工事費計						
現場管理費						
			式			
工事原価計						

工 事 費 内 訳 書

頁0-0006/0149

費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
一般管理費等					
スクラップ控除		式			
スクラップ控除		式			
スクラップ控除	1	式			工種 第0056号明細表
工事価格計					
消費税相当額					
総 計		式			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
DGX-S 直管 φ 75×4000 ゴム輪・ロックリング(ホルダー含) 内面エポキシ粉体塗装	3	本			
DGX 両受曲管 φ 75×45° ロックリング含 内面エポキシ粉体塗装	2	個			
DGX 乙字管 φ 75×450H ロックリング含 内面エポキシ粉体塗装	1	個			
DGX 継ぎ輪 φ 75 ロックリング含 内面エポキシ粉体塗装	1	個			
GX形ソトシル仕切弁(受挿し) φ 75 ロックリング含 内面エポキシ樹脂粉体塗装	2	基			
仕切弁室(明石V型)(H=640) 鉄蓋含む	1	組			施工 第0-0005号内訳表
仕切弁室(明石V型)(H=1040) 鉄蓋含む	1	組			施工 第0-0006号内訳表
GX形G-Linkセット φ 75 切管異形管受用	4	組			
GX形接合セット φ 75 異形管・V用	8	組			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
ダブル分水栓(鋳鉄用) φ 75×50 密着コア込	1	個			
分水栓閉栓キャップ φ 50	1	個			
表示帯	6.9	m			
ポリエチレンスリーブ φ 75 固定材料含む	6.9	m			施工 第0-0007号内訳表
管明示テープ(幅50mm 1巻 20m) 年号入り エコマーク認定品	1	巻			
合 計	1	式			

手間

工種明細表

工種 第0003号明細表

頁0-0010/0149

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
鑄鉄管吊込み据付(機械力) 呼び径 75mm以下	5.9	m			
鑄鉄管(新設管)切断工(エンジンカッター) ガクタイル鑄鉄管 呼び径75mm	3	口			
鑄鉄製仕切弁(機械力)設置 縦型仕切弁 呼び径 100mm以下	2	基			
円形1号ボックス設置工(H=640) 鉄蓋設置含む	1	箇所			
円形1号ボックス設置工(H=1040) 鉄蓋設置含む	1	箇所			
GX継手接合(呼び径 75mm) G-Linkの接合	4	口			
GX継手接合(呼び径 75mm) 異形管	6	口			
ボトル分水栓建込(鑄鉄管 呼び径 75~150mm) 配水管呼び径 50mm	1	箇所			
管明示シート工	6.9	m			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
舗装版切断(アスファルト舗装版) As舗装版厚→15cm以下	18	m			
舗装版取壊し積込工 舗装厚⇒0cm越え 10cm以下	6	m ²			
掘削積込工	8	m ³			
掘削積込工(補助的作業なし)	1.2	m ³			施工 第0-0001号内訳表
掘削(人力) 土砂 現場制約あり	0.3	m ³			
残塊処分工(アスファルト) 〔中谷建材株〕 運搬距離 L=11.5km	0.3	m ³			施工 第0-0003号内訳表
残塊処分工(土砂) 〔西川建材株〕 運搬距離 L=11.3km	10	m ³			施工 第0-0004号内訳表
仮復旧工〔密粒度[再](13)] 厚 5cm	6	m ²			施工 第0-0002号内訳表
路盤工(粒調碎石) 上層路盤 施工幅：1.8m 未満 仕上り厚10cm	5	m ²			

土工

工種明細表

工種 第0005号明細表

頁0-0014/0149

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
路盤工(粒調碎石) 上層路盤 施工幅:1.8m 未満 仕上り厚15cm	0.7	m2			
埋戻工(埋戻し材->再生切込碎石)	7	m3			
埋戻工(埋戻し材->スクリーンガス)	3	m3			
軽量鋼矢板建込引抜工(両側分)	5.1	m			
土留支保工(設置+撤去) 切梁種別 水圧式 ^ハ イ ^フ ホ ^ト	5.1	m			
鋼矢板支保工賃料(軽量鋼矢板2.0m用)	5.1	m			
鋼矢板賃料		t			
鋼矢板整備費		t			
合計	1	式			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
DGX-S 直管 φ100×4000 ゴム輪・ロックリング(ホルダー含) 内面エポキシ粉体塗装	4	本			
DGX 曲管 φ100×45° ロックリング含 内面エポキシ粉体塗装	1	個			
DGX 曲管 φ100×22° 1/2 ロックリング含 内面エポキシ粉体塗装	1	個			
DGX 継ぎ輪 φ100 ロックリング含 内面エポキシ粉体塗装	2	個			
ソフトシル仕切弁付割T字管 φ100×100 密着コア(SUS製)含む	1	基			
GX形ソフトシル仕切弁(受挿し) φ100 ロックリング含 内面エポキシ樹脂粉体塗装	1	基			
仕切弁室(明石V型)(H=940) 鉄蓋含む	1	組			施工 第0-0010号内訳表
フランジ 蓋 φ100 0.75MPa RF形 フランジ継手材含む	2	個			
GX形P-Linkセット φ100 切管直管受用	1	組			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
GX形G-Linkセット φ100 切管異形管受用	5	組			
GX形接合セット φ100 異形管・V用	4	組			
GX形ライフ φ100 ライフボート含	2	組			
ボトル分水栓(鋳鉄用) φ100×50 密着コア込	1	個			
分水栓閉栓キャップ φ50	1	個			
表示帯	14.3	m			
ホリエチレンスリーブ φ100 固定材料含む	14.3	m			施工 第0-0011号内訳表
管明示テープ(幅50mm 1巻 20m) 年号入り エコマーク認定品	2	巻			
合計	1	式			

工種明細表

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
鑄鉄管吊込み据付(機械力) 呼び径 100mm	13.8	m			
鑄鉄管(新設管)切断工(エンジンカッター) ガクタイル鑄鉄管 呼び径100mm	4	口			
不断水連絡工(φ100mm×φ100mm)	1	箇所			
密着コア取付工 φ100	1	個			
鑄鉄製仕切弁(機械力)設置 縦型仕切弁 呼び径 100mm以下	1	基			
円形1号ボックス設置工(H=940) 鉄蓋設置含む	1	箇所			
フランジ継手 接合(呼び径 100mm) JWWA 7.5K	2	口			
GX継手接合(呼び径 100mm) 直管	3	口			
GX継手接合(呼び径 100mm) P-Linkの接合	1	口			

手間

工種明細表

工種 第0008号明細表

頁0-0019/0149

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
G X継手接合(呼び径 100mm) G-Linkの接合	5	口			
G X継手接合(呼び径 100mm) 異形管	4	口			
ホトル分水栓建込(鋳鉄管 呼び径 75~150mm) 配水管呼び径 50mm	1	箇所			
管明示シート工	14.3	m			
ポリエチレンスリーブ被覆(呼び径 100mm)	14.3	m			
管明示テープ工(鋳鉄管布設工) 呼び径100mm×4000mm	14.3	m			
合 計	1	式			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
舗装版切断(アスファルト舗装版) As舗装版厚→15cm以下	36	m			
舗装版取壊し積込工 舗装厚⇒0cm越え 10cm以下	10	m ²			
掘削積込工	10	m ³			
掘削積込工(補助的作業なし)	1	m ³			施工 第0-0001号内訳表
掘削(人力) 土砂 現場制約あり	0.9	m ³			
残塊処分工(アスファルト) 〔中谷建材株〕 運搬距離 L=11.5km	1.0	m ³			施工 第0-0003号内訳表
残塊処分工(土砂) 〔西川建材株〕 運搬距離 L=11.3km	12	m ³			施工 第0-0004号内訳表
仮復旧工〔密粒度〔再〕(13)] 厚 5cm	10	m ²			施工 第0-0002号内訳表
路盤工(粒調碎石) 上層路盤 施工幅：1.8m 未満 仕上り厚10cm	1	m ²			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
DGX-S 直管 φ150×5000 コラム輪・ロックリング(ホルダー含) 内面球形粉体塗装	75	本			
DGX 曲管 φ150×45° ロックリング含 内面球形粉体塗装	28	個			
DGX 曲管 φ150×22° 1/2 ロックリング含 内面球形粉体塗装	4	個			
DGX 曲管 φ150×11° 1/4 ロックリング含 内面球形粉体塗装	2	個			
DGX 両受曲管 φ150×45° ロックリング含 内面球形粉体塗装	8	個			
DGX 両受曲管 φ150×22° 1/2 ロックリング含 内面球形粉体塗装	1	個			
DGX 乙字管 φ150×450H ロックリング含 内面球形粉体塗装	4	個			
DGX 二受T字管 φ150×75 ロックリング含 内面球形粉体塗装	3	個			
DGX 二受T字管 φ150×100 ロックリング含 内面球形粉体塗装	2	個			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
DGX 二受T字管 φ150×150 ロックリング含 内面珪酸粉体塗装	2	個			
DGX フラッシュ付きT字管 φ150×75 ロックリング含 内面珪酸粉体塗装	2	個			
DGX 継ぎ輪 φ150 ロックリング含 内面珪酸粉体塗装	3	個			
DGX 両受短管 φ150 ロックリング含 内面珪酸粉体塗装	2	個			
DGX 耐震型特殊分岐管 φ150×100 内面珪酸粉体塗装	1	個			
簡易バルブ付耐震型割T字管 φ150×150 3DkN以上 密着コア (SUS製) 含む K型挿し口	1	基			
不断水簡易バルブ (鋳鉄管用) φ150	1	基			
GX形ワトソール仕切弁 (受挿し) φ150 ロックリング含 内面珪酸樹脂粉体塗装	6	基			
仕切弁室 (明石V型) (H=640) 鉄蓋含む	2	組			施工 第0-0005号内訳表

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
仕切弁室(明石V型)(H=840) 鉄蓋含む	1	組			施工 第0-0013号内訳表
仕切弁室(明石V型)(H=940) 鉄蓋含む	2	組			施工 第0-0010号内訳表
仕切弁室(明石V型)(H=1040) 鉄蓋含む	2	組			施工 第0-0006号内訳表
キャップ式単口消火栓(浅埋形) φ75×65 JWWA B 103, 地下式, 単口式, 0.75MPa FCD 内外面珪矽粉体塗装	2	基			
フランジ短管 φ75×150 0.75MPa 内面珪矽粉体塗装	2	個			
フランジ短管 φ75×250 0.75MPa 内面珪矽粉体塗装	1	個			
補修弁(キャップ式) φ75×100 JWWA B 126, 0.75MPa FCD 内外面珪矽粉体塗装	2	基			
フランジ接合補強具(LSP形) φ75 7.5K LSPパッキン ホルト・ナット(SUS304製)緩み防止仕様	7	組			
消火栓室(明石IV型・丸型)(H=640) 鉄蓋及び無収縮モルタル含む 耐スリップ用 車道	1	組			施工 第0-0014号内訳表

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
消火栓室(明石IV型・丸型)(H=1040) 鉄蓋及び無収縮モルタル含む	1	組			施工 第0-0015号内訳表
GX形P-Linkセット φ150 切管直管受用	4	組			
GX形G-Linkセット φ150 切管異形管受用	29	組			
GX形接合セット φ150 異形管・V用	57	組			
GX形ライフ φ150 ライフホート含む	26	組			
DK 帽 φ150 特殊押輪, 接合材含む 内面エポキシ粉体塗装	1	個			
表示帯	386.2	m			
ポリエチレンスリーブ φ150 固定材料含む	386.2	m			施工 第0-0016号内訳表
管明示テープ(幅50mm 1巻 20m) 年号入り エコマーク認定品	32	巻			

工種明細表

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
鑄鉄管吊込み据付（機械力） 呼び径 150mm	382.9	m			
鑄鉄管（新設管）切断工（エンジンカッター） ガクタイル鑄鉄管 呼び径150mm	30	口			
耐震型割T字管穿孔工 φ150×150 密着コア取付含む 平日・昼間施工 K型挿し口	1	基			
密着コア取付工 φ150	1	個			
不断水バルブ設置工（鑄鉄管用） φ150	1	基			
鑄鉄製仕切弁（機械力）設置 縦型仕切弁 呼び径 150mm	7	基			
円形1号ボックス設置工（H=640） 鉄蓋設置含む	2	箇所			
円形1号ボックス設置工（H=840） 鉄蓋設置含む	1	箇所			
円形1号ボックス設置工（H=940） 鉄蓋設置含む	2	箇所			

手間

工種明細表

工種 第0013号明細表

頁0-0030/0149

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
円形1号ボックス設置工(H=1040) 鉄蓋設置含む	2	箇所			
消火栓(地下式 単口)設置工 機械施工 フランジ 接合1口含む	2	箇所			
フランジ継手 接合(呼び径 75(80)mm) JWWA 7.5K	5	口			
円形3号ボックス設置工(H=640) 鉄蓋設置含む	1	箇所			
円形3号ボックス設置工(H=1040) 鉄蓋設置含む	1	箇所			
G X継手接合(呼び径 150mm) 直管	75	口			
G X継手接合(呼び径 150mm) P-Linkの接合	4	口			
G X継手接合(呼び径 150mm) G-Linkの接合	29	口			
G X継手接合(呼び径 150mm) 異形管	57	口			

手間

工種明細表

工種 第0013号明細表

頁0-0031/0149

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
メカニカル継手 接合(呼び径 150mm) 継手：K形 特殊押輪補正あり	1	口			
管明示シート工	386.2	m			
ポリエチレンスリーブ被覆(呼び径 150mm)	386.2	m			
管明示テープ工(鋳鉄管布設工) 呼び径150mm×5000mm	386.2	m			
合 計	1	式			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
舗装版切断(アスファルト舗装版) As舗装版厚→15cm以下	770	m			
舗装版切断(アスファルト舗装版) As舗装版厚→15cmを超え30cm以下	4	m			
舗装版取壊し積込工 舗装厚⇒0cm越え 10cm以下	234	m ²			
舗装版破碎(アスファルト舗装版) 撤去厚→15cmを超え35cm以下	2	m ²			
インターロッキングブロック撤去工 撤去 [再使用目的]	1	m ²			
掘削積込工	280	m ³			
掘削積込工(補助的作業なし)	2	m ³			施工 第0-0001号内訳表
掘削(人力) 土砂 現場制約あり	2	m ³			
残塊処分工(アスファルト) 〔中谷建材株〕 運搬距離 L=11.5km	17	m ³			施工 第0-0003号内訳表

土工

工種明細表

工種 第0015号明細表

頁0-0034/0149

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
残塊処分工(土砂) 〔西川建材株〕 運搬距離 L=11.3km	280	m3			施工 第0-0004号内訳表
仮復旧工〔密粒度〔再〕(13)〕 厚 5cm	237	m2			施工 第0-0002号内訳表
路盤工(粒調碎石) 上層路盤 施工幅：1.8m 未満 仕上り厚10cm	131	m2			
路盤工(粒調碎石) 上層路盤 施工幅：1.8m 未満 仕上り厚14cm	1	m2			
路盤工(粒調碎石) 上層路盤 施工幅：1.8m 未満 仕上り厚15cm	101	m2			
路盤工(再生切込碎石) 上層路盤 施工幅：1.8m 未満 仕上り厚10cm	2	m2			
路盤工(再生切込碎石) 上層路盤 施工幅：1.8m 未満 仕上り厚25cm	2	m2			施工 第0-0020号内訳表
フィルター層 t =40mm以上60mm未満 洗砂	2	m2			
埋戻工(埋戻し材->再生切込碎石)	150	m3			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
埋戻工（埋戻し材→スクリーンガス）	110	m ³			
軽量鋼矢板建込引抜工（両側分）	14.0	m			
軽量鋼矢板建込引抜工（両側分）	1.3	m			
土留支保工（設置+撤去） 切梁種別 水圧式 ^ハ イ ^フ 牒 ^ト	14.0	m			
土留支保工（設置+撤去） 切梁種別 水圧式 ^ハ イ ^フ 牒 ^ト	1.3	m			
アルミ矢板支保工賃料（軽量鋼矢板2.0m用）	14.0	m			
アルミ矢板支保工賃料（軽量鋼矢板2.5m用） 2段	1.3	m			
鋼矢板賃料		t			
鋼矢板整備費		t			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
DGX-S 直管 φ200×5000 ゴム輪・ロックリング(ホルダー含) 内面球形粉体塗装	1	本			
DGX 挿し受片落管 φ250×200 ロックリング含 内面球形粉体塗装	1	個			
DGX 曲管 φ200×45° ロックリング含 内面球形粉体塗装	1	個			
DGX 曲管 φ200×22° 1/2 ロックリング含 内面球形粉体塗装	1	個			
DGX 継ぎ輪 φ200 ロックリング含 内面球形粉体塗装	1	個			
DGX 両受短管 φ200 ロックリング含 内面球形粉体塗装	1	個			
不断水簡易バルブ付割T字管 φ200×200 II型	1	基			
GX形ワトソール仕切弁(受挿し) φ200 ロックリング含 内面球形樹脂粉体塗装	1	基			
仕切弁室(明石V型)(H=1240) 鉄蓋含む	1	組			施工 第0-0021号内訳表

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
仕切弁室(明石V型)(H=1340) 鉄蓋含む	1	組			施工 第0-0022号内訳表
GX形G-Linkセット φ200 切管異形管受用	4	組			
GX形接合セット φ200 異形管・V用	4	組			
A・K形既設管用耐震金具(3DkN以上) φ200	1	組			
DK 帽 φ200 特殊押輪, 接合材含む 内面エポキシ粉体塗装	1	個			
表示帯	5.0	m			
ホリチレンスリーブ φ200 固定材料含む	5.0	m			施工 第0-0023号内訳表
管明示テープ(幅50mm 1巻 20m) 年号入り エコマーク認定品	1	巻			
合計	1	式			

手間

工種明細表

工種 第0018号明細表

頁0-0040/0149

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
鋳鉄管吊込み据付（機械力） 呼び径 200mm	4.4	m			
鋳鉄管（新設管）切断工（エンジンカッター） ガクタイル鋳鉄管 呼び径200mm	2	口			
不断水簡易バルブ付割T字管設置工 φ200×φ200	1	基			
鋳鉄製仕切弁（機械力）設置 縦型仕切弁 呼び径 200mm	1	基			
円形1号ボックス設置工（H=1240） 鉄蓋設置含む	1	箇所			
円形1号ボックス設置工（H=1340） 鉄蓋設置含む	1	箇所			
G X継手接合（呼び径 200mm） G-Linkの接合	4	口			
G X継手接合（呼び径 200mm） 異形管	4	口			
帽設置工 継手：K形 特殊押輪補正あり	1	口			

手間

工種明細表

工種 第0018号明細表

頁0-0041/0149

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
メカニカル継手 接合(呼び径 200mm) 継手：K形 特殊押輪補正あり	1	口			
管明示シート工	5.0	m			
ポリエチレンスリーブ被覆(呼び径 200mm)	5.0	m			
管明示テープ工 φ200	5.0	m			
合 計	1	式			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
舗装版切断(アスファルト舗装版) As舗装版厚→15cm以下	5	m			
舗装版切断(アスファルト舗装版) As舗装版厚→15cmを超え30cm以下	16	m			
舗装版取壊し積込工 舗装厚⇒0cm越え 10cm以下	2	m ²			
舗装版破碎(アスファルト舗装版) 撤去厚→15cmを超え35cm以下	7	m ²			
掘削積込工	7	m ³			
掘削積込工(補助的作業なし)	5	m ³			施工 第0-0001号内訳表
掘削(人力) 土砂 現場制約あり	3	m ³			
残塊処分工(アスファルト) 〔中谷建材株〕 運搬距離 L=11.5km	1	m ³			施工 第0-0003号内訳表
残塊処分工(土砂) 〔西川建材株〕 運搬距離 L=11.3km	15	m ³			施工 第0-0004号内訳表

土工

工種明細表

工種 第0020号明細表

頁0-0044/0149

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
仮復旧工 [密粒度[再](13)] 厚 5cm	9	m2			施工 第0-0002号内訳表
路盤工(再生切込碎石) 上層路盤 施工幅:1.8m 未満 仕上り厚10cm	2	m2			
路盤工(再生切込碎石) 上層路盤 施工幅:1.8m 未満 仕上り厚25cm	7	m2			施工 第0-0020号内訳表
フィルター層 t =40mm以上60mm未満 洗砂	2	m2			
埋戻工 (埋戻し材->再生切込碎石)	9	m3			
埋戻工 (埋戻し材->スクリーングス)	5	m3			
軽量鋼矢板建込引抜工 (両側分)	6.9	m			
軽量鋼矢板建込引抜工 (両側分)	3.8	m			
土留支保工 (設置+撤去) 切梁種別 水圧式 ^ハ イ ^フ ホ ^{ート}	6.9	m			

土工

工種明細表

工種 第0020号明細表

頁0-0045/0149

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
土留支保工（設置+撤去）					
切梁種別 水圧式ハブプレート	3.8	m			
アルミ矢板支保工賃料（軽量鋼矢板2.0m用）	6.9	m			
アルミ矢板支保工賃料（軽量鋼矢板2.5m用） 2段	3.8	m			
鋼矢板賃料		t			
鋼矢板整備費		t			
合計	1	式			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
DGX-S 直管 φ250×5000 コラム輪・ロックリング(ホルダー含) 内面球形粉体塗装	39	本			
DGX 曲管 φ250×45° ロックリング含 内面球形粉体塗装	4	個			
DGX 曲管 φ250×22° 1/2 ロックリング含 内面球形粉体塗装	2	個			
DGX 両受曲管 φ250×45° ロックリング含 内面球形粉体塗装	6	個			
DGX 乙字管 φ250×300H ロックリング含 内面球形粉体塗装	1	個			
DGX 二受T字管 φ250×150 ロックリング含 内面球形粉体塗装	2	個			
DGX 二受T字管 φ250×250 ロックリング含 内面球形粉体塗装	2	個			
DGX フランジ付きT字管 φ250×75 ロックリング含 内面球形粉体塗装	1	個			
DGX 継ぎ輪 φ250 ロックリング含 内面球形粉体塗装	1	個			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
DGX 両受短管 φ250 ロックリング含 内面珪酸粉体塗装	1	個			
不断水簡易バルブ付割T字管 φ300×φ300 II型	1	基			
フランジ 蓋 φ300 0.75MPa RF形 フランジ継手材含む	1	個			
GX形ソトシル仕切弁(受挿し) φ250 ロックリング含 内面珪酸樹脂粉体塗装	5	基			
ソトシル仕切弁(フランジ形) φ300 JWWA B 120, 0.75MPa, 内ねじ FCD 内外面珪酸粉体塗装	1	基			
仕切弁室(明石V型)(H=640) 鉄蓋含む	2	組			施工 第0-0005号内訳表
仕切弁室(明石V型)(H=940) 鉄蓋含む	2	組			施工 第0-0010号内訳表
仕切弁室(明石V型)(H=1040) 鉄蓋含む	3	組			施工 第0-0006号内訳表
ケラップ式単口消火栓(浅埋形) φ75×65 JWWA B 103, 地下式, 単口式, 0.75MPa FCD 内外面珪酸粉体塗装	1	基			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
フランジ短管 φ 75×150 0.75MPa 内面エポキシ粉体塗装	1	個			
フランジ短管 φ 75×250 0.75MPa 内面エポキシ粉体塗装	1	個			
補修弁(キャップ式) φ 75×100 JWWA B 126, 0.75MPa FCD 内外面エポキシ粉体塗装	1	基			
フランジ接合補強具(LSP形) φ 75 7.5K LSPパッキン ボルト・ナット(SUS304製)緩み防止仕様	4	組			
消火栓室(明石IV型・丸型)(H=1040) 鉄蓋及び無収縮モルタル含む	1	組			施工 第0-0015号内訳表
GX形G-Linkセット φ 250 切管異形管受用	17	組			
GX形接合セット φ 250 異形管・V用	21	組			
GX形ライフ φ 250 ライフボード含	13	組			
DGX 栓(異形管用) φ 250 内面エポキシ粉体塗装	1	個			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
DK 受挿し片落管 φ300×250 JIS G 5527, 5528, JWWA G 112, 114 内面エポキシ粉体塗装	1	個			
DK 挿し受片落管 φ300×250 JIS G 5527, 5528, JWWA G 112, 114 内面エポキシ粉体塗装	1	個			
DK 特殊押輪(3DkN以上) φ 250 接合材含む	1	組			
DK 特殊押輪(3DkN以上) φ 300 接合材含む	2	組			
ホリスリーブ φ250	202.4	m			
表示帯	202.4	m			
管明示テープ(幅50mm 1巻 20m) 年号入り エコマーク認定品	21	巻			
合計	1	式			

手間

工種明細表

工種 第0023号明細表

頁0-0051/0149

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
鋳鉄管吊込み据付(機械力) 呼び径 250mm	198.6	m			
鋳鉄管(新設管)切断工(エンジンカッター) ガクタイル鋳鉄管 呼び径250mm	14	口			
不断水簡易バルブ付割T字管設置工 φ300×φ300 平日・昼間施工 K型挿し口	1	基			
フランジ継手 接合(呼び径 300mm) JWWA 7.5K	2	口			
鋳鉄製仕切弁(機械力)設置 縦型仕切弁 呼び径 250mm	5	基			
鋳鉄製仕切弁(機械力)設置 縦型仕切弁 呼び径 300mm	1	基			
円形1号ボックス設置工(H=640) 鉄蓋設置含む	2	箇所			
円形1号ボックス設置工(H=940) 鉄蓋設置含む	2	箇所			
円形1号ボックス設置工(H=1040) 鉄蓋設置含む	3	箇所			

工種明細表

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
消火栓(地下式 単口)設置工 機械施工 フランジ 接合1口含む	1	箇所			
フランジ継手 接合(呼び径 75(80)mm) JWWA 7.5K	3	口			
円形3号ボックス設置工(H=1040) 鉄蓋設置含む	1	箇所			
G X継手接合(呼び径 250mm) 直管	39	口			
G X継手接合(呼び径 250mm) G-Linkの接合	17	口			
G X継手接合(呼び径 250mm) 異形管	21	口			
メカカル継手 接合(呼び径 250mm) 継手: K形 特殊押輪補正あり	1	口			
メカカル継手 接合(呼び径 300mm) 継手: K形 特殊押輪補正あり	2	口			
管明示シート工	202.4	m			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
舗装版切断(アスファルト舗装版) As舗装版厚→15cm以下	370	m			
舗装版切断(アスファルト舗装版) As舗装版厚→15cmを超え30cm以下	31	m			
舗装版取壊し積込工 舗装厚⇒0cm越え 10cm以下	160	m ²			
舗装版破碎(アスファルト舗装版) 撤去厚→15cmを超え35cm以下	13	m ²			
掘削積込工	280	m ³			
掘削積込工(補助的作業なし)	3	m ³			施工 第0-0001号内訳表
掘削(人力) 土砂 現場制約あり	3	m ³			
残塊処分工(アスファルト) 〔中谷建材株〕 運搬距離 L=11.5km	8	m ³			施工 第0-0003号内訳表
残塊処分工(土砂) 〔西川建材株〕 運搬距離 L=11.3km	280	m ³			施工 第0-0004号内訳表

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
仮復旧工 [密粒度[再](13)] 厚 5cm	170	m2			施工 第0-0002号内訳表
路盤工(再生切込碎石) 上層路盤 施工幅:1.8m 未満 仕上り厚10cm	120	m2			
路盤工(再生切込碎石) 上層路盤 施工幅:1.8m 未満 仕上り厚15cm	36	m2			
路盤工(再生切込碎石) 上層路盤 施工幅:1.8m 未満 仕上り厚25cm	13	m2			施工 第0-0020号内訳表
フィルター層 t =40mm以上60mm未満 洗砂	157	m2			
埋戻工 (埋戻し材->再生切込碎石)	170	m3			
埋戻工 (埋戻し材->スクリーニングス)	90	m3			
軽量鋼矢板建込引抜工 (両側分)	3.8	m			
土留支保工 (設置+撤去) 切梁種別 水圧式ハブポート	3.8	m			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
アルミ矢板支保工賃料（軽量鋼矢板2.0m用）					
	3.8	m			
鋼矢板賃料					
		t			
鋼矢板整備費					
		t			
アルミ矢板建込引抜工（両側分）					
	179.9	m			
アルミ矢板建込引抜工（両側分）					
	15.7	m			
土留支保工（設置+撤去） 切梁種別 水圧式 ^ハ イ ^フ ホ ^ト					
	179.9	m			
土留支保工（設置+撤去） 切梁種別 水圧式 ^ハ イ ^フ ホ ^ト					
	15.7	m			
アルミ矢板支保工賃料（軽量鋼矢板2.0m用）					
	179.9	m			
アルミ矢板支保工賃料（軽量鋼矢板3.0m用）					
	15.7	m			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
仮配管材(賃料) φ50	27.9	m			
仮バルブ(賃料) φ50	4	基			
仮消火栓(賃料) φ50 仮消火栓, 仮チース 80X80, 仮レギュレータ-80X50 2個	2	基			
仮配管材(賃料) φ100	285.5	m			
仮バルブ(賃料) φ100	12	基			
仮消火栓(賃料) φ100 仮消火栓, 仮チース 100X80	5	基			
仮給水管取出(賃料) φ100×φ20, φ25 仮取出短管	22	箇所			
仮給水管取出(賃料) φ100×φ30, φ40, φ50 仮取出短管100X50, 仮V50, 仮MJ50	5	箇所			
仮配管材(賃料) φ150	4.6	m			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
仮バルブ(賃料) φ150	1	基			
仮配管材(賃料) φ250	194.1	m			
仮バルブ(賃料) φ250	8	基			
仮消火栓(賃料) φ250 仮消火栓, 仮チース 250X80	4	基			
仮給水管取出(賃料) φ250×φ20, φ25 仮取出短管	2	箇所			
仮給水管取出(賃料) φ250×φ30, φ40, φ50 仮取出短管250X50, 仮V50, 仮MJ50	1	箇所			
仮バルブボックス(損料) (H=300) 鉄蓋含む	25	組			施工 第0-0026号内訳表
仮消火栓ボックス(損料) (H=300) 鉄蓋含む	11	組			施工 第0-0027号内訳表
合計	1	式			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
仮配水管布設撤去工 φ50 継手工含む	27.9	m			施工 第0-0028号内訳表
仮バルブ設置撤去工 φ50 継手工含む	4	基			施工 第0-0029号内訳表
仮消火栓設置撤去工 φ50 埋設用、継手工含む	2	基			施工 第0-0030号内訳表
仮配水管布設撤去工 φ100 継手工含む	285.5	m			施工 第0-0031号内訳表
仮バルブ設置撤去工 φ100 継手工含む	12	基			施工 第0-0032号内訳表
仮消火栓設置撤去工 φ100 埋設用、継手工含む	5	基			施工 第0-0033号内訳表
仮給水取出設置撤去工 φ100×φ20, 25 継手工含む	22	箇所			施工 第0-0034号内訳表
仮給水取出設置撤去工 φ100×φ30, 40, 50 仮バルブ、仮マルチジョイント、継手工含む	5	箇所			施工 第0-0035号内訳表
仮配水管布設撤去工 φ150 継手工含む	4.6	m			施工 第0-0036号内訳表

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
仮バルブ設置撤去工 φ150 継手工含む	1	基			施工 第0-0037号内訳表
仮配水管布設撤去工 φ250 継手工含む	194.1	m			施工 第0-0038号内訳表
仮バルブ設置撤去工 φ250 継手工含む	8	基			施工 第0-0039号内訳表
仮消火栓設置撤去工 φ250 埋設用、継手工含む	4	基			施工 第0-0040号内訳表
仮給水取出設置撤去工 φ250×φ20, 25 継手工含む	2	箇所			施工 第0-0041号内訳表
仮給水取出設置撤去工 φ250×φ30, 40, 50 仮バルブ、仮マルチジョイント、継手工含む	1	箇所			施工 第0-0042号内訳表
仮バルブボックス設置撤去工 (H=300) 鉄蓋設置撤去含む	25	箇所			
仮消火栓ボックス設置撤去工 (H=300) 鉄蓋設置撤去含む	11	箇所			
合 計	1	式			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
舗装版切断(アスファルト舗装版) As舗装版厚→15cm以下	1,120	m			
舗装版切断(アスファルト舗装版) As舗装版厚→15cmを超え30cm以下	87	m			
舗装版取壊し積込工 舗装厚⇒0cm越え 10cm以下	522	m ²			
舗装版破碎(アスファルト舗装版) 撤去厚→15cmを超え35cm以下	14	m ²			
インターロッキングブロック撤去工 撤去 [再使用目的]	7	m ²			
掘削積込工	140	m ³			
掘削積込工(補助的作業なし)	77	m ³			施工 第0-0001号内訳表
掘削(人力) 土砂 現場制約あり	52	m ³			
残塊処分工(アスファルト) 〔中谷建材株〕 運搬距離 L=11.5km	29	m ³			施工 第0-0003号内訳表

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
残塊処分工(土砂) 〔西川建材(株)〕 運搬距離 L=11.3km	150	m3			施工 第0-0004号内訳表
仮復旧工〔密粒度〔再〕(13)〕 厚 5cm	544	m2			施工 第0-0002号内訳表
路盤工(粒調碎石) 上層路盤 施工幅：1.8m 未満 仕上り厚10cm	121	m2			
路盤工(粒調碎石) 上層路盤 施工幅：1.8m 未満 仕上り厚14cm	7	m2			
路盤工(粒調碎石) 上層路盤 施工幅：1.8m 未満 仕上り厚15cm	25	m2			
路盤工(再生切込碎石) 上層路盤 施工幅：1.8m 未満 仕上り厚10cm	74	m2			
路盤工(再生切込碎石) 上層路盤 施工幅：1.8m 未満 仕上り厚15cm	30	m2			
路盤工(再生切込碎石) 上層路盤 施工幅：1.8m 未満 仕上り厚25cm	22	m2			施工 第0-0020号内訳表
フィルター層 t =40mm以上60mm未満 洗砂	104	m2			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
埋戻工（埋戻し材→再生切込砕石）	40	m3			
埋戻工（埋戻し材→流用土）	100	m3			
埋戻工（埋戻し材→スクリーンガス）	57	m3			
合 計	1	式			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
仮給水切替材料 φ 20	20	箇所			施工 第0-0045号内訳表
HIVP管 φ 20 JIS K 6742	42.4	m			
仮給水切替材料 φ 25	4	箇所			施工 第0-0046号内訳表
HIVP管 φ 25 JIS K 6742	9.1	m			
仮給水切替材料 φ 30	2	箇所			施工 第0-0047号内訳表
HIVP管 φ 30 JIS K 6742	9.1	m			
仮給水切替材料 φ 40	2	箇所			施工 第0-0048号内訳表
HIVP管 φ 40 JIS K 6742	10.2	m			
仮給水切替材料 φ 50	2	箇所			施工 第0-0049号内訳表

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
仮給水切替工 φ20	20	箇所			施工 第0-0050号内訳表
硬質塩化ビニル管 据付・撤去 呼び径 20mm	42.4	m			
仮給水切替工 φ25	4	箇所			施工 第0-0051号内訳表
硬質塩化ビニル管 据付・撤去 呼び径 25mm	9.1	m			
仮給水切替工 φ30	2	箇所			施工 第0-0052号内訳表
硬質塩化ビニル管 据付・撤去 呼び径 30mm	9.1	m			
仮給水切替工 φ40	2	箇所			施工 第0-0053号内訳表
硬質塩化ビニル管 据付・撤去 呼び径 40mm	10.2	m			
仮給水切替工 φ50	2	箇所			施工 第0-0054号内訳表

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
名称・規格 鋳鉄管吊込み撤去（機械力） 呼び径 75mm以下	5.4	m			
鋳鉄管吊込み撤去（機械力） 呼び径 100mm	12.0	m			
鋳鉄管吊込み撤去（機械力） 呼び径 150mm	249.5	m			
鋳鉄管吊込み撤去（機械力） 呼び径 200mm	21.4	m			
鋳鉄管吊込み撤去（機械力） 呼び径 300mm	197.9	m			
鋳鉄管（既設管）撤去切断工（エンジンカッター） タクタイル鋳鉄管 呼び径75mm	3	口			
鋳鉄管（既設管）撤去切断工（エンジンカッター） タクタイル鋳鉄管 呼び径100mm	6	口			
鋳鉄管（既設管）撤去切断工（エンジンカッター） タクタイル鋳鉄管 呼び径150mm	85	口			
鋳鉄管（既設管）撤去切断工（エンジンカッター） タクタイル鋳鉄管 呼び径200mm	9	口			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
鋳鉄管(既設管)撤去切断工(エンジンカッター) ダクタイル鋳鉄管 呼び径300mm	67	口			
メカニカル継手 取外し(呼び径 150mm) 継手: K形 特殊押輪補正あり	1	口			
メカニカル継手 取外し(呼び径 300mm) 継手: K形 特殊押輪補正あり	1	口			
鋳鉄製仕切弁(機械力)撤去 縦型仕切弁 呼び径 100mm以下	2	基			
鋳鉄製仕切弁(機械力)撤去 縦型仕切弁 呼び径 150mm	3	基			
鋳鉄製仕切弁(機械力)撤去 縦型仕切弁 呼び径 200mm	2	基			
鋳鉄製仕切弁(機械力)撤去 縦型仕切弁 呼び径 300mm	1	基			
既設円形1号ボックス撤去工 鉄蓋撤去含む	5	箇所			
消火栓(地下式 単口)撤去工 機械施工 フランジ 接合1口含む	4	箇所			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
舗装版切断(アスファルト舗装版) As舗装版厚→15cm以下	57	m			
舗装版切断(アスファルト舗装版) As舗装版厚→15cmを超え30cm以下	7	m			
舗装版取壊し積込工 舗装厚⇒0cm越え 10cm以下	18	m ²			
舗装版破碎(アスファルト舗装版) 撤去厚→15cmを超え35cm以下	6	m ²			
掘削積込工	32	m ³			
残塊処分工(アスファルト) 〔中谷建材株〕 運搬距離 L=11.5km	2	m ³			施工 第0-0003号内訳表
残塊処分工(土砂) 〔西川建材株〕 運搬距離 L=11.3km	30	m ³			施工 第0-0004号内訳表
仮復旧工〔密粒度〔再〕(13)〕 厚 5cm	24	m ²			施工 第0-0002号内訳表
路盤工(粒調碎石) 上層路盤 施工幅：1.8m 未満 仕上り厚10cm	2	m ²			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
路盤工(粒調碎石) 上層路盤 施工幅：1.8m 未満 仕上り厚15cm	9	m ²			
路盤工(再生切込碎石) 上層路盤 施工幅：1.8m 未満 仕上り厚10cm	7	m ²			
路盤工(再生切込碎石) 上層路盤 施工幅：1.8m 未満 仕上り厚25cm	6	m ²			施工 第0-0020号内訳表
フィルター層 t = 40mm以上60mm未満 洗砂	7	m ²			
埋戻工 (埋戻し材→再生切込碎石)	30	m ³			
軽量鋼矢板建込引抜工 (両側分)	7.4	m			
土留支保工 (設置+撤去) 切梁種別 水圧式 ^ハ イ ^フ ホ ^ト	7.4	m			
鋼矢板支保工賃料 (軽量鋼矢板2.0m用)	7.4	m			
鋼矢板賃料		t			

工種明細表

名称・規格	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
市道 車道 As2層 t=10cm 仮復旧部	(1)	式						工種 第0037号明細表
切削オーバーレイ(1層) 市道 車道 As2層	(1)	式						工種 第0038号明細表
市道 車道 As2層 t=10cm 打替工	(1)	式						工種 第0039号明細表
アスファルト1層式(車道)	(1)	式						工種 第0040号明細表
市道 歩道 As1層 t=5cm	(1)	式						工種 第0041号明細表
市道 歩道 インク舗装 t=6cm	(1)	式						工種 第0042号明細表
県道 車道 As3層 t=20cm 打替工	(1)	式						工種 第0043号明細表
県道 歩道 As1層 t=3cm 一般部	(1)	式						工種 第0044号明細表
県道 歩道 As1層 t=5cm 乗り入れ部	(1)	式						工種 第0045号明細表

市道 車道 As2層 t=10cm

工種明細表

工種 第0037号明細表

頁0-0081/0149

仮復旧部

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
舗装版取壊し積込工 舗装厚⇒0cm越え 10cm以下	160	m2			
掘削積込工	8	m3			
残塊処分工(アスファルト) 〔中谷建材株〕 運搬距離 L=11.5km	8	m3			施工 第0-0003号内訳表
残塊処分工(土砂) 〔西川建材株〕 運搬距離 L=11.3km	8	m3			施工 第0-0004号内訳表
不陸整正工(補足材なし) 施工幅：1.8m 未満	160	m2			
基層(車道・路肩部) t = 50mm 粗粒度アスコン[再] (20)	160	m2			
表層(車道・路肩部) t = 50mm 密粒度アスコン[再] (13)	160	m2			
合計	1	式			

市道 車道 As2層 t=10cm

打替工

工種明細表

工種 第0039号明細表

頁0-0083/0149

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
舗装版切断(アスファルト舗装版) As舗装版厚→15cm以下	2	m			
舗装版取壊し積込工 舗装厚⇒0cm越え 10cm以下	6	m ²			
残塊処分工(アスファルト) 〔中谷建材株〕 運搬距離 L=11.5km	0.6	m ³			施工 第0-0003号内訳表
不陸整正工(粒調碎石) 施工幅：1.8m 未満、補足材厚3cm	6	m ²			
基層(車道・路肩部) t = 50mm 粗粒度アスコン[再](20)	6	m ²			
表層(車道・路肩部) t = 50mm 密粒度アスコン[再](13)	6	m ²			
合計	1	式			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
舗装版切断(アスファルト舗装版) As舗装版厚→15cm以下	17	m			
舗装版取壊し積込工 舗装厚⇒0cm越え 10cm以下	1,010	m ²			
残塊処分工(アスファルト) 〔中谷建材株〕 運搬距離 L=11.5km	51	m ³			施工 第0-0003号内訳表
不陸整正工(粒調碎石) 施工幅：1.8m 以上、補足材厚3cm	1,010	m ²			
表層(車道・路肩部) t = 50mm 密粒度アスコン[再](13)	1,010	m ²			
合計	1	式			

市道 歩道 As1層 t=5cm

工種明細表

工種 第0041号明細表

頁0-0085/0149

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
舗装版切断(アスファルト舗装版) As舗装版厚→15cm以下	3	m			
舗装版取壊し積込工 舗装厚⇒0cm越え 10cm以下	100	m ²			
残塊処分工(アスファルト) 〔中谷建材株〕 運搬距離 L=11.5km	5	m ³			施工 第0-0003号内訳表
不陸整正工(粒調碎石) 施工幅：1.8m 以上、補足材厚3cm	100	m ²			
表層(車道・路肩部) t = 50mm 細粒度アスコン[新](13)	100	m ²			
合 計	1	式			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
インターロッキングブロック撤去工 撤去〔再使用目的〕	39	m2			
舗装版取壊し積込工 舗装厚⇒0cm越え 10cm以下	8	m2			
掘削積込工	2	m3			
残塊処分工(アスファルト) 〔中谷建材株〕 運搬距離 L=11.5km	0.5	m3			施工 第0-0003号内訳表
残塊処分工(土砂) 〔西川建材株〕 運搬距離 L=11.3km	2	m3			施工 第0-0004号内訳表
インターロッキングブロック設置工〔設置手間のみ〕 直線 ブロック厚6cm	47	m2			
合 計	1	式			

県道 車道 As3層 t=20cm

工種明細表

工種 第0043号明細表

頁0-0087/0149

打替工

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
舗装版切断(アスファルト舗装版) As舗装版厚->15cmを超え30cm以下	39	m			
舗装版破碎(アスファルト舗装版) 撤去厚->15cmを超え35cm以下	160	m2			
掘削積込工	6	m3			
残塊処分工(アスファルト) 〔中谷建材株〕 運搬距離 L=11.5km	25	m3			施工 第0-0003号内訳表
残塊処分工(土砂) 〔西川建材株〕 運搬距離 L=11.3km	6	m3			施工 第0-0004号内訳表
不陸整正工(再生切込碎石) 施工幅：1.8m 以上、補足材厚3cm	160	m2			
上層路盤(車道・路肩部) 瀝青安定処理材(再生材) TOP25 t = 100mm	160	m2			
基層(車道・路肩部) t = 50mm 粗粒度アスコン[再] (20)	160	m2			
表層(車道・路肩部) t = 50mm 密粒度アスコン[再] (13)	160	m2			

県道 歩道 As1層 t=3cm

工種明細表

工種 第0044号明細表

頁0-0089/0149

一般部

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
舗装版切断(アスファルト舗装版) As舗装版厚→15cm以下	14	m			
舗装版取壊し積込工 舗装厚⇒0cm越え 10cm以下	624	m2			
残塊処分工(アスファルト) 〔中谷建材株〕 運搬距離 L=11.5km	23	m3			施工 第0-0003号内訳表
不陸整正工(再生切込碎石) 施工幅：1.8m 以上、補足材厚3cm	624	m2			
透水性アスファルト舗装 t = 30mm 一般・4t以下乗入部→開粒度As(13)	624	m2			
合 計	1	式			

工種明細表

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
区画線設置 [熔融式] 実線 15cm t=1.5mm	423	m			
区画線設置 [熔融式] 破線 45cm t=1.5mm	61	m			
区画線設置 [熔融式] 矢印・記号・文字 15cm換算 t=1.5mm	132	m			
区画線設置 [熔融式] 実線 15cm t=1.5mm	7	m			
合 計	1	式			

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
舗装版切断(アスファルト舗装版) As舗装版厚→15cm以下	6.0	m			
舗装版取壊し積込工 舗装厚⇒0cm越え 10cm以下	2.0	m2			
掘削積込工(補助的作業なし)	1.9	m3			施工 第0-0001号内訳表
掘削(人力) 土砂	1.0	m3			
埋戻工 (埋戻し材→スクリーニングス)	1.0	m3			
埋戻工 (埋戻し材→再生切込砕石)	1.7	m3			
路盤工(粒調砕石) 上層路盤 施工幅: 1.8m 未満 仕上り厚10cm	2.0	m2			
仮復旧工 [密粒度[再](13)] 厚 5cm	2.0	m2			施工 第0-0002号内訳表
残塊処分工(アスファルト) 〔中谷建材株〕 運搬距離 L=11.5km	0.1	m3			施工 第0-0003号内訳表

施工単価表

施工 第0-0001号内訳表

頁0-0104/0149

掘削積込工(補助的作業なし)

[規格1]	[規格2]	[摘要]			
名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役		人			
バックホ運転		時間			
合計	100	m3			
単位当り	1	m3			

施工単価表

施工 第0-0002号内訳表

頁0-0105/0149

仮復旧工 [密粒度[再](13)]

[規格1]厚 5cm

[規格2]

[摘要]

100

m2

当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
密粒度アスファルト混合物(再生材) TOP13		t			
振動ローリ運転		日			
振動コンパクタ運転		日			
諸雑費		%			
合 計	100	m2			
単 位 当 り	1	m2			

施工単価表

施工 第0-0015号内訳表

頁0-0115/0149

消火栓室(明石IV型・丸型)(H=1040)

[規格1]鉄蓋及び無収縮モルタル含む

[規格2]

[摘要]

1 組 当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
消火栓鉄蓋(円形3号) 明石市型、耐スリップ用、車道用	1	個			
ボルト・ナットM16×150 3セット	1	個			
無収縮モルタル(25kg)	1	個			
円形3号BOX 上部壁H=200	1	個			
円形3号BOX 中部壁H=200	2	個			
円形3号BOX 下部壁H=300	1	個			
円形3号BOX 底版H=40	1	個			
単 位 当 り	1	組			

施工単価表

施工 第0-0022号内訳表

頁0-0119/0149

仕切弁室(明石V型)(H=1340)

[規格1]鉄蓋含む

[規格2]

[摘要]

1

組 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
仕切弁鉄蓋(円形1号) 明石市型	1	個			
ボルト・ナットM12×110 3ヶセット	1	組			
円形1号BOX 上部壁H=150	1	個			
円形1号BOX 中部壁H=200	3	個			
円形1号BOX 中部壁H=100	1	個			
円形1号BOX 下部壁H=300	1	個			
円形1号BOX 底版H=40	1	個			
単 位 当 り	1	組			

施工単価表

施工 第0-0031号内訳表

頁0-0126/0149

仮配水管布設撤去工 φ 100

[規格1]継手工含む

[規格2]

[摘要]

100

m

当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
仮配管工 φ 100 布設撤去	100	m			
仮配管継手工 φ 100 設置撤去	33	口			
合 計	100	m			
単 位 当 り	1	m			

特記仕様書
(令和4年度 二見町西二見地内配水管布設替工事ほか工事)

項目以下数字の左側に※がある項目を本工事の該当項目とする。

章																									
1	<p>一般共通事項</p> <p>※ 1 現場代理人の兼務</p> <p style="padding-left: 20px;">※ 1 本合併工事については、本合併工事以外の工事の現場代理人の兼務を認めない。</p> <p>※ 2 合併工事</p> <p style="padding-left: 20px;">※ 1 本工事は、他部署との合併工事はない。</p> <p>※ 3 近接工事</p> <p style="padding-left: 20px;">※ 1 発注時に、確認している近接工事は無いが、近接工事が確認された場合は、関連他業者との連絡を密にし、互いの工事の影響が少ないように工程管理すること。</p> <p>※ 4 占用関係</p> <table style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-right: 10px;">※ 1 国道(250号)</td> <td style="border-left: 1px solid black; padding-left: 10px;">2 県道()</td> </tr> <tr> <td style="padding-right: 10px;">※ 3 市道()</td> <td style="border-left: 1px solid black; padding-left: 10px;">4 法定外道路()</td> </tr> <tr> <td style="padding-right: 10px;">5 港湾()</td> <td style="border-left: 1px solid black; padding-left: 10px;">6 河川()</td> </tr> <tr> <td style="padding-right: 10px;">7 その他()</td> <td style="border-left: 1px solid black;"></td> </tr> </table> <p style="padding-left: 20px;">上記のチェックが入っている占用について、監督員と協議して必要な書類を提出すること。</p> <p>※ 5 協議関係(上記占用以外)</p> <p style="padding-left: 20px;">※ 1 鉄道等(山陽新幹線)</p> <p style="padding-left: 20px;">2 バス道等()</p> <p style="padding-left: 20px;">※ 3 学校関係(明石西高等学校、二見中学校)</p> <p style="padding-left: 20px;">4 その他()</p> <p style="padding-left: 20px;">上記1～4のいずれかにチェックが入っている場合は、各関係者に施工内容や時期を報告し、場合によっては施工協議をする必要も出てくるので、監督員と充分協議すること。</p> <p>※ 6 工事の範囲</p> <p style="padding-left: 20px;">※ 1 当該工事予定範囲について、地元要望等及び現地の状況により、施工範囲の増減が生じる可能性がある。その場合は、協議のうえ設計変更の対象とする。</p> <p>※ 7 交通誘導警備員</p> <p style="padding-left: 20px;">※ 1 交通誘導警備員の人数は、下表のとおりとする。</p> <table border="1" style="margin-left: 20px; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">種類</th> <th style="width: 15%;">合計</th> <th style="width: 15%;">配水</th> <th style="width: 15%;">給水</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>67名</td> <td>65名</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>372名</td> <td>350名</td> <td>22名</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>439名</td> <td>415名</td> <td>24名</td> </tr> </tbody> </table> <p style="padding-left: 20px;">※ 1日1現場当り4名(標準)</p> <p style="padding-left: 20px;">※ 1日1現場当りT字交差点部 5名</p> <p style="padding-left: 20px;">※ 1日1現場当り十字交差点部6名</p> <p style="padding-left: 20px;">その他1日1現場当り追加 1名(バス停)</p> <p style="padding-left: 20px;">※ 道路管理者及び警察署との協議及び地元要望等に伴い、上記の配置員数に増減が生じた場合は、協議のうえ設計変更の対象とする。また、その配置を監督員と協議すること。</p> <p style="padding-left: 20px;">なお、交通誘導員A、Bの定義は次のとおりとする。</p> <p style="padding-left: 40px;">交通誘導警備員A;警備業者の警備員(警備業法第2条第4項に規定する警備員を言う。)で、交通誘導警備業務(警備員等の検定等に関する規則第1条</p>	※ 1 国道(250号)	2 県道()	※ 3 市道()	4 法定外道路()	5 港湾()	6 河川()	7 その他()		種類	合計	配水	給水	A	67名	65名	2名	B	372名	350名	22名	合計	439名	415名	24名
※ 1 国道(250号)	2 県道()																								
※ 3 市道()	4 法定外道路()																								
5 港湾()	6 河川()																								
7 その他()																									
種類	合計	配水	給水																						
A	67名	65名	2名																						
B	372名	350名	22名																						
合計	439名	415名	24名																						

特記仕様書
(令和4年度 二見町西二見地内配水管布設替工事ほか工事)

項目以下数字の左側に※がある項目を本工事の該当項目とする。

章	
	<p>第4号に規定する交通誘導警備業務をいう。)に従事する交通誘導警備業務に係る1級検定合格警備員又は2級検定合格警備員 交通誘導警備員B;警備業者の警備員で交通誘導警備員A以外の交通の誘導に従事するもの</p> <p>※ 8 低入札調査基準価格または最低制限価格の算定方法について</p> <p style="padding-left: 2em;">※ 1 低入札調査基準価格または最低制限価格の算定については、スクラップ控除を直接工事費に含めて算定している。</p> <p>※ 9 その他事項</p> <p style="padding-left: 2em;">※ 1 設計図書とは、明石市水道局工事請負契約約款第1条に規定する設計図書及び工事設計書のことをいう。</p> <p style="padding-left: 2em;">※ 2 工期については、配水管布設替工事については契約締結日の翌日から令和5年4月28日まで、給水管切替工事については、令和5年3月31日までとしている。 給水管切替工事の予算については、公営企業管理者による次年度への繰り越しが決定されたときは、令和5年4月28日までとする工期延期を行う予定である。 また、令和5年4月28日以上の工期延期については、協議により決定するものとする。</p> <p style="padding-left: 2em;">※ 3 当該工事設計書は令和3年度水道施設整備費に係る歩掛表に基づいて積算している。</p> <p style="padding-left: 2em;">※ 4 間接工事費等の算定における管材費には、従来の材料に加えて仮配管も含めている。</p>

章	
2	<p>管きょ工</p> <p style="padding-left: 2em;">※ 1 使用材料</p> <p style="padding-left: 4em;">※ 1 使用材料確認願(様式29-1)には、明石市水道工事標準仕様書4.1に記載している指定品及びその他土木工事等材料に記載すること。 添付書類は、県土整備部指定様式のほか、使用するメーカーの日本水道協会検査工場登録通知書、構造図(承認図)(不断水バルブ、割T字管(付属バルブ)、特殊な仕切弁、消火栓、空気弁、補修弁、排泥弁、止水栓、サドル分水栓、その他監督員が必要と認める材料)とする。</p> <p style="padding-left: 4em;">※ 2 土木工事承諾願(様式30-1)には、指定品以外の水道材料及び受注者が監督員に承諾を求める材料に記載すること。 添付書類は、県土整備部指定様式のほか、水道材料については、使用するメーカーの日本水道協会検査工場登録通知書と構造図(承認図)またはそれらに替わる書類、土木工事等材料については、その性能等を証明する書類とする。</p> <p style="padding-left: 4em;">※ 3 水道使用材料納品後、立会願を提出し、監督員の材料確認状況及び材料のメーカーマークが分かる写真を工事写真帳に添付すること。</p> <p style="padding-left: 4em;">※ 4 在庫品を使用する場合、工事打合せ簿にて使用したい在庫品の一覧表を添付すること。 また、立会願いを提出し、監督員は在庫品を確認し、使用可能かを工事打合せ簿で回答すること。確認状況写真を工事写真帳に添付すること。</p> <p style="padding-left: 2em;">※ 2 一体化長さ</p> <p style="padding-left: 4em;">※ 1 設計水圧0.75Mpa、摩擦係数0.3で設計している。</p> <p style="padding-left: 4em;">※ 2 上記の条件と管の各口径及び各土被りを考慮し一体化長さを確認し、ライナや特殊押輪の有無を適時確認して施工すること。</p>

特記仕様書
(令和4年度 二見町西二見地内配水管布設替工事ほか工事)

項目以下数字の左側に※がある項目を本工事の該当項目とする。

章	
	<ul style="list-style-type: none"> ※ 3 管の据付 <ul style="list-style-type: none"> ※ 1 管路の高さを調整する場合は、スクリーニングス等を詰めた土嚢を使用すること。 ※ 4 消火栓・空気弁 <ul style="list-style-type: none"> ※ 1 丸型消火栓ボックスを設置する箇所については、補修弁のバルブの位置を配水管法線から、90° の位置に設置すること。 ※ 2 消火栓及び空気弁の口の高さは、GL-20cm±5に収まるようにフランジ短管で調節すること。 ※ 3 フランジ部で使用するボルトは75mm以上のSUS製とすること。 また、ナットについては、SUS製の緩み防止仕様を使用すること。 ※ 5 水圧試験 <ul style="list-style-type: none"> ※ 1 標準仕様書5.10(1)について以下の条件を全て満たす場合、試験水圧0.75MPa、試験時間10分間、低下率1.0%以内を許容限度とする。 ・材質は鋳鉄管 ・口径は300mm以下 ・試験延長合計は100m未満 ※ 6 現場発生品の処分 <ul style="list-style-type: none"> ※ 1 既設鋳鉄管、鉄蓋関係の処分については、有価物として売却すること。その場合、金属くず商の許可証の写し、物品の受領を証明する書類、計量証明書などを監督員に提出すること また、計量伝票などの集計を設計変更の対象とする。なお、処分地は(株)シノウで運搬距離は0.6kmを計上している。ただし、上記書類等が整えば、別の処分地でも可能とする。 その場合は、設計変更の対象としない。 2 既設石綿管の撤去が発生した場合、「水道用石綿セメント管の撤去作業等における石綿対策の手引き」(平成17年8月、厚生労働省健康局水道課)を参考として作業を行うこと。 その文章中のプラスチック袋等は、ポリエチレンスリーブ(2重包み)に置き換えて作業すること。処分地は特記仕様書(追記)のとおりとする。 ※ 3 既設塩ビ管、ボックス等、その他現場発生品については、その材質により適切に処分すること。処分費については、処分地等は大阪湾広域臨海環境整備センター(播磨事業所)、運搬距離 3.4km、処分費目は廃プラスチック類でを計上している。 ただし、計量伝票などの集計を設計変更の対象とする。 ※ 7 スクラップの種類 <ul style="list-style-type: none"> ※ 1 撤去鋳鉄管関係については、故銑Bで計上している。 ※ 8 その他事項 <ul style="list-style-type: none"> ※ 1 本工事における仮配水管の供用日数について、121～150日までとして計上している。

特記仕様書
(令和4年度 二見町西二見地内配水管布設替工事ほか工事)

項目以下数字の左側に※がある項目を本工事の該当項目とする。

章											
3	土工事										
	※ 1 重機										
	※ 1 特殊車両(一般的制限値である幅2.5m、長さ12.0m、高さ3.8m、総重量20.0t等のいずれかを越える車両)を使用する工事なので、施工計画書に明記するとともに、施工時までに必要な書類をそろえ、監督員に提示できるようにしておくこと。										
	※ 2 アスファルト切断										
	※ 1 アスファルト切断は、乾式または吸引式を使用すること。										
	※ 3 配水管布設時の掘削幅										
	※ 1 矢板無の場合、単位はmm										
		口径	φ 75	φ 100	φ 150	φ 200	φ 250	φ 300	φ 350	φ 400	φ 450
		GX形	600	600	600	600	650	700	900	950	1000
		NS形	600	650	700	750	800	850	900	950	1000
		K形	600	650	700	750	800	850	900	950	1000
	※ 2 矢板有の場合、単位はmm										
		口径	φ 75	φ 100	φ 150	φ 200	φ 250	φ 300	φ 350	φ 400	φ 450
		GX形	850	850	850	850	850	850	950	1000	1050
		NS形	850	850	850	850	850	900	950	1000	1050
		K形	850	850	850	850	850	900	950	1000	1050
	※ 4 配水管布設時の掘削深										
	※ 1 配水管布設時の掘削深は、土被り+布設管外径(D2)+100を基本とする。										
	※ 2 既設管を撤去し、その断面で新設管を布設する場合、既設管の管底まで掘削し、上記のように掘削深から100mm程度上げた状態で管を布設することを基本とする。ただし、近接する地下埋設物の状態や既設管の配管状況により、曲管等の異形管が極力増えないように土被りを検討すること。										
	※ 3 会所掘箇所は、G-Link・P-Link・特殊押輪等の押しボルト設置箇所とする。										
	※ 4 会所掘箇所の断面は、布設管口径がφ 350mm以下の場合、延長500mm、深さ200mm、φ 400mm以上の場合、延長800mm、深さ500mmとし、幅はそれぞれの掘削幅とする。										
	※ 5 仮配水管・仮給水管の掘削幅・掘削深										
	※ 1 矢板無の場合、単位はmm										
		口径	φ 100以下	φ 150	φ 200	φ 250	φ 300	φ 400			
		幅	400	450	500	550	600	700			
		深さ	400	450	500	550	600	800			
	※ 2 矢板有の場合の掘削幅、単位はmm										
		口径	φ 100以下	φ 150	φ 200	φ 250	φ 300	φ 400			
		幅	700	750	800	850	900	1000			
	※ 3 仮給水管設置撤去時の掘削幅は400mm、掘削深は300mmとすること。										
	4 直轄国道に布設撤去する場合は深さ600mm以上とすること。										
	※ 6 既設管撤去の掘削幅										
	※ 1 矢板無の場合、単位はmm										
		口径	φ 75~150	φ 200	φ 250	φ 300	φ 350	φ 400	φ 450		
		幅	550	600	650	700	900	950	1000		

特記仕様書
(令和4年度 二見町西二見地内配水管布設替工事ほか工事)

項目以下数字の左側に※がある項目を本工事の該当項目とする。

章																	
	<p>※ 2 矢板有の場合、単位はmm</p> <table border="1" style="margin-left: 40px; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">口径</th> <th style="width: 10%;">φ75~150</th> <th style="width: 10%;">φ200</th> <th style="width: 10%;">φ250</th> <th style="width: 10%;">φ300</th> <th style="width: 10%;">φ350</th> <th style="width: 10%;">φ400</th> <th style="width: 10%;">φ450</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>幅</td> <td>850</td> <td>850</td> <td>850</td> <td>850</td> <td>950</td> <td>1000</td> <td>1050</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 7 給水管の掘削幅、掘削深、延長</p> <p style="margin-left: 40px;">※ 1 分水穿孔部について、新設管布設後の場合は本管掘削幅、延長は600mm、深さは新設管布設時の土被りとする。既設管から分岐する場合は、本管口径のK形を布設する場合の掘削幅、延長は600mm、深さは既設管土被り+既設管呼び径+100mmとする。</p> <p style="margin-left: 40px;">※ 2 給水管部は、幅500mm、延長は給水管延長(本管～止水栓距離)－分水穿孔部掘削幅/2、深さは本管土被り-100mmとする。</p> <p>※ 8 掘削・埋戻し</p> <p style="margin-left: 40px;">※ 1 埋戻し一層厚さ20cm未満とする。</p> <p style="margin-left: 40px;">※ 2 水圧がかかっている水道管周りを掘削するときは、必ず人力掘削すること。</p> <p style="margin-left: 40px;">※ 3 管路布設後、管下を埋め戻す場合には、スクリーニングス等を使用し、きちんと胴締めすること。管路布設前に余掘り分を埋め戻す場合は、再生砕石等良質土を使用し、きちんと転圧すること。</p> <p>※ 9 残土・殻処分地</p> <p style="margin-left: 40px;">※ 1 処分地は特記仕様書(追記)参照。</p> <p style="margin-left: 40px;">※ 2 特記仕様書(追記)は積算条件を明示しているものであり受入施設を指定するものではなく、受注者は、県登録施設から搬出先施設を選定し、土木工事共通仕様書(兵庫県県土整備部監修)に基づき施工計画書に含め、監督員に提出しなければならない。なお、受注者の選定した施設が積算条件と異なる場合においても設計変更は行わない。</p> <p style="margin-left: 40px;">ただし、特記仕様書(追記)の施設が工事発注後に県登録施設からの登録抹消等により受け入れ困難となった場合は、設計変更を行う。</p> <p>※ 10 各種試験</p> <p style="margin-left: 40px;">※ 1 「土木工事施工管理基準」(兵庫県県土整備部監修)に定める以下の試験等について、基準を次のように定める。</p> <p style="margin-left: 80px;">※ 上層路盤の現場密度の測定・・・埋戻土及び管路掘削箇所について省略する。</p> <p>※ 11 仮設材の運搬</p> <p style="margin-left: 40px;">※ 1 仮設材の運搬については、積算上、運搬距離10kmを見込んでいる。</p> <p style="margin-left: 40px;">なお、受注者が実施する条件と異なる場合においても設計変更を行わない。</p> <p>※ 12 その他事項</p> <p style="margin-left: 40px;">※ 1 工事範囲内にある各種鉄蓋の表面を汚さないよう処置をとること。</p>	口径	φ75~150	φ200	φ250	φ300	φ350	φ400	φ450	幅	850	850	850	850	950	1000	1050
口径	φ75~150	φ200	φ250	φ300	φ350	φ400	φ450										
幅	850	850	850	850	950	1000	1050										

章	
4	<p>舗装工</p> <p>※ 1 舗装前準備</p> <p style="margin-left: 40px;">※ 1 既設構造物(側溝、街渠等)等に損傷を与えていないか、動いていないか等を確認し、異常がある場合は、適正な方法を検討し、監督員と協議すること。</p> <p style="margin-left: 40px;">※ 2 下水道の鉄蓋で古い鉄蓋(コンクリート蓋、コンクリート巻鉄蓋等)がある場合は、舗装復旧</p>

特記仕様書
(令和4年度 二見町西二見地内配水管布設替工事ほか工事)

項目以下数字の左側に※がある項目を本工事の該当項目とする。

章	
	<p>前に下水道室が取り替えることがあるので、位置が分かるものと現況写真を提出すること。</p> <p>※ 3 他の地下埋設物の鉄蓋で高さ調整が必要なものは、位置が分かるものと現況写真と高さ調整の程度(+〇cm等)が分かるものを提出すること。</p> <p>※ 4 舗装復旧内に古い消火栓蓋、空気弁蓋、仕切弁蓋がある場合は、取替するかどうか監督員と協議すること。</p> <p>※ 5 切削オーバーレイで施工を予定している。</p> <p>土木工事共通仕様書(兵庫県県土整備部監修)及び土木工事施工管理基準(兵庫県県土整備部監修)に記載のとおり、測量し計画書を作成し、監督員の承諾を得たのち、施工すること。</p> <p>※ 2 不陸整正工</p> <p style="padding-left: 20px;">※ 1 補充材の有無を確認し、路床面の不陸を整正すること。</p> <p style="padding-left: 20px;">※ 2 既設構造物、各種鉄蓋と接触する部分は、入念に清掃すること。</p> <p>※ 3 乳剤散布</p> <p style="padding-left: 20px;">※ 1 ムラにならないよう、均一に散布すること。</p> <p style="padding-left: 20px;">※ 2 既設構造物、各種鉄蓋と接触する部分等にも散布すること。</p> <p>※ 4 アスファルト舗装工</p> <p style="padding-left: 20px;">※ 1 当日舗装版撤去した範囲について、表層まで復旧出来ない場合は監督員と協議すること。その場合は、周辺住民によく周知し、既設構造物、各種鉄蓋の箇所が歩行者、二輪車、自動車等の交通車両に危険が無いよう、すり合わせし、段差有の看板を立てるなど注意喚起すること。</p> <p>※ 5 区画線工</p> <p style="padding-left: 20px;">※ 1 インターロッキング舗装等のブロック舗装範囲に消火栓を設置した際の消火栓周り(黄色)の区画線は設置しないこと。</p> <p style="padding-left: 20px;">※ 2 施工直前に施工箇所を清掃し、プライマーを塗布すること。</p> <p style="padding-left: 20px;">※ 3 ガラスビーズを配合すること。</p> <p>※ 6 各種試験</p> <p style="padding-left: 20px;">※ 1 「土木工事施工管理基準」(兵庫県県土整備部監修)に定める必要な試験等について、試験位置、試験方法等を事前に監督員に報告すること。</p> <p style="padding-left: 20px;">※ 2 「土木工事施工管理基準」(兵庫県県土整備部監修)に定める以下の試験等について、基準を次のように定める。</p> <p style="padding-left: 40px;">※ 1 アスファルトの現場密度の測定・・・同一配合のアスファルト施工面積500m²未満について省略する。</p> <p style="padding-left: 40px;">※ 2 アスファルトコア採取・・・同一配合のアスファルト施工面積1箇所20m²以上500m²未満の箇所についてコア採取は1箇所とする。また、20m²未満については省略する。</p> <p style="padding-left: 40px;">※ 3 表層の平坦性・・・省略する</p> <p style="padding-left: 40px;">※ 4 既設管充填処理に使用するモルタル等の強度試験・・・省略する。</p> <p>7 その他事項</p>

特記仕様書(追記)

1 建設発生土の搬出先

品目	建設発生土
施設の名称	西川建材(株)
所在地	加古川市志方町広尾字大谷88
運搬距離	11.3km
受入等諸条件	県土整備部の「建設副産物の処理ならびに受入価格」に掲載される当該施設の受入条件を遵守すること。
その他	監督員の指示による

2 特定建設資材の分別解体等・再資源化等

1)分別解体等の方法

工程	作業内容	分別解体等の方法
工程ごとの作業内容及び解体方法	①仮設 仮設工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	②土工 土工事 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	③基礎 基礎工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	④本体構造 本体構造の工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	⑤本体付属品 本体付属品の工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	⑥その他 その他の工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用

2)再資源化等をする施設の名称及び所在地

品目	アスファルト塊
施設の名称	中谷建材(株)
所在地	高砂市梅井5-2-10
運搬距離	11.5km
受入等諸条件	県土整備部の「建設副産物の処理ならびに受入価格」に掲載される当該施設の受入条件を遵守すること。
その他	監督員の指示による

水道工事標準仕様書

1 総則

1.1 (適用)

- 1 水道工事標準仕様書(以下「標準仕様書」という。)は、明石市水道局が発注する水道管(導水・送水・配水)を布設する工事及び給水管工事(以下「工事」という。)に係る工事請負契約書(頭書を含み以下「契約書」という。)及び設計図書の内容について統一的な解釈及び運用を図るとともに、その他必要な事項を定め、もって契約の適正な履行の確保を図るためのものである。
- 2 契約書及び仕様書・設計書・設計図(以下「設計図書」(標準仕様書を除く)という。)に記載された事項は、この標準仕様書に優先する。
- 3 本工事は、契約書及び設計図書のほか、水道工事標準仕様書(日本水道協会)・給水装置工事施行基準(明石市水道局)及びその他関係図書による。ただし、土木工事共通仕様書(兵庫県県土整備部監修)の水道編の第2章第2節については、適用しない。

1.2 (法令等の厳守)

本工事の施工にあたっては、工事に関する関係法令等を厳守し、安全に行わなければならない。

1.3 (書類の提出)

- 1 受注者は、明石市及び明石市水道局の定める様式による書類を提出すること。
- 2 提出した書類に変更が生じたときは、速やかに変更の書類を提出すること。

1.4 (監督員)

- 1 監督員とは、水道法第12条により、水道局が指定した当該工事を監督する職員(主任監督員及び監督員)をいう。

1.5 (工事实績データの登録)

水道工事を2件以上合併で発注している工事については、工事請負代金合計額が500万円以上の場合に一括の内容で登録すること。

1.6 (目的物の引渡し)

工事目的物の引渡しは、工事完成届兼(引渡書)を水道局に提出し完成検査に合格したときをもって完了とする。

2 安全管理

2.1 (事故防止)

- 1 工事中、不明管が出てきた場合には、監督員に連絡し、監督員の指示に従って、他の地下埋設物管理者に確認したうえ、適切に処理すること。
- 2 掘削及び埋戻し工事中、他の構造物及び地下埋設物の損傷及び陥没等を発見した際には、その場で監督員に連絡し、指示を受けること。その際には写真撮影し、関係部署に報告できるようにしておくこと。

また、当該施工範囲内で道路構造物や他の地下埋設物の損傷及び陥没等を発見した際には、遅滞なく監督員に連絡すること。

- 3 受注者は熱中症対策等について十分に注意し、作業員に水分補給・塩分補給・休憩等を十分とらせること。

2.2 (事故発生時の措置)

事故等緊急非常事態が発生した時は、第三者及び作業員等の人命救助、人命の安全確保を最優先させるものとし、応急措置を講じるとともに、監督員及び関係各部署へ連絡しなければならない。また、軽微な事故等についても速やかに監督員に事故報告書等で報告するとともに、その指示を受けるものとする。

2.3 (現場の整理整頓)

- 1 受注者は工事施工中、交通及び保安上の障害とならないよう機械器具、不用土砂等を使用の都度、整理整頓し、現場内及びその付近は常に清潔に保つこと。その際に、機械器具等を無断で家の敷地に置いたり、壁等に立て掛けたりしないこと。
- 2 受注者は、日々の現場作業終了時には、固定している看板類及び必要な安全施設等以外の工事関係物は仮設事務所等に持ち帰り、適切に保管すること。

3 工事施工

3.1 (一般事項)

- 1 受注者は、工事に先立ち、施工条件等を十分に把握したうえで、設計図書及び事前調査結果に基づいて検討し、施工方法、工程、安全対策、環境対策等必要な事項を記載した施工計画書を提出し、これに基づき、工事の適正な施工管理を行うこと。なお、施工計画書作成に当たっては、監督員と十分打合せを行うこと。

また、施工時において事前検討の条件と実際の施工条件との相違又は新たに生じた状況等により施工計画書に記載した内容に変更が生じるときは、監督員と協議し、速やかに施工計画書を追加及び変更すること。

- 2 施工期限が定められた箇所がある場合は、監督員と十分協議し、工程の進行を図ること。
- 3 受注者は、監督員が常に施工状況の確認が取れるように日報等の必要な資料を速やかに提出すること。

3.2 (現場立会、架線・地下埋設物調査及び現地調査)

- 1 近接構造物(家屋含む)の事前調査を行い、損傷等の有無を撮影し、関係者に提出すること。
- 2 施工範囲内の道路上の境界ピン・境界杭の有無を調査し報告すること。ある場合は監督員と協議し、その対応を検討すること。
- 3 当該工事付近に公共基準点がある場合は、明石市公共基準点管理保全要領に定めるところにより、必要な申請書等を作成するほか、公共基準点を保持するための測量をすること。
- 4 給水管切替工事がある場合、施工前に今回給水管を切替する家屋に漏水が無いかの確認及び給水管口径の確認をし、報告すること。
- 5 その他設計図書に対する疑義がある場合は、工事打合せ簿にて協議をすること。

3.3 (地元説明)

- 1 受注者は、工事着手前に所定の工事標示を行い、付近住民に工事内容を説明して協力を求め、工事の円滑な遂行をはかること。
- 2 工事のため騒音を発し、付近住民の日常生活・業務等を妨害しないように配慮すること。

- 3 施工について営業等に支障があると思われる時は、監督員並びに付近住民と協議の上で、できるだけこの軽減に努めること。
- 4 工事範囲内に自治会がある場合、当該自治会長に第 1 項と同様の工事説明を行うとともに、必要に応じて、工事広報の配布を行い工事同意書の提出を求めること。
- 5 受注者は施工前及び施工中(断水・濁水などの可能性がある場合)には、関係家屋にビラ等を配布し、周知すること。
- 6 給水管の切替等で個人の敷地内に入り、量水器または散水栓等から空気を抜く作業等を行う場合は、その旨を事前に説明し、トラブルが起らないようにすること。

3.4 (試掘調査)

試掘調査前に事前立会等で確認した試掘位置、試掘目的を工事打合簿にて報告すること。また、試掘調査後は、以下の項目について速やかに結果をまとめ、工事打合簿にて報告または協議すること。

- ・試掘断面の地下埋設物の状況
- ・既設舗装構成
- ・設計図書通りの撤去・埋設が可能か
- ・既設管の外面腐食等の異常の有無
- ・接続部がインチ管の場合、既設管外周長さを測定し、インチ管であることの確認
- ・その他試掘調査結果で判明した協議事項

3.5 (夜間工事)

夜間工事をする場合は、十分な照明を行うとともに保安設備を施すこと。また、付近住民に工事のお知らせビラを配布し、説明するとともに協力を依頼すること。施工中は極力騒音・照明等により迷惑をかけないように十分配慮すること。騒音対策には、管切断時のロールカッターの使用や防音シートの使用も検討すること。

3.6 (立会)

下記の項目について事前に立会願を提出し、立会を行うものとする。

- ・材料納入時（在庫品使用時含む）の材料検収
- ・通常配管及び不断水工事箇所の水圧試験
- ・その他監督員が必要と判断した事項

3.7 (工事関係書類の整備)

受注者は監督員の点検を随時受けられるよう、工事及び安全に関する書類を整備しておくこと。

4 材料

4.1 (水道材料の規格)

本工事に使用する水道材料は、設計図書に品質規格を規定されたものを除き、明石市水道局が材料分類ごとに指定したメーカー（別添使用材料登録業者一覧表及び給水装置工事施行基準参照）の製品（以下「指定品」という。）を使用すること。指定品以外の製品及び特殊品を使用する場合には、監督員の承諾を得た後、使用すること。

設計書及び特記仕様書に別途記載がある場合を除き、明石市水道局の規格を以下に示す。

- (1) K形ゴム輪は、同軸押輪・芯出ゴム輪又は同芯ゴム輪と同等品以上とすること。
- (2) 特殊押輪、耐震補強金具等は耐震型(離脱防止性能 3DkN 以上)を使用すること。

- (3) K形管のT頭ボルト・ナットは、酸化被膜製と同等品以上とすること。
- (4) フランジボルト・ナットは SUS 製を使用すること。特に消火栓及び空気弁の立ち上がり部におけるフランジ継手に使用するフランジナットは SUS304 製(緩み防止仕様)を使用すること。
- (5) フランジ部の粉体塗装面に接触する箇所には、ワッシャー(SUS 製)を使用すること。
- (6) 弁栓類等で使用するフランジの規格は2種(0.75MPa)とする。特に消火栓及び空気弁の立ち上がり部に使用するフランジ継手材はフランジ接合補強具(LSP 形)を使用すること。
- (7) 仕切弁・消火栓・補修弁の開閉方向は左開きとする。
- (8) 鉄蓋・受枠・ボックスは、明石市水道局性能規定書による製品とする。特に円形消火栓(空気弁)鉄蓋は耐スリップ車道用又は歩道用とする。
- (9) 割T字管の分岐口径φ150以下について、密着コアを使用すること。
- (10) サドル分水栓穿孔箇所については、密着コアを使用すること。
- (11) 直管に内面粉体塗装を使用している路線については、「粉体塗装管」と記載しているポリエチレンスリーブを使用すること。
- (12) 表示帯(管明示シート)は、15cm幅2倍折の水道を明記したエコマーク認定品を使用すること。
- (13) 管明示テープは、5cm幅の水道用(青色)、年号(工事発注年度)を明記したエコマーク認定品を使用すること。(導水管は黄色無地を併用)

4.2 (土木材料の規格)

本工事に使用する土木材料は、以下に示す規格及び設計図書に品質規格を規定されたものを除き、土木工事共通仕様書(兵庫県県土整備部監修)に示す品質規格に適合したもの、またはこれと同等以上の品質を有するものとする。

- (1) スクリーニングスは、JIS A5001 F-2.5とする。ただし、監督員と協議のうえ、砂を使用する場合は、海砂(洗砂)とする。
- (2) 再生砕石は、路盤部分はRC-30とし、その他はRC-40とする。
- (3) 粒調砕石は、M-30とする。
- (4) 再生密粒度アスファルトは、最大粒径13mm、締固め密度2.35t/m³とする。
- (5) 再生粗粒度アスファルトは、最大粒径20mm、締固め密度2.35t/m³とする。
- (6) 再生アスファルト安定処理混合物は、最大粒径25mm、締固め密度2.35t/m³とする。

4.3 (水道材料の確認)

- 1 受注者は、材料確認した材料が使用時に損傷、変質等している場合は、新品と取替、再確認を受けること。不良品は現場から直ちに搬出すること。
- 2 現地確認・試験掘削の結果等を十分反映させ、購入するものとする。
- 3 仮給水管切替は、現地確認により既設給水管の口径等を十分把握し、反映させるものとする。
- 4 支給材料については、監督員と受注者が確認した後、受領し、支給品受領書(様式15)を提出すること。

5 管布設工事

5.1 (配管技能者)

- 1 受注者は、鑄鉄管布設工事に先立ち、当該工事に適する下記の配管技能者の登録証、受講証等を施工体制台帳に添付すること。配管技能者とは、日本水道協会の配水管技能登録者(一般登録・耐震登録・大口径)又は、各管協会や各メーカーの継手接合研修会受講証等を有する者とする。日本水道協会の配管技能登録者の場合、一般登録はT・K形管等の一般継手(φ450mm以下)、耐震登録はNS・GX形管等の耐震継手(φ450mm以下)、大口径は一般継手と耐震継手(全口径)を配管出来る技能を有するものとする。各管協会や各メーカーの継手接合研修会受講証等を有する者の場合、管種・口径を指定している受講証については、その管種・口径とし、NS形・耐震管の受講証については、その口径のNS・GX形管等の耐震継手及び一般継手を配管出来る技能を有するものとする。
- 2 受注者は、鑄鉄管を布設するときには、上記の配管技能者が、当該工事で使用する管種・口径の施工要領等に従って施工すること。
- 3 受注者は、給水管の施工がある場合には、明石市水道事業指定給水装置工事事業者証及びその業者が雇用する給水装置工事主任技術者の資格証の写しを施工体制台帳に添付すること。また、その給水装置工事主任技術者が給水装置工事施行基準(明石市水道局)に基づき監督・指導すること。
- 4 受注者は、上記以外の管種(配水用ポリエチレン管・鋼管等)の施工、または、管更生等が含まれる場合、それぞれの資格証等を有する技能者が施工すること。また、その資格証等を施工体制台帳に含めて監督員に提出すること。

5.2 (工種の制限)

工事の確実性、周辺への水の濁り等を考慮して、金曜日、土曜日及び祝日の前日には、工種を制限しているので監督員と協議し施工すること。

5.3 (断水を伴う連絡工事)

- 1 断水を伴う連絡工事箇所は、監督員立会の上、試掘調査を行い、連絡する既設管及び他の近接埋設物を確認すること。
- 2 断水を伴う連絡工事にあたっては、事前に施工日時等を監督員と調整の上行うこと。ただし、断水時間は13時30分から16時を基本とすること。断水時間を極力短縮するために必要な諸設備・機械器具及び車輛等を十分点検し、経験豊富な技術者と作業員を配置すること。
- 3 断水作業及び管内洗浄作業等に必要の弁栓類操作は、監督員または水道局職員の指導のもと、受注業者及び下請業者が行う、そのために必要な人員を監督員と協議し、確保すること。
- 4 万が一、連絡工事箇所周辺で濁水及び漏水が起こったときには、水道局職員の指示により周辺家屋への対応をすること。

5.4 (広報活動)

- 1 断水工事を行う場合には、事前に断水となる家屋等を調査した資料と、断水のビラを監督員が確認したあと、当該家屋に配布すること。そのビラには、日時・区域・連絡先及びその他必要事項を記入すること。
- 2 断水を伴わない場合でも、仕切弁の開閉操作等により、工事箇所周辺に濁水のおそれがある場合は、配布する家屋等を監督員と協議したうえで、断水のビラと同様の濁水のビラを監督員

が確認したあと、当該家屋に配布すること。

3 上記の広報活動をする場合に、当該区域内にある店舗・病院・工場・浴場等には事前に個別に了解を得ること。

4 受水槽物件があれば、事前にその設置管理者と打合せを行い、ポンプ電源や流入側バルブ等の閉止措置を行うこと。

5.5 (ボルトの締め付け)

1 ボルトの締め付けに際しては、対称的な位置を順次締め、片締めにならないように、ゴム輪の圧縮を均等にさせること。

2 インパクトレンチを使用する場合には、締め付けの7割程度とし、残りはトルクレンチで締め付けること。

3 トルクの管理については、チェックシートに全箇所記載し、竣工図書で提出すること。

5.6 (使用機材)

内面粉体塗装管の分水栓穿孔作業をするときは、先端角度が90°から100°、ねじれ角度が20°から30°の電動式穿孔機を使用すること。

5.7 (管の明示)

1 管の識別を明確にするために、管明示テープを使用して、上水道管であることを明らかにすること。

2 表示帯(管明示シート)は、管天より40cmの位置に丁寧に設置すること。

5.8 (仮消火栓)

仮消火栓を配置する箇所について、「仮消火栓」の看板等を設置して明示するとともに、撤去予定の消火栓の鉄蓋に使用禁止を明示すること。

5.9 (仮舗装復旧)

本工事において仮舗装復旧した箇所について、路面表示部分を掘削した場合は、本復旧までの間、同色のペイント等で修復すること。また、水道の仮舗装箇所と分かるように水色塗料で水道マーク表示を行うこと。

5.10 (水圧試験)

1 水道管の水圧試験は、水道局職員が管内充水後、特に監督員からの指示がある場合を除き、下記の試験水圧まで加圧し確認するものとする。

(1) 通常配管(以下の特殊箇所以外)の場合、試験水圧を0.75MPaとする。30分間以上の経過後、低下率1.0%以内を許容限度とする。

(2) 不断水工事の割T字管箇所は、試験水圧を1.25MPaとする。ただし、既設管の状態が悪い場合(FC管又は表面の腐食等が激しい場合)・ACP管・VP管の場合は、最高試験水圧は1.0MPa以下でもよい。5分間以上その状態を保持し、水圧の低下の無いことを確認するものとする。

(3) 中大口径のメカニカル継手管で、監督員が認めた場合は、テストバンドによる継手の水密性検査をもって、水圧試験に代えることが出来るものとする。この場合は、水圧0.50MPaを負荷して5分経過後に0.40MPa以上保持することを確認するものとする。

(4) 管更生の場合は、管更生区間のみで水圧試験を(1)の方法で行い、その後、その区間を含めた仕切弁から仕切弁の水圧試験を再度(1)の方法で行うものとする。ただし、管更生区間

のみの水圧試験にかかる材料（栓、押輪等）等は設計で計上するものとする。

(5) 配水管用ポリエチレン管、鋼管等の場合は、監督員の指示により、試験水圧及び方法を決定する。

2 給水管の水圧試験は、サドル分水栓部分のみ 1.75MPa まで加圧し、1 分間以上のその状態を保持し、水圧の低下の無いことを確認するものとする。

5.11 (水道メーターの確認)

仮給水管、給水管切替後は水道メーターの逆付けをしてないか確認すること。

6 提出書類

受注者は、工事請負契約に必要な書類を明石市水道局の入札・契約情報のホームページ及び土木請負工事必携(兵庫県県土整備部監修)に記載されている書類を関係部署に提出するほか、下記の書類を監督員に提出すること。ただし、監督員が必要でないとした場合は、この限りでない。

1 工事日報

受注者は、契約日から竣工日までの日々の作業に対して工事日報を作成し、監督員にすみやかに提出しなければならない。工事日報に記入する項目は、表側に年月日、曜日、天気、工事名、工事場所、当初設計延長（口径別）、出来形延長（口径別、日毎延長、累計延長）、作業内容、使用材料（品名、形質、数量等）を、裏側に日毎の作業内容の図示（下記竣工図(水道管)・(給水管)と同様)とする。また、白色ケント紙 110kg（A 4 サイズ）で作成すること。ただし、休工期等の場合は連続する日を普通紙 1 枚で作成すること。

2 竣工図(水道管)

受注者は、竣工図（兼出来形図）を作成し、工事完成図書に添えて提出すること。竣工図（兼出来形図）には次にあげるものをもって構成する。

(1) 配水管平面図（他の埋設管等で切り回している箇所等は別途詳細図）は、布設位置、標準断面図、土被り、延長（管種・口径毎）、防護工等を以下のことに注意して記入すること。

a. 必ず方位を記入すること。

b. 直管、切管、異形管、弁栓類等の種別及び材質を表示すること。切管等の数値はmm表示とし、整数 1 位を四捨五入とし、2 位表示とすること。

c. 特殊押輪、普通押輪、G-Link、ライナの区別を表示すること。

d. 配管材料記号、引出線及び部材名等を赤色で表示すること。

(2) 消火栓、空気弁、仕切弁、その他監督員の指示する箇所等についてはオフセット測量し、撤去されるおそれの無いマンホールの中心点や地先境界の角、その他 3 点以上の照点を定め水平距離を測定し記入する。

(3) 仕切弁・バタフライ弁・消火栓・空気弁・補修弁・不断水等の弁栓類関係について、使用したメーカー名を記入すること。

3 竣工図(給水管)

受注者は、竣工図を作成し、白色ケント紙 110kg（A 3 サイズ）を工事完成図書に添えて提出すること。竣工図には次にあげるものをもって構成する。

平面図には、口径、延長、家屋番号を、表には家屋番号、水道番号、家屋名、サドル分水栓、本管深さ、PPユニオン、PPエルボ、VPユニオン、止水栓、ボックス、PPパイプ、本管止水距離、備考（接続した管種）を記入すること。

4 その他提出書類

書類名	提出時期	提出部数	備考
施工計画書	工事実工程着手前	3部	配水管・給水管合併工事は併せて作成(1部返却)
使用材料確認願 土木工事承諾願	工事実工程着手前	2部	配水管・給水管合併工事は併せて作成(1部返却)
施工体制台帳	下請負契約後速やかに	3部	配水管・給水管合併工事は併せて作成(1部返却)
工事日報	施工日以後速やかに	1部	配水管・給水管合併工事は併せて作成
竣工図(原図)	竣工時	1部	JPEG(A1・カラー・解像度200dpi以上)で保存したCDを提出
竣工図(焼き図)(原則A1サイズ)	竣工時	4部	上記竣工図折図で提出 白紙(カラー)・折図(横15cm×縦23cm)

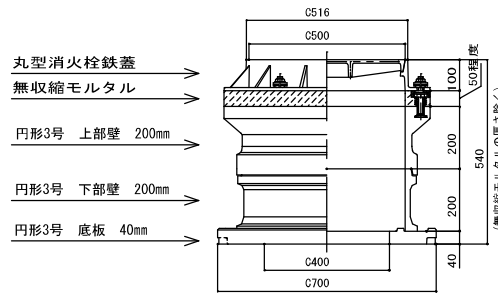
その他明石市水道事業工事検査規程及び明石市水道事業施設等工事検査要綱に基づき必要書類を提出すること。CD及びDVDで提出するものは、工事名・内容が分かるようにすること。

* 竣工図書は、B4A4サイズの文書保存箱で工事名・施工年度等を明示して納品すること。
(施行期日)

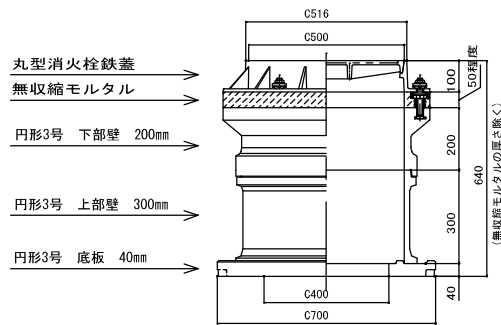
この仕様書は、2020年4月1日より施行する。

円形3号ボックス組合せ図(標準図)

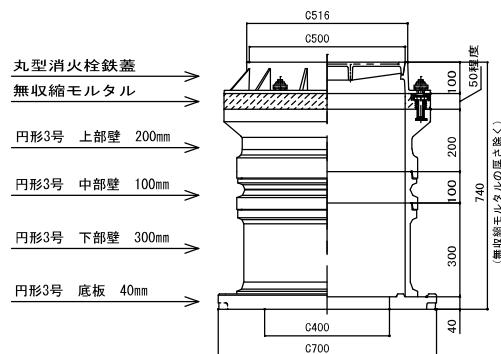
製品高さ H = 540



製品高さ H = 640



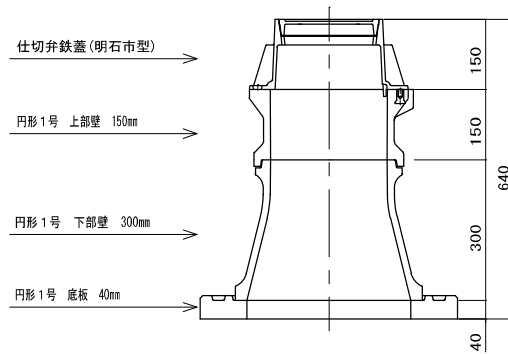
製品高さ H = 740



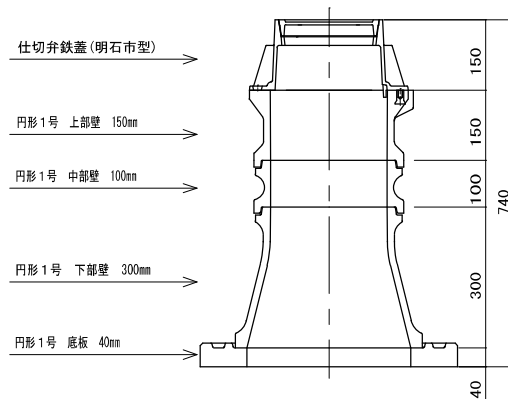
図名	組合せ図(標準図)
種類	円形3号ボックス
明石市水道部	

円形1号ボックス組合せ図(標準図)

製品高さH=640



製品高さH=740



図名	組合せ図(標準図)
種類	円形1号ボックス
明石市水道部	

使用材料登録業者一覧表

材料分類	適用規格等	登録業者名
水道用タクトイル鑄鉄管直管 (内面エポキシ樹脂粉体塗装)	GX形5種管(溝切するときは1種管) NS形1種管	㈱クボタ、㈱栗本鐵工所、日本鑄鉄管㈱
水道用タクトイル鑄鉄異形管 (内面エポキシ樹脂粉体塗装)		㈱クボタ、㈱栗本鐵工所、日本鑄鉄管㈱、㈱ハズ、 ㈱岡本、朝日鑄工㈱、梅原工業㈱、九州鑄鉄管㈱、 大成機工㈱、クロダイト工業㈱、㈱イトー鑄造
水道用ソフトシール仕切弁 (内外面エポキシ樹脂粉体塗装)	JIS B 2062又はJWWA B 120 (内外面はJIS A 5528又はJWWA A 112) 左回り開き、内ねじ式	㈱クボタ、㈱栗本鐵工所、㈱ハズ、前澤工業㈱、 ㈱清水合金製作所、清水工業㈱、㈱清水鐵工所 富士鐵工㈱、千代田工業㈱、角田鐵工㈱、宮部鐵工㈱
水道用ハタフライ弁 (内面エポキシ樹脂粉体塗装)	JWWA B 138 (内面はJIS A 5528又はJWWA A 112) 左回り開き、キャップ式	㈱クボタ、㈱栗本鐵工所、前澤工業㈱、 ㈱清水鐵工所、㈱清水合金製作所、清水工業㈱、
水道用地下式消火栓 (内外面エポキシ樹脂粉体塗装)	JWWA B 103 (内外面はJIS A 5528又はJWWA A 112) 左回り開き、キャップ式、クランプ式	㈱クボタ、㈱栗本鐵工所、㈱ハズ、前澤工業㈱、 ㈱清水合金製作所、清水工業㈱、㈱清水鐵工所、 富士鐵工㈱、千代田工業㈱、 宮部鐵工㈱、協和工業㈱、角田鐵工㈱
水道用急速空気弁 (内外面エポキシ樹脂粉体塗装)	JWWA B 137 (内外面はJIS A 5528又はJWWA A 112)	㈱クボタ、㈱栗本鐵工所、㈱ハズ、前澤工業㈱、 ㈱清水合金製作所、清水工業㈱、㈱清水鐵工所、 千代田工業㈱、宮部鐵工㈱、 協和工業㈱、角田鐵工㈱
水道用補修弁 (内外面エポキシ樹脂粉体塗装)	JWWA B 126 (内外面はJIS A 5528又はJWWA A 112) 左回り開き、キャップ式、ボール式	㈱クボタ、㈱栗本鐵工所、㈱ハズ、前澤工業㈱、 ㈱清水合金製作所、清水工業㈱、㈱清水鐵工所、 富士鐵工㈱、千代田工業㈱、 宮部鐵工㈱、角田鐵工㈱、協和工業㈱
伸縮可とう管 (内面エポキシ樹脂粉体塗装)	メーカー仕様(JWWA合格証印)	大成機工㈱、コスモ工機㈱、㈱水研、クロダイト工業㈱、 日本ヴィクトリック㈱
不断水割T字管及び不断水バルブ (接水部エポキシ樹脂粉体塗装)	メーカー仕様(JWWA合格証印)	大成機工㈱、コスモ工機㈱、㈱水研
特殊継輪 (内面エポキシ樹脂粉体塗装)	メーカー仕様(JWWA合格証印)	大成機工㈱、コスモ工機㈱、㈱水研、 川崎機工㈱、クロダイト工業㈱
特殊押輪	メーカー仕様(JWWA合格証印)	大成機工㈱、コスモ工機㈱、㈱水研、 川崎機工㈱、クロダイト工業㈱
K形ゴム輪	メーカー仕様(JWWA合格証印)	大成機工㈱、コスモ工機㈱、川崎機工㈱
ゴム輪(K形以外)、パッキン(LSP形以外)		大成機工㈱、コスモ工機㈱、川崎機工㈱、㈱クボタ ㈱栗本鐵工所、興和ゴム工業㈱、三報ゴム㈱、 日本鑄鉄管㈱、サンエス護謨工業㈱、協和工業(株)
フランジ継手材(LSP形)	メーカー仕様(JWWA合格証印)	協和工業㈱、サンエス護謨工業㈱
ボルト・ナット(緩み防止仕様以外) (GX形、NS形、フランジ形はステンレス製 、K形は酸化被膜製)		㈱クボタ、㈱栗本鐵工所、㈱岡本、クロダイト工業㈱、 ㈱水研、㈱田中、㈱エスティム、日本鑄鉄管㈱、協和工業㈱ 日本鉚螺㈱
ボルト・ナット(SUS304製 緩み防止仕様)		協和工業㈱、サンエス護謨工業㈱
水道用タクトイル鑄鉄管用 ホリエチレンスリーブ 明示テープ(エコ認定製品)	JWWA K 158 JDPA Z 2005	㈱クボタ、㈱栗本鐵工所、三報ゴム㈱、 サンエス護謨工業㈱、ヨツギ㈱
鉄蓋・受枠	明石市性能規定書	日之出水道機器㈱、長島鑄物㈱、スズテック㈱、 ㈱ダイモン
ボックス(レジンコンクリート製)	明石市性能規定書	日之出水道機器㈱、三国プラスチック㈱、長島鑄物㈱ スズキ鑄鉄工業㈱、㈱ダイモン
仮配管	SUS管 PE管	明和工業㈱、㈱多久製作所 ㈱光明製作所

φ75配水管(材料)

直管・切管使用状況(切管の詳細は切管調書)				本数	延長	備考
切管使用本数				3	4.400	
乙切管① DGX-G-S				3	4.400	
名称・形質等			管長	当初		備考
				数量	延長	
DGX-S	直管関係	φ75		3	4.400	
DGX	両受曲管	φ75×45°	0.137	2	0.274	
DGX	乙字管	φ75×H450	1.007	1	1.007	
DGX	継輪	φ75	0.190	1	0.190	
GX形	ソフトシル仕切弁(受挿型)	φ75	0.490	2	0.980	
	仕切弁ボックス	H=640		1		
	仕切弁ボックス	H=1040		1		
GX形	G-Linkセット	φ75		4		
GX形	接続部品	φ75		8		既設1箇所含む
	サドル分水栓(鋳鉄管用)	φ75×50		1		仮配水管取出
	分水栓閉栓キャップ	φ50		1		
	表示帯			6.9		
	ポリエチレンスリーブ	φ75		6.9		
	管明示テープ(区間距離×1.33/20=)			1		
管材料延長計				6.851		

φ75配水管(手間)

名称・形質等	数量	摘要
鑄鉄管吊込み据付工 φ75	5.9 m	区間距離-仕切弁延長計
鑄鉄管切断工 φ75	3 口	
仕切弁設置工 φ75	2 箇所	
仕切弁ボックス設置工 H=640	1 箇所	
仕切弁ボックス設置工 H=1040	1 箇所	
GX継手工(異形管接合 G-Link使用) φ75	4 口	
GX継手工(異形管接合) φ75	6 口	バルブ箇所は給水で計上
サドル分水栓設置工(鑄鉄管) φ75×50	1 箇所	仮設取出箇所
管明示シート工	6.9 m	
ポリエチレンスリーブ被覆工 φ75	6.9 m	
管明示テープ工 φ75	6.9 m	

φ75配水管土工集計表

	サドル						
	全体	土工無	土工1	土工2	土工3	土工4	土工5
土被			1.2	0.8	1.1	1.6	1.6
延長 箇所等	6.9		0.6	0.6	1.6	4.1	1
会所掘 箇所	4				1	3	

工 種	合計 数量	採用 数量	単位	土工1	土工2	土工3	土工4	土工5
舗装版切断(As) t≤15cm	17.50	18	m	1.20	1.20	3.20	8.20	3.70
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≤10cm	6.02	6	m2	0.36	0.36	0.96	3.49	0.85
掘削積込工	8.39	8	m3	0.47	0.32	1.26	6.34	
掘削積込工(補助的作業なし)	1.15	1.2	m3					1.15
掘削(人力)	0.33	0.3	m3					0.33
残塊処分工(As)	0.34	0.3	m3	0.04	0.04	0.05	0.17	0.04
残塊処分工(土砂)	9.87	10	m3	0.47	0.32	1.26	6.34	1.48
仮復旧工(密粒度(再))(13)	6.02	6	m2	0.36	0.36	0.96	3.49	0.85
路盤工(粒調碎石) t=10cm	5.30	5	m2			0.96	3.49	0.85
路盤工(粒調碎石) t=15cm	0.72	0.7	m2	0.36	0.36			
埋戻工(再生碎石)	6.57	7	m3	0.29	0.14	0.72	4.36	1.06
埋戻工(スクリーニングス)	2.66	3	m3	0.14	0.14	0.43	1.62	0.33
軽量鋼矢板設置撤去工 H=2.0m	5.10	5.1	m				4.10	1.00

φ75配水管(土工1)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤	先行路盤
昼間施工	市道	車道As10cm	As5cm	粒調碎石 15cm	

新設管

管種	管外径	管断面積
DGX-S φ75	0.093	0.007

掘削断面

土工延長(L)	掘削幅(W)	(平均)土被り(d1)	既設舗装厚	会所掘数	掘削深(H)	矢板
0.6	0.60	1.20	0.10	0	1.40	矢板無

工種	施工厚	計算式			数量
		幅等	厚	延長 箇所等	
舗装版切断(As) t≤15cm	0.10			0.6 × 2	1.20
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≤10cm	0.10	0.60		× 0.6	0.36
掘削積込工 (管断面控除)	1.30	0.60 ×	1.30 ×	0.6	0.47
残塊処分工(As)			0.36 ×	0.10	0.04
残塊処分工(土砂)		掘削積込工と同量			0.47
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	0.60		× 0.6	0.36
路盤工(粒調碎石)	0.15	0.60		× 0.6	0.36
埋戻工(再生碎石)	0.80	0.60 ×	0.80 ×	0.6	0.29
埋戻工(スクリーニングス) (管断面控除)	0.40	— 0.007		× 0.6	0.14

φ75配水管(土工2)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤	先行路盤
昼間施工	市道	車道As10cm	As5cm	粒調碎石 15cm	

新設管

管種	管外径	管断面積
DGX-S φ75	0.093	0.007

掘削断面

土工延長(L)	掘削幅(W)	(平均)土被り(d1)	既設舗装厚	会所掘数	掘削深(H)	矢板
0.6	0.60	0.80	0.10	0	1.00	矢板無

工種	施工厚	計算式			数量
		幅等	厚	延長 箇所等	
舗装版切断(As) t≤15cm	0.10			0.6 × 2	1.20
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≤10cm	0.10	0.60		× 0.6	0.36
掘削積込工 (管断面控除)	0.90	0.60 ×	0.90 ×	0.6	0.32
残塊処分工(As)			0.36 ×	0.10	0.04
残塊処分工(土砂)		掘削積込工と同量			0.32
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	0.60		× 0.6	0.36
路盤工(粒調碎石)	0.15	0.60		× 0.6	0.36
埋戻工(再生碎石)	0.40	0.60 ×	0.40 ×	0.6	0.14
埋戻工(スクリーニングス) (管断面控除)	0.40	— 0.007		× 0.6	0.14

φ75配水管(土工3)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤	先行路盤
昼間施工	市道	車道As5cm	As5cm	粒調碎石 10cm	

新設管

管種	管外径	管断面積
DGX-S φ75	0.093	0.007

掘削断面

土工延長(L)	掘削幅(W)	(平均)土被り(d1)	既設舗装厚	会所掘数	掘削深(H)	矢板
1.6	0.60	1.10	0.05	1	1.30	矢板無

工種	施工厚	計算式				数量
		幅等	厚	延長	箇所等	
舗装版切断(As) t≤15cm	0.05			1.6 ×	2	3.20
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≤10cm	0.05	0.60		×	1.6	0.96
掘削積込工 (管断面控除)	1.25	0.60 × + 0.60 ×	1.25 × 0.20 ×	1.6 0.50 ×	1	1.26
残塊処分工(As)			0.96 ×	0.05		0.05
残塊処分工(土砂)			掘削積込工と同量			1.26
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	0.60		×	1.6	0.96
路盤工(粒調碎石)	0.10	0.60		×	1.6	0.96
埋戻工(再生碎石)	0.75	0.60 ×	0.75 ×		1.6	0.72
埋戻工(スクリーニングス) (管断面控除)	0.40	0.60 × + 0.60 × - 0.007	0.40 × 0.20 × ×	1.6 0.50 × 1.6	1	0.43

φ75配水管(土工4)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤	先行路盤
昼間施工	市道	車道As5cm	As5cm	粒調碎石 10cm	

新設管

管種	管外径	管断面積
DGX-S φ75	0.093	0.007

掘削断面

土工延長(L)	掘削幅(W)	(平均)土被り(d1)	既設舗装厚	会所掘数	掘削深(H)	矢板
4.1	0.85	1.60	0.05	3	1.80	矢板有

既設管

管種	撤去延長	管外径	管断面積
鑄鉄管 φ75	2.3	0.093	0.007

工種	施工厚	計算式				数量
		幅等	厚	延長	箇所等	
舗装版切断(As) t≤15cm	0.05			4.1 × 2		8.20
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≤10cm	0.05	0.85	×	4.1		3.49
掘削積込工 (管断面控除)	1.75	0.85 × + 0.85 × - 0.007	1.75 × 0.20 × ×	4.1 0.50 × 2.3	3	6.34
残塊処分工(As)		3.49 ×	0.05			0.17
残塊処分工(土砂)		掘削積込工と同量				6.34
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	0.85	×	4.1		3.49
路盤工(粒調碎石)	0.10	0.85	×	4.1		3.49
埋戻工(再生碎石)	1.25	0.85 ×	1.25 ×	4.1		4.36
埋戻工(スクリーニングス) (管断面控除)	0.40	0.85 × + 0.85 × - 0.007	0.40 × 0.20 × ×	4.1 0.50 × 4.1	3	1.62
軽量鋼矢板設置撤去工	H=2.0	4.1				4.10

φ75サドル分水栓(土工5)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行仮路盤	先行路盤
昼間施工	市道	車道As5cm	As5cm	粒調碎石 10cm	

施工管種

分岐元管種	分岐口径	管外径	管断面積
鑄鉄管 φ75	50	0.093	0.007

掘削断面

土工延長(L)	掘削幅(W)	管下掘削深	土被り(d1)	掘削深(H)	既設舗装厚	矢板
1.00	0.85	0.10	1.60	1.80	0.05	矢板有

工種	施工厚	計算式				数量	1箇所計
		幅等	厚	延長	箇所等		
舗装版切断(As) t≤15cm	0.05	0.85 ×	2 +	1.00 ×	2	3.70	3.70
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≤10cm	0.05	0.85	×	1.00		0.85	0.85
掘削積込工(補助的作業なし)	1.35	0.85 ×	1.35 ×	1.00		1.15	1.15
掘削(人力) (管断面控除)	0.40	0.85 × — 0.007	0.40 × ×	1.00 1.00		0.33	0.33
残塊処分工(As)		0.85 ×	0.05			0.04	0.04
残塊処分工(土砂)		1.15 +	0.33			1.48	1.48
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	0.85	×	1.00		0.85	0.85
路盤工(粒調碎石)	0.10	0.85	×	1.00		0.85	0.85
埋戻工(再生碎石)	1.25	0.85 ×	1.25 ×	1.00		1.06	1.06
埋戻工(スクリーニングス) (管断面控除)	0.40	0.85 × — 0.007	0.40 × ×	1.0 1.0		0.33	0.33
軽量鋼矢板設置撤去工	H=2.0		1.0			1.00	1.00

φ 100配水管(材料)

直管・切管使用状況(切管の詳細は切管調書)			本数	延長	備考	
直管 (L= 4.0 m)			1	4.000		
切管使用本数			3	8.400		
甲切管	DGX-P-S		1	3.100		
	DGX-G-S		1	1.700		
乙切管①	DGX-G-S		2	3.600		
名称・形質等			管長	当初		備考
				数量	延長	
DGX-S	直管関係	φ 100		4	12.400	
DGX	曲管	φ 100 × 45°	0.416	1	0.416	
DGX	曲管	φ 100 × 22° 1/2	0.380	1	0.380	
DGX	継ぎ輪	φ 100	0.200	2	0.400	
	ソフトシール仕切弁付割T字管	φ 100 × φ 100		1		密着コア含む
GX形	ソフトシール仕切弁(受挿し)	φ 100	0.490	1	0.490	
	仕切弁ボックス	H=940		1		
	フランジ蓋	φ 100		2		割丁・特殊分岐
GX形	P-Linkセット	φ 100	0.180	1	0.180	
GX形	G-Linkセット	φ 100		5		
GX形	接続部品	φ 100		4		
GX形	ライナ	φ 100		2		
	サドル分水栓(鋳鉄管用)	φ 100 × 50		1		仮配水管取出
	分水栓閉栓キャップ	φ 50		1		
	表示帯			14.3		
	ポリエチレンスリーブ	φ 100		14.3		
	管明示テープ(区間距離 × 1.42 / 20 =)			2		
管材料延長計				14.266		

φ 100配水管(手間)

名称・形質等	数量	摘要
鋳鉄管吊込み据付工 φ 100	13.8 m	区間距離-仕切弁延長計
鋳鉄管切断工 φ 100	4 口	
不断水連絡工 φ 100 × φ 100	1 箇所	仮設取出箇所
密着コア取付工 φ 100	1 箇所	
仕切弁設置工 φ 100	1 箇所	
仕切弁ボックス設置工 H=940	1 箇所	
フランジ継手工 φ 100	2 箇所	仮設取出箇所
GX継手工(直管接合) φ 100	3 口	
GX継手工(異形管接合 P-Link使用) φ 100	1 口	
GX継手工(異形管接合 G-Link使用) φ 100	5 口	
GX継手工(異形管接合) φ 100	4 口	
サドル分水栓設置工(鋳鉄管) φ 100 × 50	1 箇所	仮設取出箇所
管明示シート工	14.3 m	
ポリエチレンスリーブ被覆工 φ 100	14.3 m	
管明示テープ工 φ 100	14.3 m	

φ 100配水管土工集計表

	割T サドル					
	全体	土工無	土工1	土工2	土工3	土工4
土被			0.80	1.10	0.90	1.20
延長 箇所等	14.5		3.5	11.0	1	1
会所掘 箇所	6		3	3		

工 種	合計 数量	採用 数量	単位	土工1	土工2	土工3	土工4
舗装版切断(As) t≤15cm	36.20	36	m	7.00	22.00	4.00	3.20
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≤10cm	10.30	10	m2	2.10	6.60	1.00	0.60
掘削積込工	10.12	10	m3	2.10	8.02		
掘削積込工(補助的作業なし)	1.19	1	m3			0.65	0.54
掘削(人力)	0.85	0.9	m3			0.61	0.24
残塊処分工(As)	0.98	1.0	m3	0.21	0.66	0.05	0.06
残塊処分工(土砂)	12.16	12	m3	2.10	8.02	1.26	0.78
仮復旧工(密粒度(再)(13))	10.30	10	m2	2.10	6.60	1.00	0.60
路盤工(粒調碎石) t=10cm	1.00	1	m2			1.00	
路盤工(粒調碎石) t=15cm	9.30	9	m2	2.10	6.60		0.60
埋戻工(再生碎石)	6.49	6	m3	0.84	4.62	0.55	0.48
埋戻工(スクリーニングス)	4.61	5	m3	1.02	2.74	0.61	0.24

φ100配水管(土工1)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤	先行路盤
昼間施工	市道	車道As10cm	As5cm	粒調碎石 15cm	

新設管

管種	管外径	管断面積
DGX-Sφ100	0.118	0.011

掘削断面

土工延長(L)	掘削幅(W)	(平均)土被り(d1)	既設舗装厚	会所掘数	掘削深(H)	矢板
3.5	0.60	0.80	0.10	3	1.02	矢板無

既設管

管種	撤去延長	管外径	管断面積
鑄鉄管φ100	0.9	0.118	0.011

工種	施工厚	計算式			数量
		幅等	厚	延長 箇所等	
舗装版切断(As) t≤15cm	0.10			3.5 × 2	7.00
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≤10cm	0.10	0.60	×	3.5	2.10
掘削積込工 (管断面控除)	0.92	0.60 × + 0.60 × - 0.011	0.92 × 0.20 × ×	3.5 0.50 × 3 0.9	2.10
残塊処分工(As)		2.10 ×	0.10		0.21
残塊処分工(土砂)		掘削積込工と同量			2.10
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	0.60	×	3.5	2.10
路盤工(粒調碎石)	0.15	0.60	×	3.5	2.10
埋戻工(再生碎石)	0.40	0.60 ×	0.40 ×	3.5	0.84
埋戻工(スクリーニングス) (管断面控除)	0.42	0.60 × + 0.60 × - 0.011	0.42 × 0.20 × ×	3.5 0.50 × 3 3.5	1.02

φ100配水管(土工2)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤	先行路盤
昼間施工	市道	車道As10cm	As5cm	粒調碎石 15cm	

新設管

管種	管外径	管断面積
DGX-Sφ100	0.118	0.011

掘削断面

土工延長(L)	掘削幅(W)	(平均)土被り(d1)	既設舗装厚	会所掘数	掘削深(H)	矢板
11.0	0.60	1.10	0.10	3	1.32	矢板無

既設管

管種	撤去延長	管外径	管断面積
鑄鉄管φ100	11.0	0.118	0.011

工種	施工厚	計算式			数量
		幅等	厚	延長 箇所等	
舗装版切断(As) t≤15cm	0.10			11.0 × 2	22.00
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≤10cm	0.10	0.60		× 11.0	6.60
掘削積込工 (管断面控除)	1.22	0.60 × + 0.60 × - 0.011	1.22 × 0.10 × ×	11.0 0.50 × 3 11.0	8.02
残塊処分工(As)		6.60 ×	0.10		0.66
残塊処分工(土砂)		掘削積込工と同量			8.02
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	0.60		× 11.0	6.60
路盤工(粒調碎石)	0.15	0.60		× 11.0	6.60
埋戻工(再生碎石)	0.70	0.60 ×	0.70 ×	11.0	4.62
埋戻工(スクリーニングス) (管断面控除)	0.42	0.60 × + 0.60 × - 0.011	0.42 × 0.10 × ×	11.0 0.50 × 3 11.0	2.74

φ100割丁字管(土工3)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行仮路盤	先行路盤
昼間施工	市道	歩道As5cm	As5cm	粒調碎石 10cm	

施工管種

分岐元管種	分岐口径	管外径	管断面積
鑄鉄管φ100	100	0.118	0.011

掘削断面

土工延長(L)	掘削幅(W)	管下掘削深	土被り(d1)	掘削深(H)	既設舗装厚	矢板
1.00	1.00	0.30	0.90	1.32	0.05	矢板無

工種	施工厚	計算式				数量	1箇所計
		幅等	厚	延長	箇所等		
舗装版切断(As) t≤15cm	0.05	1.00 ×	2 +	1.00 ×	2	4.00	4.00
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≤10cm	0.05	1.00	×	1.00		1.00	1.00
掘削積込工(補助の作業なし)	0.65	1.00 ×	0.65 ×	1.00		0.65	0.65
掘削(人力) (管断面控除)	0.62	1.00 × - 0.011	0.62 × ×	1.00 1.00		0.61	0.61
残塊処分工(As)		1.00 ×	0.05			0.05	0.05
残塊処分工(土砂)		0.65 +	0.61			1.26	1.26
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	1.00	×	1.00		1.00	1.00
路盤工(粒調碎石)	0.10	1.00	×	1.00		1.00	1.00
埋戻工(再生碎石)	0.55	1.00 ×	0.55 ×	1.00		0.55	0.55
埋戻工(スクリーニングス) (管断面控除)	0.62	1.00 × - 0.011	0.62 × ×	1.0 1.0		0.61	0.61

φ100サドル分水栓(土工4)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行仮路盤	先行路盤
昼間施工	市道	車道As10cm	As5cm	粒調碎石 15cm	

施工管種

分岐元管種	分岐口径	管外径	管断面積
鑄鉄管φ100	50	0.118	0.011

掘削断面

土工延長(L)	掘削幅(W)	管下掘削深	土被り(d1)	掘削深(H)	既設舗装厚	矢板
1.00	0.60	0.10	1.20	1.42	0.10	矢板無

工種	施工厚	計算式				数量	1箇所計
		幅等	厚	延長	箇所等		
舗装版切断(As) t≤15cm	0.10	0.60 ×	2 +	1.00 ×	2	3.20	3.20
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≤10cm	0.10	0.60	×	1.00		0.60	0.60
掘削積込工(補助的作業なし)	0.90	0.60 ×	0.90 ×	1.00		0.54	0.54
掘削(人力) (管断面控除)	0.42	0.60 × - 0.011	0.42 × ×	1.00 1.00		0.24	0.24
残塊処分工(As)		0.60 ×	0.10			0.06	0.06
残塊処分工(土砂)		0.54 +	0.24			0.78	0.78
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	0.60	×	1.00		0.60	0.60
路盤工(粒調碎石)	0.15	0.60	×	1.00		0.60	0.60
埋戻工(再生碎石)	0.80	0.60 ×	0.80 ×	1.00		0.48	0.48
埋戻工(スクリーニングス) (管断面控除)	0.42	0.60 × - 0.011	0.42 × ×	1.0 1.0		0.24	0.24

φ 150配水管(材料)

直管・切管使用状況(切管の詳細は切管調書)			本数	延長	備考	
直管 (L= 5.0 m)			60	300.000		
切管使用本数			15	54.200		
甲切管	DGX-P-S		4	9.900		
	DGX-G-S		10	17.500		
	DGX-K-S		1	1.000		
乙切管①	DGX-G-S		14	24.800		
乙切管②	DGX-G-S		1	1.000		
名称・形質等			管長	当初		備考
				数量	延長	
DGX-S	直管関係	φ 150		75	354.200	
DGX	曲管	φ 150 × 45°	0.464	28	12.992	
DGX	曲管	φ 150 × 22° 1/2	0.409	4	1.636	
DGX	曲管	φ 150 × 11° 1/4	0.370	2	0.740	
DGX	両受曲管	φ 150 × 45°	0.194	8	1.552	
DGX	両受曲管	φ 150 × 22° 1/2	0.139	1	0.139	
DGX	乙字管	φ 150 × H450	1.109	4	4.436	
DGX	二受T字管	φ 150 × φ 75	0.450	3	1.350	
DGX	二受T字管	φ 150 × φ 100	0.480	2	0.960	
DGX	二受T字管	φ 150 × φ 150	0.560	2	1.120	
DGX	フランジ付きT字管	φ 150 × φ 75	0.450	2	0.900	
DGX	継ぎ輪	φ 150	0.240	3	0.720	
DGX	両受短管	φ 150	0.020	2	0.040	
DGX	耐震型特殊分岐管	φ 150 × φ 100	0.585	1	0.585	
	特殊分岐管用バルブ	φ 100		1		材料支給 密着コア含む
	簡易バルブ付耐震型割T字管(K挿し)	φ 150 × φ 150	0.696	1	0.696	
	不断水簡易バルブ	φ 150		1		
GX形	ソトシール仕切弁(受挿し)	φ 150	0.550	6	3.300	
	仕切弁室(明石V型)	H=640		2		
	仕切弁室(明石V型)	H=840		1		
	仕切弁室(明石V型)	H=940		2		
	仕切弁室(明石V型)	H=1040		2		
	ケルプ式単口消火栓(浅埋形)	φ 75 × φ 65		2		
	フランジ短管	φ 75 × 150		2		
	フランジ短管	φ 75 × 250		1		
	補修弁(キャップ式)	φ 75 × 100		2		
	フランジ継手材(LSP形)	φ 75		7		
	消火栓室(明石IV型・丸型)(耐スリップ用・車道)	H=640		1		車:1
	消火栓室(明石IV型・丸型)(耐スリップ用・車道)	H=1040		1		車:1
GX形	P-Linkセット	φ 150	0.210	4	0.840	
GX形	G-Linkセット	φ 150		29		
GX形	接続部品	φ 150		57		
GX形	ライナ	φ 150		26		
DK	帽	φ 150		1		特殊押輪含む
	表示帯			386.2		
	ポリエチレンスリーブ	φ 150		386.2		
	管明示テープ(区間距離 × 1.64 / 20 =)			32		
管材料延長計					386.206	

φ 150配水管(手間)

名称・形質等	数量	摘要
鋳鉄管吊込み据付工 φ 150	382.9 m	区間距離-仕切弁延長計
鋳鉄管切断工 φ 150	30 口	
簡易バルブ付き耐震型不断水連絡工 φ 150 × φ 150	1 箇所	
密着コア取付工 φ 150	1 箇所	
不断水バルブ設置工 φ 150	1 箇所	
仕切弁設置工 φ 150	7 箇所	特殊分岐管用バルブ含む
仕切弁ボックス設置工 H=640	2 箇所	
仕切弁ボックス設置工 H=840	1 箇所	
仕切弁ボックス設置工 H=940	2 箇所	
仕切弁ボックス設置工 H=1040	2 箇所	
消火栓設置工	2 箇所	フランジ継手工 φ 75 1口含む
フランジ継手工 φ 75	5 口	消火栓
消火栓ボックス設置工 H=640	1 箇所	
消火栓ボックス設置工 H=1040	1 箇所	
GX継手工(直管接合) φ 150	75 口	
GX継手工(異形管接合 P-Link使用) φ 150	4 口	
GX継手工(異形管接合 G-Link使用) φ 150	29 口	
GX継手工(異形管接合) φ 150	57 口	
帽設置工 φ 150	1 口	特殊押輪含む
管明示シート工	386.2 m	
ポリエチレンスリーブ被覆工 φ 150	386.2 m	
管明示テープ工 φ 150	386.2 m	

φ 150配水管土工集計表

	全体	土工無	土工1	土工2	土工3	土工4	土工5	土工6
土被			1.20	0.80	1.10	1.10	1.10	1.10
延長 箇所等	385		9.9	128.5	3.4	22.6	10.0	108.4
会所掘 箇所	34		6	4		1		7

工 種	合計 数量	採用 数量	単位	土工1	土工2	土工3	土工4	土工5	土工6
舗装版切断(As) t≤15cm	772.20	770	m	19.80	257.00	6.80	45.20	20.00	216.80
舗装版切断(As) 15<t≤30cm	3.80	4	m						
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≤10cm	234.01	234	m2	5.94	77.10	2.04	13.56	6.00	65.04
舗装版破碎(As) 15<t≤35cm	1.62	2	m2						
インターロッキング撤去工 t=60 (再利用)	0.96	1	m2						
掘削積込工	279.18	280	m3	8.50	75.03	2.59	16.78	7.70	83.89
掘削積込工(補助的作業なし)	2.39	2	m3						
掘削(人力)	1.57	2	m3						
残塊処分工(As)	17.04	17	m3	0.59	7.71	0.20	1.36	0.30	3.25
残塊処分工(土砂)	283.14	280	m3	8.50	75.03	2.59	16.78	7.70	83.89
仮復旧工(密粒度(再)(13)) t=5cm	236.59	237	m2	5.94	77.10	2.04	13.56	6.00	65.04
路盤工(粒調碎石) t=10cm	131.09	131	m2					6.00	65.04
路盤工(粒調碎石) t=14cm	0.96	1	m2						
路盤工(粒調碎石) t=15cm	101.30	101	m2	5.94	77.10	2.04	13.56		
路盤工(再生碎石) t=10cm	1.62	2	m2						
路盤工(再生碎石) t=25cm	1.62	2	m2						
フィルター層(砂) t=5cm	1.62	2	m2						
埋戻工(再生碎石)	150.91	150	m3	4.75	30.84	1.43	9.49	4.50	48.78
埋戻工(スクリーニングス)	105.21	110	m3	2.93	33.65	0.88	5.94	2.60	28.60
軽量鋼矢板設置撤去工 H=2.0m	14.00	14.0	m						
軽量鋼矢板設置撤去工 H=2.5m	1.30	1.3	m						

割T 不断水V

土工7	土工8	土工9	土工10	土工11	土工12	土工13	土工14	土工15	土工16	土工17	土工18	土工19	土工20
1.20	1.50	0.75	1.55	0.80	1.00	0.90	1.50	2.20	1.10	0.80	0.80	1.20	1.20
26.6	6.2	1.4	3.6	16.4	11.8	30.0	0.6	1.3	0.9	1.8	1.6	1	1
2	3	1	1		3	2		1		1	2		

土工7	土工8	土工9	土工10	土工11	土工12	土工13	土工14	土工15	土工16	土工17	土工18	土工19	土工20
53.20	12.40	2.80	7.20	32.80	23.60	60.00			1.80	3.60	0.00	4.20	5.00
							1.20	2.60					
15.96	5.27	0.84	3.06	9.84	7.08	18.00			0.54	1.08	0.00	1.10	1.56
							0.51	1.11					
											0.96		
22.20	9.13	1.14	5.12	12.63	8.63	19.62	0.80	2.48	0.72	1.17	1.05		
												0.99	1.40
												0.71	0.86
0.80	0.26	0.04	0.15	0.49	0.35	0.90	0.10	0.22	0.02	0.03	0.00	0.11	0.16
22.20	9.13	1.14	5.12	12.63	8.63	19.62	0.80	2.48	0.72	1.17	1.05	1.70	2.26
15.96	5.27	0.84	3.06	9.84	7.08	18.00	0.51	1.11	0.54	1.08	0.96	1.10	1.56
15.96	5.27	0.84	3.06	9.84	7.08	18.00							
											0.96		
												1.10	1.56
									0.54	1.08			
							0.51	1.11					
									0.54	1.08			
13.57	6.06	0.63	3.37	7.38	4.60	9.90	0.51	1.77	0.38	0.43	0.39	0.88	1.25
7.04	2.60	0.42	1.44	4.26	3.25	7.92	0.23	0.58	0.23	0.53	0.54	0.71	0.86
	6.20		3.60				0.60					1.10	2.50
								1.30					

φ150配水管(土工1)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤	先行路盤
昼間施工	市道	車道As10cm	As5cm	粒調碎石 15cm	

新設管

管種	管外径	管断面積
DGX-S φ150	0.169	0.022

掘削断面

土工延長(L)	掘削幅(W)	(平均)土被り(d1)	既設舗装厚	会所掘数	掘削深(H)	矢板
9.9	0.60	1.20	0.10	6	1.47	矢板無

工種	施工厚	計算式				数量
		幅等	厚	延長	箇所等	
舗装版切断(As) t≤15cm	0.10			9.9 ×	2	19.80
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≤10cm	0.10	0.60		× 9.9		5.94
掘削積込工 (管断面控除)	1.37	0.60 × + 0.60 ×	1.37 × 0.20 ×	9.9 0.50 ×	6	8.50
残塊処分工(As)			5.94 ×	0.10		0.59
残塊処分工(土砂)		掘削積込工と同量				8.50
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	0.60		× 9.9		5.94
路盤工(粒調碎石)	0.15	0.60		× 9.9		5.94
埋戻工(再生碎石)	0.80	0.60 ×	0.80 ×	9.9		4.75
埋戻工(スクリーニングス) (管断面控除)	0.47	0.60 × + 0.60 × - 0.022	0.47 × 0.20 × ×	9.9 0.50 × 9.9	6	2.93

φ150配水管(土工2)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤	先行路盤
昼間施工	市道	車道As10cm	As5cm	粒調碎石 15cm	

新設管

管種	管外径	管断面積
DGX-S φ150	0.169	0.022

掘削断面

土工延長(L)	掘削幅(W)	(平均)土被り(d1)	既設舗装厚	会所掘数	掘削深(H)	矢板
128.5	0.60	0.80	0.10	4	1.07	矢板無

工種	施工厚	計算式				数量
		幅等	厚	延長	箇所等	
舗装版切断(As) t≤15cm	0.10			128.5 ×	2	257.00
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≤10cm	0.10	0.60		× 128.5		77.10
掘削積込工 (管断面控除)	0.97	0.60 × +	0.60 ×	0.97 × 0.20 ×	128.5 0.50 × 4	75.03
残塊処分工(As)				77.10 ×	0.10	7.71
残塊処分工(土砂)				掘削積込工と同量		75.03
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	0.60		× 128.5		77.10
路盤工(粒調碎石)	0.15	0.60		× 128.5		77.10
埋戻工(再生碎石)	0.40	0.60 ×	0.40 ×	128.5		30.84
埋戻工(スクリーニングス) (管断面控除)	0.47	0.60 × +	0.60 ×	0.47 × 0.20 ×	128.5 0.50 × 4	33.65
		-	0.022	× 128.5		

φ150配水管(土工3)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤	先行路盤
昼間施工	市道	車道As10cm	As5cm	粒調碎石 15cm	

新設管

管種	管外径	管断面積
DGX-S φ150	0.169	0.022

掘削断面

土工延長(L)	掘削幅(W)	(平均)土被り(d1)	既設舗装厚	会所掘数	掘削深(H)	矢板
3.4	0.60	1.10	0.10	0	1.37	矢板無

工種	施工厚	計算式			数量
		幅等	厚	延長 箇所等	
舗装版切断(As) t≤15cm	0.10			3.4 × 2	6.80
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≤10cm	0.10	0.60		× 3.4	2.04
掘削積込工 (管断面控除)	1.27	0.60 ×	1.27 ×	3.4	2.59
残塊処分工(As)			2.04 ×	0.10	0.20
残塊処分工(土砂)		掘削積込工と同量			2.59
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	0.60		× 3.4	2.04
路盤工(粒調碎石)	0.15	0.60		× 3.4	2.04
埋戻工(再生碎石)	0.70	0.60 ×	0.70 ×	3.4	1.43
埋戻工(スクリーニングス) (管断面控除)	0.47	0.60 ×	0.47 ×	3.4	0.88
		— 0.022		× 3.4	

φ150配水管(土工4)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤	先行路盤
昼間施工	市道	車道As10cm	As5cm	粒調碎石 15cm	

新設管

管種	管外径	管断面積
DGX-S φ150	0.169	0.022

掘削断面

土工延長(L)	掘削幅(W)	(平均)土被り(d1)	既設舗装厚	会所掘数	掘削深(H)	矢板
22.6	0.60	1.10	0.10	1	1.37	矢板無

既設管

管種	撤去延長	管外径	管断面積
鑄鉄管 φ150	22.6	0.169	0.022

工種	施工厚	計算式				数量
		幅等	厚	延長	箇所等	
舗装版切断(As) t≤15cm	0.10			22.6 × 2		45.20
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≤10cm	0.10	0.60		× 22.6		13.56
掘削積込工 (管断面控除)	1.27	0.60 × + 0.60 × - 0.022	1.27 × 0.20 × ×	22.6 0.50 × 22.6	1	16.78
残塊処分工(As)			13.56 × 0.10			1.36
残塊処分工(土砂)			掘削積込工と同量			16.78
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	0.60		× 22.6		13.56
路盤工(粒調碎石)	0.15	0.60		× 22.6		13.56
埋戻工(再生碎石)	0.70	0.60 ×	0.70 ×	22.6		9.49
埋戻工(スクリーニングス) (管断面控除)	0.47	0.60 × + 0.60 × - 0.022	0.47 × 0.20 × ×	22.6 0.50 × 22.6	1	5.94

φ150配水管(土工5)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤	先行路盤
昼間施工	市道	歩道As5cm	As5cm	粒調碎石 10cm	

新設管

管種	管外径	管断面積
DGX-S φ150	0.169	0.022

掘削断面

土工延長(L)	掘削幅(W)	(平均)土被り(d1)	既設舗装厚	会所掘数	掘削深(H)	矢板
10.0	0.60	1.10	0.05	0	1.37	矢板無

既設管

管種	撤去延長	管外径	管断面積
鑄鉄管 φ150	10.0	0.169	0.022

工種	施工厚	計算式			数量	
		幅等	厚	延長 箇所等		
舗装版切断(As) t≤15cm	0.05			10.0 × 2	20.00	
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≤10cm	0.05	0.60	×	10.0	6.00	
掘削積込工 (管断面控除)	1.32	0.60 × — 0.022	×	1.32 × ×	10.0 10.0	7.70
残塊処分工(As)		6.00 ×	×	0.05	0.30	
残塊処分工(土砂)		掘削積込工と同量			7.70	
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	0.60	×	10.0	6.00	
路盤工(粒調碎石)	0.10	0.60	×	10.0	6.00	
埋戻工(再生碎石)	0.75	0.60 ×	×	0.75 × 10.0	4.50	
埋戻工(スクリーニングス) (管断面控除)	0.47	0.60 × — 0.022	×	0.47 × ×	10.0 10.0	2.60

φ150配水管(土工6)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤	先行路盤
昼間施工	市道	車道As5cm	As5cm	粒調碎石 10cm	

新設管

管種	管外径	管断面積
DGX-S φ150	0.169	0.022

掘削断面

土工延長(L)	掘削幅(W)	(平均)土被り(d1)	既設舗装厚	会所掘数	掘削深(H)	矢板
108.4	0.60	1.10	0.05	7	1.37	矢板無

既設管

管種	撤去延長	管外径	管断面積
鑄鉄管 φ150	108.4	0.169	0.022

工種	施工厚	計算式			数量
		幅等	厚	延長 箇所等	
舗装版切断(As) t≤15cm	0.05			108.4 × 2	216.80
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≤10cm	0.05	0.60	×	108.4	65.04
掘削積込工 (管断面控除)	1.32	0.60 × + 0.60 × - 0.022	1.32 × 0.20 × ×	108.4 0.50 × 7 108.4	83.89
残塊処分工(As)			65.04 ×	0.05	3.25
残塊処分工(土砂)			掘削積込工と同量		83.89
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	0.60	×	108.4	65.04
路盤工(粒調碎石)	0.10	0.60	×	108.4	65.04
埋戻工(再生碎石)	0.75	0.60 ×	0.75 ×	108.4	48.78
埋戻工(スクリーニングス) (管断面控除)	0.47	0.60 × + 0.60 × - 0.022	0.47 × 0.20 × ×	108.4 0.50 × 7 108.4	28.60

φ150配水管(土工7)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤	先行路盤
昼間施工	市道	車道As5cm	As5cm	粒調碎石 10cm	

新設管

管種	管外径	管断面積
DGX-S φ150	0.169	0.022

掘削断面

土工延長(L)	掘削幅(W)	(平均)土被り(d1)	既設舗装厚	会所掘数	掘削深(H)	矢板
26.6	0.60	1.20	0.05	2	1.47	矢板無

既設管

管種	撤去延長	管外径	管断面積
鑄鉄管 φ150	26.6	0.169	0.022

工種	施工厚	計算式				数量
		幅等	厚	延長	箇所等	
舗装版切断(As) t≤15cm	0.05			26.6 ×	2	53.20
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≤10cm	0.05	0.60		× 26.6		15.96
掘削積込工 (管断面控除)	1.42	0.60 × + 0.60 × - 0.022	1.42 × 0.20 × ×	26.6 0.50 × 26.6	2	22.20
残塊処分工(As)			15.96 ×	0.05		0.80
残塊処分工(土砂)			掘削積込工と同量			22.20
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	0.60		× 26.6		15.96
路盤工(粒調碎石)	0.10	0.60		× 26.6		15.96
埋戻工(再生碎石)	0.85	0.60 ×	0.85 ×	26.6		13.57
埋戻工(スクリーニングス) (管断面控除)	0.47	0.60 × + 0.60 × - 0.022	0.47 × 0.20 × ×	26.6 0.50 × 26.6	2	7.04

φ150配水管(土工8)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤	先行路盤
昼間施工	市道	車道As5cm	As5cm	粒調碎石 10cm	

新設管

管種	管外径	管断面積
DGX-S φ150	0.169	0.022

掘削断面

土工延長(L)	掘削幅(W)	(平均)土被り(d1)	既設舗装厚	会所掘数	掘削深(H)	矢板
6.2	0.85	1.50	0.05	3	1.77	矢板有

既設管

管種	撤去延長	管外径	管断面積
鑄鉄管 φ150	2.6	0.169	0.022
鑄鉄管 φ200	3.6	0.220	0.038

工種	施工厚	計算式			数量
		幅等	厚	延長 箇所等	
舗装版切断(As) t≤15cm	0.05			6.2 × 2	12.40
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≤10cm	0.05	0.85	×	6.2	5.27
掘削積込工 (管断面控除)	1.72	0.85 × + 0.85 × - 0.022 - 0.038	1.72 × 0.20 × ×	6.2 0.50 × 3 2.6 3.6	9.13
残塊処分工(As)		5.27 ×	0.05		0.26
残塊処分工(土砂)		掘削積込工と同量			9.13
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	0.85	×	6.2	5.27
路盤工(粒調碎石)	0.10	0.85	×	6.2	5.27
埋戻工(再生碎石)	1.15	0.85 ×	1.15 ×	6.2	6.06
埋戻工(スクリーニングス) (管断面控除)	0.47	0.85 × + 0.85 × - 0.022	0.47 × 0.20 × ×	6.2 0.50 × 3 6.2	2.60
軽量鋼矢板設置撤去工	H=2.0	6.2			6.20

φ150配水管(土工)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤	先行路盤
昼間施工	市道	車道As5cm	As5cm	粒調碎石 10cm	

新設管

管種	管外径	管断面積
DGX-S φ150	0.169	0.022

掘削断面

土工延長(L)	掘削幅(W)	(平均)土被り(d1)	既設舗装厚	会所掘数	掘削深(H)	矢板
1.4	0.60	0.75	0.05	1	1.37	矢板無

既設φ150d=1.2m

既設管

管種	撤去延長	管外径	管断面積
鑄鉄管 φ150	1.4	0.169	0.022

工種	施工厚	計算式				数量
		幅等	厚	延長	箇所等	
舗装版切断(As) t≤15cm	0.05			1.4 × 2		2.80
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≤10cm	0.05	0.60	×	1.4		0.84
掘削積込工 (管断面控除)	1.32	0.60 × + 0.60 × - 0.022	1.32 × 0.20 × ×	1.4 0.50 × 1.4	1	1.14
残塊処分工(As)		0.84 ×	0.05			0.04
残塊処分工(土砂)		掘削積込工と同量				1.14
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	0.60	×	1.4		0.84
路盤工(粒調碎石)	0.10	0.60	×	1.4		0.84
埋戻工(再生碎石)	0.75	0.60 ×	0.75 ×	1.4		0.63
埋戻工(スクリーニングス) (管断面控除)	0.47	0.60 × + 0.60 × - 0.022	0.47 × 0.20 × ×	1.4 0.50 × 1.4	1	0.42

φ150配水管(土工10)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤	先行路盤
昼間施工	市道	車道As5cm	As5cm	粒調碎石 10cm	

新設管

管種	管外径	管断面積
DGX-S φ150	0.169	0.022

掘削断面

土工延長(L)	掘削幅(W)	(平均)土被り(d1)	既設舗装厚	会所掘数	掘削深(H)	矢板
3.6	0.85	1.55	0.05	1	1.72	矢板有

既設管

管種	撤去延長	管外径	管断面積
鑄鉄管 φ150	3.6	0.169	0.022

工種	施工厚	計算式				数量
		幅等	厚	延長	箇所等	
舗装版切断(As) t≤15cm	0.05			3.6 × 2		7.20
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≤10cm	0.05	0.85	×	3.6		3.06
掘削積込工 (管断面控除)	1.67	0.85 × + 0.85 × - 0.022	1.67 × 0.20 × ×	3.6 0.50 × 3.6	1	5.12
残塊処分工(As)			3.06 ×	0.05		0.15
残塊処分工(土砂)			掘削積込工と同量			5.12
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	0.85	×	3.6		3.06
路盤工(粒調碎石)	0.10	0.85	×	3.6		3.06
埋戻工(再生碎石)	1.10	0.85 ×	1.10 ×	3.6		3.37
埋戻工(スクリーニングス) (管断面控除)	0.47	0.85 × + 0.85 × - 0.022	0.47 × 0.20 × ×	3.6 0.50 × 3.6	1	1.44
軽量鋼矢板設置撤去工	H=2.0		3.6			3.60

φ150配水管(土工11)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤	先行路盤
昼間施工	市道	車道As5cm	As5cm	粒調碎石 10cm	

新設管

管種	管外径	管断面積
DGX-S φ150	0.169	0.022

掘削断面

土工延長(L)	掘削幅(W)	(平均)土被り(d1)	既設舗装厚	会所掘数	掘削深(H)	矢板
16.4	0.60	0.80	0.05	0	1.37	矢板無

既設 φ150d=1.2m

既設管

管種	撤去延長	管外径	管断面積
鑄鉄管 φ150	16.4	0.169	0.022

工種	施工厚	計算式			数量
		幅等	厚	延長 箇所等	
舗装版切断(As) t≤15cm	0.05			16.4 × 2	32.80
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≤10cm	0.05	0.60	×	16.4	9.84
掘削積込工 (管断面控除)	1.32	0.60 ×	1.32 ×	16.4	12.63
		— 0.022	×	16.4	
残塊処分工(As)		9.84 ×	0.05		0.49
残塊処分工(土砂)		掘削積込工と同量			12.63
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	0.60	×	16.4	9.84
路盤工(粒調碎石)	0.10	0.60	×	16.4	9.84
埋戻工(再生碎石)	0.75	0.60 ×	0.75 ×	16.4	7.38
埋戻工(スクリーニングス) (管断面控除)	0.47	0.60 ×	0.47 ×	16.4	4.26
		— 0.022	×	16.4	

φ150配水管(土工12)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤	先行路盤
昼間施工	市道	車道As5cm	As5cm	粒調碎石 10cm	

新設管

管種	管外径	管断面積
DGX-S φ150	0.169	0.022

掘削断面

土工延長(L)	掘削幅(W)	(平均)土被り(d1)	既設舗装厚	会所掘数	掘削深(H)	矢板
11.8	0.60	1.00	0.05	3	1.27	矢板無

既設管

管種	撤去延長	管外径	管断面積
鑄鉄管 φ150	8.6	0.169	0.022

工種	施工厚	計算式			数量
		幅等	厚	延長 箇所等	
舗装版切断(As) t≤15cm	0.05			11.8 × 2	23.60
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≤10cm	0.05	0.60	×	11.8	7.08
掘削積込工 (管断面控除)	1.22	0.60 × + 0.60 × - 0.022	1.22 × 0.20 × ×	11.8 0.50 × 3 8.6	8.63
残塊処分工(As)		7.08 ×	0.05		0.35
残塊処分工(土砂)		掘削積込工と同量			8.63
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	0.60	×	11.8	7.08
路盤工(粒調碎石)	0.10	0.60	×	11.8	7.08
埋戻工(再生碎石)	0.65	0.60 ×	0.65 ×	11.8	4.60
埋戻工(スクリーニングス) (管断面控除)	0.47	0.60 × + 0.60 × - 0.022	0.47 × 0.20 × ×	11.8 0.50 × 3 11.8	3.25

φ150配水管(土工13)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤	先行路盤
昼間施工	市道	車道As5cm	As5cm	粒調碎石 10cm	

新設管

管種	管外径	管断面積
DGX-S φ150	0.169	0.022

掘削断面

土工延長(L)	掘削幅(W)	(平均)土被り(d1)	既設舗装厚	会所掘数	掘削深(H)	矢板
30.0	0.60	0.90	0.05	2	1.17	矢板無

既設管

管種	撤去延長	管外径	管断面積
鑄鉄管 φ150	30.0	0.169	0.022

工種	施工厚	計算式				数量
		幅等	厚	延長	箇所等	
舗装版切断(As) t≤15cm	0.05			30.0 ×	2	60.00
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≤10cm	0.05	0.60	×	30.0		18.00
掘削積込工 (管断面控除)	1.12	0.60 × + 0.60 × - 0.022	1.12 × 0.20 × ×	30.0 0.50 × 30.0	2	19.62
残塊処分工(As)		18.00 ×	0.05			0.90
残塊処分工(土砂)		掘削積込工と同量				19.62
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	0.60	×	30.0		18.00
路盤工(粒調碎石)	0.10	0.60	×	30.0		18.00
埋戻工(再生碎石)	0.55	0.60 ×	0.55 ×	30.0		9.90
埋戻工(スクリーニングス) (管断面控除)	0.47	0.60 × + 0.60 × - 0.022	0.47 × 0.20 × ×	30.0 0.50 × 30.0	2	7.92

φ150配水管(土工14)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤	先行路盤
昼間施工	県道	車道As20cm	As5cm	再生碎石 25cm	

新設管

管種	管外径	管断面積
DGX-S φ150	0.169	0.022

掘削断面

土工延長(L)	掘削幅(W)	(平均)土被り(d1)	既設舗装厚	会所掘数	掘削深(H)	矢板
0.6	0.85	1.50	0.20	0	1.77	矢板有

工種	施工厚	計算式			数量
		幅等	厚	延長 箇所等	
舗装版切断(As) 15<t≤30cm	0.20			0.6 × 2	1.20
舗装版破碎(As) 15<t≤35cm	0.20	0.85		× 0.6	0.51
掘削積込工 (管断面控除)	1.57	0.85 ×	1.57 ×	0.6	0.80
残塊処分工(As)			0.51 ×	0.20	0.10
残塊処分工(土砂)		掘削積込工と同量			0.80
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	0.85		× 0.6	0.51
路盤工(再生碎石)	0.25	0.85		× 0.60	0.51
埋戻工(再生碎石)	1.00	0.85 ×	1.00 ×	0.6	0.51
埋戻工(スクリーニングス) (管断面控除)	0.47	0.85 ×	0.47 ×	0.6	0.23
		— 0.022		× 0.6	
軽量鋼矢板設置撤去工	H=2.0	0.6			0.60

φ150配水管(土工15)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤	先行路盤
昼間施工	県道	車道As20cm	As5cm	再生碎石 25cm	

新設管

管種	管外径	管断面積
DGX-S φ150	0.169	0.022

掘削断面

土工延長(L)	掘削幅(W)	(平均)土被り(d1)	既設舗装厚	会所掘数	掘削深(H)	矢板
1.3	0.85	2.20	0.20	1	2.37	矢板有

工種	施工厚	計算式				数量	
		幅等	厚	延長	箇所等		
舗装版切断(As) 15<t≤30cm	0.20			1.3 ×	2	2.60	
舗装版破碎(As) 15<t≤35cm	0.20	0.85		×	1.3	1.11	
掘削積込工 (管断面控除)	2.17	0.85 × +	0.85 ×	2.17 × 0.20 ×	1.3 0.50 ×	1	2.48
残塊処分工(As)				1.11 ×	0.20		0.22
残塊処分工(土砂)				掘削積込工と同量		2.48	
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	0.85		×	1.3	1.11	
路盤工(再生碎石)	0.25	0.85		×	1.30	1.11	
埋戻工(再生碎石)	1.60	0.85 ×		1.60 ×	1.3	1.77	
埋戻工(スクリーニングス) (管断面控除)	0.47	0.85 × +	0.85 × -	0.47 × 0.20 ×	1.3 0.50 ×	1	0.58
軽量鋼矢板設置撤去工	H=2.5			1.3		1.30	

φ150配水管(土工16)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤	先行路盤
昼間施工	県道	歩道As3cm	As5cm	再生碎石 10cm	フィルター層5cm

新設管

管種	管外径	管断面積
DGX-S φ150	0.169	0.022

掘削断面

土工延長(L)	掘削幅(W)	(平均)土被り(d1)	既設舗装厚	会所掘数	掘削深(H)	矢板
0.9	0.60	1.10	0.03	0	1.37	矢板無

工種	施工厚	計算式			数量
		幅等	厚	延長 箇所等	
舗装版切断(As) t≤15cm	0.03			0.9 × 2	1.80
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≤10cm	0.03	0.60		× 0.9	0.54
掘削積込工 (管断面控除)	1.34	0.60 ×	1.34 ×	0.9	0.72
残塊処分工(As)			0.54 ×	0.03	0.02
残塊処分工(土砂)		掘削積込工と同量			0.72
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	0.60		× 0.9	0.54
路盤工(再生碎石)	0.10	0.60		× 0.90	0.54
フィルター層(砂)	0.05	0.60		× 0.90	0.54
埋戻工(再生碎石)	0.70	0.60 ×	0.70 ×	0.9	0.38
埋戻工(スクリーニングス) (管断面控除)	0.47	— 0.022		× 0.9	0.23

φ150配水管(土工17)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤	先行路盤
昼間施工	県道	歩道As3cm	As5cm	再生碎石 10cm	フィルター層5cm

新設管

管種	管外径	管断面積
DGX-S φ150	0.169	0.022

掘削断面

土工延長(L)	掘削幅(W)	(平均)土被り(d1)	既設舗装厚	会所掘数	掘削深(H)	矢板
1.8	0.60	0.80	0.03	1	1.07	矢板無

既設管

管種	撤去延長	管外径	管断面積
鑄鉄管 φ150	0.8	0.169	0.022

工種	施工厚	計算式				数量
		幅等	厚	延長	箇所等	
舗装版切断(As) t≤15cm	0.03			1.8 × 2		3.60
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≤10cm	0.03	0.60	×	1.8		1.08
掘削積込工 (管断面控除)	1.04	0.60 × + 0.60 × - 0.022	1.04 × 0.20 × ×	1.8 0.50 × 0.8	1	1.17
残塊処分工(As)			1.08 ×	0.03		0.03
残塊処分工(土砂)			掘削積込工と同量			1.17
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	0.60	×	1.8		1.08
路盤工(再生碎石)	0.10	0.60	×	1.80		1.08
フィルター層(砂)	0.05	0.60	×	1.80		1.08
埋戻工(再生碎石)	0.40	0.60 ×	0.40 ×	1.8		0.43
埋戻工(スクリーニングス) (管断面控除)	0.47	0.60 × + 0.60 × - 0.022	0.47 × 0.20 × ×	1.8 0.50 × 1.8	1	0.53

φ150配水管(土工18)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤	先行路盤
昼間施工	市道	歩道ILB6cm	As5cm	粒調碎石 14cm	

新設管

管種	管外径	管断面積
DGX-S φ150	0.169	0.022

掘削断面

土工延長(L)	掘削幅(W)	(平均)土被り(d1)	既設舗装厚	会所掘数	掘削深(H)	矢板
1.6	0.60	0.80	0.06	2	1.07	矢板無

既設管

管種	撤去延長	管外径	管断面積
鑄鉄管 φ150	1.6	0.169	0.022

工種	施工厚	計算式				数量
		幅等	厚	延長	箇所等	
インターロッキング撤去工 t=60 (再利用)	0.06	0.60	×	1.6		0.96
掘削積込工 (管断面控除)	1.01	0.60 × + 0.60 × - 0.022	1.01 × 0.20 × ×	1.6 0.50 × 1.6	2	1.05
残塊処分工(土砂)		掘削積込工と同量				1.05
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	0.60	×	1.6		0.96
路盤工(粒調碎石)	0.14	0.60	×	1.6		0.96
埋戻工(再生碎石)	0.41	0.60 ×	0.41 ×	1.6		0.39
埋戻工(スクリーニングス) (管断面控除)	0.47	0.60 × + 0.60 × - 0.022	0.47 × 0.20 × ×	1.6 0.50 × 1.6	2	0.54

φ150割丁字管(土工19)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行仮路盤	先行路盤
昼間施工	市道	車道As10cm	As5cm	粒調碎石 15cm	

施工管種

分岐元管種	分岐口径	管外径	管断面積
鑄鉄管φ150	150	0.169	0.022

掘削断面

土工延長(L)	掘削幅(W)	管下掘削深	土被り(d1)	掘削深(H)	既設舗装厚	矢板
1.10	1.00	0.30	1.20	1.67	0.10	矢板有

工種	施工厚	計算式				数量	1箇所計
		幅等	厚	延長	箇所等		
舗装版切断(As) t≤15cm	0.10	1.00 ×	2 +	1.10 ×	2	4.20	4.20
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≤10cm	0.10	1.00	×	1.10		1.10	1.10
掘削積込工(補助の作業なし)	0.90	1.00 ×	0.90 ×	1.10		0.99	0.99
掘削(人力) (管断面控除)	0.67	1.00 × - 0.022	0.67 × ×	1.10 1.10		0.71	0.71
残塊処分工(As)		1.10 ×	0.10			0.11	0.11
残塊処分工(土砂)		0.99 +	0.71			1.70	1.70
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	1.00	×	1.10		1.10	1.10
路盤工(粒調碎石)	0.15	1.00	×	1.10		1.10	1.10
埋戻工(再生碎石)	0.80	1.00 ×	0.80 ×	1.10		0.88	0.88
埋戻工(スクリーニングス) (管断面控除)	0.67	1.00 × - 0.022	0.67 × ×	1.1 1.1		0.71	0.71
軽量鋼矢板設置撤去工	H=2.0		1.1			1.10	1.10

φ150不断水バルブ(土工20)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤	先行路盤
昼間施工	市道	車道As10cm	As5cm	粒調碎石 15cm	

施工管種

管種	管外径	管断面積
鑄鉄管φ150	0.169	0.022

掘削断面

土工延長(L)	掘削幅(W)	管下掘削深	土被り(d1)	掘削深(H)	既設舗装厚	矢板
1.30	1.20	0.20	1.20	1.57	0.10	矢板有

工種	施工厚	計算式			数量	1箇所計
		幅等	厚	延長 箇所等		
舗装版切断(As) t≤15cm	0.10	1.20 ×	2 +	1.30 × 2	5.00	5.00
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≤10cm	0.10	1.20	×	1.30	1.56	1.56
掘削積込工(補助的作業なし)	0.90	1.20 ×	0.90 ×	1.30	1.40	1.40
掘削(人力) (管断面控除)	0.57	1.20 × — 0.022	0.57 × ×	1.30 1.30	0.86	0.86
残塊処分工(As)		1.56 ×	0.10		0.16	0.16
残塊処分工(土砂)		1.40 +	0.86		2.26	2.26
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	1.20	×	1.30	1.56	1.56
路盤工(粒調碎石)	0.15	1.20	×	1.30	1.56	1.56
埋戻工(再生碎石)	0.80	1.20 ×	0.80 ×	1.30	1.25	1.25
埋戻工(スクリーニングス) (管断面控除)	0.57	1.20 × — 0.022	0.57 × ×	1.30 1.30	0.86	0.86
軽量鋼矢板設置撤去工	H=2.0	1.3 +	1.2		2.50	2.50

φ 200配水管(材料)

直管・切管使用状況(切管の詳細は切管調書)				当初		備考
				本数	延長	
切管使用本数				1	2.700	
乙切管①	DXG-G-S			1	1.700	
乙切管②	DXG-G-S			1	1.000	
名称・形質等			管長	当初		備考
				数量	延長	
DGX-S	直管関係	φ 200		1	2.700	
DGX	挿受片落管	φ 250 × φ 200	0.440	1	0.440	
DGX	曲管	φ 200 × 45°	0.522	1	0.522	
DGX	曲管	φ 200 × 22° 1/2	0.449	1	0.449	
DGX	継輪	φ 200	0.250	1	0.250	
DGX	両受短管	φ 200	0.020	1	0.020	
	不断水簡易バルブ付割丁字管	φ 200 × φ 200		1		Ⅱ型
GX形	ソフトシル仕切弁(受挿型)	φ 200	0.610	1	0.610	
	仕切弁室(明石V型)	H=1240		1		
	仕切弁室(明石V型)	H=1340		1		
GX形	G-Linkセット	φ 200		4		
GX形	接続部品	φ 200		4		
A形	既設管用耐震補強金具(3DkN以上)	φ 200		1		
DK	帽	φ 200		1		特殊押輪含む
	表示帯			5.0		
	ポリエチレンスリーブ	φ 200		5.0		
	管明示テープ(区間距離 × 1.83 / 20 =)			1		
管材料延長計					4.991	

φ 200配水管(手間)

名称・形質等	当初 数量	摘要
鋳鉄管吊込み据付工 φ 200	4.4 m	区間距離-仕切弁延長計
鋳鉄管切断工 φ 200	2 口	
不断水簡易バルブ付割丁字管設置工 φ 200 × φ 200	1 箇所	Ⅱ型
仕切弁設置工 φ 200	1 箇所	
仕切弁ボックス設置工 H=1240	1 箇所	
仕切弁ボックス設置工 H=1340	1 箇所	
GX継手工(異形管接合 G-Link使用) φ 200	4 口	
GX継手工(異形管接合) φ 200	4 口	
帽設置工 φ 200	1 口	
メカニカル継手工(特殊押輪) φ 200	1 口	
管明示シート工	5.0 m	
ポリエチレンスリーブ被覆工 φ 200	5.0 m	
管明示テープ工 φ 200	5.0 m	

φ 200配水管土工集計表

補強金具 不断水V

	全体	土工無	土工1	土工2	土工3	土工4
土被			1.5	1.5	1.5	1.5
延長 箇所等	5		2.5	2.5	1	1
会所掘 箇所	5		3	2		

工 種	合計 数量	採用 数量	単位	土工1	土工2	土工3	土工4
舗装版切断(As) t≤15cm	5.00	5	m		5.00		
舗装版切断(As) 15<t≤30cm	16.40	16	m	5.00		3.80	7.60
舗装版取壊し積込工(As+Co) t≤10cm	2.13	2	m2		2.13		
舗装版破碎(As) 15<t≤35cm	6.63	7	m2	2.13		0.90	3.60
掘削積込工	7.23	7	m3	3.55	3.68		
掘削積込工(補助的作業なし)	4.95	5	m3			0.99	3.96
掘削(人力)	2.95	3	m3			0.43	2.52
残塊処分工(As)	1.39	1	m3	0.43	0.06	0.18	0.72
残塊処分工(土砂)	15.13	15	m3	3.55	3.68	1.42	6.48
仮復旧工(密粒度(再)(13)) t=5cm	8.76	9	m2	2.13	2.13	0.90	3.60
路盤工(再生碎石) t=10cm	2.13	2	m2		2.13		
路盤工(再生碎石) t=25cm	6.63	7	m2	2.13		0.90	3.60
フィルター層(砂) t=5cm	2.13	2	m2		2.13		
埋戻工(再生碎石)	8.76	9	m3	2.13	2.13	0.90	3.60
埋戻工(スクリーニングス)	5.19	5	m3	1.14	1.10	0.43	2.52
軽量鋼矢板設置撤去工 H=2.0m	6.90	6.9	m	2.50	2.50	1.90	
軽量鋼矢板設置撤去工 H=2.5m	3.80	3.8	m				3.80

φ 200配水管(土工1)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤	先行路盤
昼間施工	県道	車道As20cm	As5cm	再生碎石 25cm	

新設管

管種	管外径	管断面積
DGX-S φ 200	0.220	0.038

掘削断面

土工延長(L)	掘削幅(W)	(平均)土被り(d1)	既設舗装厚	会所掘数	掘削深(H)	矢板
2.5	0.85	1.50	0.20	3	1.82	矢板有

既設管

管種	撤去延長	管外径	管断面積
鑄鉄管 φ 200	0.4	0.220	0.038

工種	施工厚	計算式			数量
		幅等	厚	延長 箇所等	
舗装版切断(As) 15<t≤30cm	0.20			2.5 × 2	5.00
舗装版破碎(As) 15<t≤35cm	0.20	0.85	×	2.5	2.13
掘削積込工 (管断面控除)	1.62	0.85 × + 0.85 × - 0.038	1.62 × 0.10 × ×	2.5 0.50 × 3 0.4	3.55
残塊処分工(As)		2.13 ×	0.20		0.43
残塊処分工(土砂)		掘削積込工と同量			3.55
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	0.85	×	2.5	2.13
路盤工(再生碎石)	0.25	0.85	×	2.50	2.13
埋戻工(再生碎石)	1.00	0.85 ×	1.00 ×	2.5	2.13
埋戻工(スクリーニングス) (管断面控除)	0.52	0.85 × + 0.85 × - 0.038	0.52 × 0.10 × ×	2.5 0.50 × 3 2.5	1.14
軽量鋼矢板設置撤去工	H=2.0	2.5			2.50

φ200配水管(土工2)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤	先行路盤
昼間施工	県道	歩道As3cm	As5cm	再生碎石 10cm	フィルター層5cm

新設管

管種	管外径	管断面積
DGX-S φ200	0.220	0.038

掘削断面

土工延長(L)	掘削幅(W)	(平均)土被り(d1)	既設舗装厚	会所掘数	掘削深(H)	矢板
2.5	0.85	1.50	0.03	2	1.72	矢板有

工種	施工厚	計算式				数量
		幅等	厚	延長	箇所等	
舗装版切断(As) t≤15cm	0.03			2.5 ×	2	5.00
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≤10cm	0.03	0.85		×	2.5	2.13
掘削積込工 (管断面控除)	1.69	0.85 × +	0.85 ×	1.69 × 0.10 ×	2.5 0.50 × 2	3.68
残塊処分工(As)				2.13 ×	0.03	0.06
残塊処分工(土砂)				掘削積込工と同量		3.68
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	0.85		×	2.5	2.13
路盤工(再生碎石)	0.10	0.85		×	2.50	2.13
フィルター層(砂)	0.05	0.85		×	2.50	2.13
埋戻工(再生碎石)	1.00	0.85 ×		1.00 ×	2.5	2.13
埋戻工(スクリーニングス) (管断面控除)	0.52	0.85 × +	0.85 ×	0.52 × 0.10 ×	2.5 0.50 × 2	1.10
		-	0.038	×	2.5	
軽量鋼矢板設置撤去工	H=2.0			2.5		2.50

φ200 耐震補強金具(土工3)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤	先行路盤
昼間施工	県道	車道As20cm	As5cm	再生碎石 25cm	

施工管種

管種	管外径	管断面積
鑄鉄管φ200	0.220	0.038

掘削断面

土工延長(L)	掘削幅(W)	管下掘削深	土被り(d1)	掘削深(H)	既設舗装厚	矢板
1.00	0.90	0.10	1.50	1.82	0.20	矢板有

工種	施工厚	計算式			数量	1箇所計
		幅等	厚	延長 箇所等		
舗装版切断(As) 15<t≤30cm	0.20	0.90 ×	2 +	1.00 × 2	3.80	3.80
舗装版破碎(As) 15<t≤35cm	0.20	0.90	×	1.00	0.90	0.90
掘削積込工(補助的作業なし)	1.10	0.90 ×	1.10 ×	1.00	0.99	0.99
掘削(人力) (管断面控除)	0.52	0.90 × — 0.038	0.52 × ×	1.00 1.00	0.43	0.43
残塊処分工(As)		0.90 ×	0.20		0.18	0.18
残塊処分工(土砂)		0.99 +	0.43		1.42	1.42
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	0.90	×	1.00	0.90	0.90
路盤工(再生碎石)	0.25	0.90	×	1.00	0.90	0.90
埋戻工(再生碎石)	1.00	0.90 ×	1.00 ×	1.00	0.90	0.90
埋戻工(スクリーニングス) (管断面控除)	0.52	0.90 × — 0.038	0.52 × ×	1.00 1.00	0.43	0.43
軽量鋼矢板設置撤去工	H=2.0	1.0 +	0.9		1.90	1.90

φ200不断水V付割丁字(土工4)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤	先行路盤
昼間施工	県道	車道As20cm	As5cm	再生碎石 25cm	

施工管種

管種	管外径	管断面積
鑄鉄管φ200	0.220	0.038

掘削断面

土工延長(L)	掘削幅(W)	管下掘削深	土被り(d1)	掘削深(H)	既設舗装厚	矢板
2.00	1.80	0.30	1.50	2.02	0.20	矢板有

工種	施工厚	計算式				数量	1箇所計
		幅等	厚	延長	箇所等		
舗装版切断(As) 15<t≤30cm	0.20	1.80 ×	2 +	2.00 ×	2	7.60	7.60
舗装版破碎(As) 15<t≤35cm	0.20	1.80	×	2.00		3.60	3.60
掘削積込工(補助的作業なし)	1.10	1.80 ×	1.10 ×	2.00		3.96	3.96
掘削(人力) (管断面控除)	0.72	1.80 × — 0.038	0.72 × ×	2.00 2.00		2.52	2.52
残塊処分工(As)		3.60 ×	0.20			0.72	0.72
残塊処分工(土砂)		3.96 +	2.52			6.48	6.48
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	1.80	×	2.00		3.60	3.60
路盤工(再生碎石)	0.25	1.80	×	2.00		3.60	3.60
埋戻工(再生碎石)	1.00	1.80 ×	1.00 ×	2.00		3.60	3.60
埋戻工(スクリーニングス) (管断面控除)	0.72	1.80 × — 0.038	0.72 × ×	2.00 2.00		2.52	2.52
軽量鋼矢板設置撤去工	H=2.5	2.0 +	1.8			3.80	3.80

φ 250配水管(材料)

直管・切管使用状況(切管の詳細は切管調書)			本数	延長	備考	
直管 (L= 5.0 m)			33	165.000		
切管使用本数			6	23.200		
甲切管	DGX-G-S		5	11.200		
	DGX-K-S		1	2.100		
乙切管①	DGX-G-S		6	7.300		
乙切管②	DGX-G-S		2	2.600		
名称・形質等			管長	当初		備考
				数量	延長	
DGX-S	直管関係	φ 250		39	188.200	
DGX	曲管	φ 250 × 45°	0.560	4	2.240	
DGX	曲管	φ 250 × 22° 1/2	0.459	2	0.918	
DGX	両受曲管	φ 250 × 45°	0.270	6	1.620	
DGX	乙字管	φ 250 × H300	1.055	1	1.055	
DGX	二受T字管	φ 250 × φ 150	0.560	2	1.120	
DGX	二受T字管	φ 250 × φ 250	0.660	2	1.320	
DGX	フランジ付T字管	φ 250 × φ 75	0.470	1	0.470	
DGX	継輪	φ 250	0.250	1	0.250	
DGX	両受短管	φ 250	0.020	1	0.020	
	不断水簡易バルブ付割T字管	φ 300 × φ 300		1		II 型
	フランジ蓋	φ 300		1		
GX形	ソトシール仕切弁(受挿型)	φ 250	0.680	5	3.400	
フランジ形	ソトシール仕切弁	φ 300	0.400	1	0.400	割丁箇所
	仕切弁室(明石V型)	H=640		2		
	仕切弁室(明石V型)	H=940		2		
	仕切弁室(明石V型)	H=1040		3		
	ケレップ式単口消火栓(浅埋形)	φ 75 × φ 65		1		
	フランジ短管	φ 75 × 150		1		
	フランジ短管	φ 75 × 250		1		
	補修弁(キャップ式)	φ 75 × 100		1		
	フランジ継手材(LSP形)	φ 75		4		
	消火栓室(明石IV型・丸型)(耐スリップ用・歩道)	H=1040		1		
GX形	G-Linkセット	φ 250		17		
GX形	接続部品	φ 250		21		
GX形	ライナ	φ 250		13		
DGX	栓(異形管用)	φ 250		1		
DK	受挿片落管	φ 300 × φ 250	0.670	1	0.670	
DK	挿受片落管	φ 300 × φ 250	0.670	1	0.670	
K形	特殊押輪(3DkN)	φ 250		1		
K形	特殊押輪(3DkN)	φ 300		2		
	表示帯			202.4		
	ポリエチレンスリーブ	φ 250		202.4		
	管明示テープ(区間距離 × 2.02 / 20 =)			21		
管材料延長計				202.353		

φ 250配水管(手間)

名称・形質等	当初 数量	摘要
鑄鉄管吊込み据付工 φ 250	198.6 m	区間距離-仕切弁延長計
鑄鉄管切断工 φ 250	14 口	
不断水簡易バルブ付割丁字管設置工 φ 300 × φ 300	1 箇所	Ⅱ型
フランジ継手工 φ 300	2 箇所	割丁字管箇所
仕切弁設置工 φ 250	5 箇所	
仕切弁設置工 φ 300	1 箇所	
仕切弁ボックス設置工 H=640	2 箇所	
仕切弁ボックス設置工 H=940	2 箇所	
仕切弁ボックス設置工 H=1040	3 箇所	
消火栓設置工	1 箇所	フランジ継手工 φ 75 1口含む
フランジ継手工 φ 75	3 口	消火栓箇所
消火栓ボックス設置工 H=1040	1 箇所	
GX継手工(直管接合) φ 250	39 口	
GX継手工(異形管接合 G-Link使用) φ 250	17 口	
GX継手工(異形管接合) φ 250	21 口	
メカニカル継手工(特殊押輪) φ 250	1 口	
メカニカル継手工(特殊押輪) φ 300	2 口	
管明示シート工	202.4 m	
ポリエチレンスリーブ被覆工 φ 250	202.4 m	
管明示テープ工 φ 250	202.4 m	

φ 250配水管土工集計表

	全体	土工無	土工1	土工2-1	土工2-2	土工3	土工4
土被			1.5	1.2	1.2	1.5	2.2
延長 箇所等	202.4		7.7	3.8	62.5	0.5	6.8
会所掘 箇所	20		3	1	1	1	2

工 種	合計 数量	採用 数量	単位	土工1	土工2-1	土工2-2	土工3	土工4
舗装版切断(As) t≤15cm	367.40	370	m	15.40	7.60	125.00		
舗装版切断(As) 15<t≤30cm	31.40	31	m				1.00	13.60
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≤10cm	156.54	160	m ²	6.55	3.23	53.13		
舗装版破碎(As) 15<t≤35cm	13.35	13	m ²				0.43	5.78
掘削積込工	277.57	280	m ³	11.00	4.82	90.54	0.69	12.99
掘削積込工(補助的作業なし)	3.49	3	m ³					
掘削(人力)	2.82	3	m ³					
残塊処分工(As)	8.09	8	m ³	0.20	0.10	1.59	0.09	1.16
残塊処分工(土砂)	283.88	280	m ³	11.00	4.82	90.54	0.69	12.99
仮復旧工(密粒度(再)(13)) t=5cm	169.89	170	m ²	6.55	3.23	53.13	0.43	5.78
路盤工(再生碎石) t=10cm	120.24	120	m ²	6.55	3.23	53.13		
路盤工(再生碎石) t=15cm	36.30	36	m ²					
路盤工(再生碎石) t=25cm	13.35	13	m ²				0.43	5.78
フィルター層(砂) t=5cm	156.54	157	m ²	6.55	3.23	53.13		
埋戻工(再生碎石)	168.31	170	m ³	6.55	2.58	55.78	0.40	9.54
埋戻工(スクリーニングス)	90.93	90	m ³	3.48	1.70	27.23	0.26	3.04
軽量鋼矢板設置撤去工 H=2.0m	3.80	3.8	m					
アルミ矢板設置撤去工 H=2.0m	179.90	179.9	m	7.70	3.80	62.50	0.50	
アルミ矢板設置撤去工 H=3.0m	15.70	15.7	m					6.80

φ 250配水管土工集計表

土工5	土工6	土工7	土工8	土工9	土工10	土工11	土工12	土工13
1.2	2.3	0.65	2.3	1.2	0.55	1.1	1.1	1.2
0.2	6.7	3.2	2.2	40.5	3.6	56.5	8.2	1
	4		2			6		

工 種	土工5	土工6	土工7	土工8	土工9	土工10	土工11	土工12	土工13
舗装版切断(As) t≤15cm		13.40	0.00	4.40	81.00	0.00	113.00		7.60
舗装版切断(As) 15<t≤30cm	0.40							16.40	
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≤10cm		5.70	0.00	1.87	34.43	0.00	48.03		3.60
舗装版破碎(As) 15<t≤35cm	0.17							6.97	
掘削積込工	0.26	14.43	1.78	4.73	57.96	1.76	68.01	8.60	
掘削積込工(補助的作業なし)									3.49
掘削(人力)									2.82
残塊処分工(As)	0.03	0.17	0.00	0.09	1.72	0.00	1.44	1.39	0.11
残塊処分工(土砂)	0.26	14.43	1.78	4.73	57.96	1.76	68.01	8.60	6.31
仮復旧工(密粒度(再)(13)) t=5cm	0.17	5.70	0.00	1.87	34.43	0.00	48.03	6.97	3.60
路盤工(再生碎石) t=10cm		5.70	0.00			0.00	48.03		3.60
路盤工(再生碎石) t=15cm				1.87	34.43				
路盤工(再生碎石) t=25cm	0.17							6.97	
フィルター層(砂) t=5cm		5.70	0.00	1.87	34.43	0.00	48.03		3.60
埋戻工(再生碎石)	0.16	10.54	0.83	3.37	34.43	0.70	36.02	4.53	2.88
埋戻工(スクリーニングス)	0.09	3.08	1.02	1.04	17.62	1.15	24.83	3.57	2.82
軽量鋼矢板設置撤去工 H=2.0m									3.80
アルミ矢板設置撤去工 H=2.0m	0.20				40.50		56.50	8.20	
アルミ矢板設置撤去工 H=3.0m		6.70		2.20					

φ250配水管(土工1)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤	先行路盤
昼間施工	県道	歩道As3cm	As5cm	再生碎石 10cm	フィルター層5cm

新設管

管種	管外径	管断面積
DGX-S φ250	0.272	0.058

掘削断面

土工延長(L)	掘削幅(W)	(平均)土被り(d1)	既設舗装厚	会所掘数	掘削深(H)	矢板
7.7	0.85	1.50	0.03	3	1.78	矢板有

既設管

管種	撤去延長	管外径	管断面積
鑄鉄管 φ300	7.1	0.323	0.082

工種	施工厚	計算式			数量
		幅等	厚	延長 箇所等	
舗装版切断(As) t≤15cm	0.03			7.7 × 2	15.40
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≤10cm	0.03	0.85	×	7.7	6.55
掘削積込工 (管断面控除)	1.75	0.85 × + 0.85 × - 0.082	1.75 × 0.10 × ×	7.7 0.50 × 3 7.1	11.00
残塊処分工(As)		6.55 ×	0.03		0.20
残塊処分工(土砂)		掘削積込工と同量			11.00
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	0.85	×	7.7	6.55
路盤工(再生碎石)	0.10	0.85	×	7.70	6.55
フィルター層(砂)	0.05	0.85	×	7.70	6.55
埋戻工(再生碎石)	1.00	0.85 ×	1.00 ×	7.7	6.55
埋戻工(スクリーニングス) (管断面控除)	0.58	0.85 × + 0.85 × - 0.058	0.58 × 0.10 × ×	7.7 0.50 × 3 7.7	3.48
アルミ矢板設置撤去工	H=2.0	7.7			7.70

φ250配水管(土工2-1)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤	先行路盤
昼間施工	県道	歩道As3cm	As5cm	再生碎石 10cm	フィルター層5cm

新設管

管種	管外径	管断面積
DGX-S φ250	0.272	0.058

掘削断面

土工延長(L)	掘削幅(W)	(平均)土被り(d1)	既設舗装厚	会所掘数	掘削深(H)	矢板
3.8	0.85	1.20	0.03	1	1.58	矢板有

既設 φ300 d=1.20

既設管

管種	撤去延長	管外径	管断面積
鑄鉄管 φ300	2.8	0.323	0.082

工種	施工厚	計算式				数量
		幅等	厚	延長	箇所等	
舗装版切断(As) t≤15cm	0.03			3.8 × 2		7.60
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≤10cm	0.03	0.85	×	3.8		3.23
掘削積込工 (管断面控除)	1.55	0.85 × + 0.85 × - 0.082	1.55 × 0.10 × ×	3.8 0.50 × 1 2.8		4.82
残塊処分工(As)		3.23 ×	0.03			0.10
残塊処分工(土砂)		掘削積込工と同量				4.82
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	0.85	×	3.8		3.23
路盤工(再生碎石)	0.10	0.85	×	3.80		3.23
フィルター層(砂)	0.05	0.85	×	3.80		3.23
埋戻工(再生碎石)	0.80	0.85 ×	0.80 ×	3.8		2.58
埋戻工(スクリーニングス) (管断面控除)	0.58	0.85 × + 0.85 × - 0.058	0.58 × 0.10 × ×	3.8 0.50 × 1 3.8		1.70
アルミ矢板設置撤去工	H=2.0	3.8				3.80

φ250配水管(土工2-2)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤	先行路盤
昼間施工	県道	歩道As3cm	As5cm	再生碎石 10cm	フィルター層5cm

新設管

管種	管外径	管断面積
DGX-S φ250	0.272	0.058

掘削断面

土工延長(L)	掘削幅(W)	(平均)土被り(d1)	既設舗装厚	会所掘数	掘削深(H)	矢板
62.5	0.85	1.20	0.03	1	1.83	矢板有

既設 φ300 d=1.50

既設管

管種	撤去延長	管外径	管断面積
鑄鉄管 φ300	62.5	0.323	0.082

工種	施工厚	計算式			数量
		幅等	厚	延長 箇所等	
舗装版切断(As) t≤15cm	0.03			62.5 × 2	125.00
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≤10cm	0.03	0.85	×	62.5	53.13
掘削積込工 (管断面控除)	1.80	0.85 × + 0.85 × - 0.082	1.80 × 0.10 × ×	62.5 0.50 × 1 62.5	90.54
残塊処分工(As)			53.13 ×	0.03	1.59
残塊処分工(土砂)			掘削積込工と同量		90.54
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	0.85	×	62.5	53.13
路盤工(再生碎石)	0.10	0.85	×	62.50	53.13
フィルター層(砂)	0.05	0.85	×	62.50	53.13
埋戻工(再生碎石)	1.05	0.85 ×	1.05 ×	62.5	55.78
埋戻工(スクリーニングス) (管断面控除)	0.58	0.85 × + 0.85 × - 0.058	0.58 × 0.10 × ×	62.5 0.50 × 1 62.5	27.23
アルミ矢板設置撤去工	H=2.0			62.5	62.50

φ250配水管(土工3)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤	先行路盤
昼間施工	県道	車道As20cm	As5cm	再生碎石 25cm	

新設管

管種	管外径	管断面積
DGX-S φ250	0.272	0.058

掘削断面

土工延長(L)	掘削幅(W)	(平均)土被り(d1)	既設舗装厚	会所掘数	掘削深(H)	矢板
0.5	0.85	1.50	0.20	1	1.83	矢板有

既設 φ300 d=1.50

既設管

管種	撤去延長	管外径	管断面積
鑄鉄管 φ300	0.5	0.323	0.082

工種	施工厚	計算式				数量
		幅等	厚	延長	箇所等	
舗装版切断(As) 15<t≤30cm	0.20			0.5 × 2		1.00
舗装版破碎(As) 15<t≤35cm	0.20	0.85	×	0.5		0.43
掘削積込工 (管断面控除)	1.63	0.85 × + 0.85 × - 0.082	1.63 × 0.10 × ×	0.5 0.50 × 0.5	1	0.69
残塊処分工(As)		0.43 ×	0.20			0.09
残塊処分工(土砂)		掘削積込工と同量				0.69
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	0.85	×	0.5		0.43
路盤工(再生碎石)	0.25	0.85	×	0.50		0.43
埋戻工(再生碎石)	0.95	0.85 ×	0.95 ×	0.5		0.40
埋戻工(スクリーニングス) (管断面控除)	0.58	0.85 × + 0.85 × - 0.058	0.58 × 0.10 × ×	0.5 0.50 × 0.5	1	0.26
アルミ矢板設置撤去工	H=2.0	0.5				0.50

φ250配水管(土工4)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤	先行路盤
昼間施工	県道	車道As20cm	As5cm	再生碎石 25cm	

新設管

管種	管外径	管断面積
DGX-S φ250	0.272	0.058

掘削断面

土工延長(L)	掘削幅(W)	(平均)土被り(d1)	既設舗装厚	会所掘数	掘削深(H)	矢板
6.8	0.85	2.20	0.20	2	2.53	矢板有

既設 φ300 d=2.20

既設管

管種	撤去延長	管外径	管断面積
鑄鉄管 φ300	6.8	0.323	0.082

工種	施工厚	計算式				数量
		幅等	厚	延長	箇所等	
舗装版切断(As) 15<t≤30cm	0.20			6.8 ×	2	13.60
舗装版破碎(As) 15<t≤35cm	0.20	0.85		×	6.8	5.78
掘削積込工 (管断面控除)	2.33	0.85 ×	2.33 ×	6.8		12.99
		+ 0.85 ×	0.10 ×	0.50 ×	2	
		- 0.082	×	6.8		
残塊処分工(As)		5.78 ×	0.20			1.16
残塊処分工(土砂)		掘削積込工と同量				12.99
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	0.85		×	6.8	5.78
路盤工(再生碎石)	0.25	0.85		×	6.80	5.78
埋戻工(再生碎石)	1.65	0.85 ×	1.65 ×	6.8		9.54
埋戻工(スクリーニングス) (管断面控除)	0.58	0.85 ×	0.58 ×	6.8		3.04
		+ 0.85 ×	0.10 ×	0.50 ×	2	
		- 0.058	×	6.8		
アルミ矢板設置撤去工	H=3.0	6.8				6.80

φ250配水管(土工5)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤	先行路盤
昼間施工	県道	車道As20cm	As5cm	再生碎石 25cm	

新設管

管種	管外径	管断面積
DGX-S φ250	0.272	0.058

掘削断面

土工延長(L)	掘削幅(W)	(平均)土被り(d1)	既設舗装厚	会所掘数	掘削深(H)	矢板
0.2	0.85	1.20	0.20	0	1.83	矢板有

既設 φ300 d=1.50

既設管

管種	撤去延長	管外径	管断面積
鑄鉄管 φ300	0.2	0.323	0.082

工種	施工厚	計算式			数量
		幅等	厚	延長 箇所等	
舗装版切断(As) 15<t≤30cm	0.20			0.2 × 2	0.40
舗装版破碎(As) 15<t≤35cm	0.20	0.85	×	0.2	0.17
掘削積込工 (管断面控除)	1.63	0.85 × — 0.082	1.63 × ×	0.2 0.2	0.26
残塊処分工(As)		0.17 ×	0.20		0.03
残塊処分工(土砂)		掘削積込工と同量			0.26
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	0.85	×	0.2	0.17
路盤工(再生碎石)	0.25	0.85	×	0.20	0.17
埋戻工(再生碎石)	0.95	0.85 ×	0.95 ×	0.2	0.16
埋戻工(スクリーニングス) (管断面控除)	0.58	0.85 × — 0.058	0.58 × ×	0.2 0.2	0.09
アルミ矢板設置撤去工	H=2.0	0.2			0.20

φ250配水管(土工6)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤	先行路盤
昼間施工	県道	歩道As3cm	As5cm	再生碎石 10cm	フィルター層5cm

新設管

管種	管外径	管断面積
DGX-S φ250	0.272	0.058

掘削断面

土工延長(L)	掘削幅(W)	(平均)土被り(d1)	既設舗装厚	会所掘数	掘削深(H)	矢板
6.7	0.85	2.30	0.03	4	2.63	矢板有

既設 φ300 d=2.30

既設管

管種	撤去延長	管外径	管断面積
鑄鉄管 φ300	6.7	0.323	0.082

工種	施工厚	計算式				数量
		幅等	厚	延長	箇所等	
舗装版切断(As) t≤15cm	0.03			6.7 × 2		13.40
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≤10cm	0.03	0.85	×	6.7		5.70
掘削積込工 (管断面控除)	2.60	0.85 × + 0.85 × - 0.082	2.60 × 0.10 × ×	6.7 0.50 × 4 6.7		14.43
残塊処分工(As)			5.70 ×	0.03		0.17
残塊処分工(土砂)			掘削積込工と同量			14.43
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	0.85	×	6.7		5.70
路盤工(再生碎石)	0.10	0.85	×	6.70		5.70
フィルター層(砂)	0.05	0.85	×	6.70		5.70
埋戻工(再生碎石)	1.85	0.85 ×	1.85 ×	6.7		10.54
埋戻工(スクリーニングス) (管断面控除)	0.58	0.85 × + 0.85 × - 0.058	0.58 × 0.10 × ×	6.7 0.50 × 4 6.7		3.08
アルミ矢板設置撤去工	H=3.0			6.7		6.70

φ250配水管(土工7)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤	先行路盤
昼間施工	県道	歩道As3cm	As5cm	再生碎石 10cm	フィルター層5cm

新設管

管種	管外径	管断面積
DGX-S φ250	0.272	0.058

掘削断面

土工延長(L)	掘削幅(W)	(平均)土被り(d1)	既設舗装厚	会所掘数	掘削深(H)	矢板
3.2	0.65	0.65	0.03	0	0.98	矢板無

水路下

既設管

管種	撤去延長	管外径	管断面積
鑄鉄管 φ300	3.2	0.323	0.082

工種	施工厚	計算式			数量
		幅等	厚	延長 箇所等	
掘削積込工 (管断面控除)	0.98	0.65 × — 0.082	0.98 × ×	3.2 3.2	1.78
残塊処分工(土砂)		掘削積込工と同量			1.78
埋戻工(再生碎石)	0.40	0.65 ×	0.40 ×	3.2	0.83
埋戻工(スクリーニングス) (管断面控除)	0.58	0.65 × — 0.058	0.58 × ×	3.2 3.2	1.02

φ250配水管(土工8)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤	先行路盤
昼間施工	県道	歩道As5cm	As5cm	再生碎石 15cm	フィルター層5cm

新設管

管種	管外径	管断面積
DGX-S φ250	0.272	0.058

掘削断面

土工延長(L)	掘削幅(W)	(平均)土被り(d1)	既設舗装厚	会所掘数	掘削深(H)	矢板
2.2	0.85	2.30	0.05	2	2.63	矢板有

既設 φ300 d=2.30

既設管

管種	撤去延長	管外径	管断面積
鑄鉄管 φ300	2.2	0.323	0.082

工種	施工厚	計算式				数量
		幅等	厚	延長	箇所等	
舗装版切断(As) t≤15cm	0.05			2.2 ×	2	4.40
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≤10cm	0.05	0.85	×	2.2		1.87
掘削積込工 (管断面控除)	2.58	0.85 × + 0.85 × - 0.082	2.58 × 0.10 × ×	2.2 0.50 × 2.2	2	4.73
残塊処分工(As)		1.87 ×	0.05			0.09
残塊処分工(土砂)		掘削積込工と同量				4.73
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	0.85	×	2.2		1.87
路盤工(再生碎石)	0.15	0.85	×	2.20		1.87
フィルター層(砂)	0.05	0.85	×	2.20		1.87
埋戻工(再生碎石)	1.80	0.85 ×	1.80 ×	2.2		3.37
埋戻工(スクリーニングス) (管断面控除)	0.58	0.85 × + 0.85 × - 0.058	0.58 × 0.10 × ×	2.2 0.50 × 2.2	2	1.04
アルミ矢板設置撤去工	H=3.0	2.2				2.20

φ250配水管(土工9)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤	先行路盤
昼間施工	県道	歩道As5cm	As5cm	再生碎石 15cm	フィルター層5cm

新設管

管種	管外径	管断面積
DGX-S φ250	0.272	0.058

掘削断面

土工延長(L)	掘削幅(W)	(平均)土被り(d1)	既設舗装厚	会所掘数	掘削深(H)	矢板
40.5	0.85	1.20	0.05	0	1.83	矢板有

既設 φ300 d=1.50

既設管

管種	撤去延長	管外径	管断面積
鑄鉄管 φ300	40.5	0.323	0.082

工種	施工厚	計算式			数量
		幅等	厚	延長 箇所等	
舗装版切断(As) t≤15cm	0.05			40.5 × 2	81.00
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≤10cm	0.05	0.85	×	40.5	34.43
掘削積込工 (管断面控除)	1.78	0.85 ×	1.78 ×	40.5	57.96
		— 0.082	×	40.5	
残塊処分工(As)		34.43 ×	0.05		1.72
残塊処分工(土砂)		掘削積込工と同量			57.96
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	0.85	×	40.5	34.43
路盤工(再生碎石)	0.15	0.85	×	40.50	34.43
フィルター層(砂)	0.05	0.85	×	40.50	34.43
埋戻工(再生碎石)	1.00	0.85 ×	1.00 ×	40.5	34.43
埋戻工(スクリーニングス) (管断面控除)	0.58	0.85 ×	0.58 ×	40.5	17.62
		— 0.058	×	40.5	
アルミ矢板設置撤去工	H=2.0	40.5			40.50

φ250配水管(土工10)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤	先行路盤
昼間施工	県道	歩道As3cm	As5cm	再生碎石 10cm	フィルター層5cm

新設管

管種	管外径	管断面積
DGX-S φ250	0.272	0.058

掘削断面

土工延長(L)	掘削幅(W)	(平均)土被り(d1)	既設舗装厚	会所掘数	掘削深(H)	矢板
3.6	0.65	0.55	0.03	0	0.88	矢板無

水路下

既設管

管種	撤去延長	管外径	管断面積
鑄鉄管 φ300	3.6	0.323	0.082

工種	施工厚	計算式			数量
		幅等	厚	延長 箇所等	
掘削積込工 (管断面控除)	0.88	0.65 ×	0.88 ×	3.6	1.76
		— 0.082	×	3.6	
残塊処分工(土砂)		掘削積込工と同量			1.76
埋戻工(再生碎石)	0.30	0.65 ×	0.30 ×	3.6	0.70
埋戻工(スクリーニングス) (管断面控除)	0.58	0.65 ×	0.58 ×	3.6	1.15
		— 0.058	×	3.6	

φ250配水管(土工11)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤	先行路盤
昼間施工	県道	歩道As3cm	As5cm	再生碎石 10cm	フィルター層5cm

新設管

管種	管外径	管断面積
DGX-S φ250	0.272	0.058

掘削断面

土工延長(L)	掘削幅(W)	(平均)土被り(d1)	既設舗装厚	会所掘数	掘削深(H)	矢板
56.5	0.85	1.10	0.03	6	1.53	矢板有

既設 φ300 d=1.20

既設管

管種	撤去延長	管外径	管断面積
鑄鉄管 φ300	52.2	0.323	0.082

工種	施工厚	計算式			数量
		幅等	厚	延長 箇所等	
舗装版切断(As) t≤15cm	0.03			56.5 × 2	113.00
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≤10cm	0.03	0.85		× 56.5	48.03
掘削積込工 (管断面控除)	1.50	0.85 × + 0.85 × - 0.082	1.50 × 0.10 × ×	56.5 0.50 × 6 52.2	68.01
残塊処分工(As)			48.03 × 0.03		1.44
残塊処分工(土砂)			掘削積込工と同量		68.01
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	0.85		× 56.5	48.03
路盤工(再生碎石)	0.10	0.85		× 56.50	48.03
フィルター層(砂)	0.05	0.85		× 56.50	48.03
埋戻工(再生碎石)	0.75	0.85 ×	0.75 ×	56.5	36.02
埋戻工(スクリーニングス) (管断面控除)	0.58	0.85 × + 0.85 × - 0.058	0.58 × 0.10 × ×	56.5 0.50 × 6 56.5	24.83
アルミ矢板設置撤去工	H=2.0			56.5	56.50

φ250配水管(土工12)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤	先行路盤
昼間施工	県道	車道As20cm	As5cm	再生碎石 25cm	

新設管

管種	管外径	管断面積
DGX-S φ250	0.272	0.058

掘削断面

土工延長(L)	掘削幅(W)	(平均)土被り(d1)	既設舗装厚	会所掘数	掘削深(H)	矢板
8.2	0.85	1.10	0.20	0	1.53	矢板有

既設 φ300 d=1.20

既設管

管種	撤去延長	管外径	管断面積
鑄鉄管 φ300	8.2	0.323	0.082

工種	施工厚	計算式			数量
		幅等	厚	延長 箇所等	
舗装版切断(As) 15<t≤30cm	0.20			8.2 × 2	16.40
舗装版破碎(As) 15<t≤35cm	0.20	0.85	×	8.2	6.97
掘削積込工 (管断面控除)	1.33	0.85 ×	1.33 ×	8.2	8.60
		— 0.082	×	8.2	
残塊処分工(As)		6.97 ×	0.20		1.39
残塊処分工(土砂)		掘削積込工と同量			8.60
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	0.85	×	8.2	6.97
路盤工(再生碎石)	0.25	0.85	×	8.20	6.97
埋戻工(再生碎石)	0.65	0.85 ×	0.65 ×	8.2	4.53
埋戻工(スクリーニングス) (管断面控除)	0.58	0.85 ×	0.58 ×	8.2	3.57
		— 0.058	×	8.2	
アルミ矢板設置撤去工	H=2.0	8.2			8.20

φ 300不断水V付割丁字(土工13)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤	先行路盤
昼間施工	県道	歩道As3cm	As5cm	再生碎石 10cm	フィルター層5cm

施工管種

管種	管外径	管断面積
鑄鉄管φ300	0.323	0.082

掘削断面

土工延長(L)	掘削幅(W)	管下掘削深	土被り(d1)	掘削深(H)	既設舗装厚	矢板
2.00	1.80	0.30	1.20	1.83	0.03	矢板有

工種	施工厚	計算式			数量	1箇所計
		幅等	厚	延長 箇所等		
舗装版切断(As) t≤15cm	0.03	1.80 ×	2 +	2.00 × 2	7.60	7.60
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≤10cm	0.03	1.80	×	2.00	3.60	3.60
掘削積込工(補助的作業なし)	0.97	1.80 ×	0.97 ×	2.00	3.49	3.49
掘削(人力) (管断面控除)	0.83	1.80 × — 0.082	0.83 × ×	2.00 2.00	2.82	2.82
残塊処分工(As)		3.60 ×	0.03		0.11	0.11
残塊処分工(土砂)		3.49 +	2.82		6.31	6.31
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	1.80	×	2.00	3.60	3.60
路盤工(再生碎石)	0.10	1.80	×	2.00	3.60	3.60
フィルター層(砂)	0.05	1.80	×	2.00	3.60	3.60
埋戻工(再生碎石)	0.80	1.80 ×	0.80 ×	2.00	2.88	2.88
埋戻工(スクリーニングス) (管断面控除)	0.83	1.80 × — 0.082	0.83 × ×	2.00 2.00	2.82	2.82
軽量鋼矢板設置撤去工	H=2.0	2.0 +	1.8		3.80	3.80

仮配水管数量計算書(材料・手間)1

仮配水管総延長及び使用個数

口径別	総延長 (土工延長) (m)	仮バルブ (個)	仮消火栓 (個)	仮給水管取出(箇所)					仮マルチジョイント(個)
				20	25	30	40	50	
全口径	531.4	25	11	20	4	2	2	2	
50	30.0	4	2						
100	294.3	12	5	19	3	1	2	2	
150	4.9	1	0						
250	202.2	8	4	1	1	1			
既設鑄鉄管等より仮給水取出									

口径別材料(賃料)及び設置撤去手間

種類	口径	材料			手間	
					設置	撤去
仮配管材	φ 50	27.9			27.9	27.9
仮バルブ	φ 50	0.210	4	0.840	4	4
仮消火栓	φ 50	0.612	2	1.224	2	2
仮配管材	φ 100	285.5			285.5	285.5
仮バルブ	φ 100	0.269	12	3.228	12	12
仮消火栓	φ 100	0.226	5	1.130	5	5
仮給水管取出し	φ 100 × 20、25	0.150	22	3.300	22	22
	φ 100 × 30、40、50	0.226	5	1.130	5	5
仮配管材	φ 150	4.6			4.6	4.6
仮バルブ	φ 150	0.269	1	0.269	1	1
仮配管材	φ 250	194.1			194.1	194.1
仮バルブ	φ 250	0.593	8	4.744	8	8
仮消火栓	φ 250	0.545	4	2.180	4	4
仮給水管取出し	φ 250 × 20、25	0.303	2	0.606	2	2
	φ 250 × 30、40、50	0.545	1	0.545	1	1

仮給水管(材料・手間)
仮給水管切替材料

箇所数計	30
------	----

口径	箇所数	手間		備考
		設置	撤去	
20	20	20	20	
25	4	4	4	
30	2	2	2	
40	2	2	2	
50	2	2	2	

HIVP管(損料)

延長計 (m)	79.1
------------	------

口径	延長	採用 数量	手間	
			設置	撤去
20	42.40	42.4	42.4	42.4
25	9.10	9.1	9.1	9.1
30	9.10	9.1	9.1	9.1
40	10.20	10.2	10.2	10.2
50	8.30	8.3	8.3	8.3

仮給水管個別集計表

箇所数	仮給水管 水平延長	土工延長
30	79.1	79.1

家屋 番号	仮給水元 管種	当初					
		口径		仮給水管 水平延長 (m)	土工 延長 (m)	道路種別	備考
		仮給 水元	仮給 水管				
1	仮配水管	100	20	1.5	1.5	歩道As	
2	仮配水管	100	20	1.5	1.5	歩道As	
3	仮配水管	100	20	1.5	1.5	車道As2層部	
4	仮配水管	100	25	1.4	1.4	車道As2層部	
5	仮配水管	100	20	3.9	3.9	車道As1層部	
6	仮配水管	100	20	3.9	3.9	車道As1層部	
7	仮配水管	100	20	3.9	3.9	車道As1層部	
8	仮配水管	100	20	0.8	0.8	車道As1層部	
9	仮配水管	100	20	3.9	3.9	車道As1層部	
10	仮配水管	100	20	0.8	0.8	車道As1層部	
11	仮配水管	100	25	0.7	0.7	車道As1層部	
12	仮配水管	100	40	3.5	3.5	車道As1層部	
13	仮配水管	100	20	0.7	0.7	車道As1層部	
14	仮配水管	100	20	3.5	3.5	車道As1層部	
15	仮配水管	100	20	3.5	3.5	車道As1層部	
16	仮配水管	100	20	0.8	0.8	車道As1層部	
17	仮配水管	100	20	0.8	0.8	車道As1層部	
18	仮配水管	100	20	3.5	3.5	車道As1層部	
19	仮配水管	100	30	3.6	3.6	車道As1層部	
20	仮配水管	100	50	3.5	3.5	車道As1層部	
21	仮配水管	100	20	0.5	0.5	車道As1層部	
22	仮配水管	100	20	0.5	0.5	車道As1層部	
23	仮配水管	100	50	4.8	4.8	車道As1層部	
24	仮配水管	100	40	6.7	6.7	車道As1層部	
25	仮配水管	100	20	0.5	0.5	車道As1層部	
26	仮配水管	100	25	1.0	1.0	車道As1層部	
27	仮配水管	100	20	1.0	1.0	車道As1層部	
28	仮配水管	250	20	5.4	5.4	県歩道As5cm	止水敷地内
29	仮配水管	250	30	5.5	5.5	県歩道As5cm	止水敷地内
30	仮配水管	250	25	6.0	6.0	県歩道As5cm	止水敷地内

仮配水管土工種別表

分岐元 口径	延長 (m)	車道As2層 As10cm	車道As1層 As5cm	歩道As As5cm	県車道As3層 As20cm	県歩道As 一般部As3cm	県歩道As 乗入れ部As5cm	歩道ILB 一般部6cm	露出
合計	531.4	58.7	214.9	28.7	27.4	135.7	42.1	18.4	5.5
50	30.0	土工2	土工5						
		17.8	12.2						
100	294.3	土工1	土工4	土工3	土工6	土工11		土工12	
		40.9	202.7	28.7	2.2	1.4		18.4	
150	4.9				土工8				
					4.9				
250	202.2				土工7	土工9	土工10		
					20.3	134.3	42.1		5.5

仮給水管土工種別表

合計		土工1 市道As10cm		土工2 車道As5cm		土工3 市道歩道As		土工4 県道歩道As5cm乗入れ部	
箇所	延長	箇所	延長	箇所	延長	箇所	延長	箇所	延長
30	79.1	2	2.9	23	56.3	2	3.0	3	16.9

仮配水管・仮給水管土工集計表

工 種	合計 数量	採用 数量	単位	小計			
				設置(1)	設置(2)	撤去(1)	撤去(2)
舗装版切断(As) t≤15cm	1118.40	1120	m	957.40	161.00		
舗装版切断(As) 15<t≤30cm	87.00	87	m	54.80	32.20		
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≤10cm	521.92	522	m2	217.95	32.20	232.21	39.56
舗装版破碎(As) 15<t≤35cm	14.26	14	m2	14.26			
インターロッキング撤去工(再利用目的)	7.36	7	m2		7.36		
掘削積込工	139.89	140	m3	129.16	10.73		
掘削積込工(補助的作業なし)	77.46	77	m3			68.20	9.26
掘削(人力)	52.20	52	m3			50.78	1.42
残塊処分工(As)	28.70	29	m3	13.44	1.67	11.60	1.99
残塊処分工(土砂)	153.69	150	m3	129.16	10.73	9.62	4.18
仮復旧工(密粒度(再)(13)) t=5cm	543.54	544	m3	232.21	39.56	232.21	39.56
路盤工(粒調碎石) t=10cm	121.16	121	m2			97.44	23.72
路盤工(粒調碎石) t=14cm	7.36	7	m2				7.36
路盤工(粒調碎石) t=15cm	24.64	25	m2			23.48	1.16
路盤工(再生碎石) t=10cm	74.43	74	m2			73.87	0.56
路盤工(再生碎石) t=15cm	29.92	30	m2			23.16	6.76
路盤工(再生碎石) t=25cm	21.58	22	m2			14.26	7.32
フィルター層(砂)	104.35	104	m2			97.03	7.32
埋戻工(再生碎石)	39.48	40	m3	34.96	4.52		
埋戻工(流用土)	104.28	100	m3			98.43	5.85
埋戻工(スクリーニングス)	56.94	57	m3	50.78	6.16		

工 種	設置(1)										
	小計	仮配水管									
		土工1	土工2	土工3	土工4	土工5	土工6	土工7	土工8	土工9	土工10
舗装版切断(As) $t \leq 15\text{cm}$	957.40	81.80	35.60	57.40	405.40	24.40				268.60	84.20
舗装版切断(As) $15 < t \leq 30\text{cm}$	54.80						4.40	40.60	9.80		
舗装版取壊し積込工(As・Co) $t \leq 10\text{cm}$	217.95	16.36	7.12	11.48	81.08	4.88				73.87	23.16
舗装版破碎(As) $15 < t \leq 35\text{cm}$	14.26						0.88	11.17	2.21		
掘削積込工	129.16	4.91	2.14	4.02	28.38	1.71	0.44	7.26	1.21	60.57	18.52
残塊処分工(As)	13.44	1.64	0.71	0.57	4.05	0.24	0.18	2.23	0.44	2.22	1.16
残塊処分工(土砂)	129.16	4.91	2.14	4.02	28.38	1.71	0.44	7.26	1.21	60.57	18.52
仮復旧工(密粒度(再)(13)) $t=5\text{cm}$	232.21	16.36	7.12	11.48	81.08	4.88	0.88	11.17	2.21	73.87	23.16
埋戻工(再生碎石)	34.96	2.45	1.07	1.72	12.16	0.73	0.40	5.02	0.99		10.42
埋戻工(スクリーニングス)	50.78	2.94	1.39	2.07	14.59	0.95	0.16	2.91	0.46	19.27	6.04

工 種	設置(2)									
	小計	仮配水管				仮給水管				
		土工11	土工12			土工1	土工2	土工3	土工4	
舗装版切断(As) $t \leq 15\text{cm}$	161.00	2.80				5.80	112.60	6.00	33.80	
舗装版取壊し積込工(As・Co) $t \leq 10\text{cm}$	32.20	0.56				1.16	22.52	1.20	6.76	
インターロッキング撤去工(再利用目的)	7.36		7.36							
掘削積込工	10.73	0.38	2.50			0.23	5.63	0.30	1.69	
残塊処分工(As)	1.67	0.02	0.00			0.12	1.13	0.06	0.34	
残塊処分工(土砂)	10.73	0.38	2.50			0.23	5.63	0.30	1.69	
仮復旧工(密粒度(再)(13)) $t=5\text{cm}$	39.56	0.56	7.36			1.16	22.52	1.20	6.76	
埋戻工(再生碎石)	4.52	0.25	1.10			0.12	2.25	0.12	0.68	
埋戻工(スクリーニングス)	6.16	0.10	1.32			0.17	3.38	0.18	1.01	

工種	撤去(1)										
	小計	仮配水管									
		土工1	土工2	土工3	土工4	土工5	土工6	土工7	土工8	土工9	土工10
舗装版取壊し積込工 t≤10cm	232.21	16.36	7.12	11.48	81.08	4.88	0.88	11.17	2.21	73.87	23.16
掘削積込工(補助的作業なし)	68.20	2.45	1.07	1.72	12.16	0.73	0.40	5.02	0.99	33.24	10.42
掘削(人力)	50.78	2.94	1.39	2.07	14.59	0.95	0.16	2.91	0.46	19.27	6.04
残塊処分工(As)	11.60	0.82	0.36	0.57	4.05	0.24	0.04	0.56	0.11	3.69	1.16
残塊処分工(土砂)	9.62	1.76	0.88	0.60	4.23	0.32	0.17	1.11	0.35	-0.83	1.03
仮復旧工(密粒度(再)(13)) t=5cm	232.21	16.36	7.12	11.48	81.08	4.88	0.88	11.17	2.21	73.87	23.16
路盤工(粒調碎石) t=10cm	97.44			11.48	81.08	4.88					
路盤工(粒調碎石) t=15cm	23.48	16.36	7.12								
路盤工(再生碎石) t=10cm	73.87									73.87	
路盤工(再生碎石) t=15cm	23.16										23.16
路盤工(再生碎石) t=25cm	14.26						0.88	11.17	2.21		
フィルター層(砂)	97.03									73.87	23.16
埋戻工(流用土)	98.43	3.27	1.42	2.87	20.27	1.22	0.35	6.14	0.99	48.01	13.89

工種	撤去(2)									
	小計	仮配水管				仮給水管				
		土工11	土工12			土工1	土工2	土工3	土工4	
舗装版取壊し積込工 t≤10cm	39.56	0.56	7.36			1.16	22.52	1.20	6.76	
掘削積込工(補助的作業なし)	9.26	0.25	1.10			0.29	5.63	0.30	1.69	
掘削(人力)	1.42	0.10	1.32							
残塊処分工(As)	1.99	0.03	0.37			0.06	1.13	0.06	0.34	
残塊処分工(土砂)	4.18	0.04	0.70			0.16	1.87	0.10	1.31	
仮復旧工(密粒度(再)(13)) t=5cm	39.56	0.56	7.36			1.16	22.52	1.20	6.76	
路盤工(粒調碎石) t=10cm	23.72						22.52	1.20		
路盤工(粒調碎石) t=14cm	7.36		7.36							
路盤工(粒調碎石) t=15cm	1.16					1.16				
路盤工(再生碎石) t=10cm	0.56	0.56								
路盤工(再生碎石) t=15cm	6.76								6.76	
フィルター層(砂)	7.32	0.56	0.00						6.76	
埋戻工(流用土)	5.85	0.28	1.55			0.12	3.38	0.18	0.34	

仮配水管(土工1)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤	先行路盤
昼間施工	市道	車道As10cm	As5cm	粒調碎石	15cm

掘削断面

口径	管断面積	土工延長(L)	掘削幅(W)	掘削深(H)	既設舗装厚	スクリーニングス厚	矢板
φ100	0.008	40.9	0.40	0.40	0.10	0.20	矢板無

布設時

工種	施工厚	計算式				数量
		幅等	厚	延長	箇所等	
舗装版切断(As) t≤15cm	0.10			40.9 × 2		81.80
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≤10cm	0.10	0.40		× 40.9		16.36
掘削積込工	0.30	0.40 ×	0.30 ×	40.9		4.91
残塊処分工(As)		16.36 ×	0.10			1.64
残塊処分工(土砂)		掘削積込工と同量				4.91
仮復旧工(密粒度(再))(13)	0.05	0.40		× 40.9		16.36
埋戻工(再生碎石)	0.15	0.40 ×	0.15 ×	40.9		2.45
埋戻工(スクリーニングス) (管断面控除)	0.20	0.40 ×	0.20 ×	40.9		2.94
		- 0.008	×	40.9		

撤去時

工種	施工厚	計算式				数量
		幅等	厚	延長	箇所等	
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≤10cm	0.05	0.40		× 40.9		16.36
掘削積込工(補助的作業なし)	0.15	0.40 ×	0.15 ×	40.9		2.45
掘削(人力) (管断面控除)	0.20	0.40 ×	0.20 ×	40.9		2.94
		- 0.008	×	40.9		
残塊処分工(As)		16.36 ×	0.05			0.82
残塊処分工(土砂) (流用土控除)		2.45 +	2.94 -	3.27 ÷	0.9	1.76
仮復旧工(密粒度(再))(13)	0.05	0.40		× 40.9		16.36
路盤工(粒調碎石)	0.15	0.40		× 40.9		16.36
埋戻工(流用土)	0.20	0.40 ×	0.20 ×	40.9		3.27

仮配水管(土工2)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤	先行路盤
昼間施工	市道	車道As10cm	As5cm	粒調碎石	15cm

掘削断面

口径	管断面積	土工延長(L)	掘削幅(W)	掘削深(H)	既設舗装厚	スクリーニングス厚	矢板
φ50	0.002	17.8	0.40	0.40	0.10	0.20	矢板無

布設時

工種	施工厚	計算式				数量
		幅等	厚	延長	箇所等	
舗装版切断(As) t≤15cm	0.10			17.8 ×	2	35.60
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≤10cm	0.10	0.40		×	17.8	7.12
掘削積込工	0.30	0.40 ×	0.30 ×		17.8	2.14
残塊処分工(As)		7.12 ×	0.10			0.71
残塊処分工(土砂)		掘削積込工と同量				2.14
仮復旧工(密粒度(再))(13)	0.05	0.40		×	17.8	7.12
埋戻工(再生碎石)	0.15	0.40 ×	0.15 ×		17.8	1.07
埋戻工(スクリーニングス) (管断面控除)	0.20	0.40 ×	0.20 ×		17.8	1.39
		- 0.002	×		17.8	

撤去時

工種	施工厚	計算式				数量
		幅等	厚	延長	箇所等	
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≤10cm	0.05	0.40		×	17.8	7.12
掘削積込工(補助的作業なし)	0.15	0.40 ×	0.15 ×		17.8	1.07
掘削(人力) (管断面控除)	0.20	0.40 ×	0.20 ×		17.8	1.39
		- 0.002	×		17.8	
残塊処分工(As)		7.12 ×	0.05			0.36
残塊処分工(土砂) (流用土控除)		1.07 +	1.39 -	1.42 ÷	0.9	0.88
仮復旧工(密粒度(再))(13)	0.05	0.40		×	17.8	7.12
路盤工(粒調碎石)	0.15	0.40		×	17.8	7.12
埋戻工(流用土)	0.20	0.40 ×	0.20 ×		17.8	1.42

仮配水管(土工3)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤	先行路盤
昼間施工	市道	歩道As5cm	As5cm	粒調碎石	10cm

掘削断面

口径	管断面積	土工延長(L)	掘削幅(W)	掘削深(H)	既設舗装厚	スクリーニングス厚	矢板
φ100	0.008	28.7	0.40	0.40	0.05	0.20	矢板無

布設時

工種	施工厚	計算式				数量
		幅等	厚	延長	箇所等	
舗装版切断(As) t≤15cm	0.05			28.7 × 2		57.40
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≤10cm	0.05	0.40		× 28.7		11.48
掘削積込工	0.35	0.40 ×	0.35 ×	28.7		4.02
残塊処分工(As)		11.48 ×	0.05			0.57
残塊処分工(土砂)		掘削積込工と同量				4.02
仮復旧工(密粒度(再))(13))	0.05	0.40		× 28.7		11.48
埋戻工(再生碎石)	0.15	0.40 ×	0.15 ×	28.7		1.72
埋戻工(スクリーニングス) (管断面控除)	0.20	0.40 ×	0.20 ×	28.7		2.07
		- 0.008	×	28.7		

撤去時

工種	施工厚	計算式				数量
		幅等	厚	延長	箇所等	
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≤10cm	0.05	0.40		× 28.7		11.48
掘削積込工(補助的作業なし)	0.15	0.40 ×	0.15 ×	28.7		1.72
掘削(人力) (管断面控除)	0.20	0.40 ×	0.20 ×	28.7		2.07
		- 0.008	×	28.7		
残塊処分工(As)		11.48 ×	0.05			0.57
残塊処分工(土砂) (流用土控除)		1.72 +	2.07 -	2.87 ÷	0.9	0.60
仮復旧工(密粒度(再))(13))	0.05	0.40		× 28.7		11.48
路盤工(粒調碎石)	0.10	0.40		× 28.7		11.48
埋戻工(流用土)	0.25	0.40 ×	0.25 ×	28.7		2.87

仮配水管(土工4)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤	先行路盤
昼間施工	市道	車道As5cm	As5cm	粒調碎石	10cm

掘削断面

口径	管断面積	土工延長(L)	掘削幅(W)	掘削深(H)	既設舗装厚	スクリーニングス厚	矢板
φ100	0.008	202.7	0.40	0.40	0.05	0.20	矢板無

布設時

工種	施工厚	計算式				数量
		幅等	厚	延長	箇所等	
舗装版切断(As) t≤15cm	0.05			202.7 ×	2	405.40
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≤10cm	0.05	0.40		×	202.7	81.08
掘削積込工	0.35	0.40 ×	0.35 ×		202.7	28.38
残塊処分工(As)		81.08 ×	0.05			4.05
残塊処分工(土砂)		掘削積込工と同量				28.38
仮復旧工(密粒度(再))(13)	0.05	0.40		×	202.7	81.08
埋戻工(再生碎石)	0.15	0.40 ×	0.15 ×		202.7	12.16
埋戻工(スクリーニングス) (管断面控除)	0.20	0.40 ×	0.20 ×	202.7		14.59
		- 0.008	×	202.7		

撤去時

工種	施工厚	計算式				数量
		幅等	厚	延長	箇所等	
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≤10cm	0.05	0.40		×	202.7	81.08
掘削積込工(補助的作業なし)	0.15	0.40 ×	0.15 ×		202.7	12.16
掘削(人力) (管断面控除)	0.20	0.40 ×	0.20 ×	202.7		14.59
		- 0.008	×	202.7		
残塊処分工(As)		81.08 ×	0.05			4.05
残塊処分工(土砂) (流用土控除)		12.16 +	14.59 -	20.27 ÷	0.9	4.23
仮復旧工(密粒度(再))(13)	0.05	0.40		×	202.7	81.08
路盤工(粒調碎石)	0.10	0.40		×	202.7	81.08
埋戻工(流用土)	0.25	0.40 ×	0.25 ×		202.7	20.27

仮配水管(土工5)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤	先行路盤
昼間施工	市道	車道As5cm	As5cm	粒調碎石	10cm

掘削断面

口径	管断面積	土工延長(L)	掘削幅(W)	掘削深(H)	既設舗装厚	スクリーニングス厚	矢板
φ50	0.002	12.2	0.40	0.40	0.05	0.20	矢板無

布設時

工種	施工厚	計算式				数量
		幅等	厚	延長	箇所等	
舗装版切断(As) t≤15cm	0.05			12.2 ×	2	24.40
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≤10cm	0.05	0.40		×	12.2	4.88
掘削積込工	0.35	0.40 ×	0.35 ×		12.2	1.71
残塊処分工(As)		4.88 ×	0.05			0.24
残塊処分工(土砂)		掘削積込工と同量				1.71
仮復旧工(密粒度(再))(13))	0.05	0.40		×	12.2	4.88
埋戻工(再生碎石)	0.15	0.40 ×	0.15 ×		12.2	0.73
埋戻工(スクリーニングス) (管断面控除)	0.20	0.40 ×	0.20 ×		12.2	0.95
		- 0.002	×		12.2	

撤去時

工種	施工厚	計算式				数量
		幅等	厚	延長	箇所等	
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≤10cm	0.05	0.40		×	12.2	4.88
掘削積込工(補助的作業なし)	0.15	0.40 ×	0.15 ×		12.2	0.73
掘削(人力) (管断面控除)	0.20	0.40 ×	0.20 ×		12.2	0.95
		- 0.002	×		12.2	
残塊処分工(As)		4.88 ×	0.05			0.24
残塊処分工(土砂) (流用土控除)		0.73 +	0.95 -	1.22 ÷	0.9	0.32
仮復旧工(密粒度(再))(13))	0.05	0.40		×	12.2	4.88
路盤工(粒調碎石)	0.10	0.40		×	12.2	4.88
埋戻工(流用土)	0.25	0.40 ×	0.25 ×		12.2	1.22

仮配水管(土工6)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤	先行路盤
昼間施工	県道	車道As20cm	As5cm	再生碎石 25cm	

掘削断面

口径	管断面積	土工延長(L)	掘削幅(W)	掘削深(H)	既設舗装厚	スクリーニングス厚	矢板
φ100	0.008	2.2	0.40	0.70	0.20	0.20	矢板無

布設時

工種	施工厚	計算式				数量
		幅等	厚	延長	箇所等	
舗装版切断(As) 15<t≤30cm	0.20			2.2 ×	2	4.40
舗装版破碎(As) 15<t≤35cm	0.20	0.40		×	2.2	0.88
掘削積込工	0.50	0.40 ×	0.50 ×		2.2	0.44
残塊処分工(As)		0.88 ×	0.20			0.18
残塊処分工(土砂)		掘削積込工と同量				0.44
仮復旧工(密粒度(再))(13))	0.05	0.40		×	2.2	0.88
埋戻工(再生碎石)	0.45	0.40 ×	0.45 ×		2.2	0.40
埋戻工(スクリーニングス) (管断面控除)	0.20	0.40 ×	0.20 ×		2.2	0.16
		- 0.008	×		2.2	

撤去時

工種	施工厚	計算式				数量
		幅等	厚	延長	箇所等	
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≤10cm	0.05	0.40		×	2.2	0.88
掘削積込工(補助的作業なし)	0.45	0.40 ×	0.45 ×		2.2	0.40
掘削(人力) (管断面控除)	0.20	0.40 ×	0.20 ×		2.2	0.16
		- 0.008	×		2.2	
残塊処分工(As)		0.88 ×	0.05			0.04
残塊処分工(土砂) (流用土控除)		0.40 +	0.16 -	0.35 ÷	0.9	0.17
仮復旧工(密粒度(再))(13))	0.05	0.40		×	2.2	0.88
路盤工(再生碎石)	0.25	0.40		×	2.20	0.88
埋戻工(流用土)	0.40	0.40 ×	0.40 ×		2.2	0.35

仮配水管(土工7)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤	先行路盤
昼間施工	県道	車道As20cm	As5cm	再生碎石 25cm	

掘削断面

口径	管断面積	土工延長(L)	掘削幅(W)	掘削深(H)	既設舗装厚	スクリーニングス厚	矢板
φ250	0.049	20.3	0.55	0.85	0.20	0.35	矢板無

布設時

工種	施工厚	計算式				数量
		幅等	厚	延長	箇所等	
舗装版切断(As) 15<t≤30cm	0.20			20.3 ×	2	40.60
舗装版破碎(As) 15<t≤35cm	0.20	0.55		×	20.3	11.17
掘削積込工	0.65	0.55 ×	0.65 ×	×	20.3	7.26
残塊処分工(As)		11.17 ×	0.20			2.23
残塊処分工(土砂)		掘削積込工と同量				7.26
仮復旧工(密粒度(再))(13))	0.05	0.55		×	20.3	11.17
埋戻工(再生碎石)	0.45	0.55 ×	0.45 ×	×	20.3	5.02
埋戻工(スクリーニングス) (管断面控除)	0.35	0.55 ×	0.35 ×	×	20.3	2.91
		- 0.049	×	×	20.3	

撤去時

工種	施工厚	計算式				数量
		幅等	厚	延長	箇所等	
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≤10cm	0.05	0.55		×	20.3	11.17
掘削積込工(補助的作業なし)	0.45	0.55 ×	0.45 ×	×	20.3	5.02
掘削(人力) (管断面控除)	0.35	0.55 ×	0.35 ×	×	20.3	2.91
		- 0.049	×	×	20.3	
残塊処分工(As)		11.17 ×	0.05			0.56
残塊処分工(土砂) (流用土控除)		5.02 +	2.91 -	6.14 ÷	0.9	1.11
仮復旧工(密粒度(再))(13))	0.05	0.55		×	20.3	11.17
路盤工(再生碎石)	0.25	0.55		×	20.30	11.17
埋戻工(流用土)	0.55	0.55 ×	0.55 ×	×	20.3	6.14

仮配水管(土工8)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤	先行路盤
昼間施工	県道	車道As20cm	As5cm	再生碎石 25cm	

掘削断面

口径	管断面積	土工延長(L)	掘削幅(W)	掘削深(H)	既設舗装厚	スクリーニングス厚	矢板
φ150	0.018	4.9	0.45	0.75	0.20	0.25	矢板無

布設時

工種	施工厚	計算式				数量
		幅等	厚	延長	箇所等	
舗装版切断(As) 15<t≤30cm	0.20			4.9 × 2		9.80
舗装版破碎(As) 15<t≤35cm	0.20	0.45		× 4.9		2.21
掘削積込工	0.55	0.45 ×	0.55 ×	4.9		1.21
残塊処分工(As)		2.21 ×	0.20			0.44
残塊処分工(土砂)		掘削積込工と同量				1.21
仮復旧工(密粒度(再))(13))	0.05	0.45		× 4.9		2.21
埋戻工(再生碎石)	0.45	0.45 ×	0.45 ×	4.9		0.99
埋戻工(スクリーニングス) (管断面控除)	0.25	0.45 × - 0.018	0.25 × ×	4.9 4.9		0.46

撤去時

工種	施工厚	計算式				数量
		幅等	厚	延長	箇所等	
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≤10cm	0.05	0.45		× 4.9		2.21
掘削積込工(補助的作業なし)	0.45	0.45 ×	0.45 ×	4.9		0.99
掘削(人力) (管断面控除)	0.25	0.45 × - 0.018	0.25 × ×	4.9 4.9		0.46
残塊処分工(As)		2.21 ×	0.05			0.11
残塊処分工(土砂) (流用土控除)		0.99 +	0.46 -	0.99 ÷	0.9	0.35
仮復旧工(密粒度(再))(13))	0.05	0.45		× 4.9		2.21
路盤工(再生碎石)	0.25	0.45		× 4.90		2.21
埋戻工(流用土)	0.45	0.45 ×	0.45 ×	4.9		0.99

仮配水管(土工9)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤	先行路盤
昼間施工	県道	歩道As3cm	As5cm	再生碎石 10cm	フィルター層5cm

掘削断面

口径	管断面積	土工延長(L)	掘削幅(W)	掘削深(H)	既設舗装厚	スクリーニングス厚	矢板
φ250	0.049	134.3	0.55	0.85	0.03	0.35	矢板無

布設時

工種	施工厚	計算式				数量
		幅等	厚	延長	箇所等	
舗装版切断(As) t≤15cm	0.03			134.3 × 2		268.60
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≤10cm	0.03	0.55		× 134.3		73.87
掘削積込工	0.82	0.55 ×	0.82 ×	134.3		60.57
残塊処分工(As)		73.87 ×	0.03			2.22
残塊処分工(土砂)		掘削積込工と同量				60.57
仮復旧工(密粒度(再))(13)	0.05	0.55		× 134.3		73.87
埋戻工(再生碎石)	0.45	0.55 ×	0.45 ×	134.3		33.24
埋戻工(スクリーニングス) (管断面控除)	0.35	0.55 ×	0.35 ×	134.3		19.27
		- 0.049	×	134.3		

撤去時

工種	施工厚	計算式				数量
		幅等	厚	延長	箇所等	
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≤10cm	0.05	0.55		× 134.3		73.87
掘削積込工(補助的作業なし)	0.45	0.55 ×	0.45 ×	134.3		33.24
掘削(人力) (管断面控除)	0.35	0.55 ×	0.35 ×	134.3		19.27
		- 0.049	×	134.3		
残塊処分工(As)		73.87 ×	0.05			3.69
残塊処分工(土砂) (流用土控除)		33.24 +	19.27 -	48.01 ÷	0.9	-0.83
仮復旧工(密粒度(再))(13)	0.05	0.55		× 134.3		73.87
路盤工(再生碎石)	0.10	0.55		× 134.30		73.87
フィルター層(砂)	0.05	0.55		× 134.30		73.87
埋戻工(流用土)	0.65	0.55 ×	0.65 ×	134.3		48.01

仮配水管(土工10)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤	先行路盤
昼間施工	県道	歩道As5cm	As5cm	再生碎石 15cm	フィルター層5cm

掘削断面

口径	管断面積	土工延長(L)	掘削幅(W)	掘削深(H)	既設舗装厚	スクリーニングス厚	矢板
φ250	0.049	42.1	0.55	0.85	0.05	0.35	矢板無

布設時

工種	施工厚	計算式				数量
		幅等	厚	延長	箇所等	
舗装版切断(As) t≤15cm	0.05			42.1 × 2		84.20
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≤10cm	0.05	0.55		× 42.1		23.16
掘削積込工	0.80	0.55 ×	0.80 ×	42.1		18.52
残塊処分工(As)		23.16 ×	0.05			1.16
残塊処分工(土砂)		掘削積込工と同量				18.52
仮復旧工(密粒度(再))(13)	0.05	0.55		× 42.1		23.16
埋戻工(再生碎石)	0.45	0.55 ×	0.45 ×	42.1		10.42
埋戻工(スクリーニングス) (管断面控除)	0.35	0.55 × - 0.049	0.35 × ×	42.1 42.1		6.04

撤去時

工種	施工厚	計算式				数量
		幅等	厚	延長	箇所等	
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≤10cm	0.05	0.55		× 42.1		23.16
掘削積込工(補助的作業なし)	0.45	0.55 ×	0.45 ×	42.1		10.42
掘削(人力) (管断面控除)	0.35	0.55 × - 0.049	0.35 × ×	42.1 42.1		6.04
残塊処分工(As)		23.16 ×	0.05			1.16
残塊処分工(土砂) (流用土控除)		10.42 +	6.04 -	13.89 ÷	0.9	1.03
仮復旧工(密粒度(再))(13)	0.05	0.55		× 42.1		23.16
路盤工(再生碎石)	0.15	0.55		× 42.10		23.16
フィルター層(砂)	0.05	0.55		× 42.10		23.16
埋戻工(流用土)	0.60	0.55 ×	0.60 ×	42.1		13.89

仮配水管(土工11)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤	先行路盤
昼間施工	県道	歩道As3cm	As5cm	再生碎石 10cm	フィルター層5cm

掘削断面

口径	管断面積	土工延長(L)	掘削幅(W)	掘削深(H)	既設舗装厚	スクリーニングス厚	矢板
φ100	0.008	1.4	0.40	0.70	0.03	0.20	矢板無

布設時

工種	施工厚	計算式				数量
		幅等	厚	延長	箇所等	
舗装版切断(As) t≤15cm	0.03			1.4 ×	2	2.80
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≤10cm	0.03	0.40		×	1.4	0.56
掘削積込工	0.67	0.40 ×	0.67 ×		1.4	0.38
残塊処分工(As)		0.56 ×	0.03			0.02
残塊処分工(土砂)		掘削積込工と同量				0.38
仮復旧工(密粒度(再))(13))	0.05	0.40		×	1.4	0.56
埋戻工(再生碎石)	0.45	0.40 ×	0.45 ×		1.4	0.25
埋戻工(スクリーニングス) (管断面控除)	0.20	0.40 ×	0.20 ×		1.4	0.10
		- 0.008		×	1.4	

撤去時

工種	施工厚	計算式				数量
		幅等	厚	延長	箇所等	
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≤10cm	0.05	0.40		×	1.4	0.56
掘削積込工(補助的作業なし)	0.45	0.40 ×	0.45 ×		1.4	0.25
掘削(人力) (管断面控除)	0.20	0.40 ×	0.20 ×		1.4	0.10
		- 0.008		×	1.4	
残塊処分工(As)		0.56 ×	0.05			0.03
残塊処分工(土砂) (流用土控除)		0.25 +	0.10 -	0.28 ÷	0.9	0.04
仮復旧工(密粒度(再))(13))	0.05	0.40		×	1.4	0.56
路盤工(再生碎石)	0.10	0.40		×	1.40	0.56
フィルター層(砂)	0.05	0.40		×	1.40	0.56
埋戻工(流用土)	0.50	0.40 ×	0.50 ×		1.4	0.28

仮配水管(土工12)

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤	先行路盤
昼間施工	市道	歩道ILB6cm	As5cm	粒調碎石	14cm

掘削断面

口径	管断面積	土工延長(L)	掘削幅(W)	掘削深(H)	既設舗装厚	スクリーニングス厚	矢板
φ100	0.008	18.4	0.40	0.40	0.06	0.20	矢板無

布設時

工種	施工厚	計算式				数量	
		幅等	厚	延長	箇所等		
インターロッキング撤去工 t=60 (再利用)	0.06	0.40	×	18.4		7.36	
掘削積込工	0.34	0.40	×	0.34	×	18.4	2.50
残塊処分工(As)			×	0.06			
残塊処分工(Co)			×	7.36			
残塊処分工(土砂)		掘削積込工と同量				2.50	
仮復旧工(密粒度(再))(13))	0.05	0.40	×	18.4		7.36	
埋戻工(再生碎石)	0.15	0.40	×	0.15	×	18.4	1.10
埋戻工(スクリーニングス) (管断面控除)	0.20	0.40	×	0.20	×	18.4	1.32
		-	0.008	×	×	18.4	

撤去時

工種	施工厚	計算式				数量		
		幅等	厚	延長	箇所等			
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≤10cm	0.05	0.40	×	18.4		7.36		
掘削積込工(補助的作業なし)	0.15	0.40	×	0.15	×	18.4	1.10	
掘削(人力) (管断面控除)	0.20	0.40	×	0.20	×	18.4	1.32	
		-	0.008	×	×	18.4		
残塊処分工(As)		7.36	×	0.05		0.37		
残塊処分工(土砂) (流用土控除)		1.10	+	1.32	-	1.55	÷	0.9
仮復旧工(密粒度(再))(13))	0.05	0.40	×	18.4		7.36		
路盤工(粒調碎石)	0.14	0.40	×	18.4		7.36		
埋戻工(流用土)	0.21	0.40	×	0.21	×	18.4	1.55	

仮給水管 土工1

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤	先行路盤
昼間施工	市道	車道As10cm	As5cm	粒調碎石 15cm	

掘削断面

仮給水延長	仮給掘削幅	掘削深(H)	スクリーニングス厚	既設舗装厚
2.9	0.40	0.30	0.15	0.10

布設時

工種	施工厚	計算式			数量
		幅等	厚	延長 箇所等	
舗装版切断(As) $t \leq 15\text{cm}$	0.10	2.9 ×	2		5.80
舗装版取壊し積込工(As・Co) $t \leq 10\text{cm}$	0.10	0.40	×	2.9	1.16
掘削積込工	0.20	0.40 ×	0.20 ×	2.9	0.23
残塊処分工(As)		1.16 ×	0.10		0.12
残塊処分工(土砂)		掘削積込工と同量			0.23
仮復旧工(密粒度(再))(13))	0.05	0.40	×	2.9	1.16
埋戻工(再生碎石)	0.10	0.40 ×	0.10 ×	2.9	0.12
埋戻工(スクリーニングス)	0.15	0.40 ×	0.15 ×	2.9	0.17

撤去時

工種	施工厚	計算式			数量
		幅等	厚	延長 箇所等	
舗装版取壊し積込工(As・Co) $t \leq 10\text{cm}$	0.05	0.40	×	2.9	1.16
掘削積込工(補助的作業なし)	0.25	0.40 ×	0.25 ×	2.9	0.29
残塊処分工(As)		1.16 ×	0.05		0.06
残塊処分工(土砂) (流用土控除)		0.29	—	0.12 ÷ 0.9	0.16
仮復旧工(密粒度(再))(13))	0.05	0.40	×	2.9	1.16
路盤工(粒調碎石)	0.15	0.40	×	2.9	1.16
埋戻工(流用土)	0.10	0.40 ×	0.10 ×	2.9	0.12

仮給水管 土工2

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤	先行路盤
昼間施工	市道	車道As5cm	As5cm	粒調碎石 10cm	

掘削断面

仮給水延長	仮給掘削幅	掘削深(H)	スクリーニングス厚	既設舗装厚
56.3	0.40	0.30	0.15	0.05

布設時

工種	施工厚	計算式			数量
		幅等	厚	延長 箇所等	
舗装版切断(As) $t \leq 15\text{cm}$	0.05	56.3 ×	2		112.60
舗装版取壊し積込工(As・Co) $t \leq 10\text{cm}$	0.05	0.40	×	56.3	22.52
掘削積込工	0.25	0.40 ×	0.25 ×	56.3	5.63
残塊処分工(As)		22.52 ×	0.05		1.13
残塊処分工(土砂)		掘削積込工と同量			5.63
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	0.40	×	56.3	22.52
埋戻工(再生碎石)	0.10	0.40 ×	0.10 ×	56.3	2.25
埋戻工(スクリーニングス)	0.15	0.40 ×	0.15 ×	56.3	3.38

撤去時

工種	施工厚	計算式			数量
		幅等	厚	延長 箇所等	
舗装版取壊し積込工(As・Co) $t \leq 10\text{cm}$	0.05	0.40	×	56.3	22.52
掘削積込工(補助的作業なし)	0.25	0.40 ×	0.25 ×	56.3	5.63
残塊処分工(As)		22.52 ×	0.05		1.13
残塊処分工(土砂) (流用土控除)		5.63	—	3.38 ÷ 0.9	1.87
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	0.40	×	56.3	22.52
路盤工(粒調碎石)	0.10	0.40	×	56.3	22.52
埋戻工(流用土)	0.15	0.40 ×	0.15 ×	56.3	3.38

仮給水管 土工3

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤	先行路盤
昼間施工	市道	歩道As5cm	As5cm	粒調碎石 10cm	

掘削断面

仮給水延長	仮給掘削幅	掘削深(H)	スクリーニングス厚	既設舗装厚
3.0	0.40	0.30	0.15	0.05

布設時

工種	施工厚	計算式			数量
		幅等	厚	延長 箇所等	
舗装版切断(As) $t \leq 15\text{cm}$	0.05	3.0 ×	2		6.00
舗装版取壊し積込工(As・Co) $t \leq 10\text{cm}$	0.05	0.40	×	3.0	1.20
掘削積込工	0.25	0.40 ×	0.25 ×	3.0	0.30
残塊処分工(As)		1.20 ×	0.05		0.06
残塊処分工(土砂)		掘削積込工と同量			0.30
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	0.40	×	3.0	1.20
埋戻工(再生碎石)	0.10	0.40 ×	0.10 ×	3.0	0.12
埋戻工(スクリーニングス)	0.15	0.40 ×	0.15 ×	3.0	0.18

撤去時

工種	施工厚	計算式			数量
		幅等	厚	延長 箇所等	
舗装版取壊し積込工(As・Co) $t \leq 10\text{cm}$	0.05	0.40	×	3.0	1.20
掘削積込工(補助的作業なし)	0.25	0.40 ×	0.25 ×	3.0	0.30
残塊処分工(As)		1.20 ×	0.05		0.06
残塊処分工(土砂) (流用土控除)		0.30	—	0.18 ÷ 0.9	0.10
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	0.40	×	3.0	1.20
路盤工(粒調碎石)	0.10	0.40	×	3.0	1.20
埋戻工(流用土)	0.15	0.40 ×	0.15 ×	3.0	0.18

仮給水管 土工4

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤	先行路盤
昼間施工	県道	歩道As5cm	As5cm	再生碎石 15cm	フィルター層5cm

掘削断面

仮給水延長	仮給掘削幅	掘削深(H)	スクリーニングス厚	既設舗装厚
16.9	0.40	0.30	0.15	0.05

布設時

工種	施工厚	計算式			数量
		幅等	厚	延長 箇所等	
舗装版切断(As) $t \leq 15\text{cm}$	0.05	16.9 ×	2		33.80
舗装版取壊し積込工(As・Co) $t \leq 10\text{cm}$	0.05	0.40	×	16.9	6.76
掘削積込工	0.25	0.40 ×	0.25 ×	16.9	1.69
残塊処分工(As)		6.76 ×	0.05		0.34
残塊処分工(土砂)		掘削積込工と同量			1.69
仮復旧工(密粒度(再))(13))	0.05	0.40	×	16.9	6.76
埋戻工(再生碎石)	0.10	0.40 ×	0.10 ×	16.9	0.68
埋戻工(スクリーニングス)	0.15	0.40 ×	0.15 ×	16.9	1.01

撤去時

工種	施工厚	計算式			数量
		幅等	厚	延長 箇所等	
舗装版取壊し積込工(As・Co) $t \leq 10\text{cm}$	0.05	0.40	×	16.9	6.76
掘削積込工(補助的作業なし)	0.25	0.40 ×	0.25 ×	16.9	1.69
残塊処分工(As)		6.76 ×	0.05		0.34
残塊処分工(土砂) (流用土控除)		1.69	—	0.34 ÷ 0.9	1.31
仮復旧工(密粒度(再))(13))	0.05	0.40	×	16.9	6.76
路盤工(再生碎石)	0.15	0.40	×	16.9	6.76
フィルター層(砂)	0.05	0.40	×	16.9	6.76
埋戻工(流用土)	0.05	0.40 ×	0.05 ×	16.9	0.34

既設管撤去

鑄鉄管吊込み撤去工

口径	延長 (m)	撤去重量 (t)	土工延長 計	土工あり			充填工 (m ³)
合計	486.2	22.0	37.4	25.0	12.4		2.2
75 0.018 t/m	5.4	0.10	3.1	土工2 3.1			
100 0.023 t/m	12.0	0.28					
150 0.033 t/m	249.5	8.24	16.9	土工1 14.5	土工5 2.4		2.2
200 0.043 t/m	21.4	0.93	17.4	土工3 7.4	土工4 10.0		
300 0.063 t/m	197.9	12.47					

鑄鉄管(既設管)撤去切断工

口径	切断箇所 計 (口)	既設管と 切断にて接 続箇所(口)	既設管連 続場所の 切断箇所 (口)	計算式
75	3	1	2	5.4/3
100	6	2	4	12/3
150	85	1	84	249.5/3
200	9	1	8	21.4/3
300	67	1	66	197.9/3

継手取り外し工

口径	特殊押輪 (口)	GX (口)	フランジ (口)
150	1		
300	1		

仕切弁関係

口径	仕切弁 (不断水バルブ) (基)	仕切弁ボックス (箇所)
75	1	
100	1	
150	3	2
200	2	2
300	1	1
合計	8	5

空気弁・消火栓関係

口径	空気弁・消 火栓 (基)	空気弁・消 火栓ボックス (箇所)
75		
100		
150	1	1
200	1	1
300	2	2
合計	4	4

鉄蓋受枠部14kg/箇所
ボックス部41kg/箇所

鉄蓋受枠部50kg/箇所
ボックス部92kg/箇所

	管類	仕切弁関係	消火栓関係	計(t)	運搬回数
スクラップ処分	22.0	0.112	0.2	22.3	12
廃プラスチック類		0.205	0.368	0.6	1

既設管撤去土工集計表

工 種	合計 数量	採用 数量	単位	土工1	土工2	土工3	土工4	土工5
舗装版切断(As) t≤15cm	56.90	57	m	29.00	3.10		20.00	4.80
舗装版切断(As) 15<t≤30cm	7.40	7	m			7.40		
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≤10cm	18.00	18	m2	8.70	1.86		6.00	1.44
舗装版破碎(As) 15<t≤35cm	6.29	6	m2			6.29		
掘削積込工	32.43	32	m3	10.73	2.30	9.56	7.96	1.88
残塊処分工(As)	2.44	2	m3	0.87	0.09	1.26	0.18	0.04
残塊処分工(土砂)	32.43	30	m3	10.73	2.30	9.56	7.96	1.88
仮復旧工(密粒度(再)(13)) t=5cm	24.29	24	m2	8.70	1.86	6.29	6.00	1.44
路盤工(粒調碎石) t=10cm	1.86	2	m2		1.86			
路盤工(粒調碎石) t=15cm	8.70	9	m2	8.70				
路盤工(再生碎石) t=10cm	7.44	7	m2				6.00	1.44
路盤工(再生碎石) t=25cm	6.29	6				6.29		
フィルター層(砂) t=5cm	7.44	7	m2				6.00	1.44
埋戻工(再生碎石)	30.25	30	m3	10.18	2.14	8.93	7.32	1.68
軽量鋼矢板設置撤去工(H=2.0m)	7.40	7.4	m			7.40		

既設管撤去 土工1

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤	先行路盤
昼間施工	市道	車道As10cm	As5cm	粒調碎石 15cm	

既設管

管種	撤去延長
鑄鉄管 φ 150	14.5

平均土被り	掘削幅(W)	既設舗装厚	管外径	管断面積	掘削深	矢板	平均土被り根拠
1.20	0.60	0.10	0.169	0.022	1.37	矢板無	

工種	施工厚	計算式			数量
		幅等	厚	延長 箇所等	
舗装版切断(As) $t \leq 15\text{cm}$	0.10			14.5×2	29.00
舗装版取壊し積込工(As・Co) $t \leq 10\text{cm}$	0.10	0.60		$\times 14.5$	8.70
掘削積込工 (管断面控除)	1.27	$0.60 \times$ - 0.022	$1.27 \times$ \times	14.5 14.5	10.73
残塊処分工(As)		$8.70 \times$	0.10		0.87
残塊処分工(土砂)		掘削積込工と同量			10.73
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	0.60		$\times 14.5$	8.70
路盤工(粒調碎石)	0.15	0.60		$\times 14.5$	8.70
埋戻工(再生碎石)	1.17	$0.60 \times$	$1.17 \times$	14.5	10.18

既設管撤去 土工2

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤	先行路盤
昼間施工	市道	車道As5cm	As5cm	粒調碎石 10cm	

既設管

管種	撤去延長
鑄鉄管 φ75	3.1

平均土被り	掘削幅(W)	既設舗装厚	管外径	管断面積	掘削深	矢板	平均土被り根拠
1.20	0.60	0.05	0.093	0.007	1.30	矢板無	

工種	施工厚	計算式			数量
		幅等	厚	延長 箇所等	
舗装版切断(As) t≤15cm	0.05			3.1 × 1	3.10
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≤10cm	0.05	0.60		× 3.1	1.86
掘削積込工 (管断面控除)	1.25	0.60 × - 0.007	1.25 × ×	3.1 3.1	2.30
残塊処分工(As)		1.86 ×	0.05		0.09
残塊処分工(土砂)		掘削積込工と同量			2.30
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	0.60		× 3.1	1.86
路盤工(粒調碎石)	0.10	0.60		× 3.1	1.86
埋戻工(再生碎石)	1.15	0.60 ×	1.15 ×	3.1	2.14

既設管撤去 土工3

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤	先行路盤
昼間施工	県道	車道As20cm	As5cm	再生碎石 25cm	

既設管

管種	撤去延長
鑄鉄管 φ 200	7.4

平均土被り	掘削幅(W)	既設舗装厚	管外径	管断面積	掘削深	矢板	平均土被り根拠
1.50	0.85	0.20	0.220	0.038	1.72	矢板有	

工種	施工厚	計算式			数量
		幅等	厚	延長 箇所等	
舗装版切断(As) 15<t≤30cm	0.20			7.4 × 1	7.40
舗装版破碎(As) 15<t≤35cm	0.20	0.85		× 7.4	6.29
掘削積込工 (管断面控除)	1.52	0.85 ×	1.52 ×	7.4 ×	9.56
残塊処分工(As)		6.29 ×	0.20		1.26
残塊処分工(土砂)		掘削積込工と同量			9.56
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	0.85		× 7.4	6.29
路盤工(再生碎石)	0.25	0.85		× 7.4	6.29
埋戻工(再生碎石)	1.42	0.85 ×	1.42 ×	7.4	8.93
軽量鋼矢板設置撤去工	H=2.0	7.4			7.40

既設管撤去 土工4

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤	先行路盤
昼間施工	県道	歩道As3cm	As5cm	再生碎石 10cm	フィルター層5cm

既設管

管種	撤去延長
鑄鉄管 φ200	10.0

平均土被り	掘削幅(W)	既設舗装厚	管外径	管断面積	掘削深	矢板	平均土被り根拠
1.20	0.60	0.03	0.220	0.038	1.42	矢板無	

工種	施工厚	計算式			数量
		幅等	厚	延長 箇所等	
舗装版切断(As) t≤15cm	0.03			10.0 × 2	20.00
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≤10cm	0.03	0.60		× 10.0	6.00
掘削積込工 (管断面控除)	1.39	0.60 × - 0.038		1.39 × × 10.0	7.96
残塊処分工(As)		6.00 ×	0.03		0.18
残塊処分工(土砂)		掘削積込工と同量			7.96
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	0.60		× 10.0	6.00
路盤工(再生碎石)	0.10	0.60		× 10.0	6.00
フィルター層(砂)	0.05	0.60		× 10.0	6.00
埋戻工(再生碎石)	1.22	0.60 ×	1.22 ×	10.0	7.32

既設管撤去 土工5

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤	先行路盤
昼間施工	県道	歩道As3cm	As5cm	再生碎石 10cm	フィルター層5cm

既設管

管種	撤去延長
鑄鉄管 φ 150	2.4

平均土被り	掘削幅(W)	既設舗装厚	管外径	管断面積	掘削深	矢板	平均土被り根拠
1.20	0.60	0.03	0.169	0.022	1.37	矢板無	

工種	施工厚	計算式			数量
		幅等	厚	延長 箇所等	
舗装版切断(As) t ≤ 15cm	0.03			2.4 × 2	4.80
舗装版取壊し積込工(As・Co) t ≤ 10cm	0.03	0.60		× 2.4	1.44
掘削積込工 (管断面控除)	1.34	0.60 × - 0.022	1.34 × ×	2.4 2.4	1.88
残塊処分工(As)		1.44 ×	0.03		0.04
残塊処分工(土砂)		掘削積込工と同量			1.88
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	0.60		× 2.4	1.44
路盤工(再生碎石)	0.10	0.60		× 2.4	1.44
フィルター層(砂)	0.05	0.60		× 2.4	1.44
埋戻工(再生碎石)	1.17	0.60 ×	1.17 ×	2.4	1.68

舗装復旧関係

市道車道As2層式10cm(仮復旧部)

施工面積	採用面積
157.40	160

※数量計算書より

工種	施工厚等	計算式	数量	採用数量	単位
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≤10cm	0.05	157.4	157.4	160	m ²
掘削積込工	0.05	157.4 × 0.05	7.9	8	m ³
残塊処分工(As)		157.4 × 0.05	7.9	8	m ³
残塊処分工(土砂)		掘削積込工と同量	7.9	8	m ²
不陸整正工(補充材無し)		157.4	157.4	160	m ²
舗装工(粗粒度(再)(20)、PK-3)	0.05	157.4	157.4	160	m ²
舗装工(密粒度(再)(13)、PK-4)	0.05	157.4	157.4	160	m ²

市道車道As2層(t=10cm)
切削オーバーレイ(1層)

施工面積	採用面積
899.4	900

工種	施工厚等	計算式	数量	採用数量	単位
舗装版切断(As) t≤15cm	0.10	7.5 + 3.6 + 1.2 + 2.6 2.8 + 3.4 + 0.6 + 2.8 1.2 + 1.0 + 3.3 + 3.9 4.1 + 4.0 + 6.8	48.8	49	m
廃材処分工(As)		899.4 × 0.05	45.0	45	m ³
切削オーバーレイ工 (密粒度(再)(13)、PK-4)	0.05	899.4	899.4	900	m ²

市道車道As2層式10cm(打替工)

施工面積	採用面積
5.6	6

工種	施工厚等	計算式	数量	採用数量	単位
舗装版切断(As) t≤15cm	0.10	1.1 + 1.1	2.20	2	m
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≤10cm	0.10	5.6	5.6	6	m ²
残塊処分工(As)		5.60 * 0.10	0.56	0.6	m ³
不陸整正工(粒調碎石)	0.03	5.6	5.6	6	m ²
舗装工(粗粒度(再)(20)、PK-3)	0.05	5.6	5.6	6	m ²
舗装工(密粒度(再)(13)、PK-4)	0.05	5.6	5.6	6	m ²

市道車道As1層(t=5cm)

施工面積	採用面積
1013.1	1010

工種	施工厚等	計算式	数量	採用数量	単位
舗装版切断(As) t≤15cm	0.05	8.1 + 3.1 + 5.5	16.7	17	m
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≤10cm	0.05	1013.1	1013.1	1010	m ²
残塊処分工(As)		1013.1 × 0.05	50.7	51	m ³
不陸整正工(粒調碎石)	0.03	1013.1	1013.1	1010	m ²
舗装工(密粒度(再)(13)、PK-3)	0.05	1013.1	1013.1	1010	m ²

市道歩道As(t=5cm)

施工面積	採用面積
99.6	100

工種	施工厚等	計算式	数量	採用数量	単位
舗装版切断(As) t≤15cm	0.05	2.6	2.6	3	m
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≤10cm	0.05	99.6	99.6	100	m ²
残塊処分工(As)		99.6 × 0.05	5.0	5	m ³
不陸整正工(粒調碎石)	0.03	99.6	99.6	100	m ²
舗装工(細粒度(新)(13))PK-3	0.05	99.6	99.6	100	m ²

市道歩道インロク舗装(t=6cm)

施工面積	採用面積	仮復旧面積
47.1	47	8.3

工種	施工厚等	計算式	数量	採用数量	単位
インターロッキング撤去工(再利用)	0.06	47.1 - 8.32	38.8	39	m ²
舗装版取壊し積込工 t≤10cm	0.05	8.3	8.3	8	m ²
掘削積込工	0.04	38.8 × 0.03 + 8.3 × 0.04	1.50	2	m ³
残塊処分工(As)		8.3 × 0.05	0.42	0.5	m ³
残塊処分工(土砂)		掘削工と同量	1.50	2	m ³
インターロッキング設置工(再利用品) 敷砂3cm含む	0.06	47.1	47.1	47	m ²

県道車道As3層式20cm(打替工)

施工面積	採用面積	仮復旧面積
157.1	160	39.8

工種	施工厚等	計算式	数量	採用数量	単位
舗装版切断(As) 15<t≤30cm	0.20	6.6 + 7.5 + 6.7 + 5.3 13.1	39.20	39	m
舗装版破碎(As) 15<t≤35cm	0.20	157.1 × 0.2	157.1	160	m ²
掘削積込工	0.15	39.8 * 0.15	5.97	6	m ³
残塊処分工(As)		117.33 × 0.20 + 39.77 * 0.05	25.45	25	m ³
残塊処分工(土砂)		掘削積込工と同量	5.97	6	m ³
不陸整正工(再生碎石)	0.03	157.1	157.1	160	m ²
加熱安定処理工(PK-3)	0.10	157.1	157.1	160	m ²
舗装工(粗粒度(再)(20)、PK-3)	0.05	157.1	157.1	160	m ²
舗装工(密粒度(再)(13)、PK-4)	0.05	157.1	157.1	160	m ²

県道歩道一般部(t=3cm)
一般部 623.9m²

施工面積	採用面積	仮復旧面積
623.9	624	211.2

工種	施工厚等	計算式	数量	採用数量	単位
舗装版切断(As) t≤15cm	0.03	4.6 + 2.6 + 2.2 + 4.2	13.60	14	m
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≤10cm	0.05	623.9	623.9	624	m ²
残塊処分工(As)		412.7 × 0.03 + 211.2 × 0.05	22.941	23	m ³
不陸整正工(再生碎石)	0.03	623.9	623.9	624	m ²
舗装工(開粒度(新)(13))	0.03	623.9	623.9	624	m ²

県道歩道乗入部(t=5cm)

施工面積	採用面積
226.2	226

工種	施工厚等	計算式	数量	採用数量	単位
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≤10cm	0.05	226.2	226.2	226	m ²
残塊処分工(As)		226.2 × 0.05	11.31	11	m ³
不陸整正工(再生碎石)	0.03	226.2	226.2	226	m ²
舗装工(開粒度(新)(13))	0.05	226.2	226.2	226	m ²

工種	計算式	数量	採用数量	単位
薄層カラー舗装		348.7	349	m ²

撤去・再設置工

工種	計算式	数量	採用数量	単位
点字(平板)ブロック撤去設置工 (再用品)	$0.3 \times 0.3 \times 190$	17.1	17	m ²

区画線関係

舗装部

工種	細別	計算式	数量	採用数量	単位
実線 W=15cm 白	外側線		254.2	423 m	
	横断歩道		9.2		
	文字枠		10.8		
	自転車道境界線		148.8		
実線 W=45cm 白	停止帯		20.5	61 m	
	横断歩道		35.7		
	ゼブラ		5.0		
文字・記号 W=15cm換算	止まれ		126.6	132 m	
	文		5.6		
実線 W=15cm 黄	消火栓廻り		6.6	7 m	

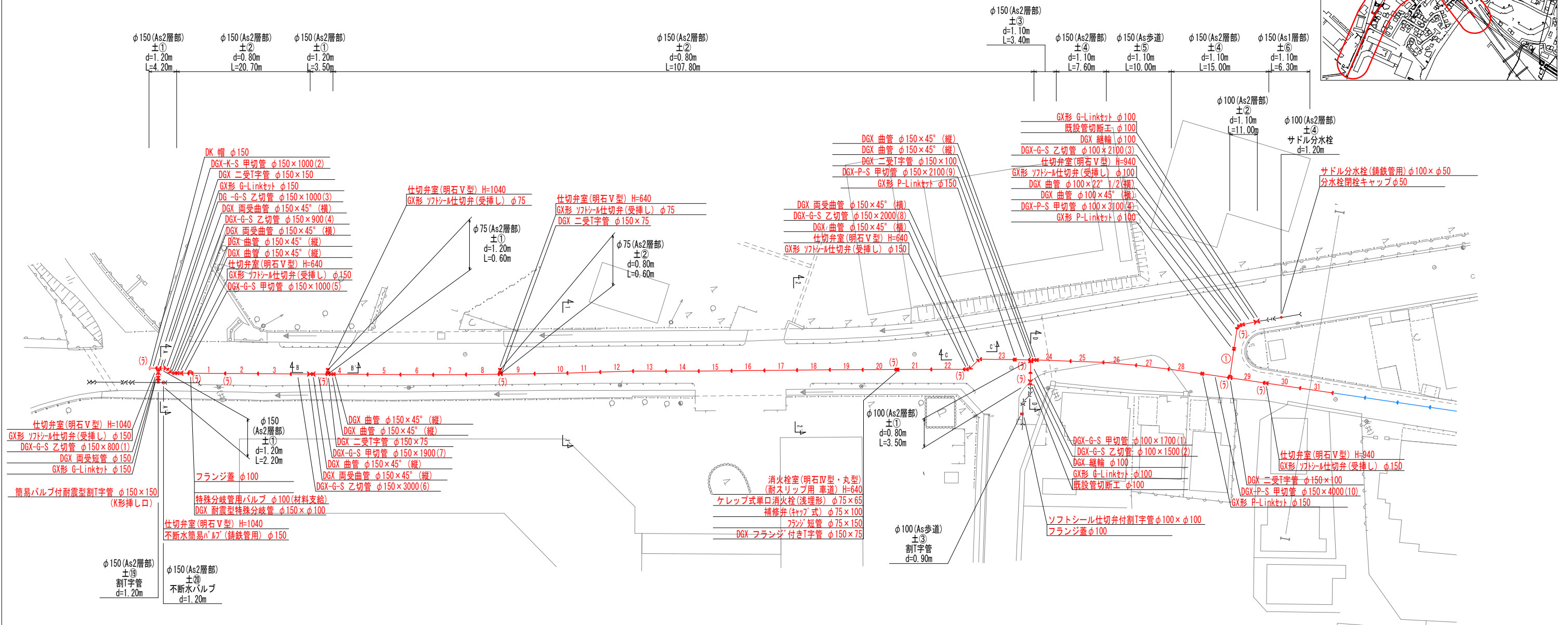
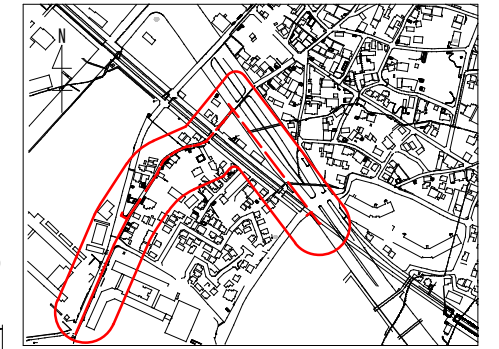
合計延長 623 m

配水管布設工 総括

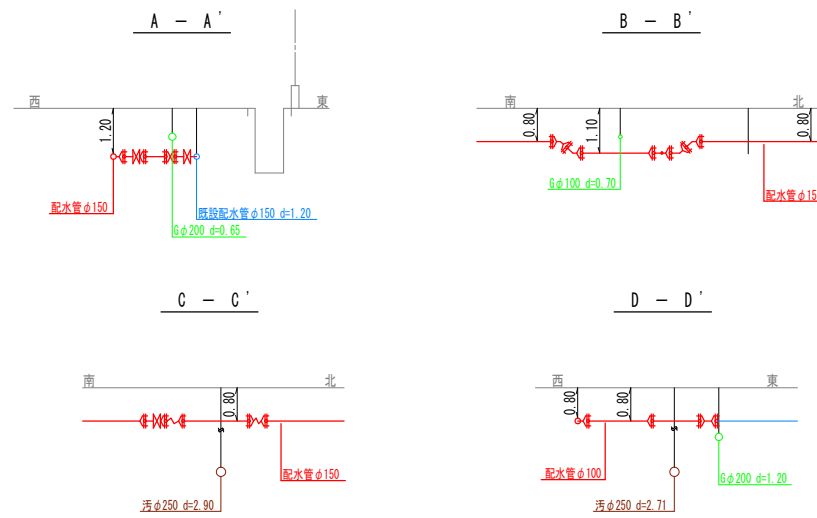
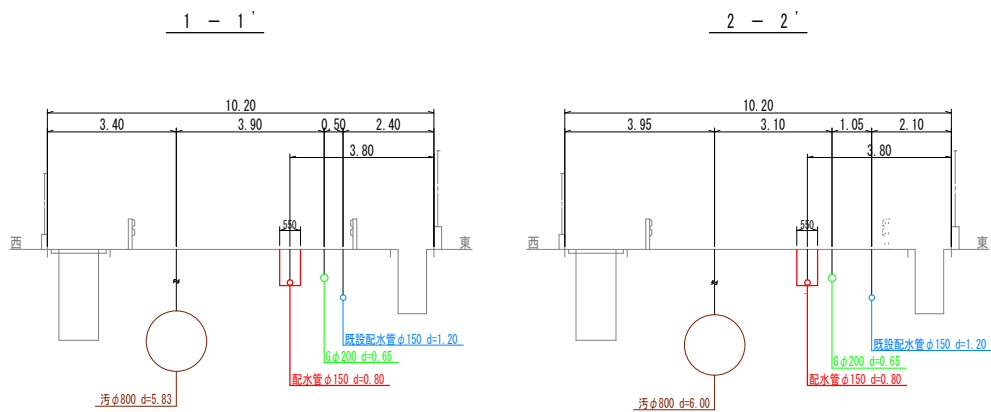
DCIP-GX-S	φ75	L=	6.9m
DCIP-GX-S	φ100	L=	14.3m
DCIP-GX-S	φ150	L=	386.2m
DCIP-GX-S	φ200	L=	5.0m
DCIP-GX-S	φ250	L=	202.4m

配水管布設替平面図(1) S=1/300

位置図 S = 1/ 5000



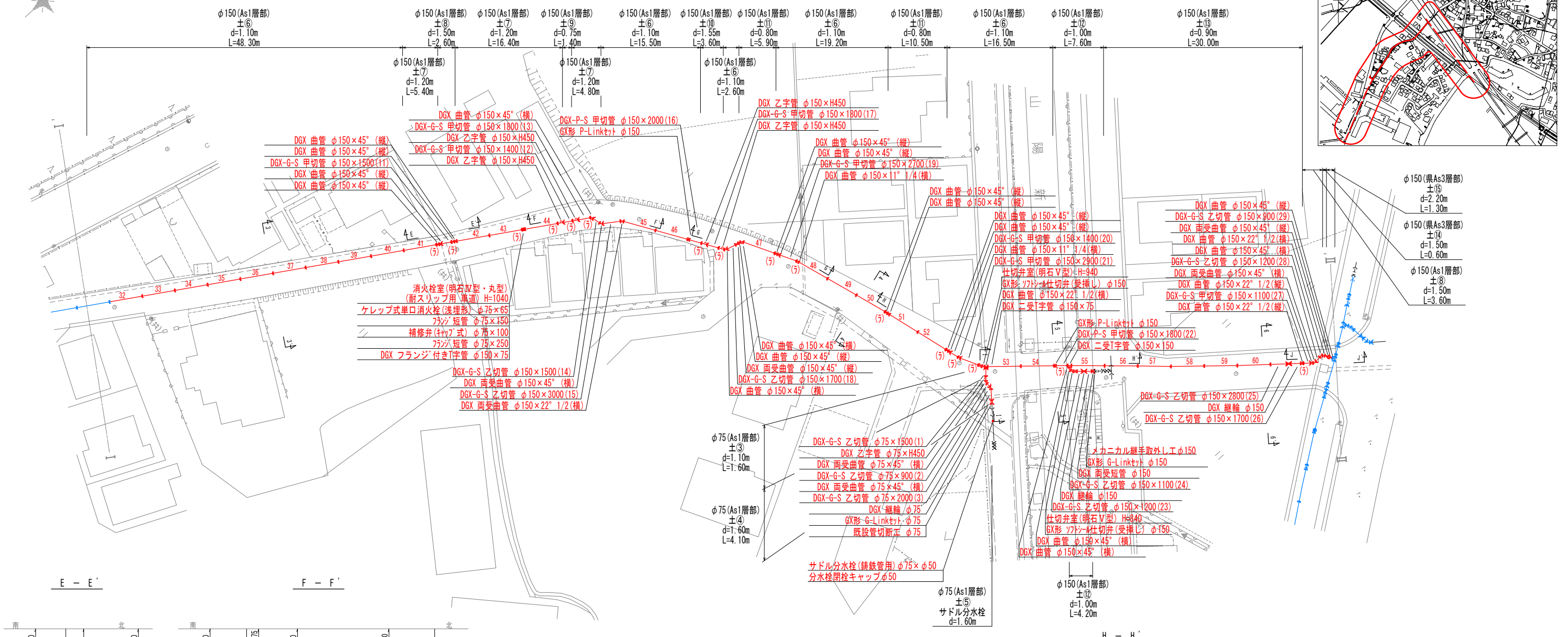
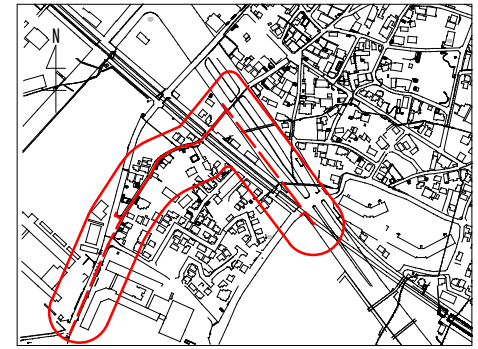
断面図 S=1/100



図番	1 / 12	施工年度	令和4年度
工事名	二見町西二見地内配水管布設替工事		
図種	位置図・断面図 配水管布設替平面図(1)		
場所	明石市二見町西二見地内		
縮尺	図示		
制作日			
設計者	製図者		

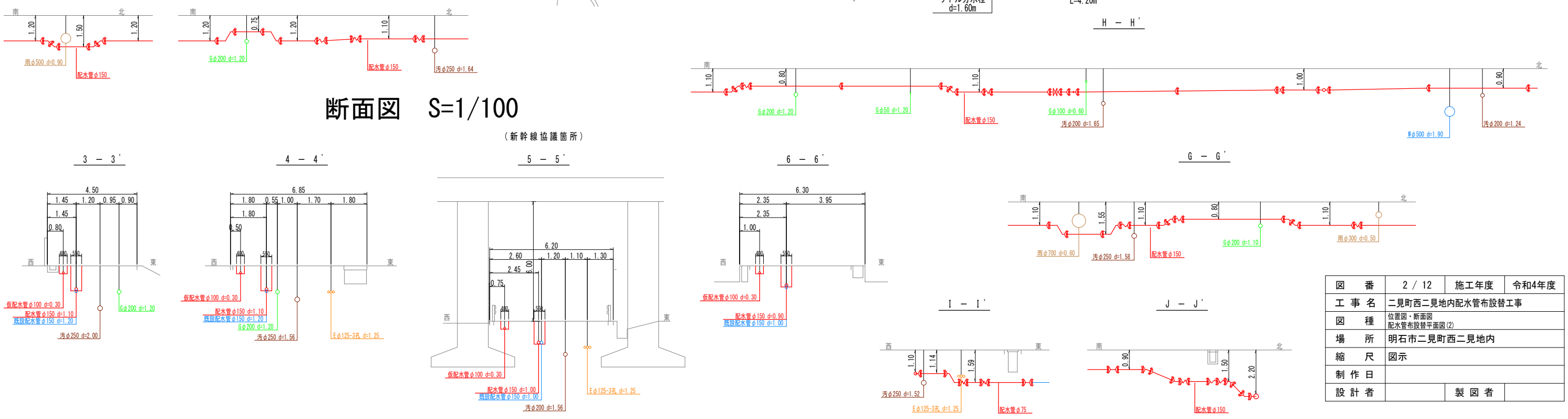
配水管布設替平面図(2) S=1/300

位置図 S = 1/ 5000



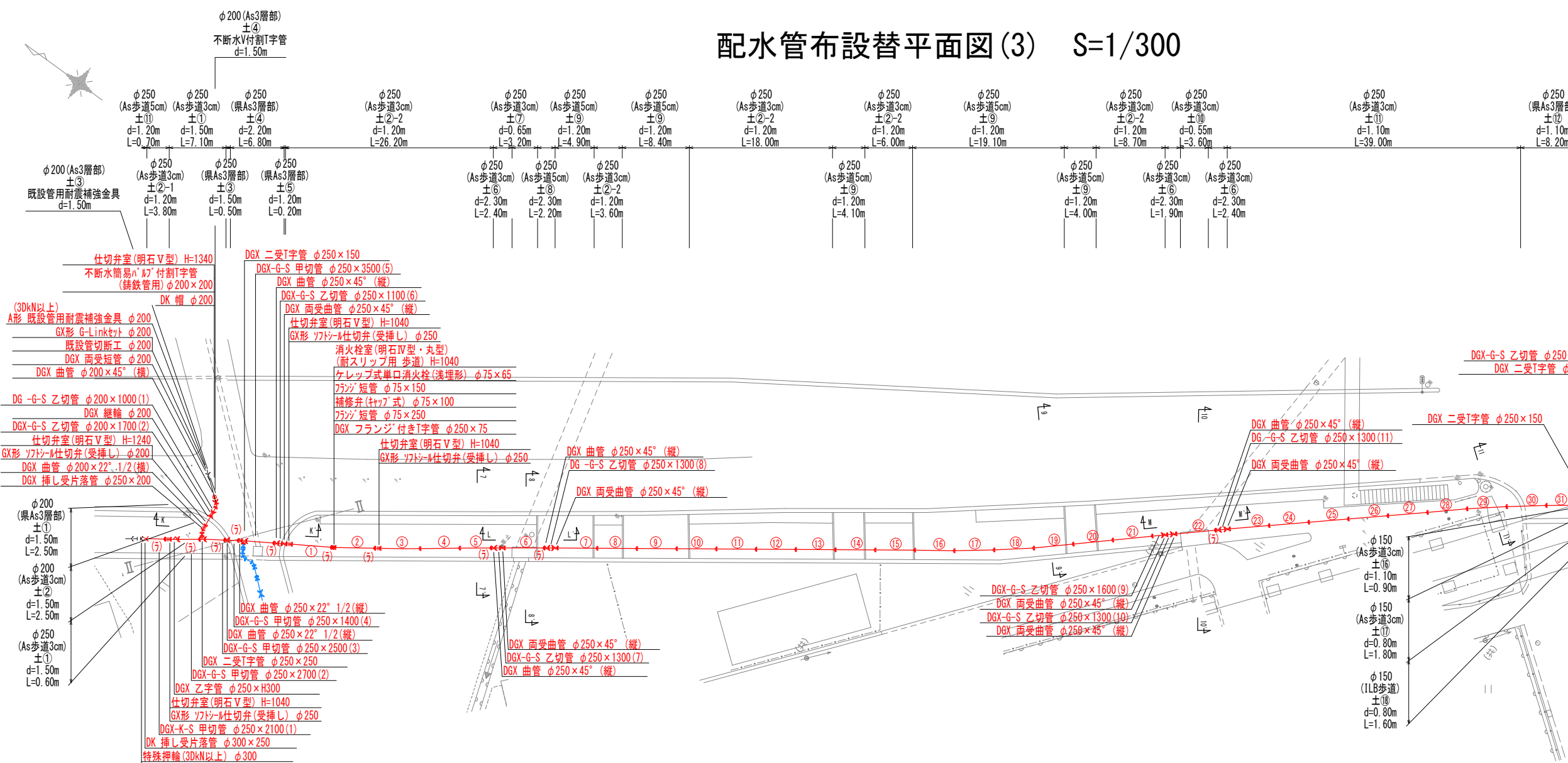
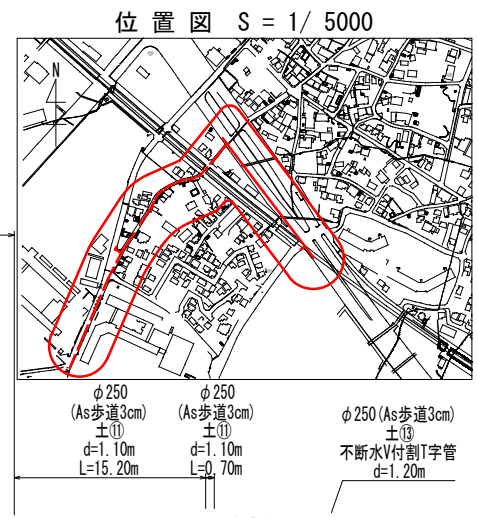
断面図 S=1/100

(新幹線協議箇所)

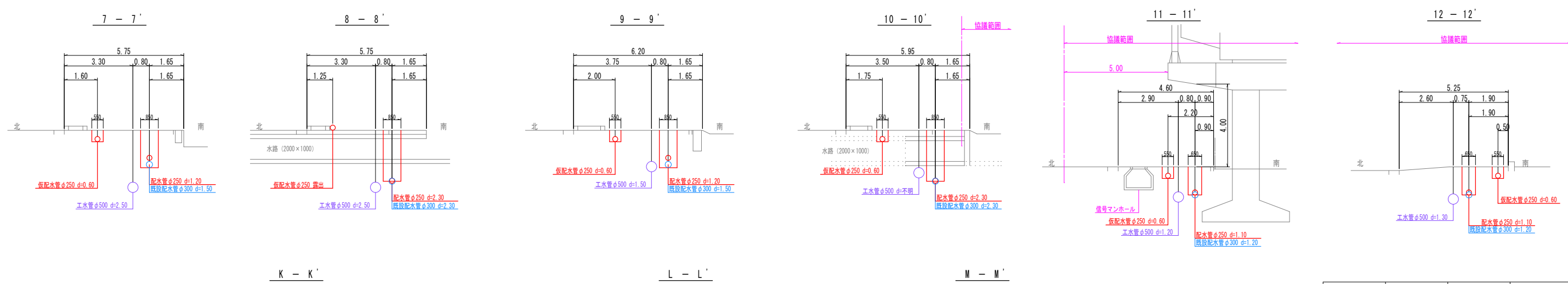


図番	2 / 12	施工年度	令和4年度
工事名	二見町西二見地内配水管布設替工事		
図種	位置図・断面図 配水管布設替平面図(2)		
場所	明石市二見町西二見地内		
縮尺	図示		
制作日			
設計者	製図者		

配水管布設替平面図(3) S=1/300



断面図 S=1/100



図番	3 / 12	施工年度	令和4年度
工事名	二見町西二見地内配水管布設替工事		
図種	位置図・断面図 配水管布設替平面図(3)		
場所	明石市二見町西二見地内		
縮尺	図示		
制作日			
設計者	製図者		

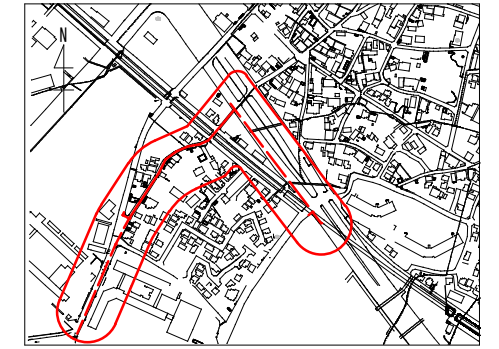
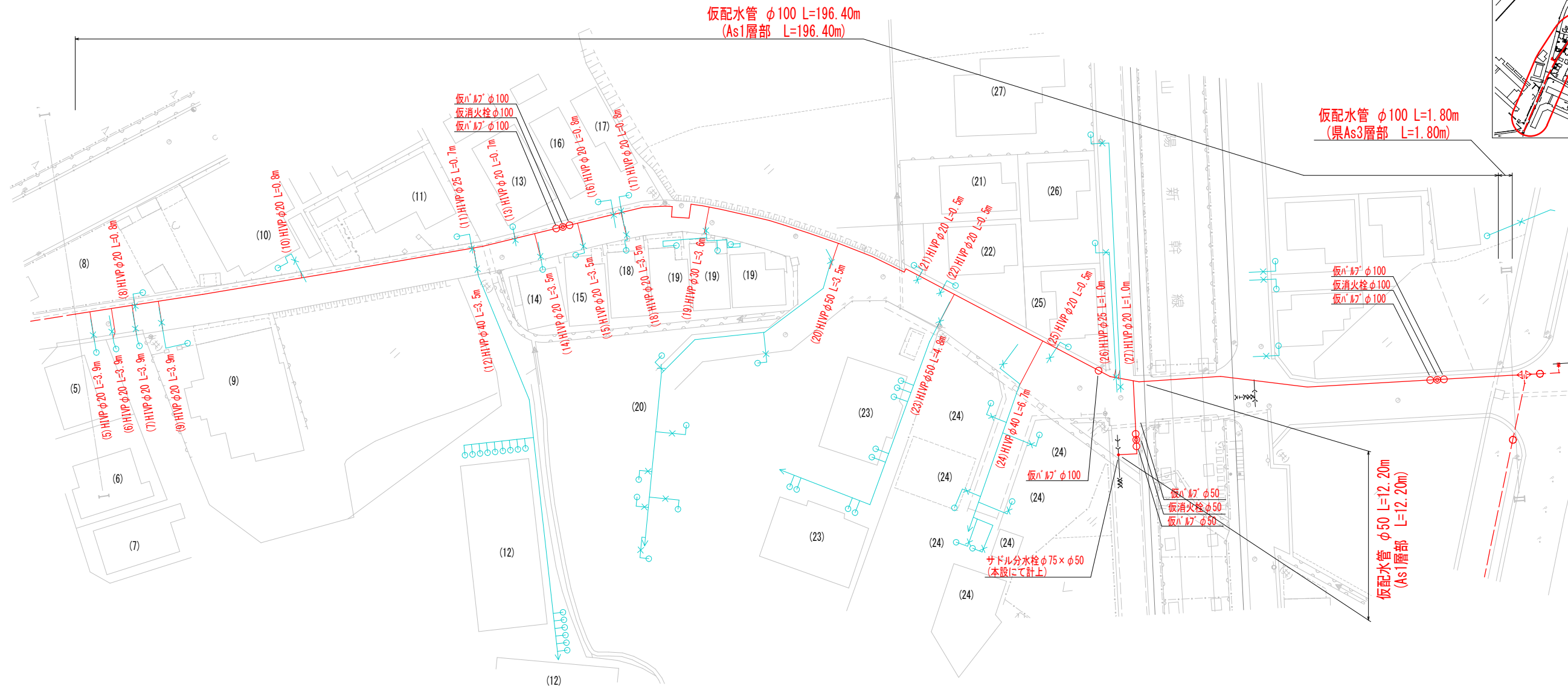
仮配水管平面図(2) S=1/300

位置図 S = 1/ 5000

仮配水管 φ100 L=196.40m
(As1層部 L=196.40m)

仮配水管 φ100 L=1.80m
(県As3層部 L=1.80m)

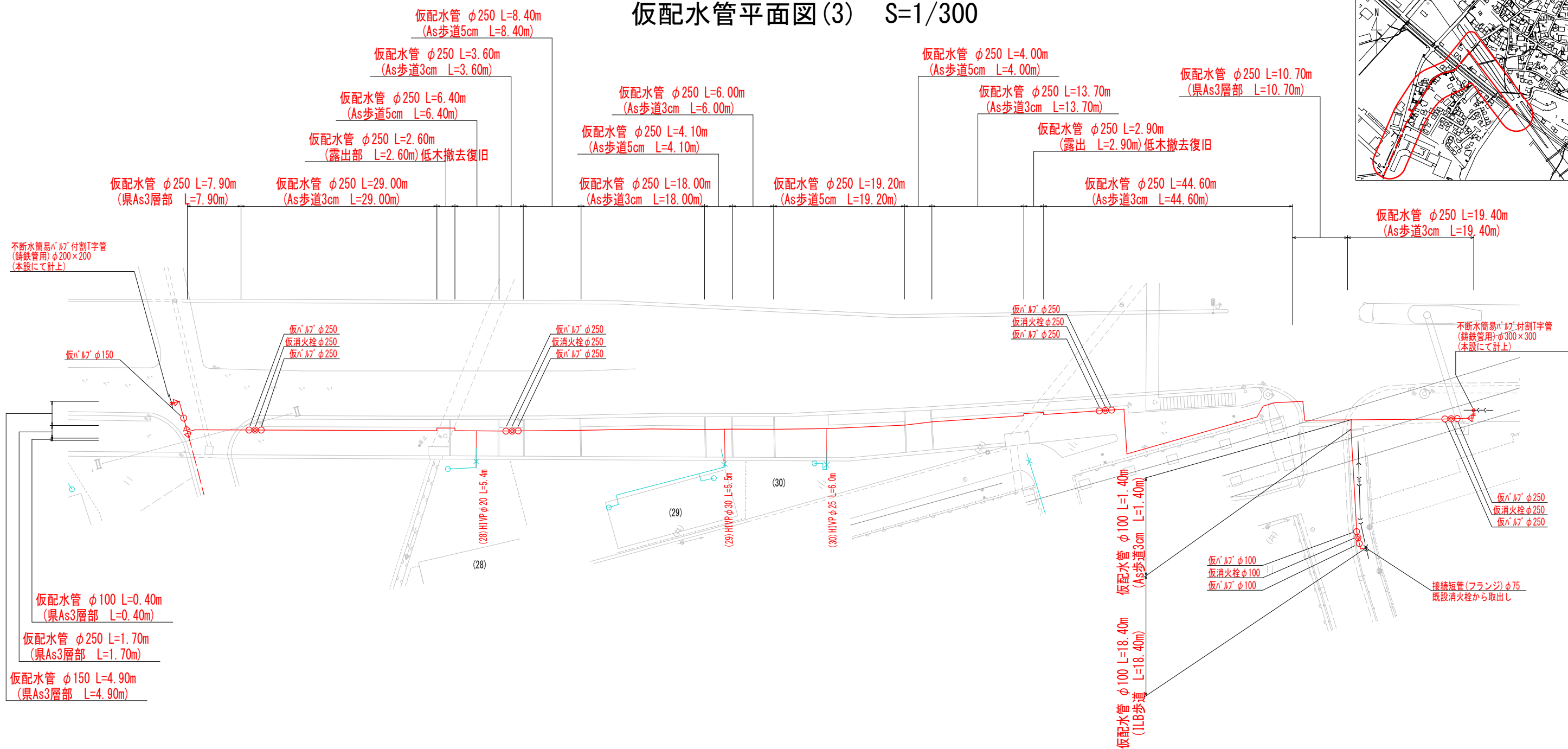
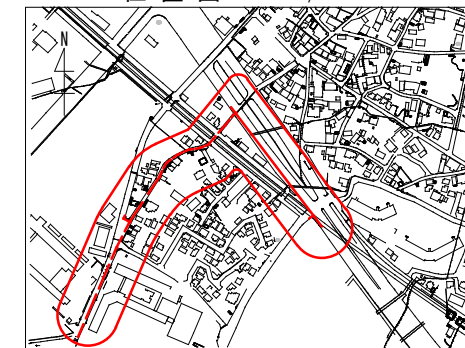
仮配水管 φ50 L=12.20m
(As1層部 L=12.20m)



図番	5 / 12	施工年度	令和4年度
工事名	二見町西二見地内配水管布設替工事		
図種	位置図・仮配水管平面図(2)		
場所	明石市二見町西二見地内		
縮尺	図示		
制作日			
設計者	製図者		

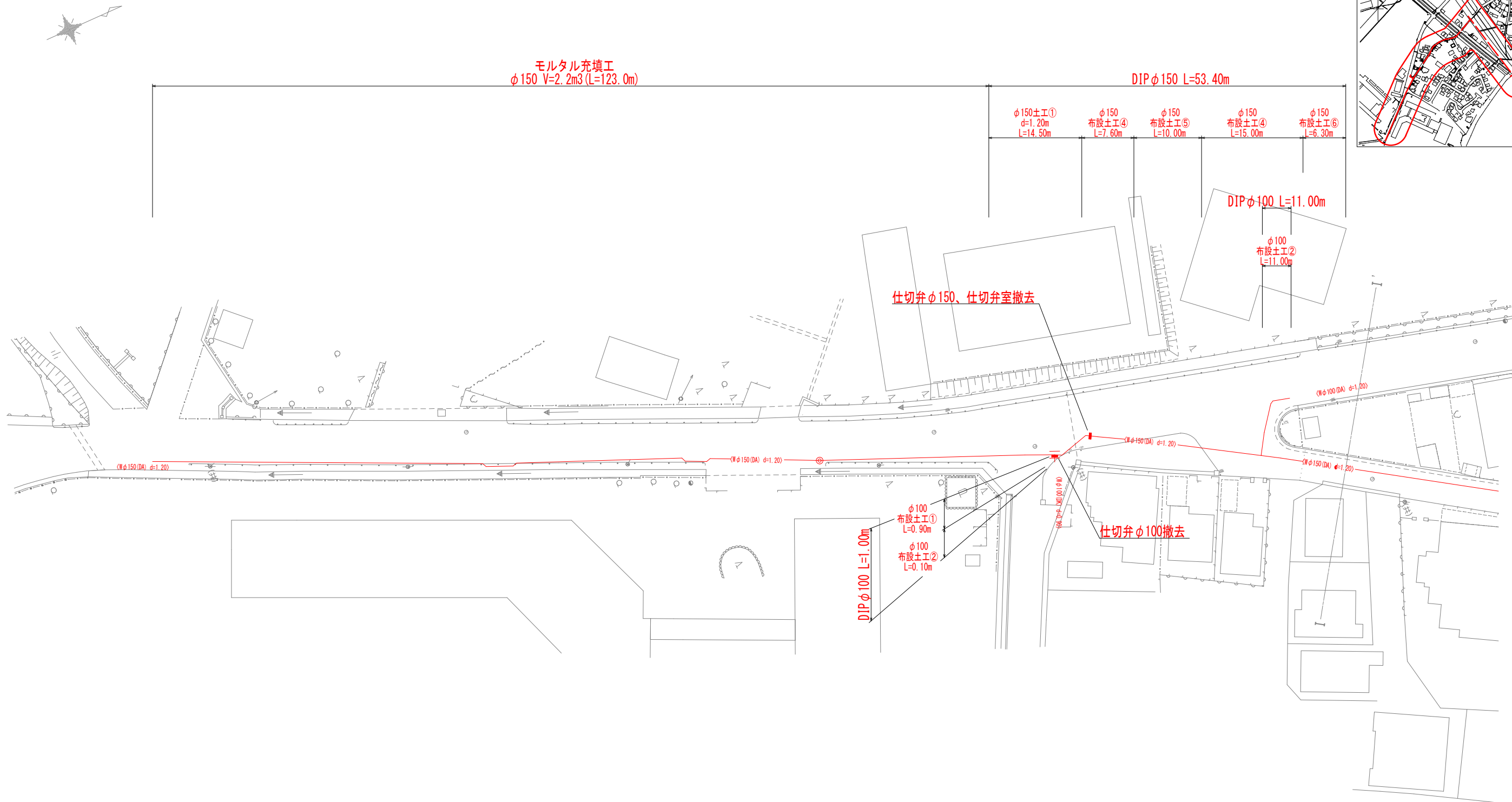
仮配水管平面図(3) S=1/300

位置図 S = 1/ 5000



既設管撤去平面図(1) S=1/300

位置図 S = 1/ 5000



配水管撤去工	計	L= 486.2m
D.C.I.P φ75	L= 5.4m (撤去)	
D.C.I.P φ100	L= 12.0m (撤去)	
D.C.I.P φ150	L= 249.5m (撤去)	
D.C.I.P φ200	L= 21.4m (撤去)	
D.C.I.P φ300	L= 197.9m (撤去)	

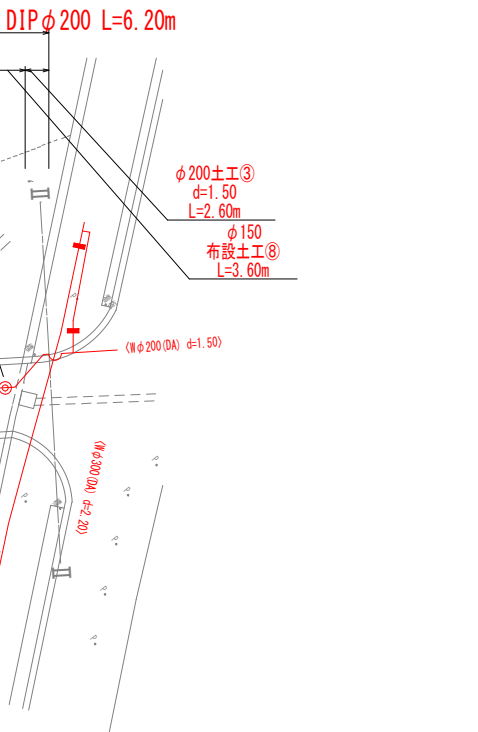
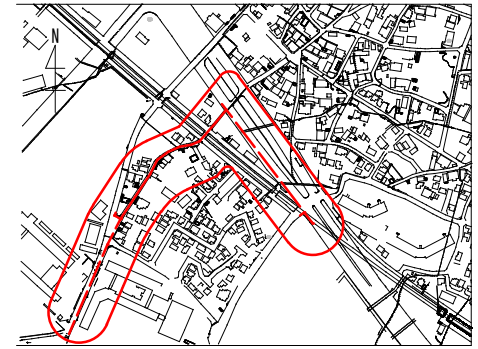
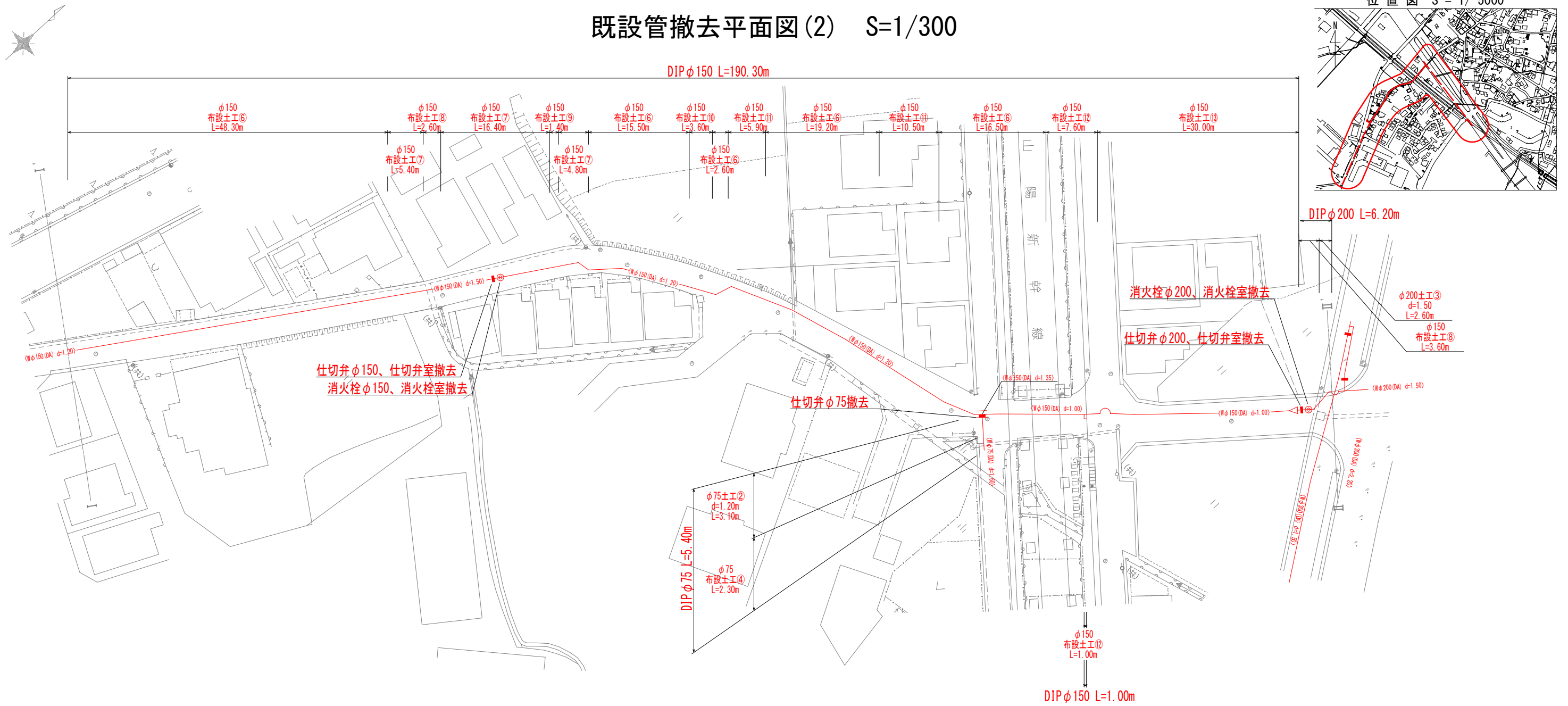
仕切弁撤去工	計	N= 8基
φ75	N= 1基	
φ100	N= 1基	
φ150	N= 3基	
φ200	N= 2基	
φ300	N= 1基	

消火栓撤去工	計	N= 4基
φ150	N= 1基	
φ200	N= 1基	
φ300	N= 2基	

図番	7 / 12	施工年度	令和4年度
工事名	二見町西二見地内配水管布設替工事		
図種	位置図・既設管撤去平面図(1)		
場所	明石市二見町西二見地内		
縮尺	図示		
制作日			
設計者	製図者		

既設管撤去平面図(2) S=1/300

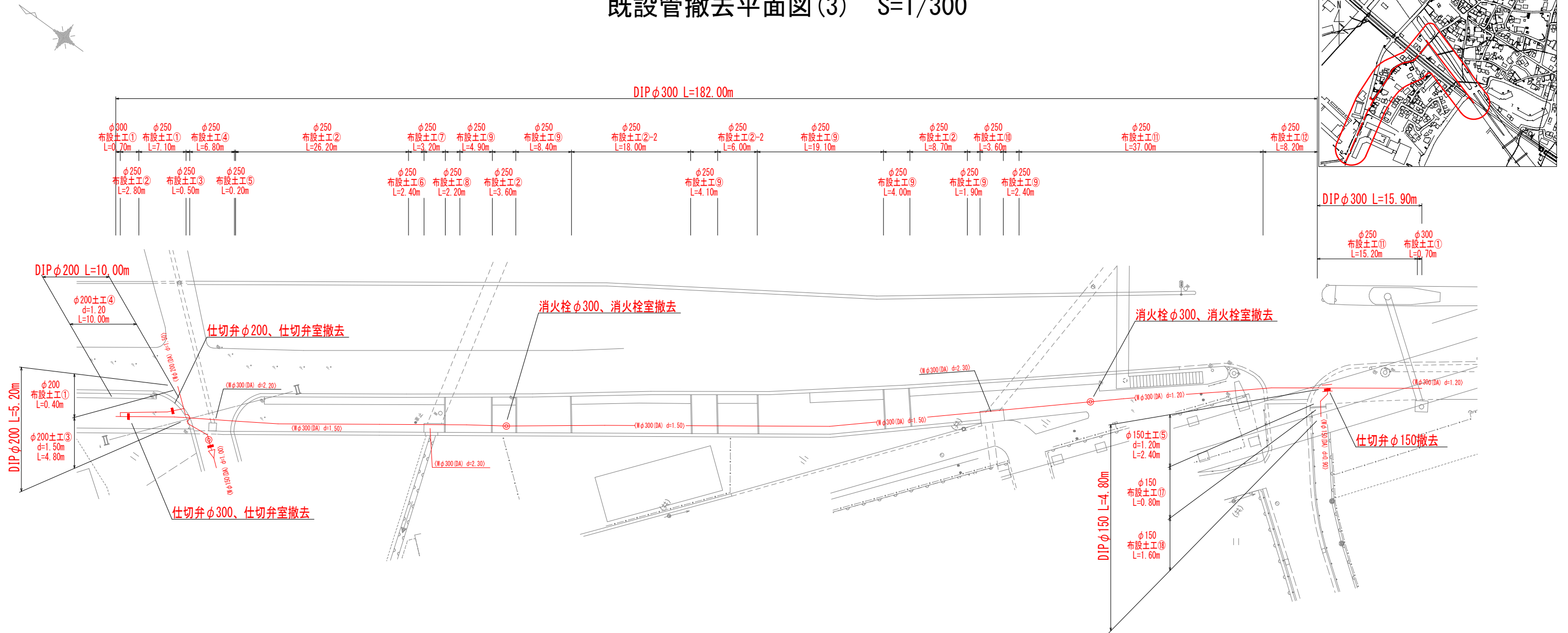
位置図 S = 1/ 5000



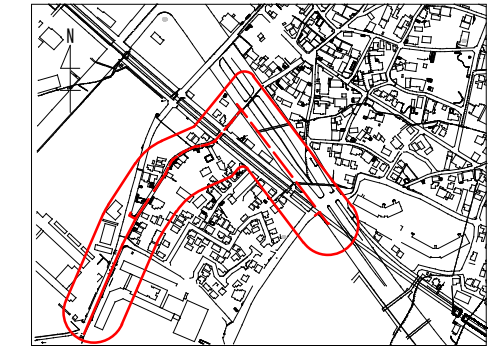
図番	8 / 12	施工年度	令和4年度
工事名	二見町西二見地内配水管布設替工事		
図種	位置図・既設管撤去平面図(2)		
場所	明石市二見町西二見地内		
縮尺	図示		
制作日			
設計者		製図者	

既設管撤去平面図(3) S=1/300

位置図 S = 1/5000



図番	9 / 12	施工年度	令和4年度
工事名	二見町西二見地内配水管布設替工事		
図種	位置図・既設管撤去平面図(3)		
場所	明石市二見町西二見地内		
縮尺	図示		
制作日			
設計者		製図者	



舗装復旧平面図(1) S=1/300

市道車道 As2層式10cm (切削オーバーレイ)		市道歩道 一般部As5cm		県道車道 As3層式20cm		県道歩道 乗入部As5cm	
1-1	899.4	3-1	99.6	5-1	119.2	7-1	37.1
1-2	5.6	4-1	47.1	5-2	37.9	7-2	44.4
計	899.4	計	99.6	計	157.1	7-3	22.3
						7-4	100.2
						7-5	22.2
						計	226.2

市道車道 As2層式10cm (2層打換え)		市道歩道 一般部インターロッキングブロック6cm		県道歩道 一般部As3cm	
1-2	5.6	4-1	47.1	6-1	50.7
計	5.6	計	47.1	6-2	127.4
				6-3	14.8
				6-4	80.9
				6-5	27.6
				6-6	228.1
				6-7	94.4
				計	623.9

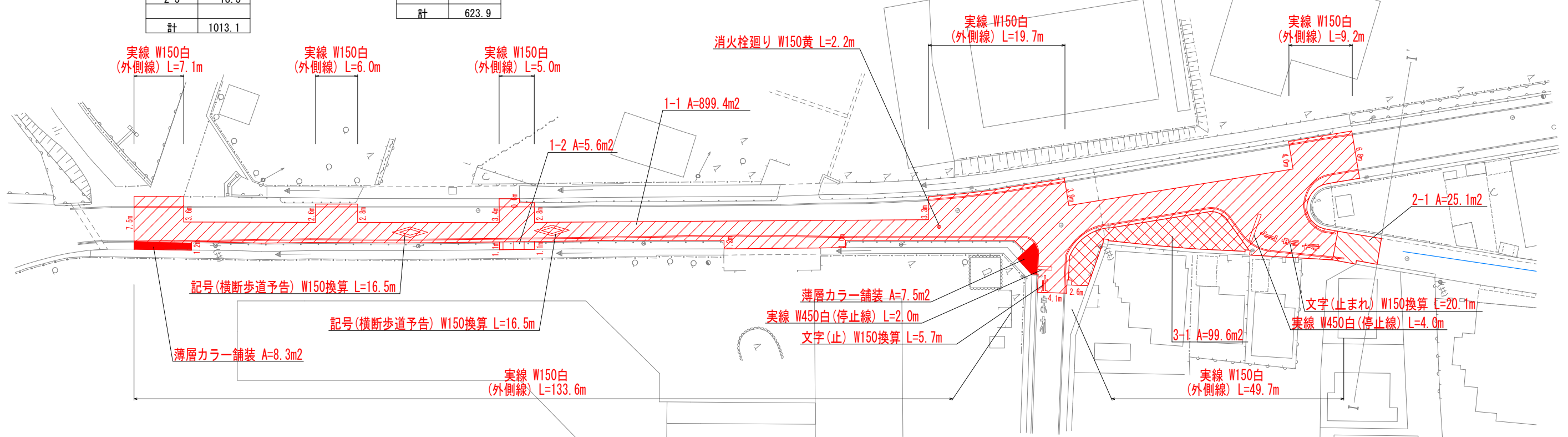
市道車道 As1層式5cm		市道歩道 一般部As5cm	
2-1	25.1	3-1	99.6
2-2	969.7	計	99.6
2-3	18.3		
計	1013.1		

舗装復旧工 総括

舗装工種	復旧面積 (m2)
市道車道As2層式10cm (切削オーバーレイ)	899.4
市道車道As2層式10cm (2層打換え)	5.6
市道車道As1層式5cm	1013.1
市道歩道一般部As5cm	99.6
市道歩道一般部インターロッキングブロック6cm	47.1
県道車道As3層式20cm	157.1
県道歩道一般部As3cm	623.9
県道歩道乗入部As5cm	226.2

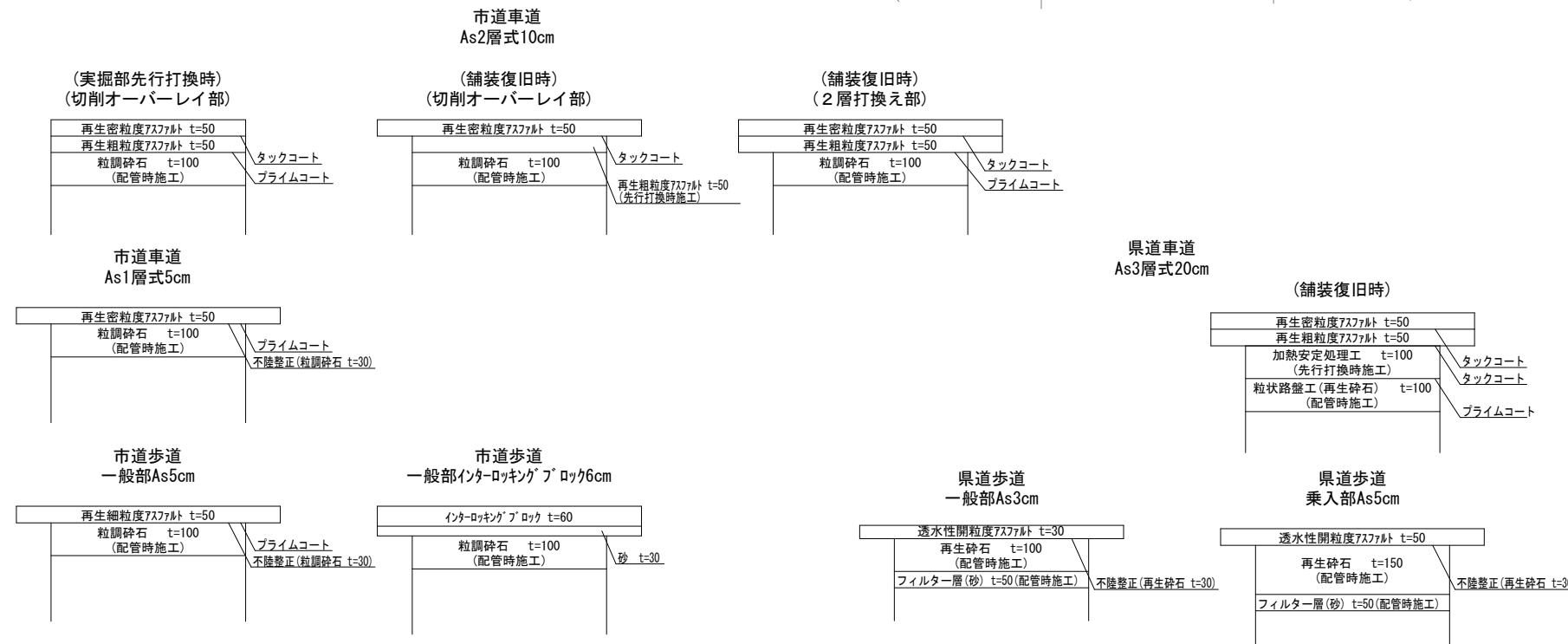
区画線工 総括

工種	延長 (m)
実線・W150白 外側線	254.2
実線・W150白 文字枠	10.8
実線・W150白 自転車道境界線	148.8
実線・W150白 横断歩道	9.2
実線・W450白 停止線	20.5
実線・W450白 横断歩道	35.7
実線・W450白 ゼブラ	5.0
文字・記号W150換算	132.2
実線・W150黄 消火栓廻り	6.6
薄層カラー舗装	348.7 m2



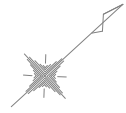
撤去・再設置工 総括

工種	面積 (m2)
視覚障害者誘導ブロック	17.10



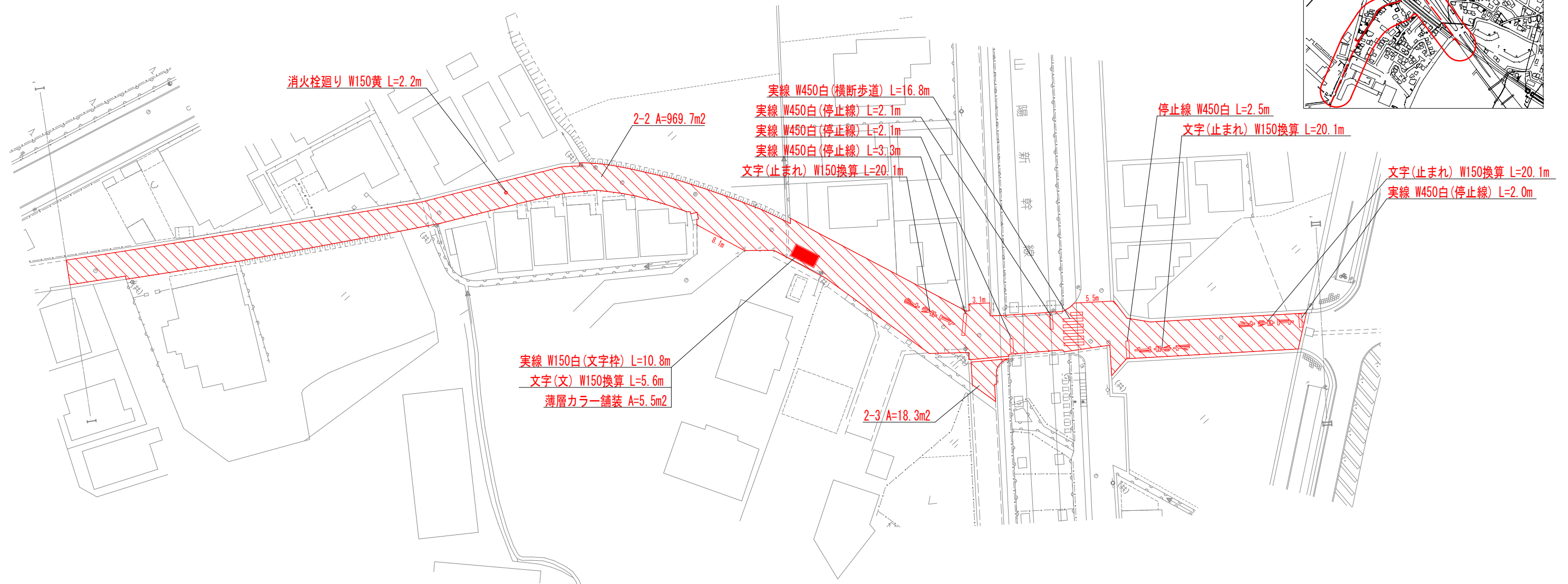
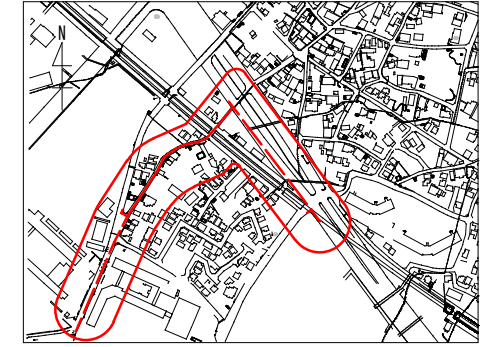
- 市道車道As2層式 (切削オーバーレイ)
- 市道車道As2層式 (2層打換え)
- 市道車道As1層式
- 市道歩道一般部As
- 市道歩道一般部インターロッキングブロック
- 県道車道As3層式
- 県道歩道一般部As
- 県道歩道乗入部As

図番	10 / 12	施工年度	令和4年度
工事名	二見町西二見地内配水管布設替工事		
図種	位置図・舗装復旧平面図(1)		
場所	明石市二見町西二見地内		
縮尺	図示		
制作日			
設計者	製図者		



舗装復旧平面図(2) S=1/300

位置図 S = 1/ 5000

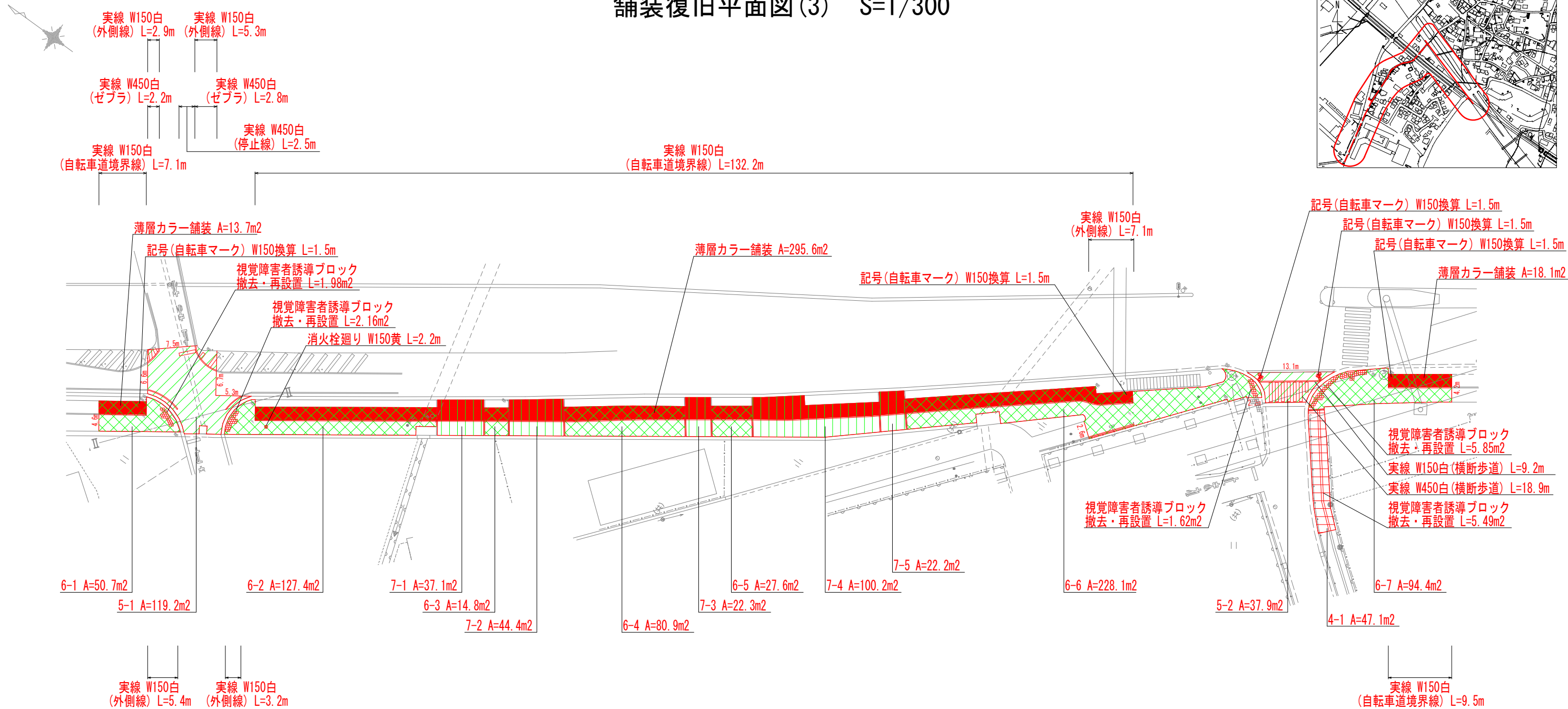
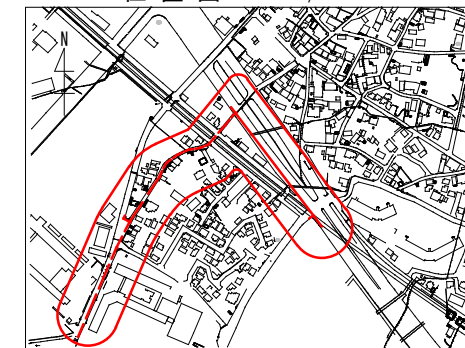


- | | | | |
|--|--------------------------|--|-----------|
| | 市道車道As2層式 | | 県道車道As3層式 |
| | 市道車道As1層式 | | 県道歩道一般部As |
| | 市道歩道一般部As | | 県道歩道乗入部As |
| | 市道歩道一般部
インターロッキングブロック | | |

図番	11 / 12	施工年度	令和4年度
工事名	二見町西二見地内配水管布設替工事		
図種	位置図・舗装復旧平面図(2)		
場所	明石市二見町西二見地内		
縮尺	図示		
制作日			
設計者	製図者		

舗装復旧平面図(3) S=1/300

位置図 S = 1/5000



図番	12 / 12	施工年度	令和4年度
工事名	二見町西二見地内配水管布設替工事		
図種	位置図・舗装復旧平面図(3)		
場所	明石市二見町西二見地内		
縮尺	図示		
制作日			
設計者		製図者	

二見町西二見地内配水管布設替工事ほか工事



© 2021 ZENRIN CO.,LTD.

工 事 設 計 書									
年 度	令和4年度	技術管理者	課長	係長	係長	精算者	設計者	配水及び給水費	
工 事 番 号	04-5603							設 計 年 月 日	令和4年 6月 22日
着 工 番 号								精 算 年 月 日	令和4年 6月 22日
施 工 理 由									
施 工 箇 所	明石市二見町西二見地内					施 工 方 法 及 び 工 事 期 限		<input type="checkbox"/> 請 負 単 価 契 約 令和5年3月31日まで	
工 事 名 称	二見町西二見地内配水管布設替に伴う給水管切替工事					支 払 い 方 法		前 払 金	あり (40%以内)
								中 間 前 払 金	あり (20%以内)
								部 分 払	あり (2回以内)
工 事 概 要	給水管切替工計 32箇所								
	φ20 給水管切替工 20箇所								
	φ25 給水管切替工 4箇所								
	φ30 給水管切替工 2箇所								
	φ40 給水管切替工 2箇所								
	φ50 給水管切替工 2箇所								
	φ75 給水管切替工 2箇所								
当初設計金額	円	消費税相当額	円	当初請負金額	円	消費税相当額	円		
変更設計金額	円	消費税相当額	円	変更請負金額	円	消費税相当額	円		
増 減	円	増 減	円	増 減	円	増 減	円		

総括情報表

単価適用年月日	0-04.06.01(0)		
工種区分 施工地域区分	今 回 01 開削工事及び小口推進工事 23 一般交通影響あり(2)	前 回	

工 事 費 内 訳 書

頁0-0002/0034

	費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
本工事費						
	管路（開削）					
	給水管					
	給水管布設工					
	給水管布設土工	1	式			工種 第0001号明細表
	交通誘導員設置	1	式			工種 第0004号明細表
		1	式			工種 第0006号明細表
直接工事費計						
共通仮設費計						
共通仮設費率分			式			

工 事 費 内 訳 書

頁0-0003/0034

	費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
純工事費計						
現場管理費						
工事原価計			式			
一般管理費等						
工事価格計			式			
消費税相当額						
総 計			式			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
PP管 φ20 二層管,1種(軟質)	51.0	m			
給水管切替φ20(材料) ホトル分水栓含まない	20	箇所			施工 第0-0001号内訳表
ホトル分水栓(鋳鉄用) φ150×20 密着コア込	19	個			
ホトル分水栓(鋳鉄用) φ250×20 密着コア込	1	個			
PP管 φ25 二層管,1種(軟質)	10.3	m			
給水管切替φ25(材料) ホトル分水栓含まない	4	箇所			施工 第0-0002号内訳表
ホトル分水栓(鋳鉄用) φ150×25 密着コア込	3	個			
ホトル分水栓(鋳鉄用) φ250×25 密着コア込	1	個			
PP管 φ30 二層管,1種(軟質)	3.5	m			

工種明細表

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
給水管切替φ30(材料) ホトル分水栓含まない	2	箇所			施工 第0-0003号内訳表
ホトル分水栓(鋳鉄用) φ150×30 密着コア込	1	個			
ホトル分水栓(鋳鉄用) φ250×30 密着コア込	1	個			
PP管 φ40 二層管,1種(軟質)	7.3	m			
給水管切替φ40(材料) ホトル分水栓含まない	2	箇所			施工 第0-0004号内訳表
ホトル分水栓(鋳鉄用) φ150×40 密着コア込	2	個			
PP管 φ50 二層管,1種(軟質)	5.5	m			
給水管切替φ50(材料) ホトル分水栓含まない	2	箇所			施工 第0-0005号内訳表
ホトル分水栓(鋳鉄用) φ150×50 密着コア込	2	個			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
表示帯	88.2	m			
管明示テープ(幅50mm 1巻 20m) 年号入り エコマーク認定品	5	巻			
DGX-S 直管 φ 75×4000 ゴム輪・ロックリング(ホルダー含) 内面エポキシ粉体塗装	2	本			
DGX 曲管 φ 75×90° ロックリング含 内面エポキシ粉体塗装	6	個			
DGX 継ぎ輪 φ 75 ロックリング含 内面エポキシ粉体塗装	2	個			
GX形G-Linkセット φ 75 切管異形管受用	10	組			
GX形ライフ φ 75 ライフボード含	5	組			
DK 特殊押輪(3DkN以上) φ 75 接合材含む	1	組			
合 計	1	式			

手間

工種明細表

工種 第0003号明細表

頁0-0008/0034

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
ポリエチレン管 据付 呼び径 20mm	51.0	m			
給水管切替工(φ75~150×φ20)	19	箇所			施工 第0-0006号内訳表
給水管切替工(φ200~250×φ20)	1	箇所			施工 第0-0007号内訳表
ポリエチレン管 据付 呼び径 25mm	10.3	m			
給水管切替工(φ75~150×φ25)	3	箇所			施工 第0-0008号内訳表
給水管切替工(φ200~250×φ25)	1	箇所			施工 第0-0009号内訳表
ポリエチレン管 据付 呼び径 30mm	3.5	m			
給水管切替工(φ75~150×φ30)	1	箇所			施工 第0-0010号内訳表
給水管切替工(φ200~250×φ30)	1	箇所			施工 第0-0011号内訳表

手間

工種明細表

工種 第0003号明細表

頁0-0009/0034

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
ポリエチレン管 据付 呼び径 40mm	7.3	m			
給水管切替工(φ75~150×φ40)	2	箇所			施工 第0-0012号内訳表
ポリエチレン管 据付 呼び径 50mm	5.5	m			
給水管切替工(φ75~150×φ50)	2	箇所			施工 第0-0013号内訳表
管明示シート工	88.2	m			
管明示テープ工(ポリエチレン管) 呼び径φ50mm以下	88.2	m			
鋳鉄管吊込み据付(機械力) 呼び径 75mm以下	11.0	m			
鋳鉄管(新設管)切断工(エンジンカッター) ダクタイル鋳鉄管 呼び径75mm	9	口			
G X継手接合(呼び径 75mm) 直管	5	口			

手間

工種明細表

工種 第0003号明細表

頁0-0010/0034

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
GX継手接合(呼び径 75mm) G-Linkの接合	10	口			
メカニカル継手 接合(呼び径 75mm以下) 継手：K形 特殊押輪補正あり	1	口			
メカニカル継手 取外し(呼び径 75mm以下) 継手：K形 特殊押輪補正あり	1	口			
合 計	1	式			

土工

工種明細表

工種 第0005号明細表

頁0-0012/0034

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
舗装版切断(アスファルト舗装版) As舗装版厚→15cm以下	160	m			
舗装版取壊し積込工 舗装厚⇒0cm越え 10cm以下	53	m ²			
掘削積込工	46	m ³			
掘削積込工(補助的作業なし)	9	m ³			施工 第0-0014号内訳表
掘削(人力) 土砂 現場制約あり	2	m ³			
残塊処分工(アスファルト) 〔中谷建材株〕 運搬距離 L=11.5km	3	m ³			施工 第0-0015号内訳表
残塊処分工(土砂) 〔西川建材株〕 運搬距離 L=11.3km	57	m ³			施工 第0-0016号内訳表
仮復旧工〔密粒度〔再〕(13)] 厚 5cm	53	m ²			施工 第0-0017号内訳表
路盤工(粒調碎石) 上層路盤 施工幅：1.8m 未満 仕上り厚10cm	35	m ²			

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
路盤工(粒調碎石) 上層路盤 施工幅：1.8m 未満 仕上り厚15cm	13	m ²			
路盤工(再生切込碎石) 上層路盤 施工幅：1.8m 未満 仕上り厚10cm	5	m ²			
フィルター層 t = 40mm以上60mm未満 洗砂	5	m ²			
埋戻工 (埋戻し材→再生切込碎石)	35	m ³			
埋戻工 (埋戻し材→流用土)	8	m ³			
埋戻工 (埋戻し材→スクリーニングス)	8	m ³			
軽量鋼矢板建込引抜工 (両側分)	5.6	m			
土留支保工 (設置+撤去) 切梁種別 水圧式 ^ハ イ ^フ ホ ^ト	5.6	m			
鋼矢板支保工賃料 (軽量鋼矢板2.5m用) 2段	5.6	m			

施工単価表

施工 第0-0001号内訳表

頁0-0018/0034

給水管切替φ20（材料）

[規格1]サドル分水栓含まない

[規格2]

[摘要]

1

箇所
当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
PPマーサジョイント φ20	2	個			
VPマータ用伸縮継手 φ20	1	個			
止水栓 φ20	1	個			
止水栓BOX 明石型 H=400	1	個			
PPエルボ φ20	2	個			
HI エルボ φ20 JIS K 6743	2	個			
PP管 φ20 二層管,1種(軟質)	0.5	m			
HIVP管 φ20 JIS K 6742	0.5	m			
単 位 当 り	1	箇所			

施工単価表

施工 第0-0002号内訳表

頁0-0019/0034

給水管切替 φ25 (材料)

[規格1] サドル分水栓含まない

[規格2]

[摘要]

1

箇所
当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
PPマーサジョイント φ25	2	個			
VPマーサ用伸縮継手 φ25	1	個			
止水栓 φ25	1	個			
止水栓BOX 明石型 H=400	1	個			
PPエルボ φ25	2	個			
HI エルボ φ25 JIS K 6743	2	個			
PP管 φ25 二層管, 1種(軟質)	0.5	m			
HIVP管 φ25 JIS K 6742	0.5	m			
単 位 当 り	1	箇所			

施工単価表

施工 第0-0003号内訳表

頁0-0020/0034

給水管切替φ30（材料）

[規格1]サドル分水栓含まない

[規格2]

[摘要]

1

箇所
当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備
PPマーキングジョイント φ30	2	個			
VPマーカ用伸縮継手 φ30	1	個			
止水栓 φ30	1	個			
止水栓BOX 明石型 H=600	1	個			
PPエルボ φ30	2	個			
HI エルボ φ30 JIS K 6743	2	個			
PP管 φ30 二層管,1種(軟質)	0.5	m			
HIVP管 φ30 JIS K 6742	0.5	m			
単 位 当 り	1	箇所			

施工単価表

施工 第0-0004号内訳表

頁0-0021/0034

給水管切替φ40（材料）

[規格1]サドル分水栓含まない

[規格2]

[摘要]

1

箇所
当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
PPマーサジョイント φ40	2	個			
VPマータ用伸縮継手 φ40	1	個			
止水栓 φ40	1	個			
止水栓BOX 明石型 H=600	1	個			
PPエルボ φ40	2	個			
HI エルボ φ40 JIS K 6743	2	個			
PP管 φ40 二層管,1種(軟質)	0.5	m			
HIVP管 φ40 JIS K 6742	0.5	m			
単 位 当 り	1	箇所			

施工単価表

施工 第0-0005号内訳表

頁0-0022/0034

給水管切替φ50 (材料)

[規格1]サドル分水栓含まない

[規格2]

[摘要]

1

箇所
当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
PPマーサジョイント φ50	2	個			
VPマーサ用伸縮継手 φ50	1	個			
止水栓 φ50	1	個			
止水栓BOX 明石型 H=600	1	個			
PPエルボ φ50	2	個			
HI エルボ φ50 JIS K 6743	2	個			
PP管 φ50 二層管,1種(軟質)	0.5	m			
HIVP管 φ50 JIS K 6742	0.5	m			
単 位 当 り	1	箇所			

施工単価表

施工 第0-0017号内訳表

頁0-0034/0034

仮復旧工 [密粒度[再](13)]

[規格1]厚 5cm

[規格2]

[摘要]

100

m2

当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役		人			
特殊作業員		人			
普通作業員		人			
密粒度アスファルト混合物(再生材) TOP13		t			
振動ローリ運転		日			
振動コンパクタ運転		日			
諸雑費		%			
合計	100	m2			
単位当り	1	m2			

特記仕様書
(令和4年度 二見町西二見地内配水管布設替工事ほか工事)

項目以下数字の左側に※がある項目を本工事の該当項目とする。

章																									
1	<p>一般共通事項</p> <p>※ 1 現場代理人の兼務</p> <p style="padding-left: 20px;">※ 1 本合併工事については、本合併工事以外の工事の現場代理人の兼務を認めない。</p> <p>※ 2 合併工事</p> <p style="padding-left: 20px;">※ 1 本工事は、他部署との合併工事はない。</p> <p>※ 3 近接工事</p> <p style="padding-left: 20px;">※ 1 発注時に、確認している近接工事は無いが、近接工事が確認された場合は、関連他業者との連絡を密にし、互いの工事の影響が少ないように工程管理すること。</p> <p>※ 4 占用関係</p> <table style="margin-left: 40px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding-right: 10px;">※ 1 国道(250号)</td> <td style="border-left: 1px solid black; padding-left: 10px;">2 県道()</td> </tr> <tr> <td style="padding-right: 10px;">※ 3 市道()</td> <td style="border-left: 1px solid black; padding-left: 10px;">4 法定外道路()</td> </tr> <tr> <td style="padding-right: 10px;">5 港湾()</td> <td style="border-left: 1px solid black; padding-left: 10px;">6 河川()</td> </tr> <tr> <td style="padding-right: 10px;">7 その他()</td> <td style="border-left: 1px solid black; padding-left: 10px;"></td> </tr> </table> <p style="padding-left: 40px;">上記のチェックが入っている占用について、監督員と協議して必要な書類を提出すること。</p> <p>※ 5 協議関係(上記占用以外)</p> <p style="padding-left: 20px;">※ 1 鉄道等(山陽新幹線)</p> <p style="padding-left: 40px;">2 バス道等()</p> <p style="padding-left: 20px;">※ 3 学校関係(明石西高等学校、二見中学校)</p> <p style="padding-left: 40px;">4 その他()</p> <p style="padding-left: 40px;">上記1～4のいずれかにチェックが入っている場合は、各関係者に施工内容や時期を報告し、場合によっては施工協議をする必要も出てくるので、監督員と充分協議すること。</p> <p>※ 6 工事の範囲</p> <p style="padding-left: 20px;">※ 1 当該工事予定範囲について、地元要望等及び現地の状況により、施工範囲の増減が生じる可能性がある。その場合は、協議のうえ設計変更の対象とする。</p> <p>※ 7 交通誘導警備員</p> <p style="padding-left: 20px;">※ 1 交通誘導警備員の人数は、下表のとおりとする。</p> <table border="1" style="margin-left: 40px; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 20%;">種類</th> <th style="width: 15%;">合計</th> <th style="width: 15%;">配水</th> <th style="width: 15%;">給水</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A</td> <td>67名</td> <td>65名</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>372名</td> <td>350名</td> <td>22名</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>439名</td> <td>415名</td> <td>24名</td> </tr> </tbody> </table> <p style="padding-left: 40px;">※ 1日1現場当り4名(標準)</p> <p style="padding-left: 40px;">※ 1日1現場当りT字交差点部 5名</p> <p style="padding-left: 40px;">※ 1日1現場当り十字交差点部6名</p> <p style="padding-left: 40px;">その他1日1現場当り追加 1名(バス停)</p> <p style="padding-left: 40px;">※ 道路管理者及び警察署との協議及び地元要望等に伴い、上記の配置員数に増減が生じた場合は、協議のうえ設計変更の対象とする。また、その配置を監督員と協議すること。</p> <p style="padding-left: 40px;">なお、交通誘導員A、Bの定義は次のとおりとする。</p> <p style="padding-left: 60px;">交通誘導警備員A;警備業者の警備員(警備業法第2条第4項に規定する警備員を言う。)で、交通誘導警備業務(警備員等の検定等に関する規則第1条</p>	※ 1 国道(250号)	2 県道()	※ 3 市道()	4 法定外道路()	5 港湾()	6 河川()	7 その他()		種類	合計	配水	給水	A	67名	65名	2名	B	372名	350名	22名	合計	439名	415名	24名
※ 1 国道(250号)	2 県道()																								
※ 3 市道()	4 法定外道路()																								
5 港湾()	6 河川()																								
7 その他()																									
種類	合計	配水	給水																						
A	67名	65名	2名																						
B	372名	350名	22名																						
合計	439名	415名	24名																						

特記仕様書
(令和4年度 二見町西二見地内配水管布設替工事ほか工事)

項目以下数字の左側に※がある項目を本工事の該当項目とする。

章	
	<p>第4号に規定する交通誘導警備業務をいう。)に従事する交通誘導警備業務に係る1級検定合格警備員又は2級検定合格警備員 交通誘導警備員B;警備業者の警備員で交通誘導警備員A以外の交通の誘導に従事するもの</p> <p>※ 8 低入札調査基準価格または最低制限価格の算定方法について</p> <p style="padding-left: 2em;">※ 1 低入札調査基準価格または最低制限価格の算定については、スクラップ控除を直接工事費に含めて算定している。</p> <p>※ 9 その他事項</p> <p style="padding-left: 2em;">※ 1 設計図書とは、明石市水道局工事請負契約約款第1条に規定する設計図書及び工事設計書のことをいう。</p> <p style="padding-left: 2em;">※ 2 工期については、配水管布設替工事については契約締結日の翌日から令和5年4月28日まで、給水管切替工事については、令和5年3月31日までとしている。 給水管切替工事の予算については、公営企業管理者による次年度への繰り越しが決定されたときは、令和5年4月28日までとする工期延期を行う予定である。 また、令和5年4月28日以上の工期延期については、協議により決定するものとする。</p> <p style="padding-left: 2em;">※ 3 当該工事設計書は令和3年度水道施設整備費に係る歩掛表に基づいて積算している。</p> <p style="padding-left: 2em;">※ 4 間接工事費等の算定における管材費には、従来の材料に加えて仮配管も含めている。</p>

章	
2	<p>管きょ工</p> <p style="padding-left: 2em;">※ 1 使用材料</p> <p style="padding-left: 4em;">※ 1 使用材料確認願(様式29-1)には、明石市水道工事標準仕様書4.1に記載している指定品及びその他土木工事等材料に記載すること。 添付書類は、県土整備部指定様式のほか、使用するメーカーの日本水道協会検査工場登録通知書、構造図(承認図)(不断水バルブ、割T字管(付属バルブ)、特殊な仕切弁、消火栓、空気弁、補修弁、排泥弁、止水栓、サドル分水栓、その他監督員が必要と認める材料)とする。</p> <p style="padding-left: 4em;">※ 2 土木工事承諾願(様式30-1)には、指定品以外の水道材料及び受注者が監督員に承諾を求める材料に記載すること。 添付書類は、県土整備部指定様式のほか、水道材料については、使用するメーカーの日本水道協会検査工場登録通知書と構造図(承認図)またはそれらに替わる書類、土木工事等材料については、その性能等を証明する書類とする。</p> <p style="padding-left: 4em;">※ 3 水道使用材料納品後、立会願を提出し、監督員の材料確認状況及び材料のメーカーマークが分かる写真を工事写真帳に添付すること。</p> <p style="padding-left: 4em;">※ 4 在庫品を使用する場合、工事打合せ簿にて使用したい在庫品の一覧表を添付すること。 また、立会願いを提出し、監督員は在庫品を確認し、使用可能かを工事打合せ簿で回答すること。確認状況写真を工事写真帳に添付すること。</p> <p style="padding-left: 2em;">※ 2 一体化長さ</p> <p style="padding-left: 4em;">※ 1 設計水圧0.75Mpa、摩擦係数0.3で設計している。</p> <p style="padding-left: 4em;">※ 2 上記の条件と管の各口径及び各土被りを考慮し一体化長さを確認し、ライナや特殊押輪の有無を適時確認して施工すること。</p>

特記仕様書
(令和4年度 二見町西二見地内配水管布設替工事ほか工事)

項目以下数字の左側に※がある項目を本工事の該当項目とする。

章	
	<p>※ 3 管の据付</p> <p style="padding-left: 2em;">※ 1 管路の高さを調整する場合は、スクリーニングス等を詰めた土嚢を使用すること。</p> <p>※ 4 消火栓・空気弁</p> <p style="padding-left: 2em;">※ 1 丸型消火栓ボックスを設置する箇所については、補修弁のバルブの位置を配水管法線から、90° の位置に設置すること。</p> <p style="padding-left: 2em;">※ 2 消火栓及び空気弁の口の高さは、GL-20cm±5に収まるようにフランジ短管で調節すること。</p> <p style="padding-left: 2em;">※ 3 フランジ部で使用するボルトは75mm以上のSUS製とすること。 また、ナットについては、SUS製の緩み防止仕様を使用すること。</p> <p>※ 5 水圧試験</p> <p style="padding-left: 2em;">※ 1 標準仕様書5.10(1)について以下の条件を全て満たす場合、試験水圧0.75MPa、試験時間10分間、低下率1.0%以内を許容限度とする。 ・材質は鋳鉄管 ・口径は300mm以下 ・試験延長合計は100m未満</p> <p>※ 6 現場発生品の処分</p> <p style="padding-left: 2em;">※ 1 既設鋳鉄管、鉄蓋関係の処分については、有価物として売却すること。その場合、金属くず商の許可証の写し、物品の受領を証明する書類、計量証明書などを監督員に提出すること また、計量伝票などの集計を設計変更の対象とする。なお、処分地は(株)シノウで運搬距離は0.6kmを計上している。ただし、上記書類等が整えば、別の処分地でも可能とする。 その場合は、設計変更の対象としない。</p> <p style="padding-left: 2em;">2 既設石綿管の撤去が発生した場合、「水道用石綿セメント管の撤去作業等における石綿対策の手引き」(平成17年8月、厚生労働省健康局水道課)を参考として作業を行うこと。 その文章中のプラスチック袋等は、ポリエチレンスリーブ(2重包み)に置き換えて作業すること。処分地は特記仕様書(追記)のとおりとする。</p> <p style="padding-left: 2em;">※ 3 既設塩ビ管、ボックス等、その他現場発生品については、その材質により適切に処分すること。処分費については、処分地等は大阪湾広域臨海環境整備センター(播磨事業所)、運搬距離 3.4km、処分費目は廃プラスチック類でを計上している。 ただし、計量伝票などの集計を設計変更の対象とする。</p> <p>※ 7 スクラップの種類</p> <p style="padding-left: 2em;">※ 1 撤去鋳鉄管関係については、故銑Bで計上している。</p> <p>※ 8 その他事項</p> <p style="padding-left: 2em;">※ 1 本工事における仮配水管の供用日数について、121～150日までとして計上している。</p>

特記仕様書
(令和4年度 二見町西二見地内配水管布設替工事ほか工事)

項目以下数字の左側に※がある項目を本工事の該当項目とする。

章	
---	--

章																																																																																																																																				
3	<p>土工事</p> <p>※ 1 重機</p> <p style="margin-left: 20px;">※ 1 特殊車両(一般的制限値である幅2.5m、長さ12.0m、高さ3.8m、総重量20.0t等のいずれかを越える車両)を使用する工事なので、施工計画書に明記するとともに、施工時までに必要な書類をそろえ、監督員に提示できるようにしておくこと。</p> <p>※ 2 アスファルト切断</p> <p style="margin-left: 20px;">※ 1 アスファルト切断は、乾式または吸引式を使用すること。</p> <p>※ 3 配水管布設時の掘削幅</p> <p style="margin-left: 20px;">※ 1 矢板無の場合、単位はmm</p> <table border="1" style="margin-left: 40px; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><td>口径</td><td>φ 75</td><td>φ 100</td><td>φ 150</td><td>φ 200</td><td>φ 250</td><td>φ 300</td><td>φ 350</td><td>φ 400</td><td>φ 450</td></tr> <tr><td>GX形</td><td>600</td><td>600</td><td>600</td><td>600</td><td>650</td><td>700</td><td>900</td><td>950</td><td>1000</td></tr> <tr><td>NS形</td><td>600</td><td>650</td><td>700</td><td>750</td><td>800</td><td>850</td><td>900</td><td>950</td><td>1000</td></tr> <tr><td>K形</td><td>600</td><td>650</td><td>700</td><td>750</td><td>800</td><td>850</td><td>900</td><td>950</td><td>1000</td></tr> </table> <p style="margin-left: 20px;">※ 2 矢板有の場合、単位はmm</p> <table border="1" style="margin-left: 40px; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><td>口径</td><td>φ 75</td><td>φ 100</td><td>φ 150</td><td>φ 200</td><td>φ 250</td><td>φ 300</td><td>φ 350</td><td>φ 400</td><td>φ 450</td></tr> <tr><td>GX形</td><td>850</td><td>850</td><td>850</td><td>850</td><td>850</td><td>850</td><td>950</td><td>1000</td><td>1050</td></tr> <tr><td>NS形</td><td>850</td><td>850</td><td>850</td><td>850</td><td>850</td><td>900</td><td>950</td><td>1000</td><td>1050</td></tr> <tr><td>K形</td><td>850</td><td>850</td><td>850</td><td>850</td><td>850</td><td>900</td><td>950</td><td>1000</td><td>1050</td></tr> </table> <p>※ 4 配水管布設時の掘削深</p> <p style="margin-left: 20px;">※ 1 配水管布設時の掘削深は、土被り+布設管外径(D2)+100を基本とする。</p> <p style="margin-left: 20px;">※ 2 既設管を撤去し、その断面で新設管を布設する場合、既設管の管底まで掘削し、上記のように掘削深から100mm程度上げた状態で管を布設することを基本とする。ただし、近接する地下埋設物の状態や既設管の配管状況により、曲管等の異形管が極力増えないように土被りを検討すること。</p> <p style="margin-left: 20px;">※ 3 会所掘箇所は、G-Link・P-Link・特殊押輪等の押しボルト設置箇所とする。</p> <p style="margin-left: 20px;">※ 4 会所掘箇所の断面は、布設管口径がφ 350mm以下の場合、延長500mm、深さ200mm、φ 400mm以上の場合、延長800mm、深さ500mmとし、幅はそれぞれの掘削幅とする。</p> <p>※ 5 仮配水管・仮給水管の掘削幅・掘削深</p> <p style="margin-left: 20px;">※ 1 矢板無の場合、単位はmm</p> <table border="1" style="margin-left: 40px; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><td>口径</td><td>φ 100以下</td><td>φ 150</td><td>φ 200</td><td>φ 250</td><td>φ 300</td><td>φ 400</td></tr> <tr><td>幅</td><td>400</td><td>450</td><td>500</td><td>550</td><td>600</td><td>700</td></tr> <tr><td>深さ</td><td>400</td><td>450</td><td>500</td><td>550</td><td>600</td><td>800</td></tr> </table> <p style="margin-left: 20px;">※ 2 矢板有の場合の掘削幅、単位はmm</p> <table border="1" style="margin-left: 40px; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><td>口径</td><td>φ 100以下</td><td>φ 150</td><td>φ 200</td><td>φ 250</td><td>φ 300</td><td>φ 400</td></tr> <tr><td>幅</td><td>700</td><td>750</td><td>800</td><td>850</td><td>900</td><td>1000</td></tr> </table> <p style="margin-left: 20px;">※ 3 仮給水管設置撤去時の掘削幅は400mm、掘削深は300mmとすること。</p> <p style="margin-left: 40px;">4 直轄国道に布設撤去する場合は深さ600mm以上とすること。</p> <p>※ 6 既設管撤去の掘削幅</p> <p style="margin-left: 20px;">※ 1 矢板無の場合、単位はmm</p> <table border="1" style="margin-left: 40px; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><td>口径</td><td>φ 75~150</td><td>φ 200</td><td>φ 250</td><td>φ 300</td><td>φ 350</td><td>φ 400</td><td>φ 450</td></tr> <tr><td>幅</td><td>550</td><td>600</td><td>650</td><td>700</td><td>900</td><td>950</td><td>1000</td></tr> </table>	口径	φ 75	φ 100	φ 150	φ 200	φ 250	φ 300	φ 350	φ 400	φ 450	GX形	600	600	600	600	650	700	900	950	1000	NS形	600	650	700	750	800	850	900	950	1000	K形	600	650	700	750	800	850	900	950	1000	口径	φ 75	φ 100	φ 150	φ 200	φ 250	φ 300	φ 350	φ 400	φ 450	GX形	850	850	850	850	850	850	950	1000	1050	NS形	850	850	850	850	850	900	950	1000	1050	K形	850	850	850	850	850	900	950	1000	1050	口径	φ 100以下	φ 150	φ 200	φ 250	φ 300	φ 400	幅	400	450	500	550	600	700	深さ	400	450	500	550	600	800	口径	φ 100以下	φ 150	φ 200	φ 250	φ 300	φ 400	幅	700	750	800	850	900	1000	口径	φ 75~150	φ 200	φ 250	φ 300	φ 350	φ 400	φ 450	幅	550	600	650	700	900	950	1000
口径	φ 75	φ 100	φ 150	φ 200	φ 250	φ 300	φ 350	φ 400	φ 450																																																																																																																											
GX形	600	600	600	600	650	700	900	950	1000																																																																																																																											
NS形	600	650	700	750	800	850	900	950	1000																																																																																																																											
K形	600	650	700	750	800	850	900	950	1000																																																																																																																											
口径	φ 75	φ 100	φ 150	φ 200	φ 250	φ 300	φ 350	φ 400	φ 450																																																																																																																											
GX形	850	850	850	850	850	850	950	1000	1050																																																																																																																											
NS形	850	850	850	850	850	900	950	1000	1050																																																																																																																											
K形	850	850	850	850	850	900	950	1000	1050																																																																																																																											
口径	φ 100以下	φ 150	φ 200	φ 250	φ 300	φ 400																																																																																																																														
幅	400	450	500	550	600	700																																																																																																																														
深さ	400	450	500	550	600	800																																																																																																																														
口径	φ 100以下	φ 150	φ 200	φ 250	φ 300	φ 400																																																																																																																														
幅	700	750	800	850	900	1000																																																																																																																														
口径	φ 75~150	φ 200	φ 250	φ 300	φ 350	φ 400	φ 450																																																																																																																													
幅	550	600	650	700	900	950	1000																																																																																																																													

特記仕様書
(令和4年度 二見町西二見地内配水管布設替工事ほか工事)

項目以下数字の左側に※がある項目を本工事の該当項目とする。

章																	
	<p style="text-align: center;">※ 2 矢板有の場合、単位はmm</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">口径</th> <th style="width: 10%;">φ75~150</th> <th style="width: 10%;">φ200</th> <th style="width: 10%;">φ250</th> <th style="width: 10%;">φ300</th> <th style="width: 10%;">φ350</th> <th style="width: 10%;">φ400</th> <th style="width: 10%;">φ450</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>幅</td> <td>850</td> <td>850</td> <td>850</td> <td>850</td> <td>950</td> <td>1000</td> <td>1050</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 7 給水管の掘削幅、掘削深、延長</p> <p style="margin-left: 20px;">※ 1 分水穿孔部について、新設管布設後の場合は本管掘削幅、延長は600mm、深さは新設管布設時の土被りとする。既設管から分岐する場合は、本管口径のK形を布設する場合の掘削幅、延長は600mm、深さは既設管土被り+既設管呼び径+100mmとする。</p> <p style="margin-left: 20px;">※ 2 給水管部は、幅500mm、延長は給水管延長(本管～止水栓距離)－分水穿孔部掘削幅/2、深さは本管土被り-100mmとする。</p> <p>※ 8 掘削・埋戻し</p> <p style="margin-left: 20px;">※ 1 埋戻し一層厚さ20cm未満とする。</p> <p style="margin-left: 20px;">※ 2 水圧がかかっている水道管周りを掘削するときは、必ず人力掘削すること。</p> <p style="margin-left: 20px;">※ 3 管路布設後、管下を埋め戻す場合には、スクリーニングス等を使用し、きちんと胴締めすること。管路布設前に余掘り分を埋め戻す場合は、再生砕石等良質土を使用し、きちんと転圧すること。</p> <p>※ 9 残土・殻処分地</p> <p style="margin-left: 20px;">※ 1 処分地は特記仕様書(追記)参照。</p> <p style="margin-left: 20px;">※ 2 特記仕様書(追記)は積算条件を明示しているものであり受入施設を指定するものではなく、受注者は、県登録施設から搬出先施設を選定し、土木工事共通仕様書(兵庫県県土整備部監修)に基づき施工計画書に含め、監督員に提出しなければならない。なお、受注者の選定した施設が積算条件と異なる場合においても設計変更は行わない。</p> <p style="margin-left: 40px;">ただし、特記仕様書(追記)の施設が工事発注後に県登録施設からの登録抹消等により受け入れ困難となった場合は、設計変更を行う。</p> <p>※ 10 各種試験</p> <p style="margin-left: 20px;">※ 1 「土木工事施工管理基準」(兵庫県県土整備部監修)に定める以下の試験等について、基準を次のように定める。</p> <p style="margin-left: 40px;">※ 上層路盤の現場密度の測定・・・埋戻土及び管路掘削箇所について省略する。</p> <p>※ 11 仮設材の運搬</p> <p style="margin-left: 20px;">※ 1 仮設材の運搬については、積算上、運搬距離10kmを見込んでいる。</p> <p style="margin-left: 40px;">なお、受注者が実施する条件と異なる場合においても設計変更を行わない。</p> <p>※ 12 その他事項</p> <p style="margin-left: 20px;">※ 1 工事範囲内にある各種鉄蓋の表面を汚さないよう処置をとること。</p>	口径	φ75~150	φ200	φ250	φ300	φ350	φ400	φ450	幅	850	850	850	850	950	1000	1050
口径	φ75~150	φ200	φ250	φ300	φ350	φ400	φ450										
幅	850	850	850	850	950	1000	1050										

章	
4	<p>舗装工</p> <p style="margin-left: 20px;">※ 1 舗装前準備</p> <p style="margin-left: 40px;">※ 1 既設構造物(側溝、街渠等)等に損傷を与えていないか、動いていないか等を確認し、異常がある場合は、適正な方法を検討し、監督員と協議すること。</p> <p style="margin-left: 40px;">※ 2 下水道の鉄蓋で古い鉄蓋(コンクリート蓋、コンクリート巻鉄蓋等)がある場合は、舗装復旧</p>

特記仕様書
(令和4年度 二見町西二見地内配水管布設替工事ほか工事)

項目以下数字の左側に※がある項目を本工事の該当項目とする。

章	
	<p>前に下水道室が取り替えることがあるので、位置が分かるものと現況写真を提出すること。</p> <p>※ 3 他の地下埋設物の鉄蓋で高さ調整が必要なものは、位置が分かるものと現況写真と高さ調整の程度(+〇cm等)が分かるものを提出すること。</p> <p>※ 4 舗装復旧内に古い消火栓蓋、空気弁蓋、仕切弁蓋がある場合は、取替するかどうか監督員と協議すること。</p> <p>※ 5 切削オーバーレイで施工を予定している。</p> <p>土木工事共通仕様書(兵庫県県土整備部監修)及び土木工事施工管理基準(兵庫県県土整備部監修)に記載のとおり、測量し計画書を作成し、監督員の承諾を得たのち、施工すること。</p> <p>※ 2 不陸整正工</p> <p style="padding-left: 20px;">※ 1 補充材の有無を確認し、路床面の不陸を整正すること。</p> <p style="padding-left: 20px;">※ 2 既設構造物、各種鉄蓋と接触する部分は、入念に清掃すること。</p> <p>※ 3 乳剤散布</p> <p style="padding-left: 20px;">※ 1 ムラにならないよう、均一に散布すること。</p> <p style="padding-left: 20px;">※ 2 既設構造物、各種鉄蓋と接触する部分等にも散布すること。</p> <p>※ 4 アスファルト舗装工</p> <p style="padding-left: 20px;">※ 1 当日舗装版撤去した範囲について、表層まで復旧出来ない場合は監督員と協議すること。その場合は、周辺住民によく周知し、既設構造物、各種鉄蓋の箇所が歩行者、二輪車、自動車等の交通車両に危険が無いよう、すり合わせし、段差有の看板を立てるなど注意喚起すること。</p> <p>※ 5 区画線工</p> <p style="padding-left: 20px;">※ 1 インターロッキング舗装等のブロック舗装範囲に消火栓を設置した際の消火栓周り(黄色)の区画線は設置しないこと。</p> <p style="padding-left: 20px;">※ 2 施工直前に施工箇所を清掃し、プライマーを塗布すること。</p> <p style="padding-left: 20px;">※ 3 ガラスビーズを配合すること。</p> <p>※ 6 各種試験</p> <p style="padding-left: 20px;">※ 1 「土木工事施工管理基準」(兵庫県県土整備部監修)に定める必要な試験等について、試験位置、試験方法を事前に監督員に報告すること。</p> <p style="padding-left: 20px;">※ 2 「土木工事施工管理基準」(兵庫県県土整備部監修)に定める以下の試験等について、基準を次のように定める。</p> <p style="padding-left: 40px;">※ 1 アスファルトの現場密度の測定・・・同一配合のアスファルト施工面積500m²未満について省略する。</p> <p style="padding-left: 40px;">※ 2 アスファルトコア採取・・・同一配合のアスファルト施工面積1箇所20m²以上500m²未満の箇所についてコア採取は1箇所とする。また、20m²未満については省略する。</p> <p style="padding-left: 40px;">※ 3 表層の平坦性・・・省略する</p> <p style="padding-left: 40px;">※ 4 既設管充填処理に使用するモルタル等の強度試験・・・省略する。</p> <p>7 その他事項</p>

特記仕様書(追記)

1 建設発生土の搬出先

品目	建設発生土
施設の名称	西川建材(株)
所在地	加古川市志方町広尾字大谷88
運搬距離	11.3km
受入等諸条件	県土整備部の「建設副産物の処理ならびに受入価格」に掲載される当該施設の受入条件を遵守すること。
その他	監督員の指示による

2 特定建設資材の分別解体等・再資源化等

1)分別解体等の方法

工程ごとの作業内容及び解体方法	工程	作業内容	分別解体等の方法
	①仮設	仮設工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	②土工	土工事 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	③基礎	基礎工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	④本体構造	本体構造の工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	⑤本体付属品	本体付属品の工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用
	⑥その他	その他の工事 <input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 手作業 <input type="checkbox"/> 手作業・機械作業の併用

2)再資源化等をする施設の名称及び所在地

品目	アスファルト塊
施設の名称	中谷建材(株)
所在地	高砂市梅井5-2-10
運搬距離	11.5km
受入等諸条件	県土整備部の「建設副産物の処理ならびに受入価格」に掲載される当該施設の受入条件を遵守すること。
その他	監督員の指示による

水道工事標準仕様書

1 総 則

1.1 (適 用)

- 1 水道工事標準仕様書（以下「標準仕様書」という。）は、明石市水道局が発注する水道管（導水・送水・配水）を布設する工事及び給水管工事（以下「工事」という。）に係る工事請負契約書（頭書を含み以下「契約書」という。）及び設計図書の内容について統一的な解釈及び運用を図るとともに、その他必要な事項を定め、もって契約の適正な履行の確保を図るためのものである。
- 2 契約書及び仕様書・設計書・設計図（以下「設計図書」（標準仕様書を除く）という。）に記載された事項は、この標準仕様書に優先する。
- 3 本工事は、契約書及び設計図書のほか、水道工事標準仕様書（日本水道協会）・給水装置工事施行基準（明石市水道局）及びその他関係図書による。ただし、土木工事共通仕様書（兵庫県県土整備部監修）の水道編の第2章第2節については、適用しない。

1.2 (法令等の厳守)

本工事の施工にあたっては、工事に関する関係法令等を厳守し、安全に行わなければならない。

1.3 (書類の提出)

- 1 受注者は、明石市及び明石市水道局の定める様式による書類を提出すること。
- 2 提出した書類に変更が生じたときは、速やかに変更の書類を提出すること。

1.4 (監督員)

- 1 監督員とは、水道法第12条により、水道局が指定した当該工事を監督する職員（主任監督員及び監督員）をいう。

1.5 (工事实績データの登録)

水道工事を2件以上合併で発注している工事については、工事請負代金合計額が500万円以上の場合に一括の内容で登録すること。

1.6 (目的物の引渡し)

工事目的物の引渡しは、工事完成届兼（引渡書）を水道局に提出し完成検査に合格したときをもって完了とする。

2 安全管理

2.1 (事故防止)

- 1 工事中、不明管が出てきた場合には、監督員に連絡し、監督員の指示に従って、他の地下埋設物管理者に確認したうえ、適切に処理すること。
- 2 掘削及び埋戻し工事中、他の構造物及び地下埋設物の損傷及び陥没等を発見した際には、その場で監督員に連絡し、指示を受けること。その際には写真撮影し、関係部署に報告できるようにしておくこと。

また、当該施工範囲内で道路構造物や他の地下埋設物の損傷及び陥没等を発見した際には、遅滞なく監督員に連絡すること。

- 3 受注者は熱中症対策等について十分に注意し、作業員に水分補給・塩分補給・休憩等を十分とらせること。

2.2 (事故発生時の措置)

事故等緊急非常事態が発生した時は、第三者及び作業員等の人命救助、人命の安全確保を最優先させるものとし、応急措置を講じるとともに、監督員及び関係各部署へ連絡しなければならない。また、軽微な事故等についても速やかに監督員に事故報告書等で報告するとともに、その指示を受けるものとする。

2.3 (現場の整理整頓)

- 1 受注者は工事施工中、交通及び保安上の障害とならないよう機械器具、不用土砂等を使用の都度、整理整頓し、現場内及びその付近は常に清潔に保つこと。その際に、機械器具等を無断で家の敷地に置いたり、壁等に立て掛けたりしないこと。
- 2 受注者は、日々の現場作業終了時には、固定している看板類及び必要な安全施設等以外の工事関係物は仮設事務所等に持ち帰り、適切に保管すること。

3 工事施工

3.1 (一般事項)

- 1 受注者は、工事に先立ち、施工条件等を十分に把握したうえで、設計図書及び事前調査結果に基づいて検討し、施工方法、工程、安全対策、環境対策等必要な事項を記載した施工計画書を提出し、これに基づき、工事の適正な施工管理を行うこと。なお、施工計画書作成に当たっては、監督員と十分打合せを行うこと。

また、施工時において事前検討の条件と実際の施工条件との相違又は新たに生じた状況等により施工計画書に記載した内容に変更が生じるときは、監督員と協議し、速やかに施工計画書を追加及び変更すること。

- 2 施工期限が定められた箇所がある場合は、監督員と十分協議し、工程の進行を図ること。
- 3 受注者は、監督員が常に施工状況の確認が取れるように日報等の必要な資料を速やかに提出すること。

3.2 (現場立会、架線・地下埋設物調査及び現地調査)

- 1 近接構造物(家屋含む)の事前調査を行い、損傷等の有無を撮影し、関係者に提出すること。
- 2 施工範囲内の道路上の境界ピン・境界杭の有無を調査し報告すること。ある場合は監督員と協議し、その対応を検討すること。
- 3 当該工事付近に公共基準点がある場合は、明石市公共基準点管理保全要領に定めるところにより、必要な申請書等を作成するほか、公共基準点を保持するための測量をすること。
- 4 給水管切替工事がある場合、施工前に今回給水管を切替する家屋に漏水が無いかの確認及び給水管口径の確認をし、報告すること。
- 5 その他設計図書に対する疑義がある場合は、工事打合せ簿にて協議をすること。

3.3 (地元説明)

- 1 受注者は、工事着手前に所定の工事標示を行い、付近住民に工事内容を説明して協力を求め、工事の円滑な遂行をはかること。
- 2 工事のため騒音を発し、付近住民の日常生活・業務等を妨害しないように配慮すること。

- 3 施工について営業等に支障があると思われる時は、監督員並びに付近住民と協議の上で、できるだけこの軽減に努めること。
- 4 工事範囲内に自治会がある場合、当該自治会長に第 1 項と同様の工事説明を行うとともに、必要に応じて、工事広報の配布を行い工事同意書の提出を求めること。
- 5 受注者は施工前及び施工中(断水・濁水などの可能性がある場合)には、関係家屋にビラ等を配布し、周知すること。
- 6 給水管の切替等で個人の敷地内に入り、量水器または散水栓等から空気を抜く作業等を行う場合は、その旨を事前に説明し、トラブルが起らないようにすること。

3.4 (試掘調査)

試掘調査前に事前立会等で確認した試掘位置、試掘目的を工事打合簿にて報告すること。また、試掘調査後は、以下の項目について速やかに結果をまとめ、工事打合簿にて報告または協議すること。

- ・試掘断面の地下埋設物の状況
- ・既設舗装構成
- ・設計図書通りの撤去・埋設が可能か
- ・既設管の外面腐食等の異常の有無
- ・接続部がインチ管の場合、既設管外周長さを測定し、インチ管であることの確認
- ・その他試掘調査結果で判明した協議事項

3.5 (夜間工事)

夜間工事をする場合は、十分な照明を行うとともに保安設備を施すこと。また、付近住民に工事のお知らせビラを配布し、説明するとともに協力を依頼すること。施工中は極力騒音・照明等により迷惑をかけないように十分配慮すること。騒音対策には、管切断時のロールカッターの使用や防音シートの使用も検討すること。

3.6 (立会)

下記の項目について事前に立会願を提出し、立会を行うものとする。

- ・材料納入時（在庫品使用時含む）の材料検収
- ・通常配管及び不断水工事箇所の水圧試験
- ・その他監督員が必要と判断した事項

3.7 (工事関係書類の整備)

受注者は監督員の点検を随時受けられるよう、工事及び安全に関する書類を整備しておくこと。

4 材料

4.1 (水道材料の規格)

本工事に使用する水道材料は、設計図書に品質規格を規定されたものを除き、明石市水道局が材料分類ごとに指定したメーカー（別添使用材料登録業者一覧表及び給水装置工事施行基準参照）の製品（以下「指定品」という。）を使用すること。指定品以外の製品及び特殊品を使用する場合には、監督員の承諾を得た後、使用すること。

設計書及び特記仕様書に別途記載がある場合を除き、明石市水道局の規格を以下に示す。

- (1) K形ゴム輪は、同軸押輪・芯出ゴム輪又は同芯ゴム輪と同等品以上とすること。
- (2) 特殊押輪、耐震補強金具等は耐震型(離脱防止性能 3DkN 以上)を使用すること。

- (3) K形管のT頭ボルト・ナットは、酸化被膜製と同等品以上とすること。
- (4) フランジボルト・ナットは SUS 製を使用すること。特に消火栓及び空気弁の立ち上がり部におけるフランジ継手に使用するフランジナットは SUS304 製(緩み防止仕様)を使用すること。
- (5) フランジ部の粉体塗装面に接触する箇所には、ワッシャー(SUS 製)を使用すること。
- (6) 弁栓類等で使用するフランジの規格は2種(0.75MPa)とする。特に消火栓及び空気弁の立ち上がり部に使用するフランジ継手材はフランジ接合補強具(LSP 形)を使用すること。
- (7) 仕切弁・消火栓・補修弁の開閉方向は左開きとする。
- (8) 鉄蓋・受枠・ボックスは、明石市水道局性能規定書による製品とする。特に円形消火栓(空気弁)鉄蓋は耐スリップ車道用又は歩道用とする。
- (9) 割T字管の分岐口径φ150以下について、密着コアを使用すること。
- (10) サドル分水栓穿孔箇所については、密着コアを使用すること。
- (11) 直管に内面粉体塗装を使用している路線については、「粉体塗装管」と記載しているポリエチレンスリーブを使用すること。
- (12) 表示帯(管明示シート)は、15cm幅2倍折の水道を明記したエコマーク認定品を使用すること。
- (13) 管明示テープは、5cm幅の水道用(青色)、年号(工事発注年度)を明記したエコマーク認定品を使用すること。(導水管は黄色無地を併用)

4.2 (土木材料の規格)

本工事に使用する土木材料は、以下に示す規格及び設計図書に品質規格を規定されたものを除き、土木工事共通仕様書(兵庫県県土整備部監修)に示す品質規格に適合したもの、またはこれと同等以上の品質を有するものとする。

- (1) スクリーニングスは、JIS A5001 F-2.5とする。ただし、監督員と協議のうえ、砂を使用する場合は、海砂(洗砂)とする。
- (2) 再生砕石は、路盤部分はRC-30とし、その他はRC-40とする。
- (3) 粒調砕石は、M-30とする。
- (4) 再生密粒度アスファルトは、最大粒径13mm、締固め密度2.35t/m³とする。
- (5) 再生粗粒度アスファルトは、最大粒径20mm、締固め密度2.35t/m³とする。
- (6) 再生アスファルト安定処理混合物は、最大粒径25mm、締固め密度2.35t/m³とする。

4.3 (水道材料の確認)

- 1 受注者は、材料確認した材料が使用時に損傷、変質等している場合は、新品と取替、再確認を受けること。不良品は現場から直ちに搬出すること。
- 2 現地確認・試験掘削の結果等を十分反映させ、購入するものとする。
- 3 仮給水管切替は、現地確認により既設給水管の口径等を十分把握し、反映させるものとする。
- 4 支給材料については、監督員と受注者が確認した後、受領し、支給品受領書(様式15)を提出すること。

5 管布設工事

5.1 (配管技能者)

- 1 受注者は、鑄鉄管布設工事に先立ち、当該工事に適する下記の配管技能者の登録証、受講証等を施工体制台帳に添付すること。配管技能者とは、日本水道協会の配水管技能登録者(一般登録・耐震登録・大口径)又は、各管協会や各メーカーの継手接合研修会受講証等を有する者とする。日本水道協会の配管技能登録者の場合、一般登録はT・K形管等の一般継手(φ450mm以下)、耐震登録はNS・GX形管等の耐震継手(φ450mm以下)、大口径は一般継手と耐震継手(全口径)を配管出来る技能を有するものとする。各管協会や各メーカーの継手接合研修会受講証等を有する者の場合、管種・口径を指定している受講証については、その管種・口径とし、NS形・耐震管の受講証については、その口径のNS・GX形管等の耐震継手及び一般継手を配管出来る技能を有するものとする。
- 2 受注者は、鑄鉄管を布設するときには、上記の配管技能者が、当該工事で使用する管種・口径の施工要領等に従って施工すること。
- 3 受注者は、給水管の施工がある場合には、明石市水道事業指定給水装置工事事業者証及びその業者が雇用する給水装置工事主任技術者の資格証の写しを施工体制台帳に添付すること。また、その給水装置工事主任技術者が給水装置工事施行基準(明石市水道局)に基づき監督・指導すること。
- 4 受注者は、上記以外の管種(配水用ポリエチレン管・鋼管等)の施工、または、管更生等が含まれる場合、それぞれの資格証等を有する技能者が施工すること。また、その資格証等を施工体制台帳に含めて監督員に提出すること。

5.2 (工種の制限)

工事の確実性、周辺への水の濁り等を考慮して、金曜日、土曜日及び祝日の前日には、工種を制限しているので監督員と協議し施工すること。

5.3 (断水を伴う連絡工事)

- 1 断水を伴う連絡工事箇所は、監督員立会の上、試掘調査を行い、連絡する既設管及び他の近接埋設物を確認すること。
- 2 断水を伴う連絡工事にあたっては、事前に施工日時等を監督員と調整の上行うこと。ただし、断水時間は13時30分から16時を基本とすること。断水時間を極力短縮するために必要な諸設備・機械器具及び車輛等を十分点検し、経験豊富な技術者と作業員を配置すること。
- 3 断水作業及び管内洗浄作業等に必要の弁栓類操作は、監督員または水道局職員の指導のもと、受注業者及び下請業者が行う、そのために必要な人員を監督員と協議し、確保すること。
- 4 万が一、連絡工事箇所周辺で濁水及び漏水が起こったときには、水道局職員の指示により周辺家屋への対応をすること。

5.4 (広報活動)

- 1 断水工事を行う場合には、事前に断水となる家屋等を調査した資料と、断水のビラを監督員が確認したあと、当該家屋に配布すること。そのビラには、日時・区域・連絡先及びその他必要事項を記入すること。
- 2 断水を伴わない場合でも、仕切弁の開閉操作等により、工事箇所周辺に濁水のおそれがある場合は、配布する家屋等を監督員と協議したうえで、断水のビラと同様の濁水のビラを監督員

が確認したあと、当該家屋に配布すること。

3 上記の広報活動をする場合に、当該区域内にある店舗・病院・工場・浴場等には事前に個別に了解を得ること。

4 受水槽物件があれば、事前にその設置管理者と打合せを行い、ポンプ電源や流入側バルブ等の閉止措置を行うこと。

5.5 (ボルトの締め付け)

1 ボルトの締め付けに際しては、対称的な位置を順次締め、片締めにならないように、ゴム輪の圧縮を均等にさせること。

2 インパクトレンチを使用する場合には、締め付けの7割程度とし、残りはトルクレンチで締め付けること。

3 トルクの管理については、チェックシートに全箇所記載し、竣工図書で提出すること。

5.6 (使用機材)

内面粉体塗装管の分水栓穿孔作業をするときは、先端角度が90°から100°、ねじれ角度が20°から30°の電動式穿孔機を使用すること。

5.7 (管の明示)

1 管の識別を明確にするために、管明示テープを使用して、上水道管であることを明らかにすること。

2 表示帯(管明示シート)は、管天より40cmの位置に丁寧に設置すること。

5.8 (仮消火栓)

仮消火栓を配置する箇所について、「仮消火栓」の看板等を設置して明示するとともに、撤去予定の消火栓の鉄蓋に使用禁止を明示すること。

5.9 (仮舗装復旧)

本工事において仮舗装復旧した箇所について、路面表示部分を掘削した場合は、本復旧までの間、同色のペイント等で修復すること。また、水道の仮舗装箇所と分かるように水色塗料で水道マーク表示を行うこと。

5.10 (水圧試験)

1 水道管の水圧試験は、水道局職員が管内充水後、特に監督員からの指示がある場合を除き、下記の試験水圧まで加圧し確認するものとする。

(1) 通常配管(以下の特殊箇所以外)の場合、試験水圧を0.75MPaとする。30分間以上の経過後、低下率1.0%以内を許容限度とする。

(2) 不断水工事の割T字管箇所は、試験水圧を1.25MPaとする。ただし、既設管の状態が悪い場合(FC管又は表面の腐食等が激しい場合)・ACP管・VP管の場合は、最高試験水圧は1.0MPa以下でもよい。5分間以上その状態を保持し、水圧の低下の無いことを確認するものとする。

(3) 中大口径のメカニカル継手管で、監督員が認めた場合は、テストバンドによる継手の水密性検査をもって、水圧試験に代えることが出来るものとする。この場合は、水圧0.50MPaを負荷して5分経過後に0.40MPa以上保持することを確認するものとする。

(4) 管更生の場合は、管更生区間のみで水圧試験を(1)の方法で行い、その後、その区間を含めた仕切弁から仕切弁の水圧試験を再度(1)の方法で行うものとする。ただし、管更生区間

のみの水圧試験にかかる材料（栓、押輪等）等は設計で計上するものとする。

(5) 配水管ポリエチレン管、鋼管等の場合は、監督員の指示により、試験水圧及び方法を決定する。

2 給水管の水圧試験は、サドル分水栓部分のみ 1.75MPa まで加圧し、1 分間以上のその状態を保持し、水圧の低下の無いことを確認するものとする。

5.11 (水道メーターの確認)

仮給水管、給水管切替後は水道メーターの逆付けをしてないか確認すること。

6 提出書類

受注者は、工事請負契約に必要な書類を明石市水道局の入札・契約情報のホームページ及び土木請負工事必携(兵庫県県土整備部監修)に記載されている書類を関係部署に提出するほか、下記の書類を監督員に提出すること。ただし、監督員が必要でないとした場合は、この限りでない。

1 工事日報

受注者は、契約日から竣工日までの日々の作業に対して工事日報を作成し、監督員にすみやかに提出しなければならない。工事日報に記入する項目は、表側に年月日、曜日、天気、工事名、工事場所、当初設計延長（口径別）、出来形延長（口径別、日毎延長、累計延長）、作業内容、使用材料（品名、形質、数量等）を、裏側に日毎の作業内容の図示（下記竣工図(水道管)・(給水管)と同様)とする。また、白色ケント紙 110kg（A 4 サイズ）で作成すること。ただし、休工期等の場合は連続する日を普通紙 1 枚で作成すること。

2 竣工図(水道管)

受注者は、竣工図（兼出来形図）を作成し、工事完成図書に添えて提出すること。竣工図（兼出来形図）には次にあげるものをもって構成する。

(1) 配水管平面図（他の埋設管等で切り回している箇所等は別途詳細図）は、布設位置、標準断面図、土被り、延長（管種・口径毎）、防護工等を以下のことに注意して記入すること。

a. 必ず方位を記入すること。

b. 直管、切管、異形管、弁栓類等の種別及び材質を表示すること。切管等の数値はmm表示とし、整数 1 位を四捨五入とし、2 位表示とすること。

c. 特殊押輪、普通押輪、G-Link、ライナの区別を表示すること。

d. 配管材料記号、引出線及び部材名等を赤色で表示すること。

(2) 消火栓、空気弁、仕切弁、その他監督員の指示する箇所等についてはオフセット測量し、撤去されるおそれの無いマンホールの中心点や地先境界の角、その他 3 点以上の照点を定め水平距離を測定し記入する。

(3) 仕切弁・バタフライ弁・消火栓・空気弁・補修弁・不断水等の弁栓類関係について、使用したメーカー名を記入すること。

3 竣工図(給水管)

受注者は、竣工図を作成し、白色ケント紙 110kg（A 3 サイズ）を工事完成図書に添えて提出すること。竣工図には次にあげるものをもって構成する。

平面図には、口径、延長、家屋番号を、表には家屋番号、水道番号、家屋名、サドル分水栓、本管深さ、PPユニオン、PPエルボ、VPユニオン、止水栓、ボックス、PPパイプ、本管止水距離、備考（接続した管種）を記入すること。

4 その他提出書類

書類名	提出時期	提出部数	備考
施工計画書	工事実工程着手前	3部	配水管・給水管合併工事は併せて作成(1部返却)
使用材料確認願 土木工事承諾願	工事実工程着手前	2部	配水管・給水管合併工事は併せて作成(1部返却)
施工体制台帳	下請負契約後速やかに	3部	配水管・給水管合併工事は併せて作成(1部返却)
工事日報	施工日以後速やかに	1部	配水管・給水管合併工事は併せて作成
竣工図(原図)	竣工時	1部	JPEG(A1・カラー・解像度200dpi以上)で保存したCDを提出
竣工図(焼き図)(原則A1サイズ)	竣工時	4部	上記竣工図折図で提出 白紙(カラー)・折図(横15cm×縦23cm)

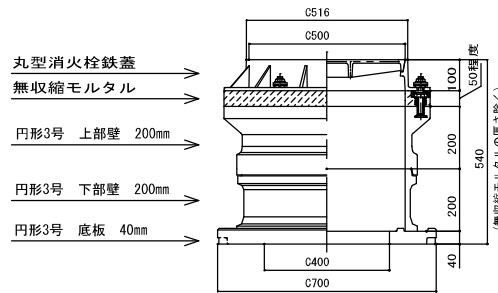
その他明石市水道事業工事検査規程及び明石市水道事業施設等工事検査要綱に基づき必要書類を提出すること。CD及びDVDで提出するものは、工事名・内容が分かるようにすること。

* 竣工図書は、B4A4サイズの文書保存箱で工事名・施工年度等を明示して納品すること。
(施行期日)

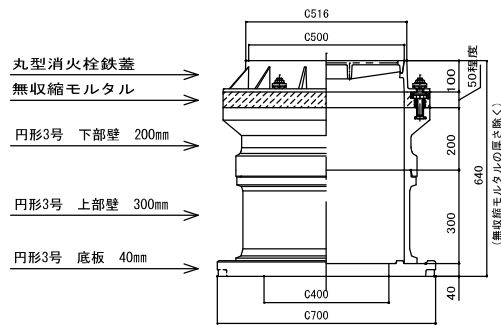
この仕様書は、2020年4月1日より施行する。

円形3号ボックス組合せ図(標準図)

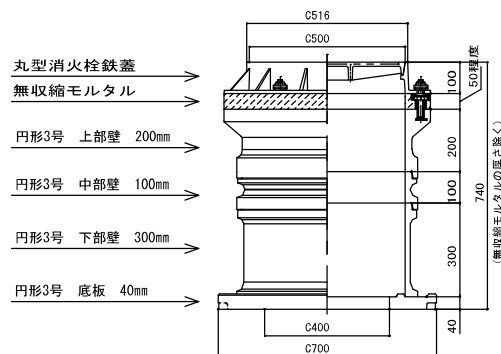
製品高さ H = 540



製品高さ H = 640



製品高さ H = 740



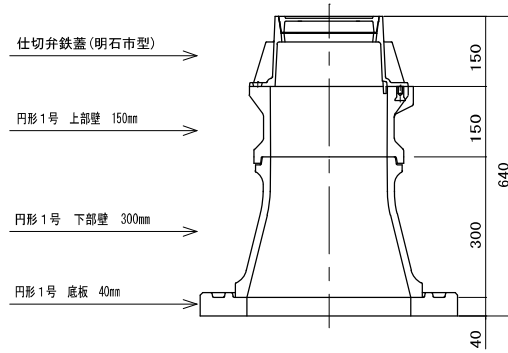
図名 組合せ図(標準図)

種類 円形3号ボックス

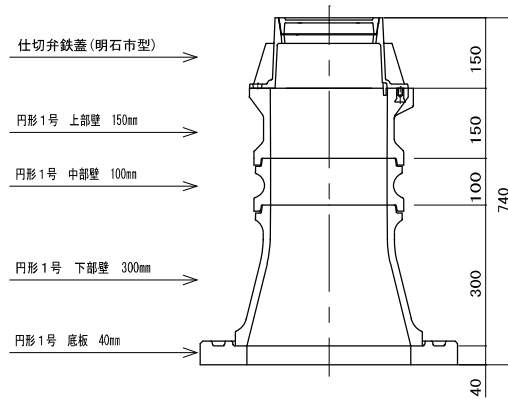
明石市水道部

円形1号ボックス組合せ図(標準図)

製品高さH=640



製品高さH=740



図名	組合せ図(標準図)
種類	円形1号ボックス
明石市水道部	

使用材料登録業者一覧表

材料分類	適用規格等	登録業者名
水道用タクトイル鑄鉄管直管 (内面エポキシ樹脂粉体塗装)	GX形5種管(溝切するときは1種管) NS形1種管	㈱クボタ、㈱栗本鐵工所、日本鑄鉄管㈱
水道用タクトイル鑄鉄異形管 (内面エポキシ樹脂粉体塗装)		㈱クボタ、㈱栗本鐵工所、日本鑄鉄管㈱、㈱ハズ、 ㈱岡本、朝日鑄工㈱、梅原工業㈱、九州鑄鉄管㈱、 大成機工㈱、クロダイト工業㈱、㈱イトー鑄造
水道用ソフトシール仕切弁 (内外面エポキシ樹脂粉体塗装)	JIS B 2062又はJWWA B 120 (内外面はJIS A 5528又はJWWA A 112) 左回り開き、内ねじ式	㈱クボタ、㈱栗本鐵工所、㈱ハズ、前澤工業㈱、 ㈱清水合金製作所、清水工業㈱、㈱清水鐵工所 富士鐵工㈱、千代田工業㈱、角田鐵工㈱、宮部鐵工㈱
水道用ハタフライ弁 (内面エポキシ樹脂粉体塗装)	JWWA B 138 (内面はJIS A 5528又はJWWA A 112) 左回り開き、キャップ式	㈱クボタ、㈱栗本鐵工所、前澤工業㈱、 ㈱清水鐵工所、㈱清水合金製作所、清水工業㈱、
水道用地下式消火栓 (内外面エポキシ樹脂粉体塗装)	JWWA B 103 (内外面はJIS A 5528又はJWWA A 112) 左回り開き、キャップ式、クレップ式	㈱クボタ、㈱栗本鐵工所、㈱ハズ、前澤工業㈱、 ㈱清水合金製作所、清水工業㈱、㈱清水鐵工所、 富士鐵工㈱、千代田工業㈱、 宮部鐵工㈱、協和工業㈱、角田鐵工㈱
水道用急速空気弁 (内外面エポキシ樹脂粉体塗装)	JWWA B 137 (内外面はJIS A 5528又はJWWA A 112)	㈱クボタ、㈱栗本鐵工所、㈱ハズ、前澤工業㈱、 ㈱清水合金製作所、清水工業㈱、㈱清水鐵工所、 千代田工業㈱、宮部鐵工㈱、 協和工業㈱、角田鐵工㈱
水道用補修弁 (内外面エポキシ樹脂粉体塗装)	JWWA B 126 (内外面はJIS A 5528又はJWWA A 112) 左回り開き、キャップ式、ボール式	㈱クボタ、㈱栗本鐵工所、㈱ハズ、前澤工業㈱、 ㈱清水合金製作所、清水工業㈱、㈱清水鐵工所、 富士鐵工㈱、千代田工業㈱、 宮部鐵工㈱、角田鐵工㈱、協和工業㈱
伸縮可とう管 (内面エポキシ樹脂粉体塗装)	メーカー仕様(JWWA合格証印)	大成機工㈱、コスモ工機㈱、㈱水研、クロダイト工業㈱、 日本ヴィクトリック㈱
不断水割T字管及び不断水バルブ (接水部エポキシ樹脂粉体塗装)	メーカー仕様(JWWA合格証印)	大成機工㈱、コスモ工機㈱、㈱水研
特殊継輪 (内面エポキシ樹脂粉体塗装)	メーカー仕様(JWWA合格証印)	大成機工㈱、コスモ工機㈱、㈱水研、 川崎機工㈱、クロダイト工業㈱
特殊押輪	メーカー仕様(JWWA合格証印)	大成機工㈱、コスモ工機㈱、㈱水研、 川崎機工㈱、クロダイト工業㈱
K形ゴム輪	メーカー仕様(JWWA合格証印)	大成機工㈱、コスモ工機㈱、川崎機工㈱
ゴム輪(K形以外)、パッキン(LSP形以外)		大成機工㈱、コスモ工機㈱、川崎機工㈱、㈱クボタ ㈱栗本鐵工所、興和ゴム工業㈱、三報ゴム㈱、 日本鑄鉄管㈱、サンエス護謨工業㈱、協和工業(株)
フランジ継手材(LSP形)	メーカー仕様(JWWA合格証印)	協和工業㈱、サンエス護謨工業㈱
ボルト・ナット(緩み防止仕様以外) (GX形、NS形、フランジ形はステンレス製 、K形は酸化被膜製)		㈱クボタ、㈱栗本鐵工所、㈱岡本、クロダイト工業㈱、 ㈱水研、㈱田中、㈱エスティム、日本鑄鉄管㈱、協和工業㈱ 日本鉚螺㈱
ボルト・ナット(SUS304製 緩み防止仕様)		協和工業㈱、サンエス護謨工業㈱
水道用タクトイル鑄鉄管用 ホリエチレンスリーブ 明示テープ(エコ認定製品)	JWWA K 158 JDPA Z 2005	㈱クボタ、㈱栗本鐵工所、三報ゴム㈱、 サンエス護謨工業㈱、ヨツギ㈱
鉄蓋・受枠	明石市性能規定書	日之出水道機器㈱、長島鑄物㈱、スズテック㈱、 ㈱ダイモン
ボックス(レジンコンクリート製)	明石市性能規定書	日之出水道機器㈱、三国プラスチック㈱、長島鑄物㈱ スズキ鑄鉄工業㈱、㈱ダイモン
仮配管	SUS管 PE管	明和工業㈱、㈱多久製作所 ㈱光明製作所

家屋 番号	当初										備考
	サドル分水栓				施工(PP 管)延長 (m)	分岐部	管路部				
	新設 /既	元管種	元口 径	給水管		舗装種別	舗装種別	土工延 長	舗装種別	土工延 長	
1		鑄鉄管		75	4.6	車道As10	車道As10	4.6			
2		鑄鉄管		75	6.4	車道As10	車道As10	0.8	車道As10	5.6	
3	新設	鑄鉄管	150	20	4.0	車道As10	車道As10	1.2	歩道As	2.8	
4	新設	鑄鉄管	150	20	3.7	車道As10	車道As10	0.8	歩道As	2.9	
5	新設	鑄鉄管	150	20	3.6	車道As10	車道As10	3.6			
6	新設	鑄鉄管	150	25	2.7	車道As10	車道As10	2.7			
7	新設	鑄鉄管	150	20	2.9	車道As5	車道As5	2.9			
8	新設	鑄鉄管	150	20	2.9	車道As5	車道As5	2.9			
9	新設	鑄鉄管	150	20	3.0	車道As5	車道As5	3.0			
10	新設	鑄鉄管	150	20	1.7	車道As5	車道As5	1.7			
11	新設	鑄鉄管	150	20	3.0	車道As5	車道As5	3.0			
12	新設	鑄鉄管	150	20	1.4	車道As5	車道As5	1.4			
13	新設	鑄鉄管	150	25	1.8	車道As5	車道As5	1.8			
14	新設	鑄鉄管	150	40	2.9	車道As5	車道As5	2.9			
15	新設	鑄鉄管	150	20	1.6	車道As5	車道As5	1.6			
16	新設	鑄鉄管	150	20	2.5	車道As5	車道As5	2.5			
17	新設	鑄鉄管	150	20	2.1	車道As5	車道As5	2.1			
18	新設	鑄鉄管	150	20	2.6	車道As5	車道As5	2.6			
19	新設	鑄鉄管	150	20	2.7	車道As5	車道As5	2.7			
20	新設	鑄鉄管	150	20	1.7	車道As5	車道As5	1.7			
21	新設	鑄鉄管	150	30	0.8	車道As5	車道As5	0.8			
22	新設	鑄鉄管	150	50	2.0	車道As5	車道As5	2.0			
23	新設	鑄鉄管	150	20	1.6	車道As5	車道As5	1.6			
24	新設	鑄鉄管	150	20	1.7	車道As5	車道As5	1.7			
25	新設	鑄鉄管	150	50	3.5	車道As5	車道As5	3.5			
26	新設	鑄鉄管	150	40	4.4	車道As5	車道As5	4.4			
27	新設	鑄鉄管	150	20	2.6	車道As5	車道As5	2.6			
28	新設	鑄鉄管	150	25	2.9	車道As5	車道As5	2.9			
29	新設	鑄鉄管	150	20	2.8	車道As5	車道As5	2.8			
30	新設	鑄鉄管	250	20	2.9	県歩道As5	県歩道As5	2.9			
31	新設	鑄鉄管	250	30	2.7	県歩道As5	県歩道As5	2.7			
32	新設	鑄鉄管	250	25	2.9	県歩道As5	県歩道As5	2.9			

給水管材料・手間

口径	箇所数	延長
合計	32	88.6
20	20	51.0
25	4	10.3
30	2	3.5
40	2	7.3
50	2	5.5
75	2	11.0

使用材料・手間は別途計上

名称等	材料	手間	備考
表示帯(管明示シート工)	88.6	88.6	
管明示テープ(管明示テープ工(PP管))	5	88.6	合計延長÷20(m/巻)

口径	名称等	口径等	材料	手間	備考
20	PP管	φ20	51.00	51.0	個別延長の合計 設計数量
			51.00		
	給水管切替 サドル分水栓(鋳鉄用)	φ20	20	20	
			φ150×20	19	19
φ250×20			1	1	
25	PP管	φ25	10.30	10.3	個別延長の合計 設計数量
			10.30		
	給水管切替 サドル分水栓(鋳鉄用)	φ25	4	4	
			φ150×25	3	3
φ250×25			1	1	
30	PP管	φ30	3.50	3.5	個別延長の合計 設計数量
			3.50		
	給水管切替 サドル分水栓(鋳鉄用)	φ30	2	2	
			φ150×30	1	1
φ250×30			1	1	
40	PP管	φ40	7.30	7.3	個別延長の合計 設計数量
			7.30		
	給水管切替 サドル分水栓(鋳鉄用)	φ40	2	2	
50	PP管	φ50	5.50	5.5	個別延長の合計 設計数量
			5.50		
	給水管切替 サドル分水栓(鋳鉄用)	φ50	2	2	
		φ150×50	2	2	

給水管土工種別表

分岐元口径	合計		新設		新設		新設		新設	
			車道2層10cm d=1.1		車道As1層5cm d=1.1		歩道As5cm d=1.1		県歩道As5cm d=1.2	
	箇所	延長	箇所	延長	箇所	延長	箇所	延長	箇所	延長
合計	30	77.60	4	8.30	23	55.10		5.70	3	8.50
150	27	69.10	土工1		土工2					
			4	8.30	23	55.10		5.70		
250	3	8.50								
									3	8.50

給水管土工集計表

工種	合計数量	採用数量	単位	土工1		土工2		土工3	
				市道車道As2層		市道車道As1層		市道歩道As	
				分水穿孔	給水管	分水穿孔	給水管	分水穿孔	給水管
舗装版切断(As) t≤15cm	159.26	160	m		14.20		97.56		11.40
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≤10cm	52.57	53	m2	1.44	3.55	7.59	24.39		2.85
掘削積込工	46.04	46	m2		3.20		23.17		2.71
掘削積込工(補助的作業なし)	8.88	9	m3	1.24		6.44			
掘削(人力)	2.13	2	m2	0.28		1.61			
残塊処分工(As)	3.21	3	m3	0.08	0.36	0.46	1.22		0.14
残塊処分工(土砂)	57.05	57	m3	1.52	3.20	8.05	23.17		2.71
仮復旧工(密粒度(再)(13))	52.57	53	m3	1.44	3.55	7.59	24.39		2.85
路盤工(粒調碎石) t=10cm	34.83	35	m2			7.59	24.39		2.85
路盤工(粒調碎石) t=15cm	12.75	13	m2	1.44	3.55				
路盤工(再生碎石) t=10cm	4.99	5	m2						
フィルター層(砂)	4.99	5	m2						
埋戻工(再生碎石)	35.20	35	m2		2.31		17.07		2.00
埋戻工(流用土)	7.77	8	m2	1.00		5.75			
埋戻工(スクリーニングス)	8.47	8	m3	0.28	0.53	1.61	3.66		0.43
軽量鋼矢板設置撤去工(H=2.5m)	5.60	5.6	m						

給水管(鑄鉄管)(材料)

名称・形質等	管長	当初		備考
		数量	延長	
DGX-S 直管関係 φ75		2	5.000	配水管の残管使用
			2.900	
DGX 曲管 φ75×90°	0.450	6	2.700	
DGX 継輪 φ75	0.190	2	0.380	
GX形 G-Linkセット φ75		10	0.000	
GX形 ライナ φ75		5		
特殊押輪(3DkN) φ75		1		

給水管(鑄鉄管)(手間)

名称・形質等		当初数量	摘要
鑄鉄管吊込み据付工 φ75		11.0 m	
鑄鉄管切断工 φ75		9 口	
GX継手工(直管接合) φ75		5 口	
GX継手工(異形管接合 G-Link使用) φ75		10 口	
メカニカル継手工(特殊押輪) φ75		1 口	
メカニカル継手取外し工(特殊押輪) φ75		1 口	既設連絡部

給水管土工1

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤	先行路盤
昼間施工	市道	車道As10cm	As5cm	粒調碎石 15cm	

新設/既設	管種	管外径	管断面積
新設	鑄鉄管 φ150		

分水穿孔部

箇所数	本管掘削幅(W)	個別延長	管下掘削深 管上まで	(平均)土被り(d1)	掘削深(H)	既設舗装厚	既設舗装厚(分水穿孔部)
4	0.60	0.60		1.10	1.10	0.10	0.05

給水管部

掘削幅	掘削深	給水管延長	土工延長	土工延長根拠
0.50	1.00	8.30	7.10	8.3-0.6/2×4

分水穿孔部

工種	施工厚	計算式			数量	4箇所計
		幅等	厚	延長 箇所等		
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≤10cm	0.05	0.60	×	0.60	0.36	1.44
掘削積込工(補助の作業なし)	0.85	0.60	×	0.85 × 0.60	0.31	1.24
掘削(人力) (管断面控除)	0.20	0.60	×	0.20 × 0.60	0.07	0.28
残塊処分工(As)		0.36	×	0.05	0.02	0.08
残塊処分工(土砂)		掘削工の合計と同量			0.38	1.52
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	0.60	×	0.60	0.36	1.44
路盤工(粒調碎石)	0.15	0.60	×	0.60	0.36	1.44
埋戻工(流用土)	0.70	0.60	×	0.70 × 0.60	0.25	1.00
埋戻工(スクリーニングス) (管断面控除)	0.20	0.60	×	0.20 × 0.60	0.07	0.28

給水管部

工種	施工厚	計算式			数量
		幅等	厚	延長 箇所等	
舗装版切断(As) t≤15cm	0.10			7.10 × 2	14.20
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≤10cm	0.10	0.50	×	7.10	3.55
掘削積込工	0.90	0.50	×	0.90 × 7.10	3.20
残塊処分工(As)		3.55	×	0.10	0.36
残塊処分工(土砂)		3.20			3.20
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	0.50	×	7.10	3.55
路盤工(粒調碎石)	0.15	0.50	×	7.10	3.55
埋戻工(再生碎石)	0.65	0.50	×	0.65 × 7.10	2.31
埋戻工(スクリーニングス)	0.15	0.50	×	0.15 × 7.10	0.53

給水管土工2

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤	先行路盤
昼間施工	市道	車道As5cm	As5cm	粒調碎石 10cm	

新設/既設	管種	管外径	管断面積
新設			

分水穿孔部

箇所数	本管掘削幅(W)	個別延長	管下掘削深 管上まで	(平均)土被り(d1)	掘削深(H)	既設舗装厚
23	0.55	0.60		1.10	1.10	0.05

給水管部

掘削幅	掘削深	給水管延長	土工延長	土工延長根拠
0.50	1.00	55.10	48.78	$55.1 - 0.55/2 \times 23$

分水穿孔部

工種	施工厚	計算式			数量	23箇所計
		幅等	厚	延長 箇所等		
舗装版取壊し積込工(As・Co) $t \leq 10\text{cm}$	0.05	0.55	×	0.60	0.33	7.59
掘削積込工(補助の作業なし)	0.85	0.55	×	0.85 × 0.60	0.28	6.44
掘削(人力) (管断面控除)	0.20	0.55	×	0.20 × 0.60	0.07	1.61
残塊処分工(As)		0.33	×	0.05	0.02	0.46
残塊処分工(土砂)		掘削工の合計と同量			0.35	8.05
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	0.55	×	0.60	0.33	7.59
路盤工(粒調碎石)	0.10	0.55	×	0.60	0.33	7.59
埋戻工(流用土)	0.75	0.55	×	0.75 × 0.60	0.25	5.75
埋戻工(スクリーニングス) (管断面控除)	0.20	0.55	×	0.20 × 0.60	0.07	1.61

給水管部

工種	施工厚	計算式			数量
		幅等	厚	延長 箇所等	
舗装版切断(As) $t \leq 15\text{cm}$	0.05			48.78×2	97.56
舗装版取壊し積込工(As・Co) $t \leq 10\text{cm}$	0.05	0.50	×	48.78	24.39
掘削積込工	0.95	0.50	×	0.95 × 48.78	23.17
残塊処分工(As)		24.39	×	0.05	1.22
残塊処分工(土砂)		23.17			23.17
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	0.50	×	48.78	24.39
路盤工(粒調碎石)	0.10	0.50	×	48.78	24.39
埋戻工(再生碎石)	0.70	0.50	×	0.70 × 48.78	17.07
埋戻工(スクリーニングス)	0.15	0.50	×	0.15 × 48.78	3.66

給水管土工3

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤	先行路盤
昼間施工	市道	歩道As5cm	As5cm	粒調碎石 10cm	

新設/既設	管種	管外径	管断面積
新設			

分水穿孔部

箇所数	本管掘削幅(W)	個別延長	管下掘削深 管上まで	(平均)土被り(d1)	掘削深(H)	既設舗装厚
	0.60	0.60		1.10	1.10	0.05

給水管部

掘削幅	掘削深	給水管延長	土工延長	土工延長根拠
0.50	1.00	5.70	5.70	5.7-0.6/2×0

給水管部

工種	施工厚	計算式			数量
		幅等	厚	延長 箇所等	
舗装版切断(As) t≤15cm	0.05			5.70 × 2	11.40
舗装版取壊し積込工(As+Co) t≤10cm	0.05	0.50	×	5.70	2.85
掘削積込工	0.95	0.50 ×	0.95 ×	5.70	2.71
残塊処分工(As)		2.85 ×	0.05		0.14
残塊処分工(土砂)		2.71			2.71
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	0.50	×	5.70	2.85
路盤工(粒調碎石)	0.10	0.50	×	5.70	2.85
埋戻工(再生碎石)	0.70	0.50 ×	0.70 ×	5.70	2.00
埋戻工(スクリーニングス)	0.15	0.50 ×	0.15 ×	5.70	0.43

給水管土工4

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤	先行路盤
昼間施工	県道	歩道As3cm	As5cm	再生砕石 10cm	フィルター層5cm

新設/既設	管種	管外径	管断面積
新設	鑄鉄管 φ250		

分水穿孔部

箇所数	本管掘削幅(W)	個別延長	管下掘削深 管上まで	(平均)土被り(d1)	掘削深(H)	既設舗装厚	既設舗装厚(分水穿孔部)
3	0.70	0.60		1.20	1.20	0.03	0.05

給水管部

掘削幅	掘削深	給水管延長	土工延長	土工延長根拠
0.50	1.10	8.50	7.45	8.5-0.7/2×3

分水穿孔部

工種	施工厚	計算式			数量	3箇所計
		幅等	厚	延長 箇所等		
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≤10cm	0.05	0.70	×	0.60	0.42	1.26
掘削積込工(補助的作業なし)	0.95	0.70	×	0.95 × 0.60	0.40	1.20
掘削(人力) (管断面控除)	0.20	0.70	×	0.20 × 0.60	0.08	0.24
残塊処分工(As)		0.42	×	0.05	0.02	0.06
残塊処分工(土砂)		掘削工の合計と同量			0.48	1.44
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	0.70	×	0.60	0.42	1.26
路盤工(再生砕石)	0.10	0.70	×	0.60	0.42	1.26
フィルター層(砂)	0.05	0.70	×	0.60	0.42	1.26
埋戻工(流用土)	0.80	0.70	×	0.80 × 0.60	0.34	1.02
埋戻工(スクリーニングス) (管断面控除)	0.20	0.70	×	0.20 × 0.60	0.08	0.24

給水管部

工種	施工厚	計算式			数量
		幅等	厚	延長 箇所等	
舗装版切断(As) t≤15cm	0.03			7.45 × 2	14.90
舗装版取壊し積込工(As・Co) t≤10cm	0.03	0.50	×	7.45	3.73
掘削積込工	1.07	0.50	×	1.07 × 7.45	3.99
残塊処分工(As)		3.73	×	0.03	0.11
残塊処分工(土砂)		3.99			3.99
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	0.50	×	7.45	3.73
路盤工(再生砕石)	0.10	0.50	×	7.45	3.73
フィルター層(砂)	0.05	0.50	×	7.45	3.73
埋戻工(再生砕石)	0.75	0.50	×	0.75 × 7.45	2.79
埋戻工(スクリーニングス)	0.15	0.50	×	0.15 × 7.45	0.56

給水管土工5

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤	先行路盤
昼間施工	市道	車道As10cm	As5cm	粒調碎石 15cm	

新設/既設	管種	管外径	管断面積
新設	鑄鉄管 φ75		

分水穿孔部

箇所数	本管掘削幅(W)	個別延長	管下掘削深 管上まで	(平均)土被り(d1)	掘削深(H)	既設舗装厚	既設舗装厚(分水穿孔部)
	0.60	0.60		1.20	1.20	0.10	0.05

給水管部

掘削幅	掘削深	給水管延長	土工延長	土工延長根拠
0.60	1.29	4.60	4.60	4.6-0.6/2 ×

給水管部

工種	施工厚	計算式			数量
		幅等	厚	延長 箇所等	
舗装版切断(As) t≤15cm	0.10			4.60 × 2	9.20
舗装版取壊し積込工(As+Co) t≤10cm	0.10	0.60		× 4.60	2.76
掘削積込工	1.19	0.60 ×	1.19 ×	4.60	3.29
残塊処分工(As)		2.76 ×	0.10		0.28
残塊処分工(土砂)		3.29			3.29
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	0.60		× 4.60	2.76
路盤工(粒調碎石)	0.15	0.60		× 4.60	2.76
埋戻工(再生碎石)	0.94	0.60 ×	0.94 ×	4.60	2.60
埋戻工(スクリーニングス)	0.15	0.60 ×	0.15 ×	4.60	0.41

給水管土工6

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤	先行路盤
昼間施工	市道	車道As10cm	As5cm	粒調碎石 15cm	

新設/既設	管種	管外径	管断面積
新設	鑄鉄管 φ75		

分水穿孔部

箇所数	本管掘削幅(W)	個別延長	管下掘削深 管上まで	(平均)土被り(d1)	掘削深(H)	既設舗装厚	既設舗装厚(分水穿孔部)
	0.60	0.60		0.80	0.80	0.10	0.05

給水管部

掘削幅	掘削深	給水管延長	土工延長	土工延長根拠
0.60	0.89	0.40	0.40	0.4-0.6/2 ×

給水管部

工種	施工厚	計算式			数量
		幅等	厚	延長 箇所等	
舗装版切断(As) t≤15cm	0.10			0.40 × 2	0.80
舗装版取壊し積込工(As+Co) t≤10cm	0.10	0.60		× 0.40	0.24
掘削積込工	0.79	0.60 ×	0.79 ×	0.40	0.19
残塊処分工(As)		0.24 ×	0.10		0.02
残塊処分工(土砂)		0.19			0.19
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	0.60		× 0.40	0.24
路盤工(粒調碎石)	0.15	0.60		× 0.40	0.24
埋戻工(再生碎石)	0.54	0.60 ×	0.54 ×	0.40	0.13
埋戻工(スクリーニングス)	0.15	0.60 ×	0.15 ×	0.40	0.04

給水管土工7

道路条件

施工区分	道路区分	歩車道別	仮舗装	先行路盤	先行路盤
昼間施工	市道	車道As10cm	As5cm	粒調碎石 15cm	

新設/既設	管種	管外径	管断面積
新設	鑄鉄管 φ75		

分水穿孔部

箇所数	本管掘削幅(W)	個別延長	管下掘削深 管上まで	(平均)土被り(d1)	掘削深(H)	既設舗装厚	既設舗装厚(分水穿孔部)
	0.85	0.60		2.00	2.00	0.10	0.05

給水管部

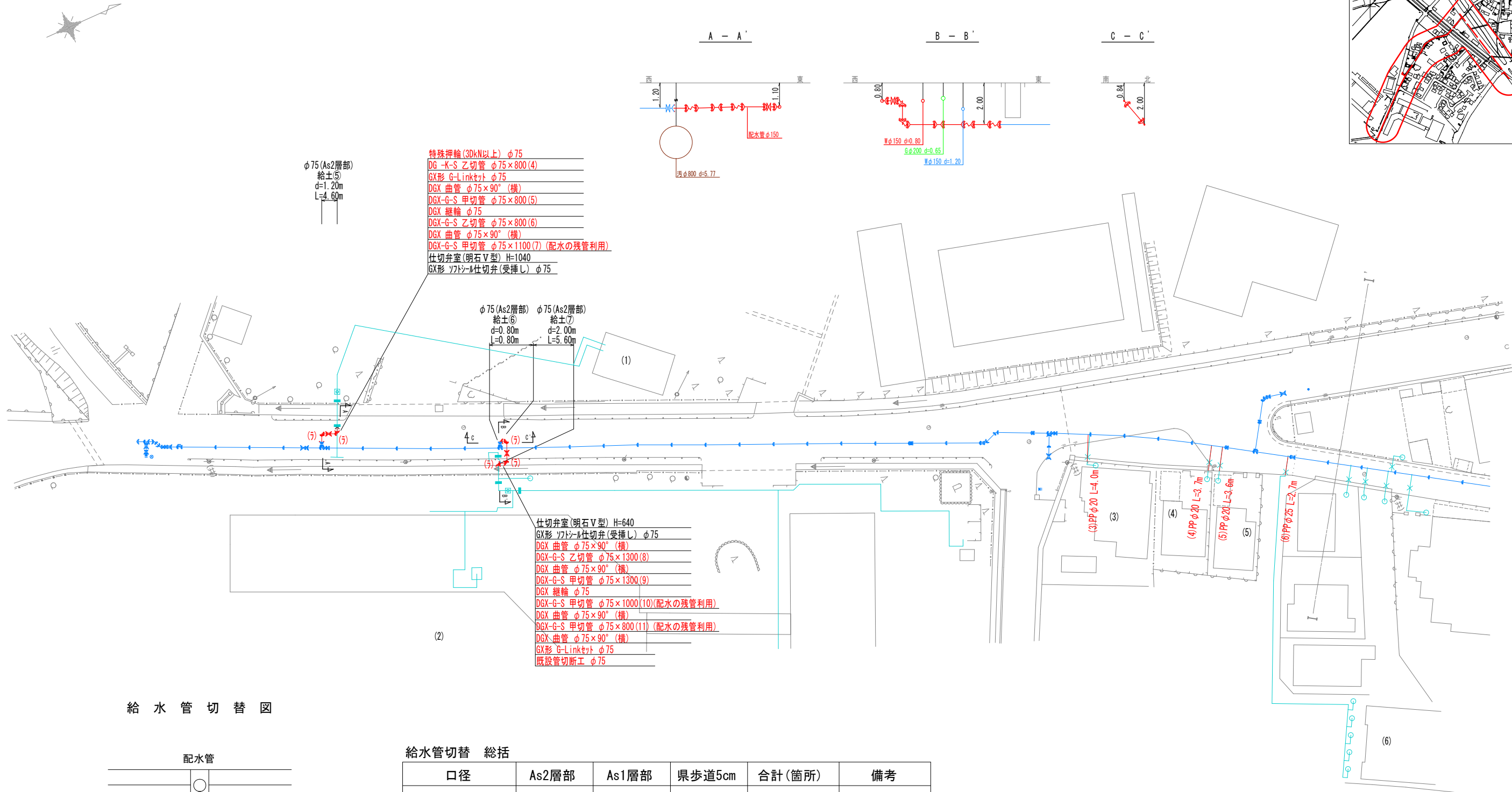
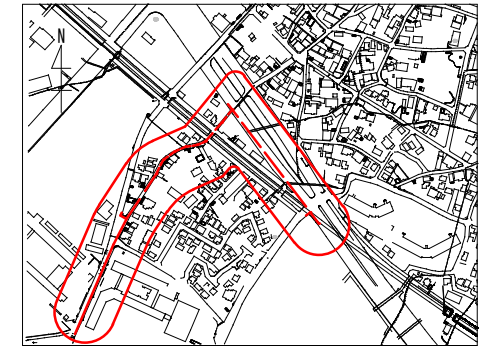
掘削幅	掘削深	給水管延長	土工延長	土工延長根拠
0.85	2.09	5.60	5.60	5.6-0.85/2 ×

給水管部

工種	施工厚	計算式			数量
		幅等	厚	延長 箇所等	
舗装版切断(As) t≤15cm	0.10			5.60 × 2	11.20
舗装版取壊し積込工(As+Co) t≤10cm	0.10	0.85	×	5.60	4.76
掘削積込工	1.99	0.85 ×	1.99 ×	5.60	9.49
残塊処分工(As)		4.76 ×	0.10		0.48
残塊処分工(土砂)		9.49			9.49
仮復旧工(密粒度(再)(13))	0.05	0.85	×	5.60	4.76
路盤工(粒調碎石)	0.15	0.85	×	5.60	4.76
埋戻工(再生碎石)	1.74	0.85 ×	1.74 ×	5.60	8.30
埋戻工(スクリーニングス)	0.15	0.85 ×	0.15 ×	5.60	0.71
軽量鋼矢板設置撤去工	H=2.5	5.6			5.60

給水管切替平面図(1) S=1/300

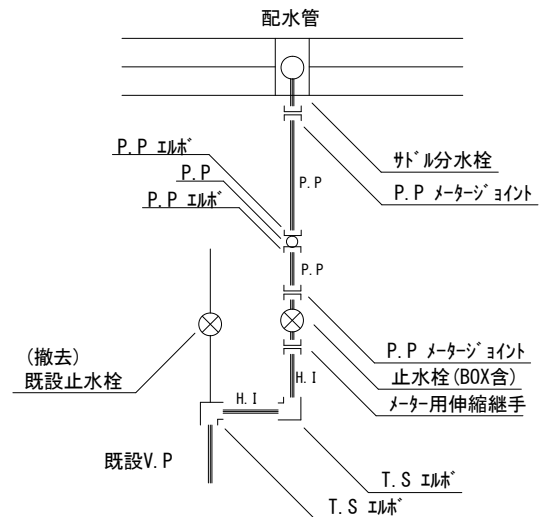
位置図 S = 1/ 5000



- 特殊押輪 (30kN以上) φ75
- DG-K-S 乙切管 φ75×800(4)
- GX形 G-Linktyt φ75
- DGX 曲管 φ75×90° (横)
- DGX-G-S 甲切管 φ75×800(5)
- DGX 継輪 φ75
- DGX-G-S 乙切管 φ75×800(6)
- DGX 曲管 φ75×90° (横)
- DGX-G-S 甲切管 φ75×1100(7) (配水の残管利用)
- 仕切弁室(明石V型) H=1040
- GX形 ソフト仕切弁(受挿し) φ75

- 仕切弁室(明石V型) H=640
- GX形 ソフト仕切弁(受挿し) φ75
- DGX 曲管 φ75×90° (横)
- DGX-G-S 乙切管 φ75×1300(8)
- DGX 曲管 φ75×90° (横)
- DGX-G-S 甲切管 φ75×1300(9)
- DGX 継輪 φ75
- DGX-G-S 甲切管 φ75×1000(10) (配水の残管利用)
- DGX 曲管 φ75×90° (横)
- DGX-G-S 甲切管 φ75×800(11) (配水の残管利用)
- DGX 曲管 φ75×90° (横)
- GX形 G-Linktyt φ75
- 既設管切断工 φ75

給水管切替図



給水管切替 総括

口径	As2層部	As1層部	県歩道5cm	合計(箇所)	備考
φ150×φ20	3	16		19	
φ150×φ25		3		3	
φ150×φ30		1		1	
φ150×φ40		2		2	
φ150×φ50		2		2	
φ150×φ75	2			2	鑄鉄管
φ250×φ20			1	1	
φ250×φ25			1	1	
φ250×φ30			1	1	
総計				32	

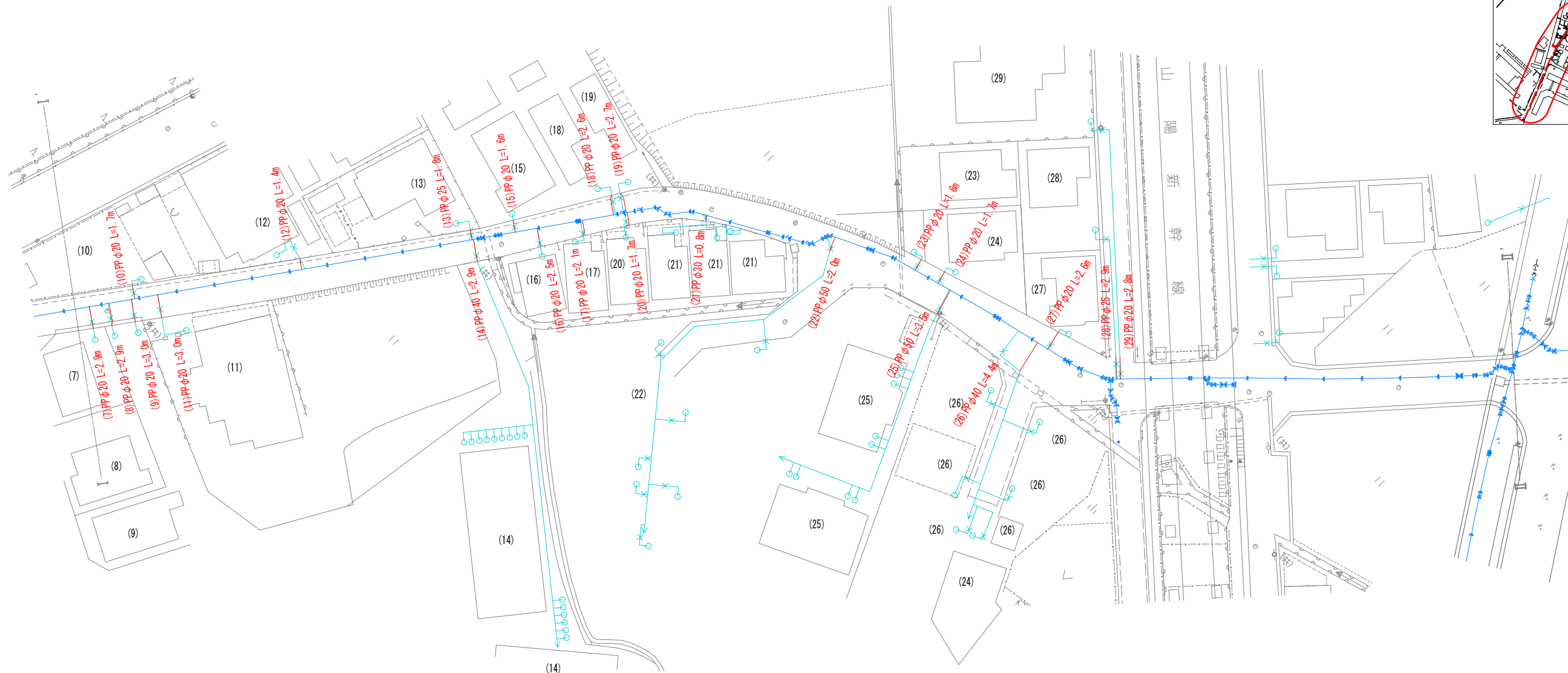
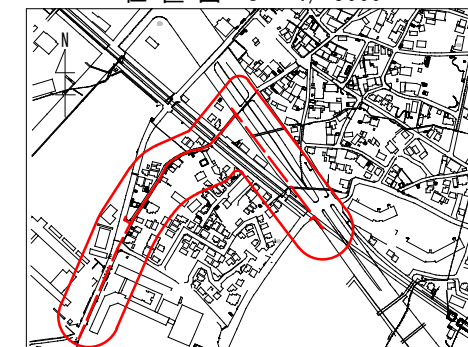
給水管切替総数

φ20	20箇所
φ25	4箇所
φ30	2箇所
φ40	2箇所
φ50	2箇所
φ75	2箇所 (鑄鉄管)

図番	1 / 3	施工年度	令和4年度
工事名	二見町西二見地内配水管布設に伴う給水管切替工事		
図種	給水管切替平面図(1)		
場所	明石市二見町西二見地内		
縮尺	図示		
制作日			
設計者	製図者		

給水管切替平面図(2) S=1/300

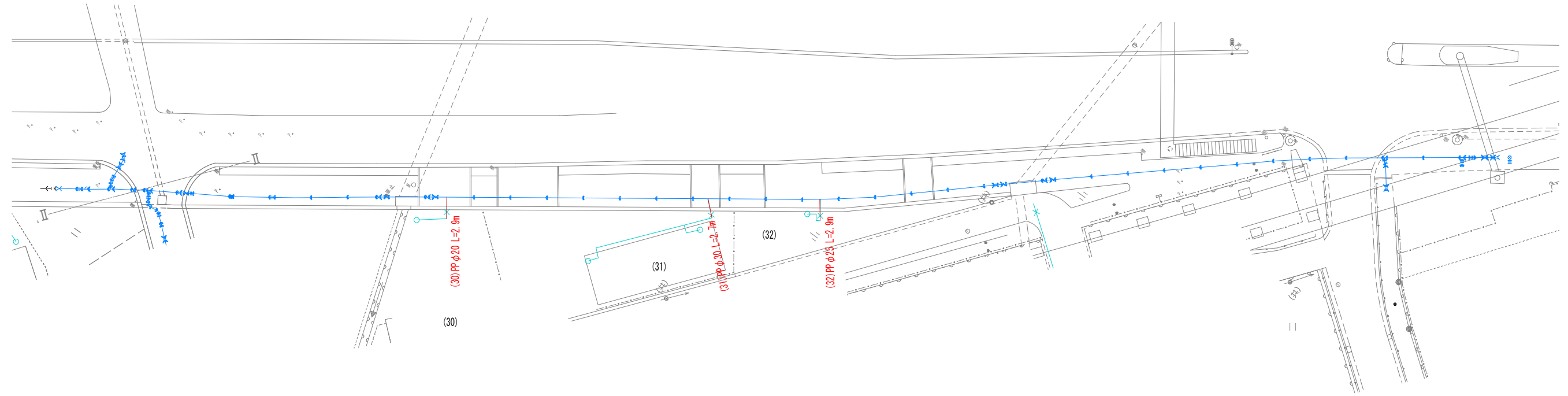
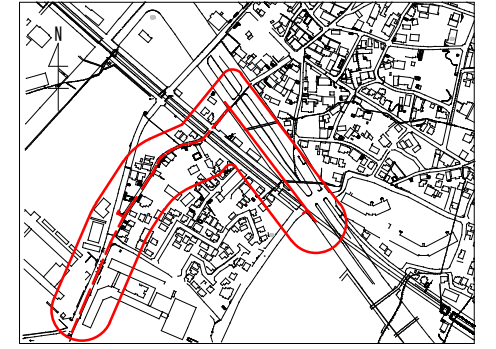
位置図 S = 1/ 5000



図番	2 / 3	施工年度	令和4年度
工事名	二見町西二見地内配水管布設に伴う給水管切替工事		
図種	給水管切替平面図(2)		
場所	明石市二見町西二見地内		
縮尺	図示		
制作日			
設計者	製図者		

給水管切替平面図(3) S=1/300

位置図 S = 1/ 5000



図番	3 / 3	施工年度	令和4年度
工事名	二見町西二見地内配水管布設替に伴う給水管切替工事		
図種	給水管切替平面図(3)		
場所	明石市二見町西二見地内		
縮尺	図示		
制作日			
設計者		製図者	

二見町西二見地内配水管布設替工事ほか工事

